

< 臨床医学域 >

<臨床医学域>

内科学（腎）	4
内科学（膠原病・リウマチ・アレルギー）	9
内科学（血液）	1 2
内科学（消化器）	1 4
内科学（呼吸器）	1 9
内科学（循環器）	2 5
内科学（内分泌）	4 1
内科学（神経）	4 4
内科学（皮膚科）	4 6
内科学（感染）	5 2
外科学（乳腺・代謝内分泌）	5 2
外科学（形成）	5 4
外科学（呼吸器）	5 5
外科学（循環器）	5 5
外科学（小児）	5 6
外科学（消化器）	6 0
外科学（脳神経）	6 3
外科学（整形）	6 8
外科学（泌尿器）	7 3
外科学（眼科）	7 6
外科学（耳鼻咽喉科）	7 9
外科学（歯科・口腔）	8 2
精神医学	8 4
小児科学	8 8
産婦人科学	9 4
放射線診断学	9 7
放射線腫瘍学	9 9
麻酔学	1 0 5
臨床検査医学	1 0 7
臨床薬剤学	1 1 0
医療科学	1 1 1
地域医療教育学	1 1 5

医学教育情報工学	1 1 6
災害精神支援学	1 1 7
スポーツ医科学	1 1 8
医学教育学	1 1 8
病院診療研究グループ（救急医学・集中治療学）	1 1 9
病院診療研究グループ（医療情報部）	1 2 2
病院診療研究グループ（手術部）	1 2 2
病院診療研究グループ（リハビリテーション部）	1 2 4
病院診療研究グループ（輸血部）	1 2 4
病院診療研究グループ（光学医療診療部）	1 2 5
病院診療研究グループ（病理部）	1 2 7
病院診療研究グループ（血液浄化療法部）	1 2 9
病院診療研究グループ（臨床医療管理部）	1 3 5
病院診療研究グループ（医療連携患者相談センター）	1 3 5
睡眠医学寄附講座	1 3 6
臨床研究地域イノベーション学寄附講座	1 3 7
循環器不整脈学寄附講座	1 3 8
不整脈次世代寄附研究部門	1 4 1
北茨城地域医療研修ステーション	1 4 3
水戸地域医療教育センター	1 4 3
茨城県地域臨床教育センター	1 5 1
ひたちなか社会連携教育研究センター	1 5 5
日立社会連携教育研究センター	1 5 8
土浦市地域臨床教育ステーション	1 6 0
茨城県小児地域医療教育ステーション	1 6 1
つくば市寄附講座総合周産期医学	1 6 4
陽子線医学利用研究センター	1 6 4
総合がん診療センター	1 7 0
臨床試験・臨床疫学	1 7 1

## 内科学（腎）

### 1) 英文論文

1. Ano S, Morishima Y, Ishii Y, Yoh K, Yageta Y, Ohtsuka S, Matsuyama M, Kawaguchi M, Takahashi S, Hizawa N. Transcription factors GATA-3 and ROR $\gamma$ t are important for determining the phenotype of allergic airway inflammation in a murine model of asthma. *J Immunol* 190(3):1056-1065, 2013
2. Gejyo F, Amano I, Ando T, Ishida M, Obayashi S, Ogawa H, Ono T, Kanno Y, Kitaoka T, Kukita K, Kurihara S, Sato M, Shin J, Suzuki M, Takahashi S, Taguma Y, Takemoto Y, Nakazawa R, Nakanishi T, Nakamura H, Hara S, Hiramatsu M, Furuya R, Masakane I, Tsuchida K, Motomiya Y, Morita H, Yamagata K, Yoshiya K, Yamakawa T. Survey of the effects of a column for adsorption of beta2-microglobulin in patients with dialysis-related amyloidosis in Japan. *Ther Apher Dial* 17(1):40-47, 2013
3. Hirayama K, Yamagata K. The antglomerular basement membrane disease: treatments and outcomes. *OA Nephrology* 1(1):1, 2013
4. Hoshino J, Mehrotra R, Rhee CM, Yamagata K, Ubara Y, Takaichi K, Kovesdy CP, Molnar MZ, Kalantar-Zadeh K. Using hemoglobin A1c to derive mean blood glucose in peritoneal dialysis patients. *Am J Nephrol* 37(5):413-420, 2013
5. Hoshino J, Molnar MZ, Yamagata K, Ubara Y, Takaichi K, Kovesdy CP, Kalantar-Zadeh K. Developing an HbA(1c)-based equation to estimate blood glucose in maintenance hemodialysis patients. *Diabetes Care* 36(4):922-927, 2013
6. Ishizu A, Tomaru U, Murai T, Yamamoto T, Atsumi T, Yoshiki T, Yumura W, Yamagata K, Yamada H, Kumagai S, Kurokawa MS, Suka M, Makino H, Ozaki S. Prediction of response to treatment by gene expression profiling of peripheral blood in patients with microscopic polyangiitis. *PLoS One* 8(5):e63182, 2013
7. Kawamura T, Usui J, Kaseda K, Takada K, Ebihara I, Ishizu T, Iitsuka T, Sakai K, Takemura K, Kobayashi M, Koyama A, Kanemoto K, Sumazaki R, Uesugi N, Noguchi M, Nagata M, Suka M, Yamagata K. Primary membranoproliferative glomerulonephritis on the decline: decreased rate from the 1970s to the 2000s in Japan. *Clin Exp Nephrol* 17(2):248-254, 2013
8. Nagai K, Saito C, Watanabe F, Ohkubo R, Sato C, Kawamura T, Uchida K, Hiwatashi A, Kai H, Ishida K, Sairenchi T, Yamagata K. Annual incidence of persistent proteinuria in the general population from Ibaraki annual urinalysis study. *Clin Exp Nephrol* 17(2):255-260, 2013
9. Nagai K, Ueda A, Yamagata K. Successful Use of Tocilizumab in a Case of Multicentric

- Castleman's Disease and End-Stage Renal Disease. *Ther Apher Dial* doi: 10.1111/1744-9987.12128, 2013
10. Nakai S, Watanabe Y, Masakane I, Wada A, Shoji T, Hasegawa T, Nakamoto H, Yamagata K, Kazama JJ, Fujii N, Itami N, Shinoda T, Shigematsu T, Marubayashi S, Morita O, Hashimoto S, Suzuki K, Kimata N, Hanafusa N, Wakai K, Hamano T, Ogata S, Tsuchida K, Taniguchi M, Nishi H, Iseki K, Tsubakihara Y. Overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2011). *Ther Apher Dial* 17(6):567-611, 2013
  11. Okada K, Ma D, Warabi E, Morito N, Akiyama K, Murata Y, Yamagata K, Bukawa H, Shoda J, Ishii T, Yanagawa T. Amelioration of cisplatin-induced nephrotoxicity in peroxiredoxin I-deficient mice. *Cancer Chemother Pharmacol* 71(2):503-509, 2013
  12. Okubo R, Kai H, Kondo M, Saito C, Yoh K, Morito N, Usui J, Yamagata K. Health-related quality of life and prognosis in patients with chronic kidney disease: a 3-year follow-up study. *Clin Exp Nephrol* 2013
  13. Tsuruoka S, Kai H, Usui J, Morito N, Saito C, Yoh K, Yamagata K. Effects of irbesartan on inflammatory cytokine concentrations in patients with chronic glomerulonephritis. *Intern Med* 52(3):303-308, 2013
  14. Tsuruoka S, Yokota N, Hayasaka T, Saito T, Yamagata K. Dialyzability and pharmacokinetics of sitafloxacin following multiple oral dosing in infected hemodialysis patients. *Ther Apher Dial* 17(3):319-324, 2013
  15. Yamagata K, Usui J, Sugiyama H, Nitta K, Wada T, Muso E, Arimura Y, Koyama A, Makino H, Matsuo S. Clinical findings on ANCA-associated renal vasculitis from the Japan RPGN registry obtained via a questionnaire survey. *Clin Exp Nephrol* 17(5):646-649, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 秋澤忠男, 水口潤, 友雅司, 政金生人, 渡邊有三, 平方秀樹, 山縣邦弘, 西慎一, 花房規男, 齋藤知栄, 服部元史, 伊丹儀友, 小松康宏, 川口良人, 鶴屋和彦, 椿原美治, 一之 鈴木, 酒井謙, 川西秀樹, 稲熊大城, 山本裕康, 武本佳昭, 森典子, 岡田一義, 幡谷浩史, 秋葉隆, 井関邦敏, 一般社団法人日本透析医学会. 維持血液透析ガイドライン 血液透析導入. 日本透析医学会雑誌 46(12):1107-1155, 2013
2. 秋葉隆, 山縣邦弘, 五十嵐徹, 井関邦敏, 石村栄治, 伊丹儀友, 今井圓裕, 笠井健司, 木全直樹, 剣持敬, 古藺勉, 佐古まゆみ, 杉山斉, 鈴木洋通, 田邊一成, 椿原美治, 中井滋, 中山昌明, 西慎一, 乳原善文, 服部元史, 樋之津史郎, 平松信, 望月隆弘, 八木澤隆, 湯沢賢治, 横山仁, 日本透析医学会腎不全総合対策委員会. わが国の end-stage kidney

disease(ESKD)の現況. 日本腎臓学会誌 55(1):6-15, 2013

3. 木村健二郎, 岡田浩一, 今井裕一, 田村功一, 西慎一, 和田隆志, 福井次矢, 松尾清一, 湯澤由紀夫, 有村義宏, 堀江重郎, 丸山彰一, 今井圓裕, 守山敏樹, 池住洋平, 石倉健司, 井関邦敏, 上田仁康, 小尾佳嗣, 大野岩男, 貝藤裕史, 香美祥二, 金崎啓造, 要伸也, 川田典孝, 河原崎宏雄, 北川清樹, 北田宗弘, 小井手裕一, 古家大祐, 後藤俊介, 後藤眞, 後藤憲彦, 近藤秀治, 佐古まゆみ, 柴垣有吾, 嶋英昭, 庄司哲雄, 新沢真紀, 鈴木芳樹, 諏訪部達也, 坪井伸夫, 鶴岡秀一, 徳山博文, 富田亮, 長澤康行, 西尾妙織, 長谷部直幸, 花房規男, 濱ひとみ, 早川洋, 原章規, 雅史 深川, 藤井直彦, 藤井秀毅, 藤野貴行, 古市賢吾, 丸山達也, 丸山之進, 三浦健一郎, 三浦直人, 三ツ木加代, 武藤智, 望月俊雄, 森一越, 谷澤雅彦, 安田宜成, 山本裕康, 山本陵平, 脇野修, 鷺田直輝, 渡辺裕輔, 原田浩, 荒木信一, 伊藤貞嘉, 上村治, 臼井丈一, 内田俊也, 宇津貴, 宇都宮保典, 風間順一郎, 柏原直樹, 川村哲也, 栗山哲, 小松康宏, 斉藤喬雄, 斎藤知栄, 酒井謙, 佐田憲映, 四方賢一, 杉山斉, 竹村司, 土谷健, 椿原美治, 成田一衛, 服部元史, 花岡一成, 馬場園哲也, 樋口誠, 平野勉, 星野純一, 堀尾勝, 山縣邦弘, 横山啓太郎, 横山仁, 吉川徳茂, 渡邊有三, 船橋徹, 益崎裕章, エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン作成委員会, 日本腎臓学会. 【エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2013】. 日本腎臓学会誌 55(5):585-860, 2013
4. 佐藤祐二, 今田恒夫, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 吉田英昭, 藤元昭一, 旭浩一, 渡辺毅, 厚生労働科学研究費補助金「今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病の位置付けに関する検討」. BMI と蛋白尿の関連は U 字型を示す. 日本腎臓学会誌 55(3):316, 2013
5. 菅野真理, 田中健一, 林義満, 中山昌明, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 吉田英昭, 藤元昭一, 旭浩一, 渡辺毅, 厚生労働科学研究費補助金「今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病の位置付けに関する検討」. 不規則な食習慣と蛋白尿の関連. 日本腎臓学会誌 55(3):316, 2013
6. 鈴木亜衣香, 佐藤敬太, 黒崎敦子, 栗原泰之, 榎野博史, 松尾清一, 土橋浩章, 針谷正祥, 山縣邦弘, 臼井丈一, 佐田憲映, 本間栄, 厚生労働省難治性疾患克服研究事業難治性血管炎に関する調査研究班. ANCA 関連血管炎における胸部画像所見の検討. 日本呼吸器学会誌 2(増刊):322, 2013
7. 鶴岡秀一, 横田徳継, 早坂常江, 斎藤鉄男, 飯野靖彦, 山縣邦弘. 維持透析患者におけるシタフロキサシン(S)の透析性および薬物動態. 日本透析医学会雑誌 46(Suppl.1):538, 2013
8. 中井滋, 渡邊有三, 政金生人, 和田篤志, 庄司哲雄, 長谷川毅, 中元秀友, 山縣邦弘, 風間順一郎, 藤井直彦, 伊丹儀友, 篠田俊雄, 重松隆, 丸林誠二, 守田治, 橋本整司, 鈴木一之,

- 木全直樹, 花房規男, 若井建志, 濱野高行, 尾形聡, 土田健司, 谷口正智, 西裕志, 井関邦敏, 椿原美治, 日本透析医学会統計調査委員会統計解析小委員会. わが国の慢性透析療法の実況(2011年12月31日現在). 日本透析医学会雑誌 46(1):1-76, 2013
9. 中井滋, 山縣邦弘, 井関邦敏. 血液透析 末期腎不全患者数の推計. 日本透析医学会雑誌 46(Suppl.1):403, 2013
  10. 長澤康行, 山本陵平, 新沢真紀, 蓮池由起子, 倉賀野隆裕, 楽木宏実, 猪阪善隆, 中西健, 井関邦敏, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 吉田英昭, 藤元昭一, 旭浩一, 渡辺毅, 守山敏樹, 厚生労働科学研究費補助金「今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病の位置付けに関する検討」. 特定健診コホートにおける、運動習慣の尿蛋白陽性化への影響の検討. 日本腎臓学会誌 55(3):327, 2013
  11. 針谷正祥, 山縣邦弘, 本間栄, 臼井丈一, 土橋浩章, 佐田憲映. 【血管炎-基礎と臨床のクロストーク-】 ANCA 関連血管炎の病因・病理、診断・治療 ANCA 関連血管炎の臨床研究 抗好中球細胞質抗体関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究(RemIT-JAV-RPGN). 日本臨床 71(増刊1 血管炎):381-386, 2013
  12. 山縣邦弘, 八木澤隆, 中井滋, 中山昌明, 今井圓裕, 服部元史, 五十嵐徹, 石村栄治, 井関邦敏, 伊丹儀友, 乳原善文, 笠井健司, 木全直樹, 剣持敬, 佐古まゆみ, 杉山斉, 鈴木洋通, 田邊一成, 椿原美治, 西慎一, 樋之津史郎, 平松信, 古菌勉, 望月隆弘, 湯沢賢治, 横山仁, 秋葉隆, 高原史郎, 吉村了勇, 本田雅敬, 松尾清一, 秋澤忠男, 日本透析医学会腎不全総合対策委員会. わが国の end stage kidney disease(ESKD)の実況. 移植 48(4-5):225-235, 2013
- 4) 英文以外の著書
1. 相川健, 赤塚東司雄, 旭浩一, 伊藤聡, 上野誠司, 大友浩志, 大森聡, 折笠一彦, 風間順一郎, 川口洋, 川崎忠行, 川名篤子, 木全直樹, 木村朋由, 熊川健二郎, 小島祥敬, 小林正人, 新村浩明, 鈴木一裕, 関野宏, 常盤峻士, 戸澤修平, 中山昌明, 橋本樹, 堀井秀夫, 榎昭弘, 政金生人, 松岡久光, 水口潤, 宮崎真理子, 柳田知彦, 山川智之, 山縣邦弘, 渡辺毅. "東日本大震災 学術調査報告書 一災害時透析医療展開への提言一" (編集 一般社団法人日本透析医学会東日本大震災学術ワーキンググループ), 医学図書出版 (東京) 2013;全 267 ページ
  2. 臼井丈一. ANCA 関連腎炎の患者をどう治療するか; "Bunkodo Essential & Advanced Mook シリーズ患者を末期腎不全にしないための CKD 診療のコツ" (編集 今井圓裕), 文光堂 (東京) 2013; pp206-212

3. 臼井丈一, 山縣邦弘. CASE08. 感冒を契機に急性腎不全と肺胞出血を呈した53歳男性; "New 専門医を目指すケースメソッドアプローチ 腎臓疾患 (第2版)" (編集 榎野博史), 日本医事新報社 (東京) 2013; pp68-74
4. 臼井俊明, 山縣邦弘. Q14 わが国の末期腎不全患者数は増加し続けるのでしょうか?; "CKD 診療ガイド 2012 Q&A (第1版)" (編集 今井圓裕), 診断と治療社 (東京) 2013 pp31-33
5. 河村哲也, 山縣邦弘. Q22 CKD のリスクは何でしょうか?; "CKD 診療ガイド 2012 Q&A (第1版)" (編集 今井圓裕), 診断と治療社 (東京) 2013; pp48-49
6. 加瀬田幸司, 山縣邦弘. Q39 CKD 患者の専門医への紹介の時期について教えてください; "CKD 診療ガイド 2012 Q&A (第1版)" (編集 今井圓裕), 診断と治療社 (東京) 2013; pp91-93
7. 斎藤知栄, 山縣邦弘. 第2章 3. 国のCKD診療に対する取り組み; "あなたも名医! jmedmook29 透析まで行かせない! CKD診療" (編集 海津嘉蔵), 日本医事新報社 (東京) 2013; pp6-11
8. 斎藤知栄, 山縣邦弘. I 慢性腎臓病 (CKD) 3. CKD の治療全般・管理目標; "腎不全治療レシピ (第1版)" (編集 丹羽利允), 医学出版 (東京) 2013; pp26-37
9. 富樫周, 山縣邦弘. Q41. CKD 患者に対して透析導入はいつ、どのように説明すればいいのでしょうか?; "CKD 診療ガイド 2012 Q&A (第1版)" (編集 今井圓裕), 診断と治療社 (東京) 2013; pp97-99
10. 堀江重郎, 伊藤秀一, 岡田浩一, 菊池春人, 成田一衛, 西山勉, 長谷川友紀, 三上裕司, 山縣邦弘, 油野友二, 武藤智. 血尿診断ガイドライン 2013; (第1版)" (編集 血尿診断ガイドライン編集委員会) ライフサイエンス出版 (東京) 2013; 全80ページ
11. 榎野博史, 木村健二郎, 山縣邦弘. "NHK きょうの健康 ここが聞きたい! 名医にQ 腎臓病のベストアンサー (第1版)" (編集 榎野博史, 木村健二郎, 山縣邦弘), 主婦と生活社 (東京) 2013; 全128ページ
12. 松永恒明, 山縣邦弘. 3巻. 尿細管間質性腎炎; "臨床病態学3 (第2版)" (編集 北村聖), ヌーヴェルヒロカワ (東京) 2013; pp463-464
13. 山縣邦弘. 第2章 病理・病態生理. 病因1. 微小変化型ネフローゼ症候群; "最新医学 別冊 新しい診断と治療のABC80/腎8ネフローゼ症候群" (編集 今井圓裕), 最新医学社 (大阪) 2013; pp46-53
14. 山縣邦弘. 主な原発性糸球体腎炎. 1. 溶連菌感染後急性糸球体腎炎; "内科学書 (第8版)" (編集 小川聡), 中山書店 (東京) 2013; pp453-455
15. 山縣邦弘. 主な原発性糸球体腎炎. 2. 急速進行性糸球体腎炎; "内科学書 (第8版)"



- (編集 小川聡), 中山書店 (東京) 2013; pp455-459
16. 山縣邦弘, Part3. 慢性腎臓病の治療 —原因疾患とその対処法; "別冊 NHK 今日の健康 慢性腎臓病 (CKD)" (編集 富野康日己), NHK 出版 (東京) 2013; pp42-64
  17. 山縣邦弘, 2. 急速進行性糸球体腎炎症候群; "腎臓病薬物療法 実践ガイド (第1版)" (編集 丹羽利允), 中山書店 (東京) 2013; pp203-214
  18. 山縣邦弘, 9. 腎疾患. 急速進行性腎炎症候群 (ANCA 関連腎炎を含む); "今日の治療 指針 私はこう治療している 2013 (第1版)" (編集 山口徹, 北原光夫, 福井次矢), 医学書院 (東京) 2013; pp538-540
  19. 山縣邦弘, 第6章. 第1節、第2節 「ネフローゼ症候群」、「腎炎」; "ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑦ 「疾病と治療」 (第2版)" (編集 林正健二, 山内豊明), メディカ出版 (大阪) 2013; pp150-159
  20. 山縣邦弘, 第10章. CKD 患者を専門医に紹介するタイミング—腎臓専門医との連携; "CKD 診療ガイド 2012 ガイドブック (第1版)" (編集 今井圓裕), 医歯薬出版株式会社 (東京) 2013; pp61-66
  21. 山縣邦弘, 臼井丈一. VI.糸球体疾患. 7.半月体形成性糸球体腎炎と ANCA 関連腎炎; "臨床腎臓内科学(第1版)" (編集 安田孝, 平和伸仁, 小山雄太), 南山堂 (東京) 2013; pp386-393
  22. 山縣邦弘, 臼井丈一. VI.糸球体疾患 14.感染に伴う糸球体疾患 (MRSA, 細菌感染, ウイルス: 肝炎ウイルスや HIV, その他); "臨床腎臓内科学 (第1版)" (編集 安田孝, 平和伸仁, 小山雄太), 南山堂 (東京) 2013; pp448-456

## 内科学 (膠原病・リウマチ・アレルギー)

### 1) 英文論文

1. Anami A, Fukushima K, Takasaki Y, Sumida T, Waguri M, Murashima A, Wake N, Murashima A. The predictive value of SS-A antibody titration in pregnant women with fetal congenital heart block. *Mod Rheumatol* 23(4):653-658, 2013
2. Furukawa H, Kawasaki A, Oka S, Shimada K, Matsui T, Ikenaka T, Hashimoto A, Okazaki Y, Takaoka H, Futami H, Komiya A, Kondo Y, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Kusaoi M, Takasaki Y, Nagai T, Hirohata S, Setoguchi K, Suda A, Nagaoka S, Kono H, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Fukui N, Hashimoto H, Sumida T, Ono M, Tsuchiya N, Tohma S. Association of a single nucleotide polymorphism in the SH2D1A intronic region with systemic lupus erythematosus. *Lupus* 22(5):497-503, 2013

3. Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Ogawa F, Takahashi H, Tanaka S, Sato S, Takehara K. Serum chemokine levels as prognostic markers in patients with early systemic sclerosis: a multicenter, prospective, observational study. *Mod Rheumatol* 23(6):1076-1084, 2013
4. Iizuka M, Tsuboi H, Matsuo N, Kondo Y, Asashima H, Matsui M, Matsumoto I, Sumida T. The crucial roles of IFN-g in the development of M3 muscarinic acetylcholine receptor induced Sjögren's syndrome-like sialadenitis. *Mod Rheumatol* 23(3):614-616, 2013
5. Ishiguro N, Yamamoto K, Katayama, K, Kondo M, Sumida T, Mimori T, Soen S, Nagai K, Yamaguchi T, Hara M, Iguratomod-Clinical Study Group. Concomitant iguratimod therapy in patients with active rheumatoid arthritis despite stable doses of methotrexate: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial. *Mod Rhumatol* 23(3):430-439, 2013
6. Kawasaki A, Inoue N, Ajimi C, Sada KE, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Sumida T, Tohma S, Miyasaka N, Matsuo S, Ozaki S, Hashimoto H, Makino H, Harigai M, Tsuchiya N. Association of IRF5 polymorphism with MPO-ANCA-positive vasculitis in a Japanese population. *Genes Immun* 14(8):527-529, 2013
7. Shimane K, Kochi Y, Suzuki A, Okada Y, Ishii T, Horita T, Saito K, Okamoto A, Nishimoto N, Myouzen K, Kubo M, Hirakata M, Sumida T, Takasaki Y, Yamada R, Nakamura Y, Kamatani N, Yamamoto K. An association analysis of HLA-DRB1 with systemic lupus erythematosus and rheumatoid arthritis in a Japanese population: effects of \*09:01 allele on disease phenotypes. *Rheumatology (Oxford)* 52(7):1172-1182, 2013
8. Sumida T, Tsuboi H, Iizuka M, Asashima H, Matsumoto I. Anti-M3 muscarinic acetylcholine receptor antibodies in patients with Sjogren's syndrome. *Mod Rheumatol* 23(5): 841-845, 2013
9. Suzuki T, Horikoshi M, Sugihara M, Hirota T, Ogishima H, Umeda N, Kondo Y, Tsuboi H, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Sumida T. Therapeutic efficacy of tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis refractory to anti-tumor necrosis factor inhibitors: One year follow-up by low-field extremity MRI. *Mod Rheumatol* 23(4):782-787, 2013
10. Tsuboi H, Hagiwara S, Asashima H, Umehara H, Kawakami A, Nakamura H, Sano H, Tsubota K, Ogawa Y, Takamura E, Saito I, Inoue H, Nakamura S, Moriyama M, Takeuchi T, Tanaka Y, Hirata S, Mimori T, Matsumoto I, Sumida T. Validation of different sets of criteria for the diagnosis of Sjögren's syndrome in Japanese patients. *Mod Rheumatol* 23(2):219-225, 2013
11. Umeda N, Matsumoto I, Ito I, Kawasaki A, Tanaka Y, Inoue A, Tsuboi H, Suzuki T, Hayashi

- T, Ito S, Tsuchiya N, Sumida T. Anti-citrullinated glucose-6-phosphate isomerase peptide antibodies in patients with rheumatoid arthritis are associated with HLA-DRB1 shared epitope alleles and disease activity. *Clin Exp Immunol* 172(1):44-53, 2013
12. Yoon JH, Jung SM, Park SH, Kato M, Yamashita T, Lee IK, Sudo K, Nakae S, Han JS, Kim OH, Oh BC, Sumida T, Kuroda M, Ju JH, Jung KC, Park SH, Kim DK, Mamura M. Activin receptor-like kinase5 inhibition suppresses mouse melanoma by ubiquitin degradation of Smad4, thereby derepressing eomesodermin in cytotoxic T lymphocytes. *EMBO Mol Med* 5(11):1720-1739, 2013

2) 英文以外の論文

1. 坪井洋人, 飯塚麻菜, 浅島弘充, 住田孝之. 【自己抗体】抗 M3 ムスカリン作働性アセチルコリン受容体抗体とシェーグレン症候群. 日本臨床免疫学会会誌 36(2):77-85, 2013

4) 英文以外の著書

1. 住田孝之. 第 1 部. 膠原病・リウマチの概念と歴史; "EXPERT 膠原病・リウマチ改訂 (第 3 版)" (編集 住田孝之), 診断と治療社 (東京) 2013; pp2-6
2. 松本功. 第 2 部. 自己抗体と自己免疫疾患; "EXPERT 膠原病・リウマチ改訂(第 3 版)" (編集 住田孝之), 診断と治療社 (東京) 2013; pp27-32
3. 住田孝之. 第 4 部. Sjögren's 症候群; "EXPERT 膠原病・リウマチ改訂 (第 3 版)" (編集 住田孝之), 診断と治療社 (東京) 2013; pp217-225
4. 坪井洋人. 第 4 部. 好酸球性筋膜炎; "EXPERT 膠原病・リウマチ改訂 (第 3 版)" (編集 住田孝之), 診断と治療社 (東京) 2013; pp352-353
5. 近藤裕也, 金森章浩. 第 4 部. 色素沈着性絨毛性滑膜炎; "EXPERT 膠原病・リウマチ改訂(第 3 版)" (編集 住田孝之), 診断と治療社 (東京) 2013; pp354-356
6. 後藤大輔. 第 4 部. 膠原病・リウマチ疾患の診断基準一覧; "EXPERT 膠原病・リウマチ改訂(第 3 版)" (編集 住田孝之), 診断と治療社 (東京) 2013; pp356-358
7. 後藤大輔. 第 6 部. 膠原病・リウマチ疾患の診断基準一覧; "EXPERT 膠原病・リウマチ改訂(第 3 版)" (編集 住田孝之), 診断と治療社 (東京) 2013; pp370-398
8. 住田孝之. 第 14 章. 全身性エリテマトーデス; "今日の治療指針 私はこう治療している (第 1 版)" (編集 山口徹, 北原光夫, 福井次矢), 西村書店 (新潟) 2013; pp741-743
9. 住田孝之. 第 10 章. IgG4 関連疾患; "今日の治療と看護 改訂版 (第 3 版)" (編集 永井良三, 太田健総), 南江堂 (東京) 2013; pp896-897
10. 住田孝之. Sjögren 症候群; "内科学 (第 10 版)" (編集 矢崎義雄), 朝倉書店 (東京) 2013;

pp1269-1273

11. 住田孝之. 臨床編 I. シェーグレン症候群; "免疫・アレルギー疾患 イラストレイテッド (第1版)" (編集 田中良哉), 羊土社 (東京) 2013; pp166-171
12. 住田孝之. Sjögren 症候群; "内科学書 (第8版)" (編集 小川聡), 中山書店 (東京) 2013; pp222-225
13. 住田孝之. 膠原病・リウマチ疾患の診断基準一覧; "リウマチ病セミナーXXII (第1版)" (編集 七川歡次), 永井書店 (大阪) 2013; pp1-7
14. 堤明人, 住田孝之. 第2部. C 反応性蛋白 (CRP); "臨床検査ガイド 2013~2014 (第1版)" (編集 MedicalPractice 編集委員会), 文光堂 (東京) 2013; pp201-204

## 内科学 (血液)

### 1) 英文論文

1. Fukuda K, Kurita N, Sakamoto T, Nishikii H, Okoshi Y, Sugano M, Chiba S. Post-transplant gastric antral vascular ectasia after intra-venous busulfan regimen. *Int J Hematol* 98(1):135-138, 2013
2. Kako S, Kanamori H, Kobayashi N, Shigematsu A, Nannya Y, Nakamae M, Shigeno K, Suzukawa K, Takeuchi M, Tsuzuki M, Usuki K, Hatanaka K, Ogawa K, Mitani K, Nawa Y, Hatta Y, Mizuno I, Kanda Y. Outcome after first relapse in adult patients with Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukaemia. *Br J Haematol* 161(1):95-103, 2013
3. Kanda Y, Oshima K, Kako S, Fukuda T, Uchida N, Miyamura K, Kondo Y, Nakao S, Nagafuji K, Miyamoto T, Kurokawa M, Okoshi Y, Chiba S, Ohashi Y, Takaue Y, Taniguchi S. In vivo T-cell depletion with alemtuzumab in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: Combined results of two studies on aplastic anemia and HLA-mismatched haploidentical transplantation. *Am J Hematol* 88(4):294-300, 2013
4. Katsutani S, Tomiyama Y, Kimura A, Miyakawa Y, Okamoto S, Okoshi Y, Ninomiya H, Kosugi H, Ishii K, Ikeda Y, Hattori T, Katsura K, Kanakura Y. Oral eltrombopag for up to three years is safe and well-tolerated in Japanese patients with previously treated chronic immune thrombocytopenia: an open-label, extension study. *Int J Hematol* 98(3):323-330, 2013
5. Kikuchi M, Nakasone H, Mitani K, Gotoh M, Kobayashi A, Kurita N, Saito T, Sato K, Kanda Y, Japan H, Oncology Clinical Study G. Retrospective assessment of secondary prophylaxis for invasive aspergillosis in neutropenic hematology patients and identification of risk factors

- for relapse of fungal disease. *Scand J Infect Dis* 45(7):531-536, 2013
6. Kojima M, Nishikii H, Takizawa J, Aoki S, Noguchi M, Chiba S, Ando K, Nakamura N. MYC rearrangements are useful for predicting outcomes following rituximab and chemotherapy: multicenter analysis of Japanese patients with diffuse large B-cell lymphoma. *Leuk Lymphoma* 54(10):2149-2154, 2013
  7. Kon A, Shih LY, Minamino M, Sanada M, Shiraishi Y, Nagata Y, Yoshida K, Okuno Y, Bando M, Nakato R, Ishikawa S, Sato-Otsubo A, Nagae G, Nishimoto A, Haferlach C, Nowak D, Sato Y, Alpermann T, Nagasaki M, Shimamura T, Tanaka H, Chiba K, Yamamoto R, Yamaguchi T, Otsu M, Obara N, Sakata-Yanagimoto M, Nakamaki T, Ishiyama K, Nolte F, Hofmann WK, Miyawaki S, Chiba S, Mori H, Nakauchi H, Koeffler HP, Aburatani H, Haferlach T, Shirahige K, Miyano S, Ogawa S. Recurrent mutations in multiple components of the cohesin complex in myeloid neoplasms. *Nat Genet* 45(10):1232-1237, 2013
  8. Koyama D, Kikuchi J, Hiraoka N, Wada T, Kurosawa H, Chiba S, Furukawa Y. Proteasome inhibitors exert cytotoxicity and increase chemosensitivity via transcriptional repression of Notch1 in T-cell acute lymphoblastic leukemia. *Leukemia* doi: 10.1038/leu.2013.366., 2013
  9. Kurita N, Obara N, Fukuda K, Nishikii H, Sato S, Inagawa S, Kurokawa T, Owada Y, Ninomiya H, Chiba S. Perisurgical induction of eculizumab in a patient with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria: its inhibition of surgery-triggered hemolysis and the consequence of subsequent discontinuation. *Blood Coagul Fibrinolysis* 24(6):658-662, 2013
  10. Lee SY, Kurita N, Yokoyama Y, Seki M, Hasegawa Y, Okoshi Y, Chiba S. Glucocorticoid-induced diabetes mellitus in patients with lymphoma treated with CHOP chemotherapy. *Support Care Cancer* doi: 10.1007/s00520-013-2097-8., 2013
  11. Maie K, Okoshi Y, Takaiwa N, Kurita N, Hasegawa Y, Homma M, Ishii K, Kohda Y, Chiba S. Aprepitant does not alter prednisolone pharmacokinetics in patients treated with R-CHOP. *Ann Oncol* doi: 10.1093/annonc/mdt477. , 2013
  12. Sakamoto K, Nakasone H, Tsurumi S, Sasaki K, Mitani K, Kida M, Hangaishi A, Usuki K, Kobayashi A, Sato K, Karasawa-Yamaguchi M, Izutsu K, Okoshi Y, Chiba S, Kanda Y. Prednisone versus high-dose dexamethasone for untreated primary immune thrombocytopenia. A retrospective study of the Japan Hematology & Oncology Clinical Study Group. *J Thromb Thrombolysis* doi:10.1007/s11239-013-0939-3, 2013
  13. Sakamoto T, Obara N, Kurita N, Sakata-Yanagimoto M, Nishikii H, Yokoyama Y, Suzukawa K, Hasegawa Y, Chiba S. Effectiveness and safety of rabbit anti-thymocyte globulin in Japanese patients with aplastic anemia. *Int J Hematol* 98(3):319-322, 2013

14. Strehl S, Konig M, Boztug H, Cooper BW, Suzukawa K, Zhang SJ, Chen HY, Attarbaschi A, Dworzak MN. All-trans retinoic acid and arsenic trioxide resistance of acute promyelocytic leukemia with the variant STAT5B-RARA fusion gene. *Leukemia* 27(7):1606-1610, 2013

2) 英文以外の論文

1. 坂田(柳元)麻実子, 千葉滋. Myeloid Malignancies in a New Era of Molecularly Targeted Therapy 造血器腫瘍におけるシトシンのヒドロキシメチル化修飾異常. 臨床血液 54(5):423-430, 2013
2. 周山拓也, 小原直, 河合弘二, 山田健二, 日下部学, 栗田尚樹, 錦井秀和, 横山泰久, 鈴木和己, 長谷川雄一, 野口雅之, 千葉滋. 精巣胚細胞腫瘍由来の発症が示唆された急性骨髄性白血病. 臨床血液 54(8):764-768, 2013
3. 千葉滋. 骨髄異形成症候群のゲノム異常と病態. 臨床血液 54(10):1687-1696, 2013
4. 山本正樹, 西村純一, 細川晃平, 杉盛千春, 米村雄士, 小原直, 野地秀義, 中村嘉彦, 安藤潔, 七島勉, 二宮治彦, 千葉滋, 川口辰哉, 金倉譲, 中尾眞二. OPTIMA 試験 高精度フローサイトメトリー法による GPI アンカー膜蛋白欠損血球の検出. *Cytometry Research* 23(1):23-28, 2013

4) 英文以外の著書

1. 千葉滋. 第 21 章. 血液系 血漿蛋白質; "人体の構造と機能及び疾病の成り立ち (第 2 版)" (編集 香川靖雄, 近藤和雄, 石田均, 門脇孝), 南江堂 (東京) 2013; pp433-434
2. 千葉滋. 第 21 章. 血液系 白血球; "人体の構造と機能及び疾病の成り立ち (第 2 版)" (編集 香川靖雄, 近藤和雄, 石田均, 門脇孝), 南江堂 (東京) 2013; pp435-436
3. 千葉滋. 血液・造血器の構造と機能 白血球の形態と機能; "内科学書 血液・造血器疾患 神経疾患 (第 8 版)" (編集 小川聡, 小澤敬也, 祖父江元), 中山書店 (東京) 2013; pp15-21

## 内科学 (消化器)

1) 英文論文

1. Abei M, Okumura T, Fukuda K, Hashimoto T, Araki M, Ishige K, Hyodo I, Kanemoto A, Numajiri H, Mizumoto M, Sakae T, Sakurai H, Zenkoh J, Ariungerel G, Sogo Y, Ito A, Ohno T, Tsuboi K. A phase I study on combined therapy with proton-beam radiotherapy and in situ tumor vaccination for locally advanced recurrent hepatocellular carcinoma. *Radiat Oncol* 8:

239, 2013

2. Hasegawa N, Abei M, Yokoyama KK, Fukuda K, Seo E, Kawashima R, Nakano Y, Yamada T, Nakade K, Hamada H, Obata Y, Hyodo I. Cyclophosphamide enhances antitumor efficacy of oncolytic adenovirus expressing uracil phosphoribosyltransferase (UPRT) in immunocompetent Syrian hamsters. *Int J Cancer* 133(6):1479-1488, 2013
3. Hayakawa T, Mutoh M, Imai T, Tsuta K, Yanaka A, Fujii H, Yoshimoto M. SPECT/CT of lung nodules using 111In-DOTA-c(RGDfK) in a mouse lung carcinogenesis model. *Ann Nucl Med* 27(7):640-647, 2013
4. Hironaka S, Ueda S, Yasui H, Nishina T, Tsuda M, Tsumura T, Sugimoto N, Shimodaira H, Tokunaga S, Moriwaki T, Esaki T, Nagase M, Fujitani K, Yamaguchi K, Ura T, Hamamoto Y, Morita S, Okamoto I, Boku N, Hyodo I. Randomized, open-label, phase III study comparing irinotecan with paclitaxel in patients with advanced gastric cancer without severe peritoneal metastasis after failure of prior combination chemotherapy using fluoropyrimidine plus platinum: WJOG 4007 trial. *J Clin Oncol* 31(35):4438-4444, 2013
5. Indo H, Nakanishi I, Yen H, Nyui M, Manda S, Matsumoto K, Anzai K, Ikota N, Matsui H, Minamiyama Y, Nakajima A, Ichikawa I, Ozawa T, Mukai C, HJ. M. Comparison of in Vivo and in Vitro Antioxidative Parameters for Eleven Food Factors,.. *RSC Adv* 3: 4535-4538, 2013
6. Ishiguro M, Kotake K, Nishimura G, Tomita N, Ichikawa W, Takahashi K, Watanabe T, Furuhata T, Kondo K, Mori M, Kakeji Y, Kanazawa A, Kobayashi M, Okajima M, Hyodo I, Miyakoda K, Sugihara K. Study protocol of the B-CAST study: a multicenter, prospective cohort study investigating the tumor biomarkers in adjuvant chemotherapy for stage III colon cancer. *BMC Cancer* 13:149, 2013
7. Komatsu Y, Yoshino T, Yamazaki K, Yuki S, Machida N, Sasaki T, Hyodo I, Yachi Y, Onuma H, Ohtsu A. Phase 1 study of efatutazone, a novel oral peroxisome proliferator-activated receptor gamma agonist, in combination with FOLFIRI as second-line therapy in patients with metastatic colorectal cancer. *Invest New Drugs* 2013
8. Moriwaki T, Hirai S, Hironaka S, Amagai K, Soeda A, Sato M, Nihei T, Hirose M, Matsuda K, Ohkawara A, Yamaguchi T, Ozeki M, Mamiya T, Murashita T, Hyodo I. A randomized phase II study comparing S-1 plus weekly split-dose cisplatin with S-1 plus standard-dose cisplatin as first-line chemotherapy for advanced gastric cancer. *Gastric Cancer* doi: 10.1007/s10120-013-0284-4., 2013
9. Onuki K, Sugiyama H, Ishige K, Kawamoto T, Ota T, Ariizumi S, Yamato M, Kadota S,

- Takeuchi K, Ishikawa A, Onodera M, Onizawa K, Yamamoto M, Miyoshi E, Shoda J. Expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in the subserosal layer correlates with postsurgical survival of pathological tumor stage 2 carcinoma of the gallbladder. *J Gastroenterol* doi: 10.1007/s00535-013-0813-2., 2013
10. Saito R, Suzuki H, Yamada T, Endo S, Moriwaki T, Ueno T, Hirose M, Hirai S, Yamato K, Mizokami Y, Hyodo I. Predicting skin toxicity according to EGFR polymorphisms in patients with colorectal cancer receiving antibody against EGFR. *Anticancer Res* 33(11):4995-4998, 2013
  11. Sakaki N, Ashida K, Mizokami Y, Chiba T, Matsui S, Kanto T, Uemura N, Hiramatsu N, Sugano K. Endoscopic evaluation of low-dose aspirin-induced gastric and duodenal ulcers during prophylaxis with lansoprazole. *Hepatogastroenterology* 60(124):762-767, 2013
  12. Seto K, Shoda J, Horibe T, Warabi E, Ishige K, Yamagata K, Kohno M, Yanagawa T, Bukawa H, Kawakami K. Interleukin-4 receptor alpha-based hybrid peptide effectively induces antitumor activity in head and neck squamous cell carcinoma. *Oncol Rep* 29(6):2147-2153, 2013
  13. Sha S, Vong LB, Chonpathompikunlert P, Yoshitomi T, Matsui H, Nagasaki Y. Suppression of NSAID-induced small intestinal inflammation by orally administered redox nanoparticles. *Biomaterials* 34(33):8393-8400, 2013
  14. Suzuki H, Kaneko T, Mizokami Y, Narasaka T, Endo S, Matsui H, Yanaka A, Hirayama A, Hyodo I. Therapeutic efficacy of the Qing Dai in patients with intractable ulcerative colitis. *World J Gastroenterol* 19(17):2718-2722, 2013
  15. Suzuki Y, Homma M, Abei M, Hyodo I, Kohda Y. Impact of solute carrier family 29 member 1 (SLC29A1) single nucleotide polymorphisms on mRNA expression in peripheral blood mononuclear cells. *Biol Pharm Bull* 36(1):144-146, 2013
  16. Suzuki Y, Homma M, Abei M, Hyodo I, Kohda Y. Effects of dipyridamole coadministration on the pharmacokinetics of ribavirin in healthy volunteers. *Drug Metab Pharmacokinet* 28(5):406-410, 2013
  17. Takahashi A, Yamamoto Y, Yasunaga M, Koga Y, Kuroda J, Takigahira M, Harada M, Saito H, Hayashi T, Kato Y, Kinoshita T, Ohkohchi N, Hyodo I, Matsumura Y. NC-6300, an epirubicin-incorporating micelle, extends the antitumor effect and reduces the cardiotoxicity of epirubicin. *Cancer Sci* 104(7):920-925, 2013
  18. Tamura M, Matsui H, Kaneko T, Hyodo I. Alcohol is an oxidative stressor for gastric epithelial cells: detection of superoxide in living cells. *J Clin Biochem Nutr* 53(2):75-80,



2013

19. Tamura M, Matsui H, Nagano YN, Kaneko T, Indo HP, Majima HJ, Hyodo I. Salt is an oxidative stressor for gastric epithelial cells. *J Physiol Pharmacol* 64(1):89-94, 2013
20. Tamura M, Matsui H, Tomita T, Sadakata H, Indo HP, Majima HJ, Kaneko T, Hyodo I. Mitochondrial reactive oxygen species accelerate gastric cancer cell invasion. *J Clin Biochem Nutr* doi: 10.3164/jcbrn.13-36., 2013
21. Tamura M, Yanagawa F, Sugiura S, Takagi T, Sumaru K, Matsui H, Kanamori T. Optical cell picking in photodegradable hydrogels based on cellular morphology in 3D culture environment. *Proc mTAS*:1929–1931, 2013
22. Vong LB, Yoshitomi T, Morikawa K, Saito S, Matsui H, Nagasaki Y. Oral nanotherapeutics: effect of redox nanoparticle on microflora in mice with dextran sodium sulfate-induced colitis. *J Gastroenterol* doi: 10.1007/s00535-013-0836-8., 2013
23. Yamada T, Moriwaki T, Matsuda K, Yamamoto Y, Sugaya A, Akutsu D, Murashita T, Endo S, Hyodo I. Panitumumab-induced interstitial lung disease in a case of metastatic colorectal cancer. *Onkologie* 36(4):209-212, 2013
24. Yamada T, Sugiyama H, Ochi D, Akutsu D, Suzuki H, Narasaka T, Moriwaki T, Endo S, Kaneko T, Satomi K, Ikezawa K, Mizokami Y, Hyodo I. Risk factors for submucosal and lymphovascular invasion in gastric cancer looking indicative for endoscopic submucosal dissection. *Gastric Cancer* 10.1007/s10120-013-0323-1, 2013
25. Yamamoto Y, Hyodo I, Takigahira M, Koga Y, Yasunaga M, Harada M, Hayashi T, Kato Y, Matsumura Y. Effect of combined treatment with the epirubicin-incorporating micelles (NC-6300) and 1,2-diaminocyclohexane platinum (II)-incorporating micelles (NC-4016) on a human gastric cancer model. *Int J Cancer* doi: 10.1002/ijc.28651., 2013
26. Yanaka A, Sato J, Ohmori S. Sulforaphane protects small intestinal mucosa from aspirin/NSAID-induced injury by enhancing host defense systems against oxidative stress and by inhibiting mucosal invasion of anaerobic enterobacteria. *Curr Pharm Des* 19(1):157-162, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 越智大介, 奈良坂俊明, 坪大輔, 小林克誠, 菅谷明德, 小林真理子, 今西真実子, 浜野由花子, 遠藤慎治, 金子剛, 鈴木英雄, 溝上裕土. 異所性胃粘膜に発生した頸部食道癌に対して内視鏡治療を施行した1例. *Progress of Digestive Endoscopy* 82(1):106-107,105, 2013
2. 金子剛, 松井裕史, 頼冠甫, 間宮孝, 溝上裕土. 手技の解説 消化器癌に対する光線力学

- 療法(Photodynamic Therapy:PDT). Gastroenterological Endoscopy 55(3):494-501, 2013
3. 竹内千尋, 石川晶久, 遠藤壯登, 綿引隆久, 大河原敦, 柿木信重, 鴨志田敏郎, 平井信二, 岡裕爾, 谷中昭典. MTX 関連リンパ増殖性疾患に伴う胃潰瘍病変を経過観察した1例. Progress of Digestive Endoscopy 82(1):120-121,127, 2013
  4. 竹内千尋, 鴨志田敏郎, 佐々木翔一, 遠藤壯登, 綿引隆久, 大河原悠, 大河原敦, 柿木信重, 平井信二, 谷中昭典, 岡裕爾. 慢性膵炎代償期の疼痛に対する内視鏡的膵管ステント留置が胃膵吻合された残膵に対して有効であった一例. Progress of Digestive Endoscopy 84(Suppl.):s115, 2013
  5. 廣島良規, 頼冠甫, 小泉勇人, 菅沼大輔, 堀口尚, 伴慎一, 兵頭一之介. 【隆起型食道癌の特徴と鑑別診断】 食道原発悪性黒色腫の1例. 胃と腸 48(3):376-381, 2013
  6. 溝上裕土, 奈良坂俊明, 鈴木英雄, 坪大輔, 金子剛, 岩本淳一. 【胃炎除菌時代の内視鏡診断】 ピロリ菌除菌で将来は薬物性消化性潰瘍のみになるのか? 消化器内視鏡 25(12):1990-1997, 2013
  7. 溝上裕土, 奈良坂俊明, 鈴木英雄, 金子剛, 岩本淳一. 【Helicobacter pylori 感染症の臨床試験-いま、明らかにされるべきことは何か-】 NSAIDs 潰瘍に対する Helicobacter pylori 除菌効果. Helicobacter Research 17(4):332-337, 2013
- 4) 英文以外の著書
1. 安部井誠人, 兵頭一之介. IV 章 B-2. 胆道感染症; "消化器疾患の最新の治療 2013-2014" (編集 菅野健太郎, 上西紀夫, 井廻道夫), 南江堂 (東京) pp382-384
  2. 石毛和紀, 安部井誠人. 6章 2.2. 胆道感染症; "臨床病態学 2 (第2版)" (編集 北村聖), ヌーヴェルヒロカワ (東京) 2013; pp169-173
  3. 溝上裕土, 横山健次. アスピリン消化管障害推奨文献抄訳; "アスピリン消化管障害推奨文献抄訳集" (編集 池田康夫), 平成 23 年度厚生労働科学研究費臨床研究推進事業 (東京) 2013
  4. 森脇俊和, 兵頭一之介. I 基礎編 2. 制吐薬; "治療薬ハンドブック 薬剤選択と処方のポイント 2013" (編集 堀正二, 菅野健太郎, 門脇孝, 乾賢一, 林昌洋, 高久史磨), じほう (東京) 2013; pp585-593
  5. 森脇俊和, 遠藤慎治, 兵頭一之介. がんの治療薬を知る-薬剤選択のための知識(34) レゴラフェニブ; "臨床腫瘍プラクティス", 株式会社ヴァンメディカル 2013

## 内科学（呼吸器）

### 1) 英文論文

1. Ano S, Morishima Y, Ishii Y, Kawaguchi M, Matsuno Y, Hizawa N. Defecation-related asthma. *Intern Med* 52(6):685-687, 2013
2. Ano S, Morishima Y, Ishii Y, Yoh K, Yageta Y, Ohtsuka S, Matsuyama M, Kawaguchi M, Takahashi S, Hizawa N. Transcription factors GATA-3 and RORgammat are important for determining the phenotype of allergic airway inflammation in a murine model of asthma. *J Immunol* 190(3):1056-1065, 2013
3. Hizawa N. [Bronchial asthma: progress in diagnosis and treatments. Topics: II. Pathogenesis and pathophysiology; 2. Genes associated with asthma and asthma-related phenotypes]. *Nihon Naika Gakkai Zasshi* 102(6):1365-1369, 2013
4. Hizawa N. Pharmacogenetics of chronic obstructive pulmonary disease. *Pharmacogenomics* 14(10):1215-1225, 2013
5. Ho YS, Nakazawa K, Sato S, Tamura T, Kurishima K, Satoh H. Cisplatin for small cell lung cancer: Associated publications in Science Citation Index Expanded. *Oncol Lett* 5(2):684-688, 2013
6. Ishikawa A, Ohara G, Nakazawa K, Tamura T, Sato S, Kagohashi K, Kurishima K, Ito Y, Satoh H. Chemotherapy-induced complications in patients with lung cancer: An evaluation by pharmacists. *Mol Clin Oncol* 1(1):65-68, 2013
7. Itoi S, Tokuda Y, Ohara G, Kagohashi K, Satoh H. Acute eosiphilic pneumonia in a teenager as a result of smoking: importance of differential diagnosis. *General Medicine* 14(1):64-66, 2013
8. Kaburagi T, Satoh H, Hayashihara K, Endo T, Hizawa N, Kurishima K, Nishimura Y, Hashimoto T, Nakamura H, Kishi K, Inagaki M, Nawa T, Ichimura H, Ishikawa H, Kagohashi K, Fukuoka T, Shinohara Y, Kamiyama K, Sato Y, Sakai M, Matsumura T, Uchiumi K, Furukawa K. Observational study on the efficacy and safety of erlotinib in patients with non-small cell lung cancer. *Oncol Lett* 5(2):435-439, 2013
9. Kagohashi K, Ohara G, Kurishima K, Satoh H. Non-interventional management of small pneumothorax in the very elderly. *Tuberk Toraks* 61(4):342-345, 2013
10. Kaneko Y, Masuko H, Sakamoto T, Iijima H, Naito T, Yatagai Y, Yamada H, Konno S, Nishimura M, Noguchi E, Hizawa N. Asthma phenotypes in Japanese adults - their associations with the CCL5 and ADRB2 genotypes. *Allergol Int* 62(1):113-121, 2013
11. Kaneko Y, Yatagai Y, Yamada H, Iijima H, Masuko H, Sakamoto T, Hizawa N. The search

- for common pathways underlying asthma and COPD. *Int J Chron Obstruct Pulmon Dis* 8(65-78, 2013
12. Kohno S, Imamura Y, Shindo Y, Seki M, Ishida T, Teramoto S, Kadota J, Tomono K, Watanabe A. Clinical practice guidelines for nursing- and healthcare-associated pneumonia (NHCAP) [complete translation]. *Respir Investig* 51(2):103-126, 2013
  13. Komiya K, Ishii H, Umeki K, Kawamura T, Okada F, Okabe E, Murakami J, Kato Y, Matsumoto B, Teramoto S, Johkoh T, Kadota J. Computed tomography findings of aspiration pneumonia in 53 patients. *Geriatr Gerontol Int* 13(3):580-585, 2013
  14. Kondo K, Fujimori M, Shirai Y, Yamada Y, Ogawa A, Hizawa N, Uchitomi Y. Characteristics associated with empathic behavior in Japanese oncologists. *Patient Educ Couns* 93(2):350-353, 2013
  15. Kumagai R, Ohara G, Sato S, Miyazaki K, Kagohashi K, Kurishima K, Satoh H. Successfully treated invasive pulmonary aspergillosis in a patient with diabetic ketoacidosis. *Cent Eur J Med* 8(5):685-688, 2013
  16. Kurishima K, Kagohashi K, Miyazaki K, Tamura T, Ohara G, Kawaguchi M, Satoh H. Small cell lung cancer with endobronchial growth: A case report. *Oncol Lett* 6(2):553-555, 2013
  17. Kurishima K, Miyazaki K, Tamura T, Ohara G, Kagohashi K, Kawaguchi M, Satoh H. Peritoneal and meningeal relapse from lung adenocarcinoma after a response to gefitinib: A case report. *Mol Clin Oncol* 1(4):785-787, 2013
  18. Kurishima K, Satoh H, Kaburagi T, Nishimura Y, Shinohara Y, Inagaki M, Endo T, Saito T, Hayashihara K, Hizawa N, Nakamura H, Nawa T, Kagohashi K, Kishi K, Ishikawa H, Ichimura H, Hashimoto T, Sato Y, Sakai M, Kamiyama K, Matsumura T, Unoura K, Fukuoka T, Uchiumi K, Nomura A, Furukawa K. Erlotinib for elderly patients with non-small-cell lung cancer: Subset analysis from a population-based observational study by the Ibaraki Thoracic Integrative (POSITIVE) Research Group. *Mol Clin Oncol* 1(5):828-832, 2013
  19. Kurokawa M, Matsukura S, Kawaguchi M, Ieki K, Suzuki S, Watanabe S, Homma T, Yamaguchi M, Takeuchi H, Adachi M. Interleukin-33-activated dendritic cells induce the production of thymus and activation-regulated chemokine and macrophage-derived chemokine. *Int Arch Allergy Immunol* 161 Suppl 2:52-57, 2013
  20. Matsukura S, Kurokawa M, Homma T, Watanabe S, Suzuki S, Ieki K, Takeuchi H, Notomi K, Schleimer RP, Kawaguchi M, Kokubu F. Basic research on virus-induced asthma exacerbation: inhibition of inflammatory chemokine expression by fluticasone propionate.

- Int Arch Allergy Immunol* 161 Suppl 2:84-92, 2013
21. Morishima Y, Ano S, Ishii Y, Ohtsuka S, Matsuyama M, Kawaguchi M, Hizawa N. Th17-associated cytokines as a therapeutic target for steroid-insensitive asthma. *Clin Dev Immunol* 2013:609395, 2013
  22. Nagai K, Tahara-Hanaoka S, Morishima Y, Tokunaga T, Imoto Y, Noguchi E, Kanemaru K, Imai M, Shibayama S, Hizawa N, Fujieda S, Yamagata K, Shibuya A. Expression and function of Allergin-1 on human primary mast cells. *PLoS One* 8(10):e76160, 2013
  23. Nakazawa K, Kurishima K, Tamura T, Ishikawa H, Satoh H, Hizawa N. Survival difference in NSCLC and SCLC patients with diabetes mellitus according to the first-line therapy. *Med Oncol* 30(1):367, 2013
  24. Nakazawa K, Tamura T, Sato S, Kagohashi K, Kurishima K, Satoh H. Obstructive jaundice as recurrence of lung adenocarcinoma. *J Gastrointest Cancer* 44(2):248-249, 2013
  25. Ohara G, Kagohashi K, Kurishima K, Miyazaki K, Satoh H. Hemothorax after chest tube insertion for pneumothorax as a complication of clopidogrel. *Cent Eur J Med* 8(4):406-409, 2013
  26. Sakakura K, Takayashiki N, Tokuda Y, Satoh H. Biliary tract compression caused by a giant abdominal aneurysm. *Intern Med* 52(8):925, 2013
  27. Sakurai H, Kurishima K, Homma S, Kagohashi K, Miyazaki K, Kawaguchi M, Satoh H, Hizawa N. Isolated solitary brain metastasis as a relapse of small cell lung cancer. *Oncol Lett* 6(4):1108-1110, 2013
  28. Sakurai H, Morishima Y, Itoguchi N, Ohtsuka S, Yamadori I, Oto T, Ishii Y, Sakamoto T, Noguchi M, Hizawa N. Broncho-bronchiolitis obliterans after living-donor lung transplantation: a unique manifestation of chronic allograft rejection. *Transplantation* 96(4):e29-30, 2013
  29. Satoh H, Kagohashi K, Kurishima K. Peritoneal relapse from lung adenocarcinoma after a response to EGFR-TKI. *Tuberk Toraks* 61(4):346-347, 2013
  30. Satoh H, Kagohashi K, Ohara G, Miyazaki K, Kurishima K. Eosinophilic pneumonia in a patient with anticentromere antibody. *Reumatol Clin* doi: 10.1016/j.reuma.2013.05.009, 2013
  31. Satoh H, Kagohashi K, Ohara G, Sato S, Miyazaki K, Nakazawa K, Tamura T, Kurishima K, Kawaguchi M, Hizawa N. Use of tiotropium in patients with COPD aged 80 years and older. *Exp Ther Med* 5(4):997-1000, 2013
  32. Satoh H, Kurishima K, Kagohashi K. Pneumothorax with postoperative complicated pleural

- adhesion. *Tuberk Toraks* 61(4):357-359, 2013
33. Sekine A, Tamura K, Satoh H, Tanaka T, Tsunoda Y, Tanaka T, Takoi H, Lin SY, Yatagai Y, Hashizume T, Hayasihara K, Saito T. Prevalence of underlying lung disease in smokers with epidermal growth factor receptor-mutant lung cancer. *Oncol Rep* 29(5):2005-2010, 2013
  34. Suzuki T, Iyoda M, Shibata T, Ohtaki H, Matsumoto K, Shindo-Hirai Y, Kuno Y, Wada Y, Yamamoto Y, Kawaguchi M, Shioda S, Akizawa T. Therapeutic effects of human mesenchymal stem cells in Wistar-Kyoto rats with anti-glomerular basement membrane glomerulonephritis. *PLoS One* 8(6):e67475, 2013
  35. Tamura T, Nakazawa K, Kagohashi K, Kurishima K, Satoh H. Cavitory pulmonary metastases of pancreas cancer. *J Gastrointest Cancer* 44(2):222-224, 2013
  36. Taniguchi N, Konno S, Hattori T, Isada A, Shimizu K, Shimizu K, Shijubo N, Huang SK, Hizawa N, Nishimura M. The CC16 A38G polymorphism is associated with asymptomatic airway hyper-responsiveness and development of late-onset asthma. *Ann Allergy Asthma Immunol* 111(5):376-38. e1, 2013
  37. Teramoto S, Hida N, Ishikawa H, Hizawa N. Inverse U shape of the trachea during an asthma attack. *Intern Med* 52(19):2289-2290, 2013
  38. Tomita K, Sakashita M, Hirota T, Tanaka S, Masuyama K, Yamada T, Fujieda S, Miyatake A, Hizawa N, Kubo M, Nakamura Y, Tamari M. Variants in the 17q21 asthma susceptibility locus are associated with allergic rhinitis in the Japanese population. *Allergy* 68(1):92-100, 2013
  39. Yageta Y, Ishii Y, Morishima Y, Ano S, Ohtsuka S, Matsuyama M, Takeuchi K, Itoh K, Yamamoto M, Hizawa N. Carbocysteine Reduces Viral-Induced Pulmonary Inflammation in Mice Exposed to Cigarette Smoke. *Am J Respir Cell Mol Biol* doi: 10.1165/rcmb.2012-0292OC, 2013
  40. Yatagai Y, Sakamoto T, Masuko H, Kaneko Y, Yamada H, Iijima H, Naito T, Noguchi E, Hirota T, Tamari M, Imoto Y, Tokunaga T, Fujieda S, Konno S, Nishimura M, Hizawa N. Genome-wide association study for levels of total serum IgE identifies HLA-C in a Japanese population. *PLoS One* 8(12):e80941, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 石川宏明, 寺本信嗣. 高齢者における意識障害の原因と対応. 9. 高齢者の意識障害-呼吸器疾患-. *Geriat. Med.* 51(6):803-806, 2013
2. 大塚盛男. 間質性肺炎の診断の進め方. *微研ジャーナル友* 36(3):3-10, 2013

3. 岡田優基, 加藤幹朗, 鈴木智晴, 熊谷亮, 糸井覚, 籠橋克紀, 大原元, 栗島浩一, 佐藤浩昭.  
気腫合併肺線維症に併発しパズフロキサシンメシル酸塩が奏効した肺炎の2例. 新薬  
と臨牀 62(2):269-273, 2013
4. 坂本透. 【COPD のフェノタイプ】 喘息とのオーバーラップ症候群. 呼吸器内科  
24(6):526-529, 2013
5. 坂本透, 檜澤伸之. 【変貌する肺の生活習慣病 COPD-早期診断で併存症にも好影響】 疾  
患理解の変遷 COPD と遺伝素因. Modern Physician 33(11):1359-1361, 2013
6. 田地広明, 寺本信嗣. 慢性疾患における薬剤アドヒアランスを向上させる工夫 5)呼吸  
器疾患-気管支喘息, COPD など. PROGRESS IN MEDICINE 33(6):1301-1304, 2013
7. 寺本信嗣. 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) に対するスタチン製剤の予後への効果. 呼吸器  
内科 23(1):97-103, 2013
8. 寺本信嗣. 第2特集】理解! なつとく! 高齢患者の呼吸ケア 速習ポイント、●全身  
状態の特徴、●呼吸機能の特徴. 呼吸器ケア 11(2):103-108, 2013
9. 寺本信嗣. 全身疾患としての COPD—いつ診断するのか? 「今でしょう」—. 日本 CT  
検診学会誌 20(2):139-143, 2013
10. 寺本信嗣. 加齢と誤嚥. 日本胸部臨床 72(4):463-469, 2013
11. 寺本信嗣. 慢性的な鼻かぜ・喉かぜの臨床と増悪予防・増悪治療の具体策 びまん性  
汎細気管支炎と気管支拡張症. 感染と抗菌薬 16(2):121-126, 2013
12. 寺本信嗣. 医療・介護関連肺炎. Medical Practice 30(12):2069-2074, 2013
13. 寺本信嗣. NHCAP における誤嚥性肺炎の重要性と対処法. . Modern Physician 33:11,  
2013
14. 寺本信嗣. 誤嚥性肺炎の予防. Medicina 50(12):2036-2040, 2013
15. 東田有智, 檜澤伸之, 玉置淳. 喘息における ICS/LABA 配合剤の有用性と SMART 療法  
の価値. 吸入療法 5(2):56-65, 2013
16. 檜澤伸之. 【疾患感受性遺伝子解析による呼吸器疾患の病態解析】 ゲノム解析と  
COPD. 呼吸と循環 61(10):914-918, 2013
17. 檜澤伸之. 【咳と痰のサイエンス】 慢性咳嗽に関わる遺伝子. THE LUNG-perspectives  
21(4):348-350, 2013
18. 檜澤伸之. 長びく咳への対応. 日本耳鼻咽喉科学会会報 116(4):380, 2013
19. 檜澤伸之. 【気管支喘息の研究 アップデート】 気管支喘息のフェノタイプ・エン  
ドタイプ. アレルギー・免疫 20(7):1036-1042, 2013
20. 檜澤伸之. 【喘息病態の修飾因子・難治化因子】 遺伝素因. 呼吸と循環 61(6):516-522,  
2013

21. 檜澤伸之. 【呼吸器疾患-state of arts Ver.6】 (第1章)病態生理に関する最新の基礎的研究 喘息・COPD の phenotype. 医学のあゆみ 別冊(呼吸器疾患-state of arts Ver.6):11-13, 2013
  22. 檜澤伸之. 【気管支喘息:診断と治療の進歩】 病因と病態 喘息関連遺伝子. 日本内科学会雑誌 102(6):1365-1369, 2013
  23. 檜澤伸之. ゲノム解析からみた喘息難治化要因. 呼吸器内科 23(2):223-227, 2013
  24. 檜澤伸之. 【喘息・アレルギーと遺伝子 Up-To-Date】  $\beta 2$  受容体変異と喘息病態との関連. 喘息 26(1):27-31, 2013
  25. 檜澤伸之. 診断の進歩 GWAS ゲノムワイド関連解析. Annual Review 呼吸器 2013:200-205, 2013
  26. 檜澤伸之. 【COPD 治療の新時代 21 世紀の「社会的」生活習慣病】 COPD トピックス COPD の遺伝研究の最前線. 内科 113(2):241-244, 2014
  27. 松山政史, 石井幸雄, 檜澤伸之. 非結核性抗酸菌症の最新知見 免疫 肺 MAC 症と免疫. 呼吸 32(3):238-243, 2013
  28. 松山政史, 石井幸雄, 檜澤伸之, 小川賢二. 増加する MAC 症の制御を目指して 遺伝子改変マウスを用いた肺 MAC 症病態生理の解明. 結核 88(3):359-362, 2013
  29. 望月暁, 籠橋克紀, 大原元, 栗島浩一, 佐藤浩昭. 前胸部不快感・咳嗽に半夏厚朴湯が奏効した 1 例. 漢方と診療 4(1):37 2013
  30. 山口泰弘, 石井正紀, 寺本信嗣. 睡眠時無呼吸と嚥下機能の新たな関連. 日本臨床生理学雑誌 43(2):63-69, 2013
- 4) 英文以外の著書
1. 大塚盛男. 3. 肺炎、間質性肺炎; "ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑦「疾病と治療」(第2版)"(編集 林正健二, 山内豊明), メディカ出版(大阪) 2013; pp52-56
  2. 大塚盛男. 3. 肺結核症; "ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑦「疾病と治療」(第2版)"(編集 林正健二, 山内豊明), メディカ出版(大阪) 2013; pp56-58
  3. 坂本透. 第3部 I. 胸部 X 線異常; "EXPERT 膠原病・リウマチ(第3版)"(編集 住田孝之), 診断と治療社(東京) 2013; pp143-147
  4. 寺本信嗣. 第5章病態栄養と栄養療法. 3. 呼吸器疾患②誤嚥性肺炎; "病態栄養ガイドブック(第1版)"(編集 日本病態栄養学会), メディカルレビュー社(大阪) 2013; pp192-195
  5. 寺本信嗣. III. 呼吸器感染症. 肺炎、誤嚥性肺炎; "新領域別症候群シリーズ No25. 感染症症候群(第2版)-症候群から感染性単一疾患までを含めて- 下 臓器別感染症



- 編 (第 1 版)” (編集 日本臨床社), 日本臨床社 (東京) 2013; pp192-196
6. 寺本信嗣, Part 2 各論 内科. 嚥下性肺炎; “最新・感染症治療指針 2013 改訂版” (第 18 版)” (編集 後藤元), 医薬ジャーナル社 (大阪) 2013; pp90-98
  7. 森島祐子, 仁木久恵, Sharts-Hopco Nancy. “そのまま使える病院英語表現 5000 (第 2 版)” 医学書院 (東京) 2013 年 (全 456 ページ)

## 内科学 (循環器)

### 1) 英文論文

1. Abe D, Sato A, Hoshi T, Kakefuda Y, Watabe H, Ojima E, Hiraya D, Harunari T, Takeyasu N, Aonuma K. Clinical predictors of contrast-induced acute kidney injury in patients undergoing emergency versus elective percutaneous coronary intervention. *Circ J* 78(1):85-91, 2013
2. Abe D, Sato A, Hoshi T, Takeyasu N, Misaki M, Hayashi M, Aonuma K. Initial culprit-only versus initial multivessel percutaneous coronary intervention in patients with ST-segment elevation myocardial infarction: results from the Ibaraki Cardiovascular Assessment Study registry. *Heart Vessels* doi: 10.1007/s00380-013-0342-1, 2013
3. Adachi T, Sato A, Baba M, Hiraya D, Hasegawa T, Kuroki K, Hoshi T, Aonuma K. Novel use of the ultra-short-acting intravenous beta1-selective blocker landiolol for supraventricular tachyarrhythmias in patients with congestive heart failure. *Heart Vessels* doi:10.1007/s00380-013-0377-3, 2013
4. Atsumi A, Ishizu T, Kameda Y, Yamamoto M, Harimura Y, Machino-Ohtsuka T, Kawamura R, Enomoto M, Seo Y, Aonuma K. Application of 3-dimensional speckle tracking imaging to the assessment of right ventricular regional deformation. *Circ J* 77(7):1760-1768, 2013
5. Atsumi A, Ueda K, Irie F, Sairenchi T, Imura K, Watanabe H, Iso H, Ota H, Aonuma K. Relationship between cold temperature and cardiovascular mortality, with assessment of effect modification by individual characteristics: Ibaraki Prefectural Health Study. *Circ J* 77(7):1854-1861, 2013
6. Bezzina CR, Barc J, Mizusawa Y, Remme CA, Gourraud JB, Simonet F, Verkerk AO, Schwartz PJ, Crotti L, Dagradi F, Guicheney P, Fressart V, Leenhardt A, Antzelevitch C, Bartkowiak S, Borggreffe M, Schimpf R, Schulze-Bahr E, Zumhagen S, Behr ER, Bastiaenen R, Tfelt-Hansen J, Olesen MS, Kaab S, Beckmann BM, Weeke P, Watanabe H, Endo N, Minamino T, Horie M, Ohno S, Hasegawa K, Makita N, Nogami A, Shimizu W, Aiba T, Froguel P, Balkau B, Lantieri O, Torchio M, Wiese C, Weber D, Wolswinkel R, Coronel R,

- Boukens BJ, Bezieau S, Charpentier E, Chatel S, Despres A, Gros F, Kyndt F, Lecointe S, Lindenbaum P, Portero V, Violleau J, Gessler M, Tan HL, Roden DM, Christoffels VM, Le Marec H, Wilde AA, Probst V, Schott JJ, Dina C, Redon R. Common variants at SCN5A-SCN10A and HEY2 are associated with Brugada syndrome, a rare disease with high risk of sudden cardiac death. *Nat Genet* 45(9):1044-1049, 2013
7. Birnie D, Lemke B, Aonuma K, Krum H, Lee KL, Gasparini M, Starling RC, Milasinovic G, Gorcsan J, 3rd, Houmsse M, Abeyratne A, Sambelashvili A, Martin DO. Clinical outcomes with synchronized left ventricular pacing: analysis of the adaptive CRT trial. *Heart Rhythm* 10(9):1368-1374, 2013
  8. D'Ascenzo F, Corleto A, Biondi-Zoccai G, Anselmino M, Ferraris F, di Biase L, Natale A, Hunter RJ, Schilling RJ, Miyazaki S, Tada H, Aonuma K, Yenn-Jiang L, Tao H, Ma C, Packer D, Hammill S, Gaita F. Which are the most reliable predictors of recurrence of atrial fibrillation after transcatheter ablation?: a meta-analysis. *Int J Cardiol* 167(5):1984-1989, 2013
  9. Doki K, Homma M, Kuga K, Aonuma K, Kohda Y. SCN5A promoter haplotype affects the therapeutic range for serum flecainide concentration in Asian patients. *Pharmacogenet Genomics* 23(7):349-354, 2013
  10. Fujihara K, Suzuki H, Sato A, Kodama S, Heianza Y, Saito K, Iwasaki H, Kobayashi K, Yatoh S, Takahashi A, Yamada N, Sone H, Shimano H. Carotid artery plaque and LDL-to-HDL cholesterol ratio predict atherosclerotic status in coronary arteries in asymptomatic patients with type 2 diabetes mellitus. *J Atheroscler Thromb* 20(5):452-464, 2013
  11. Hashii H, Hashimoto T, Okawa A, Shida K, Isobe T, Hanmura M, Nishimura T, Aonuma K, Sakae T, Sakurai H. Comparison of the effects of high-energy photon beam irradiation (10 and 18 MV) on 2 types of implantable cardioverter-defibrillators. *Int J Radiat Oncol Biol Phys* 85(3):840-845, 2013
  12. Hikita H, Kuroda S, Oosaka Y, Kawaguchi N, Nakashima E, Sugiyama T, Akiyama K, Kamiishi T, Kimura S, Takahashi Y, Kuwahara T, Sato A, Takahashi A, Isobe M. Impact of statin use before the onset of acute myocardial infarction on coronary plaque morphology of the culprit lesion. *Angiology* 64(5):375-378, 2013
  13. Hikita H, Shigeta T, Kojima K, Oosaka Y, Hishikari K, Kawaguchi N, Nakashima E, Sugiyama T, Akiyama D, Kamiishi T, Kimura S, Takahashi Y, Kuwahara T, Sato A, Takahashi A, Isobe M. Lipoprotein(a) is an important factor to determine coronary artery

- plaque morphology in patients with acute myocardial infarction. *Coron Artery Dis* 24(5):381-385, 2013
14. Hiraoka M, Takagi M, Yokoyama Y, Sekiguchi Y, Aihara N, Aonuma K. Prognosis and risk stratification of young adults with Brugada syndrome. *J Electrocardiol* 46(4):279-283, 2013
  15. Hirata Y, Nabekura T, Maruyama H, Aonuma K, Satoh M. Elevation of plasma basic fibroblast growth factor after nocturnal hypoxic events in patients with obstructive sleep apnea syndrome. *Springerplus* 2(1):260, 2013
  16. Hoshi T, Sato A, Hiraya D, Kimura T, Wang Z, Aonuma K. Multimodality intracoronary imaging in spontaneous coronary artery dissection: impacts of intravascular ultrasound, optical coherence tomography, and coronary angiography. *Catheter Cardiovasc Interv* 81(3):E151-154, 2013
  17. Hoshi T, Sato A, Kakefuda Y, Harunari T, Watabe H, Ojima E, Hiraya D, Abe D, Nishina H, Takeyasu N, Noguchi Y, Aonuma K. Preventive effect of statin pretreatment on contrast-induced acute kidney injury in patients undergoing coronary angioplasty: propensity score analysis from a multicenter registry. *Int J Cardiol* doi: 10.1016/j.ijcard.2013.12.017., 2013
  18. Ito Y, Yamasaki H, Naruse Y, Yoshida K, Kaneshiro T, Murakoshi N, Igarashi M, Kuroki K, Machino T, Xu D, Kunugita F, Sekiguchi Y, Sato A, Tada H, Aonuma K. Effect of eplerenone on maintenance of sinus rhythm after catheter ablation in patients with long-standing persistent atrial fibrillation. *Am J Cardiol* 111(7):1012-1018, 2013
  19. Kaneko H, Suzuki S, Uejima T, Kano H, Matsuno S, Otsuka T, Takai H, Oikawa Y, Yajima J, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sagara K, Tanabe H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Prevalence and the long-term prognosis of functional mitral regurgitation in Japanese patients with symptomatic heart failure. *Heart Vessels* doi:10.1007/s00380-013-0448-5, 2013
  20. Kaneko H, Suzuki S, Yajima J, Oikawa Y, Sagara K, Otsuka T, Matsuno S, Kano H, Uejima T, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Clinical characteristics and long-term clinical outcomes of Japanese heart failure patients with preserved versus reduced left ventricular ejection fraction: a prospective cohort of Shinken Database 2004-2011. *J Cardiol* 62(2):102-109, 2013
  21. Kaneko H, Yajima J, Oikawa Y, Tanaka S, Fukamachi D, Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Matsuno S, Funada R, Kano H, Uejima T, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Recent characteristics and outcomes of Japanese stable angina pectoris after percutaneous coronary intervention. An observational cohort study using the

- Shinken Database. *Int Heart J* 54(6):335-340, 2013
22. Kaneko H, Yajima J, Oikawa Y, Tanaka S, Fukamachi D, Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Matsuno S, Funada R, Kano H, Uejima T, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Obesity paradox in Japanese patients after percutaneous coronary intervention: an observation cohort study. *J Cardiol* 62(1):18-24, 2013
  23. Kaneko H, Yajima J, Oikawa Y, Tanaka S, Fukamachi D, Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Matsuno S, Kano H, Uejima T, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Long-term incidence and prognostic factors of the progression of new coronary lesions in Japanese coronary artery disease patients after percutaneous coronary intervention. *Heart Vessels* 2013
  24. Kato J, Koike A, Hoshimoto-Iwamoto M, Nagayama O, Sakurada K, Sato A, Yamashita T, Wasserman K, Aonuma K. Relation between oscillatory breathing and cardiopulmonary function during exercise in cardiac patients. *Circ J* 77(3):661-666, 2013
  25. Kawamura M, Ohno S, Naiki N, Nagaoka I, Dochi K, Wang Q, Hasegawa K, Kimura H, Miyamoto A, Mizusawa Y, Itoh H, Makiyama T, Sumitomo N, Ushinohama H, Oyama K, Murakoshi N, Aonuma K, Horigome H, Honda T, Yoshinaga M, Ito M, Horie M. Genetic background of catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia in Japan. *Circ J* 77(7):1705-1713, 2013
  26. Kawamura R, Seo Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Machino-Ohtsuka T, Nakajima H, Sakai S, Tanaka YO, Minami M, Aonuma K. Feasibility of left ventricular volume measurements by three-dimensional speckle tracking echocardiography depends on image quality and degree of left ventricular enlargement: Validation study with cardiac magnetic resonance imaging. *J Cardiol* doi: 10.1016/j.jjcc.2013.08.010, 2013
  27. Koshizuka R, Ishizu T, Kameda Y, Kawamura R, Seo Y, Aonuma K. Longitudinal strain impairment as a marker of the progression of heart failure with preserved ejection fraction in a rat model. *J Am Soc Echocardiogr* 26(3):316-323, 2013
  28. Kumagai K, Sakamoto T, Nakamura K, Nishiuchi S, Hayano M, Hayashi T, Sasaki T, Aonuma K, Oshima S. Combined dominant frequency and complex fractionated atrial electrogram ablation after circumferential pulmonary vein isolation of atrial fibrillation. *J Cardiovasc Electrophysiol* 24(9):975-983, 2013
  29. Kurosaki K, Nogami A, Shirai Y, Kowase S. Positive QRS complex in lead i as a malignant sign in right ventricular outflow tract tachycardia: comparison between polymorphic and monomorphic ventricular tachycardia. *Circ J* 77(4):968-74, 2013

30. Kuwahara T, Takahashi A, Takahashi Y, Kobori A, Miyazaki S, Takei A, Fujino T, Okubo K, Takagi K, Fujii A, Takigawa M, Watari Y, Hikita H, Sato A, Aonuma K. Prevention of periprocedural ischemic stroke and management of hemorrhagic complications in atrial fibrillation ablation under continuous warfarin administration. *J Cardiovasc Electrophysiol* 24(5):510-515, 2013
31. Kuwahara T, Takahashi A, Takahashi Y, Kobori A, Miyazaki S, Takei A, Fujino T, Okubo K, Takagi K, Fujii A, Takigawa M, Watari Y, Hikita H, Sato A, Aonuma K. Clinical characteristics and management of periesophageal vagal nerve injury complicating left atrial ablation of atrial fibrillation: lessons from eleven cases. *J Cardiovasc Electrophysiol* 24(8):847-851, 2013
32. Machino T, Tada H, Sekiguchi Y, Aonuma K. Three-dimensional visualization of the entire reentrant circuit of bundle branch reentrant tachycardia. *Heart Rhythm* 10(3):459-460, 2013
33. Machino-Ohtsuka T, Seo Y, Ishizu T, Sugano A, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Machino T, Kuroki K, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Aonuma K. Efficacy, safety, and outcomes of catheter ablation of atrial fibrillation in patients with heart failure with preserved ejection fraction. *J Am Coll Cardiol* 62(20):1857-1865, 2013
34. Machino-Ohtsuka T, Seo Y, Ishizu T, Yanaka S, Nakajima H, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Koshino Y, Machino T, Kuroki K, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K. Significant improvement of left atrial and left atrial appendage function after catheter ablation for persistent atrial fibrillation. *Circ J* 77(7):1695-1704, 2013
35. Murakoshi N, Aonuma K. Epidemiology of arrhythmias and sudden cardiac death in Asia. *Circ J* 77(10):2419-2431, 2013
36. Nakano Y, Chayama K, Ochi H, Toshishige M, Hayashida Y, Miki D, Hayes CN, Suzuki H, Tokuyama T, Oda N, Suenari K, Uchimura-Makita Y, Kajihara K, Sairaku A, Motoda C, Fujiwara M, Watanabe Y, Yoshida Y, Ohkubo K, Watanabe I, Nogami A, Hasegawa K, Watanabe H, Endo N, Aiba T, Shimizu W, Ohno S, Horie M, Arihiro K, Tashiro S, Makita N, Kihara Y. A nonsynonymous polymorphism in semaphorin 3A as a risk factor for human unexplained cardiac arrest with documented ventricular fibrillation. *PLoS Genet* 9(4):e1003364, 2013
37. Naruse Y, Sato A, Hoshi T, Takeyasu N, Kakefuda Y, Ishibashi M, Misaki M, Abe D, Aonuma K. Triple antithrombotic therapy is the independent predictor for the occurrence of major bleeding complications: analysis of percent time in therapeutic range. *Circ Cardiovasc Interv* 6(4):444-451, 2013

38. Naruse Y, Tada H, Satoh M, Yanagihara M, Tsuneoka H, Hirata Y, Ito Y, Kuroki K, Machino T, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Sato A, Aonuma K. Concomitant obstructive sleep apnea increases the recurrence of atrial fibrillation following radiofrequency catheter ablation of atrial fibrillation: clinical impact of continuous positive airway pressure therapy. *Heart Rhythm* 10(3):331-337, 2013
39. Nishiuchi S, Nogami A, Naito S. A case with occurrence of antidromic tachycardia after ablation of idiopathic left fascicular tachycardia: mechanism of left upper septal ventricular tachycardia. *J Cardiovasc Electrophysiol* 24(7):825-827, 2013
40. Nogami Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Seo Y, Aonuma K. Abnormal early diastolic intraventricular flow 'kinetic energy index' assessed by vector flow mapping in patients with elevated filling pressure. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging* 14(3):253-260, 2013
41. Nozato T, Sato A, Hirose S, Hikita H, Takahashi A, Endo H, Imanaka-Yoshida K, Yoshida T, Aonuma K, Hiroe M. Preliminary study of serum tenascin-C levels as a diagnostic or prognostic biomarker of type B acute aortic dissection. *Int J Cardiol* 168(4):4267-4269, 2013
42. Nozue T, Yamamoto S, Tohyama S, Fukui K, Umezawa S, Onishi Y, Kunishima T, Sato A, Nozato T, Miyake S, Takeyama Y, Morino Y, Yamauchi T, Muramatsu T, Hibi K, Michishita I. Effects of statins on serum n-3 to n-6 polyunsaturated fatty acid ratios in patients with coronary artery disease. *J Cardiovasc Pharmacol Ther* 18(4):320-326, 2013
43. Nozue T, Yamamoto S, Tohyama S, Fukui K, Umezawa S, Onishi Y, Kunishima T, Sato A, Nozato T, Miyake S, Takeyama Y, Morino Y, Yamauchi T, Muramatsu T, Hibi K, Terashima M, Michishita I. Effects of serum n-3 to n-6 polyunsaturated fatty acids ratios on coronary atherosclerosis in statin-treated patients with coronary artery disease. *Am J Cardiol* 111(1):6-11, 2013
44. Nozue T, Yamamoto S, Tohyama S, Fukui K, Umezawa S, Onishi Y, Kunishima T, Sato A, Nozato T, Miyake S, Takeyama Y, Morino Y, Yamauchi T, Muramatsu T, Hibi K, Terashima M, Michishita I. Comparison of change in coronary atherosclerosis in patients with stable versus unstable angina pectoris receiving statin therapy (from the Treatment With Statin on Atheroma Regression Evaluated by Intravascular Ultrasound With Virtual Histology [TRUTH] study). *Am J Cardiol* 111(7):923-929, 2013
45. Nozue T, Yamamoto S, Tohyama S, Fukui K, Umezawa S, Onishi Y, Kunishima T, Sato A, Nozato T, Miyake S, Takeyama Y, Morino Y, Yamauchi T, Muramatsu T, Hibi K, Terashima

- M, Michishita I. Comparison of effects of serum n-3 to n-6 polyunsaturated fatty acid ratios on coronary atherosclerosis in patients treated with pitavastatin or pravastatin undergoing percutaneous coronary intervention. *Am J Cardiol* 111(11):1570-1575, 2013
46. Nozue T, Yamamoto S, Tohyama S, Fukui K, Umezawa S, Onishi Y, Kunishima T, Sato A, Nozato T, Miyake S, Takeyama Y, Morino Y, Yamauchi T, Muramatsu T, Hibi K, Terashima M, Michishita I. Comparison of the effects of pitavastatin versus pravastatin on coronary artery plaque phenotype assessed by tissue characterization using serial virtual histology intravascular ultrasound. *Heart Vessels* doi:10.1007/s00380-013-0453-8, 2013
47. Nozue T, Yamamoto S, Tohyama S, Fukui K, Umezawa S, Onishi Y, Kunishima T, Sato A, Nozato T, Miyake S, Takeyama Y, Morino Y, Yamauchi T, Muramatsu T, Hirano T, Hibi K, Terashima M, Michishita I. Impacts of age on coronary atherosclerosis and vascular response to statin therapy. *Heart Vessels* doi:10.1007/s00380-013-0387-1, 2013
48. Ohno I, Hayashi H, Aonuma K, Horio M, Kashihara N, Okada H, Komatsu Y, Tamura S, Awai K, Yamashita Y, Kuwatsuru R, Hirayama A, Saito Y, Murohara T, Tamaki N, Sato A, Takayama T, Imai E, Yasuda Y, Koya D, Tsubakihara Y, Horie S, Korogi Y, Narumi Y, Hayakawa K, Daida H, Node K, Kubota I. Guidelines on the use of iodinated contrast media in patients with kidney disease 2012: digest version. JSN, JRS, and JCS Joint Working Group. *Jpn J Radiol* 31(8):546-584, 2013
49. Ohno I, Hayashi H, Aonuma K, Horio M, Kashihara N, Okada H, Komatsu Y, Tamura S, Awai K, Yamashita Y, Kuwatsuru R, Hirayama A, Saito Y, Murohara T, Tamaki N, Sato A, Takayama T, Imai E, Yasuda Y, Koya D, Tsubakihara Y, Horie S, Korogi Y, Narumi Y, Hayakawa K, Daida H, Node K, Kubota I. Guidelines on the use of iodinated contrast media in patients with kidney disease 2012: digest version : JSN, JRS, and JCS Joint Working Group. *Clin Exp Nephrol* 17(4):441-479, 2013
50. Ohno I, Hayashi H, Aonuma K, Horio M, Kashihara N, Okada H, Komatsu Y, Tamura S, Awai K, Yamashita Y, Kuwatsuru R, Hirayama A, Saito Y, Murohara T, Tamaki N, Sato A, Takayama T, Imai E, Yasuda Y, Koya D, Tsubakihara Y, Horie S, Korogi Y, Narumi Y, Hayakawa K, Daida H, Node K, Kubota I. Guidelines on the use of iodinated contrast media in patients with kidney disease 2012: digest version. *Circ J* 77(7):1883-1914, 2013
51. Sacher F, Probst V, Maury P, Babuty D, Mansourati J, Komatsu Y, Marquie C, Rosa A, Diallo A, Cassagneau R, Loizeau C, Martins R, Field ME, Derval N, Miyazaki S, Denis A, Nogami A, Ritter P, Gourraud JB, Ploux S, Rollin A, Zemmoura A, Lamaison D, Bordachar P, Pierre B, Jais P, Pasquie JL, Hocini M, Legal F, Defaye P, Boveda S, Iesaka Y, Mabo P,

- Haissaguerre M. Outcome after implantation of a cardioverter-defibrillator in patients with Brugada syndrome: a multicenter study-part 2. *Circulation* 128(16):1739-1747, 2013
52. Sakuramoto H, Shimojo N, Jesmin S, Unoki T, Kamiyama J, Oki M, Miya K, Kawano S, Mizutani T. Repeated open endotracheal suctioning causes gradual desaturation but does not exacerbate lung injury compared to closed endotracheal suctioning in a rabbit model of ARDS. *BMC Anesthesiol* 13(1):47, 2013
53. Schuetz GM, Schlattmann P, Achenbach S, Budoff M, Garcia MJ, Roehle R, Pontone G, Meijboom WB, Andreini D, Alkadhi H, Honoris L, Bettencourt N, Hausleiter J, Leschka S, Gerber BL, Meijs MF, Shabestari AA, Sato A, Zimmermann E, Schoepf UJ, Diederichsen A, Halon DA, Mendoza-Rodriguez V, Hamdan A, Norgaard BL, Brodoefel H, Ovrehus KA, Jenkins SM, Halvorsen BA, Rixe J, Sheikh M, Langer C, Martuscelli E, Romagnoli A, Scholte AJ, Marcus RP, Ulmoen GR, Nieman K, Mickley H, Nikolaou K, Tardif JC, Johnson TR, Muraglia S, Chow BJ, Maintz D, Laule M, Dewey M. Individual patient data meta-analysis for the clinical assessment of coronary computed tomography angiography: protocol of the Collaborative Meta-Analysis of Cardiac CT (CoMe-CCT). *Syst Rev* 2:13, 2013
54. Sekiguchi Y, Aonuma K, Takagi M, Aihara N, Yokoyama Y, Hiraoka M. New clinical and electrocardiographic classification in patients with idiopathic ventricular fibrillation. *J Cardiovasc Electrophysiol* 24(8):902-908, 2013
55. Seo Y, Yamasaki H, Kawamura R, Ishizu T, Igarashi M, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K. Left ventricular activation imaging by 3-dimensional speckle-tracking echocardiography. Comparison with electrical activation mapping. *Circ J* 77(10):2481-2489, 2013
56. Seto K, Uchida F, Baba O, Yamatoji M, Karube R, Warabi E, Sakai S, Hasegawa S, Yamagata K, Yanagawa T, Onizawa K, Miyoshi E, Shoda J, Bukawa H. Negative expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in oral squamous cell carcinoma correlates with poor prognosis. *Springerplus* 2:657, 2013
57. Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Kano H, Matsuno S, Takai H, Uejima T, Oikawa Y, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Yajima J, Tanabe H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Effects of smoking habit on the prevalence of atrial fibrillation in Japanese patients with special reference to sex differences. *Circ J* 77(12):2948-2953, 2013
58. Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Kano H, Matsuno S, Takai H, Uejima T, Oikawa Y, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Yajima J, Tanabe H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. "Blue letter effects": Changes in physicians' attitudes toward dabigatran after a safety advisory in a



- specialized hospital for cardiovascular care in Japan. *J Cardiol* 62(6):366-373, 2013
59. Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Kano H, Matsuno S, Takai H, Uejima T, Oikawa Y, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Yajima J, Tanabe H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Usefulness of frequent supraventricular extrasystoles and a high CHADS2 score to predict first-time appearance of atrial fibrillation. *Am J Cardiol* 111(11):1602-1607, 2013
60. Tajiri K, Shimojo N, Sakai S, Machino-Ohtsuka T, Imanaka-Yoshida K, Hiroe M, Tsujimura Y, Kimura T, Sato A, Yasutomi Y, Aonuma K. Pitavastatin regulates helper T-cell differentiation and ameliorates autoimmune myocarditis in mice. *Cardiovasc Drugs Ther* 27(5):413-424, 2013
61. Takagi M, Aonuma K, Sekiguchi Y, Yokoyama Y, Aihara N, Hiraoka M. The prognostic value of early repolarization (J wave) and ST-segment morphology after J wave in Brugada syndrome: multicenter study in Japan. *Heart Rhythm* 10(4):533-539, 2013
62. Wang Z, Sato A, Akiyama D, Kimura T, Tajiri K, Hoshi T, Sakai S, Koike A, Miyauchi T, Aonuma K. Clinical value of plasma pentraxin 3 levels for predicting cardiac troponin elevation after percutaneous coronary intervention. *Life Sci* doi:10.1016/j.lfs.2013.11.021., 2013
63. Watabe H, Sato A, Hoshi T, Obara K, Kawamura R, Aonuma K. Dislodged and mechanically distorted stent stuck within a previously implanted drug-eluting stent. *Heart Vessels* 28(4):541-545, 2013
64. Watanabe H, Kawarazaki M, Yoshida K, Sato A. Wearable ECG monitoring and alerting system associated with smartphone: iHeart. *International Journal of E-Health and Medical Communications* 4(4):1-15, 2013
65. Yamasaki H, Kaneshiro T, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K. Ischemic esophageal ulceration that developed after an early endoscopic surveillance in a patient receiving catheter ablation for atrial fibrillation. *Circulation* 127(21):e635-636, 2013
66. Yamasaki H, Tada H, Arimoto T, Sekiguchi Y, Sato A, Aonuma K. Coronary venous lead implantation after an evaluation by virtual histology intravascular ultrasound and stenting of a stenosis. *Pacing Clin Electrophysiol* 36(2):e59-63, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 青沼和隆. 心房細動カテーテルアブレーション治療. *心臓* 45(6):735-737, 2013
2. 青山結希, 青沼和隆, 瀬尾由広, 石津智子, 川村龍, 町野智子, 山本昌良, 渥美安紀子, 榎本真美, 佐藤誠. 心不全患者に対する陽圧換気療法の効果. *日本心臓病学会誌*

8(Suppl.I):479, 201331.

3. 浅川哲也, 中川和也, 望田哲司, 松村国佳, 山内康熙, 山崎浩, 青沼和隆. 非持続性心室頻拍様心電図所見と Mobitz II 型の偽性第 2 度房室ブロック所見を呈した心室二重応答の 1 例. 臨床心臓電気生理 36:169-176, 2013
4. 安達亨, 吉田健太郎, 山崎浩, 五十嵐都, 関口幸夫, 石津智子, 瀬尾由広, 冨田浩, 久賀圭祐, 青沼和隆. 心室 3 点ペーシングの有効性が確認された拡張型心筋症による重症左心不全の 1 例. Therapeutic Research 34(1):85-87, 2013
5. 渥美安紀子, 石津智子, 瀬尾由広, 青沼和隆. 心臓再同期療法の効果予測における右室機能評価の付加的価値 START 研究からの検討. 超音波医学 40(Suppl.):S467, 2013
6. 五十嵐都, 青沼和隆. 不整脈 心房細動のカテーテルアブレーションの新しいエビデンス 適応と成績を中心に. Annual Review 循環器 2013:145-151, 2013
7. 五十嵐都, 村越伸行, 許東洙, 冨田浩, 関口幸夫, 山崎浩, 黒木健志, 町野毅, 井藤葉子, 石津智子, 瀬尾由広, 久賀圭祐, 青沼和隆. 高血圧ラットにおけるアミオダロンの心房細動抑制のメカニズムについて ベプリジルとの比較検討. Progress in Medicine 33(Suppl.1):698-703, 2013
8. 石津智子, 青沼和隆. 【進化した 3D イメージング(後編)-超音波検査の見かた・撮りかた】 総論. CIRCULATION Up-to-Date 8(4):380-389, 2013
9. 石津智子, 瀬尾由広, 関口幸夫, 青沼和隆. WPW 症候群における心エコー 3 次元スペクトルトラッキング法を用いた副伝導路の評価. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):378, 2013
10. 井藤葉子, 野上昭彦, 山崎浩, 成瀬代士久, 黒木健志, 町野毅, 五十嵐都, 関口幸夫, 青沼和隆. 長期持続型心房細動に対するカテーテルアブレーションにおけるレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系阻害薬の併用効果について. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):383, 2013
11. 岩瀧麻衣, 瀬尾由広, 永田泰史, 桑木恒, 大谷恭子, 芳谷英俊, 竹内正明, 尾辻豊, 青沼和隆. 心臓再同期療法による左室機能改善の局在 2 次元スペクトルトラッキング法を用いた検討. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):609, 2013
12. 榎本真美, 石津智子, 瀬尾由広, 酒井俊, 青沼和隆, 鈴木浩明, 川上康, 島野仁. 糖尿病における左房 stiffness と血清レプチンとの関連. 成人病と生活習慣病 43(5):635, 2013
13. 榎本真美, 石津智子, 瀬尾由広, 酒井俊, 鈴木浩明, 川上康, 島野仁, 青沼和隆. 糖尿病における左房 stiffness と血清レプチンとの関連. 日本成人病(生活習慣病)学会会誌 39:72, 2013
14. 大塚紗土美, 瀬尾由広, 根崎里美, 小林紘子, 中島英樹, 飯田典子, 酒巻文子, 上牧隆, 石津智子, 青沼和隆. 術後仮性心室瘤を生じた劇症型感染性心内膜炎の一例. 超音波医学

40(2):219, 2013

15. 奥村謙, 相澤義房, 相原直彦, 青沼和隆, 沖重薫, 熊谷浩一郎, 庄田守男, 住友直方, 高橋淳, 内藤滋人, 中村好秀, 野上昭彦, 平尾見三, 松本万夫, 村川裕二, 山根禎一, 大和田真玄, 佐々木真吾, 里見和浩, 笏田浩, 池主雅臣, 蜂谷仁, 新博次, 家坂義人, 櫻田春水, 筒井裕之, 三田村秀雄, 日本循環器学会. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2010-2011 年度合同研究班報告) カテーテルアブレーションの適応と手技に関するガイドライン. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン 2012:3-67, 2013
16. 奥村謙, 相澤義房, 相原直彦, 青沼和隆, 沖重薫, 熊谷浩一郎, 庄田守男, 住友直方, 高橋淳, 内藤滋人, 中村好秀, 野上昭彦, 平尾見三, 松本万夫, 村川裕二, 山根禎一, 大和田真玄, 佐々木真吾, 里見和浩, 笏田浩, 池主雅臣, 蜂谷仁, 新博次, 家坂義人, 櫻田春水, 筒井裕之, 三田村秀雄, 日本循環器学会. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2010-2011 年度合同研究班報告) 【ダイジェスト版】 カテーテルアブレーションの適応と手技に関するガイドライン. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン 2012:69-88, 2013
17. 柏原直樹, 今井圓裕, 青沼和隆, 林宏光. 【造影剤腎症】. *Nephrology Frontier* 12(3):244-252, 2013
18. 加藤愛章, 高橋実穂, 林立申, 中村昭宏, 石川伸行, 今川和生, 野崎良寛, 関口幸夫, 青沼和隆, 堀米仁志. *Chanelopathy* の管理 そのエビデンス カテコラミン誘発多形性心室頻拍に対する非薬物治療. 日本小児循環器学会雑誌 29(Suppl.):s95, 2013
19. 金城貴士, 青沼和隆. 【進歩する慢性心不全の治療-薬物治療と非薬物治療の最前線を学ぶ】 ここまで進化した非薬物治療 CD と CRT. *Mebio* 30(1):60-66, 2013
20. 金城貴士, 青沼和隆. 【心房細動-診断・治療の最新動向-】 心房細動の治療 心房細動に対する治療総論. 日本臨床 71(1):60-66, 2013
21. 川松直人, 石津智子, 玄哲樹, 会田敏, 木全啓, 酒井俊介, 佐藤希美, 菅野昭憲, 加藤穰, 川辺正之, 許東洙, 木村泰三, 原唯史, 榎本佳治, 瀬尾由広, 青沼和隆. 大動脈弁置換術後の弁不全において PET-CT が治療方針決定に有用であった自己免疫性血管炎. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):676, 2013
22. 川松直人, 瀬尾由広, 中島英樹, 佐藤希美, 菅野昭憲, 渥美安紀子, 山本昌良, 町野智子, 井藤葉子, 黒木健志, 山崎浩, 川村龍, 五十嵐都, 関口幸夫, 石津智子, 青沼和隆. ペースメーカーリード起因性三尖弁逆流症の有病率及びリスクファクターについての検討. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):289, 2013
23. 許東洙, 村越伸行, 青沼和隆. 【心腎貧血連関】 慢性腎臓病と心房細動発症のリスク. 循環器内科 74(5):479-483, 2013

24. 黒木健志, 青沼和隆. 【循環器医の腕の魅せどころ-進化するデバイスを使いこなす】心機能低下例に対する ICD 治療 不適切作動回避のための ICD 設定と薬物療法の実際. *Circulation* 3(2):35-42, 2013
25. 酒井俊, 蕨栄次, 柳川徹, 青沼和隆, 宮内卓, 石井哲郎. p62 遺伝子欠損肥満モデルマウスにおける血圧動態の解析. 日本高血圧学会臨床高血圧フォーラムプログラム・抄録集 2 回:159, 2013
26. 酒巻文子, 瀬尾由広, 山本昌良, 大塚聡美, 根崎里美, 小林紘子, 飯田典子, 中島英樹, 石津智子, 青沼和隆. CRT 後に残存する高度左室拡張障害と予後の関連について. *超音波検査技術* 38(Suppl.):S166, 2013
27. 坂元雄介, 縮恭一, 鳥羽清志郎, 赤星博和, 川上康, 町野毅, 黒木健志, 山崎浩, 五十嵐都, 関口幸夫, 青沼和隆. 当院のカテーテル・アブレーション業務における臨床工学技士の取り組みと現状. *日本臨床工学技士会誌* 48:147, 2013
28. 坂元雄介, 縮恭一, 鳥羽清志郎, 赤星博和, 山本純偉, 平谷太吾, 春成智彦, 秋山大樹, 星智也, 佐藤明, 青沼和隆. 低分子デキストランを使用したフラッシュ法による FD-OCT の画像評価についての検討. *日本心血管インターベンション治療学会誌* 5(Suppl.I):720, 2013
29. 佐藤明, 青沼和隆. 【心筋症の画像診断】 たこつぼ心筋症の画像診断. *循環器内科* 73(4):423-429, 2013
30. 佐藤明, 関口幸夫, 野上昭彦, 青沼和隆. 虚血と不整脈 急性冠症候群に伴う不整脈とその対処. *心電図* 33(Suppl.4):S-4-74, 2013
31. 佐藤希美, 瀬尾由広, 石津智子, 竹内正明, 出雲昌樹, 鈴木健吾, 山下英治, 大島茂, 三宅良彦, 尾辻豊, 青沼和隆. 低流量低圧較差重症大動脈弁狭窄症の予後評価における Longitudinal strain の有用性. *日本心臓病学会誌* 8(Suppl.I):371, 2013
32. 佐藤希美, 瀬尾由広, 竹内正明, 出雲昌樹, 山下英治, 大島茂, 三宅良彦, 尾辻豊, 青沼和隆. 重症大動脈弁狭窄症のエコー指標による予後評価の検討. *超音波医学* 40(Suppl.):S501, 2013
33. 白井康大, 野上昭彦, 荻ノ沢泰司, 小和瀬晋弥, 黒崎健司, 村瀬達彦, 篠田康俊, 佐々木法常, 福澤朋幸, 西山大樹, 青木元, 柚本和彦, 玉木利幸, 加藤健一. 頻拍中のみ心室刺激による室房伝導を認め、機序として遅伝導路の順行性潜在伝導が考えられた Long RP' 頻拍の 1 例. *臨床心臓電気生理* 36:117-126, 2013
34. 菅野昭憲, 瀬尾由広, 渥美安紀子, 山本昌良, 町野智子, 針村佳江, 川村龍, 石津智子, 青沼和隆. QRS 幅の狭い左室収縮障害患者における心筋線維化と左室非同期の関連. *超音波医学* 40(Suppl.):S641, 2013

35. 菅野昭憲, 瀬尾由広, 渥美安紀子, 山本昌良, 町野智子, 針村佳江, 川村龍, 榎本真美, 石津智子, 青沼和隆. 肥大型心筋症患者における不整脈イベントと2次元スペクトルトラッキング法との関連. 日本内科学会雑誌 102(Suppl.):165, 2013
36. 菅野昭憲, 瀬尾由広, 佐藤希美, 渥美安紀子, 山本昌良, 町野智子, 針村佳江, 川村龍, 石津智子, 野口祐一, 青沼和隆. 肥大型心筋症における左室 longitudinal strain と不整脈イベントとの関連. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):561, 2013
37. 鈴木篤, 山内康熙, 柳下敦彦, 佐藤弘典, 川初寛道, 臼井英祐, 宮崎亮一, 山口徹雄, 小西裕二, 原信博, 梅本朋幸, 宮本貴庸, 尾林徹, 田尾進, 平尾見三, 青沼和隆. 高位右房中隔での焼灼により根治し得た peri-mitral atrial flutter の1例. 心臓 45(Suppl.3):61-67, 2013
38. 瀬尾由広, 青沼和隆. 心臓再同期療法のエビデンス 心エコーによるレスポンス予測 J-CRT、START 研究から. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):184, 2013
39. 瀬尾由広, 青沼和隆. リバーズ・リモデリングへの挑戦 リバーズ・リモデリングへの挑戦 CRT. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):222, 2013
40. 関口幸夫, 野上昭彦, 黒木健志, 町野毅, 山崎浩, 五十嵐都, 青沼和隆. 3D マッピング・イメージングを用いた不整脈の診断と治療 CARTO システムを用いた VT アブレーション. 心電図 33(Suppl.4):S-4-84, 2013
41. 田尾進, 山内康熙, 岡田寛之, 前田真吾, 鍵山暢之, 小西裕二, 原信博, 山口徹雄, 内藤貴基, 宮崎亮一, 梅本朋幸, 宮本貴庸, 尾林徹, 平尾見三, 青沼和隆. 肺静脈隔離中に肺静脈左房間の偽性一方向性伝導の所見を認めた持続性心房細動の1例. 臨床心臓電気生理 36:1-8, 2013
42. 縮恭一, 佐藤明, 坂元雄介, 山本純偉, 酒井俊介, 平谷太吾, 田尻和子, 木村泰三, 星智也, 青沼和隆. Everolimus-Eluting stent 留置後のステント内新生内膜被膜状態をウサギモデル及び臨床症例での血管内視鏡所見と OCT の検討. 日本心血管インターベンション治療学会誌 5(Suppl.I):730, 2013
43. 縮恭一, 関口幸夫, 坂元雄介, 赤星博和, 茂木芳賢, 古垣達也, 山本純偉, 油井慶晃, 石津智子, 瀬尾由広, 河野了, 青沼和隆, 吉川裕之, 宮園弥生, 榊原謙. 慢性心不全患者の出産時に補助循環およびスワンガンツ・カテーテル使用下での周産期治療の関わりについて. 日本臨床工学技士会誌 48:192, 2013
44. 縮恭一, 関口幸夫, 福田隆徳, 鳥羽清志郎, 茂木芳賢, 坂元雄介, 赤星博和, 古垣達也, 山本純偉, 安達亨, 黒木健志, 町野毅, 山崎浩, 五十嵐都, 青沼和隆. Non-ischemic VT-ABL 中に誘発された VT が DC にても改善せず補助循環と ABL によって治療した1例. 日本臨床工学技士会誌 48:147, 2013
45. 土岐浩介, 関口幸夫, 久賀圭祐, 青沼和隆, 本間真人.  $\beta$ 1-アドレナリン受容体

- Arg389Gly 遺伝子多型がフレカイニドの治療効果におよぼす影響. 臨床薬理 44(Suppl.):S236, 2013
46. 土岐浩介, 本間真人, 久賀圭祐, 青沼和隆, 幸田幸直. フレカイニド光学異性体濃度測定のための逆相 HPLC. TDM 研究 30(3):199, 2013
47. 徳永千穂, 相川志都, 坂本裕昭, 榎本佳治, 金本真也, 佐藤藤夫, 野間美緒, 関口幸夫, 平松祐司, 秋島信二, 青沼和隆, 榊原謙. エキシマレーザーを用いた感染リード抜去術における心臓血管外科の役割. 日本心臓血管外科学会雑誌 41(Suppl.):458, 2012
48. 中島英樹, 瀬尾由広, 佐藤希美, 菅野昭憲, 渥美安紀子, 山本昌良, 川村龍, 榎本真美, 石津智子, 青沼和隆. <教育に活かす>超音波検査士に望まれる画像調整とレポート作成 診断価値のある画像と臨床医が求める検査レポートとはなにか. 超音波医学 40(Suppl.):S186, 2013
49. 成瀬代士久, 小和瀬晋弥, 黒崎健司, 安倍大輔, 吉田健太郎, 武安法之, 青沼和隆. 右室心尖部ペーシングが左室一回拍出量に与える悪影響. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):306, 2013
50. 成瀬代士久, 瀬尾由広, 青沼和隆. 【不整脈の非薬物療法】 治す もう一步進んだデバイスの植え込みと管理 CRT-P と CRT-D の選択と最適化の妙. Heart View 17(10):1142-1147, 2013
51. 西内英, 内藤滋人, 佐々木健人, 塚田直史, 早野護, 福家悦子, 三樹祐子, 坂本有, 中村啓二郎, 中村紘規, 粕野健一, 熊谷浩司, 大島茂, 野上昭彦. 多極電極カテーテルで記録された左室中中隔前収縮期電位を指標とし, アブレーションに成功した上部中隔型特発性左側心室頻拍 (ILVT) の 1 例. 臨床心臓電気生理 36:211-222, 2013
52. 野上昭彦. 基礎心疾患のない持続性心室頻拍の治療. Medicina 50(13):2216-2220, 2013
53. 野上昭彦. 侵襲的治療の現状と可能性. 最新医学 68:1552-1563, 2013
54. 野上佳恵, 瀬尾由広, 渥美安紀子, 山本昌良, 石津智子, 青沼和隆. 高齢者高血圧症例における Wave-Intensity の意義について. 超音波医学 40(Suppl.):S449, 2013
55. 野寺穰, 武田寛人, 渡邊俊介, 金澤晃子, 石田悟朗, 遠藤教子, 新妻健夫, 小松宣夫, 竹石恭知, 関口幸夫, 青沼和隆. 如何なる方法にても停止困難な持続性心室頻拍に対し, 緊急で心外膜アプローチにてアブレーションに成功した心サルコイドーシスの 1 例. 心電図 33(Suppl.4):S-4-192, 2013
56. 羽鳥光晴, 中西啓太, 酒井俊介, 小原健一, 前田裕史, 青沼和隆. 胸痛を主訴に来院した局所心筋炎の 2 症例. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):668, 2013
57. 星智也, 青沼和隆. 【ACS の診断と治療】 ACS の不整脈. Circulation 3(5):92-102, 2013
58. 星智也, 青沼和隆. 【循環器疾患の診断と治療(II)】 不安定狭心症. 医学と薬学

69(5):751-760, 2013

59. 本田洵也, 渡辺重行, 外山昌弘, 五十野博基, 住谷智恵子, 黒田裕久, 仁科秀崇. V1 の T 波が陽性の右脚ブロックは何を意味するか. 茨城循環器研究会雑誌 20:71-74, 2013
60. 町野智子, 瀬尾由広, 石津智子, 五十嵐都, 関口幸夫, 青沼和隆. Elimination of Atrial Fibrillation by Catheter Ablation Suppresses Adverse Cardiac Events in HFPEF. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):172, 2013
61. 宮内裕美, 酒井俊, ジェスミン・サブリーナ, 下條信威, 本間覚, 前田清司, 渡辺重行, 青沼和隆, 宮内卓. エンドセリン A/B デュアル受容体遮断薬の心臓血管系と腎臓に対する効果 高血圧肥大心、糖尿病性心筋症、高血圧性血管障害のモデルにおいて. 日本高血圧学会臨床高血圧フォーラムプログラム・抄録集 2 回:179, 2013
62. 村越伸行, 青沼和隆. 【高血圧診療のすべて】 高血圧治療の実際 合併症を有する高血圧患者の薬物療法 心房細動の血圧管理. 日本医師会雑誌 142(特別 1):S244-S246, 2013
63. 安島良輝子, 梅津努, 助川みわこ, 五十嵐都, 山崎浩, 関口幸夫, 青沼和隆. アブレーション治療におけるメディカルスタッフの連携 アブレーションにおける看護師の役割. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):206, 2013
64. 柳下敦彦, 山内康熙, 佐藤弘典, 山下周, 平尾龍彦, 川初寛道, 白井英祐, 宮崎亮一, 山口徹雄, 原信博, 梅本朋幸, 宮本貴庸, 尾林徹, 平尾見三, 青沼和隆. Termination without global capture を認めた部位での通電により心室頻拍の停止が得られなかった陳旧性心筋梗塞の 1 例. 心電図 33(Suppl.4):S-4-157, 2013
65. 山崎浩, 青沼和隆. 【循環器病学における臨床研究-いかに確実に臨床に還元するか】 循環器臨床研究の展望 不整脈疾患に対する新規治療アプローチ 有効性と安全性の向上をめざして. 医学のあゆみ 244(13):1335-1338, 2013
66. 山崎浩, 青沼和隆. 【最新の心房細動の診療】 心房細動の治療 カテーテルアブレーション治療. 臨床と研究 90(9):1180-1185, 2013
67. 山崎浩, 関口幸夫, 多田浩, 町野毅, 黒木健志, 成瀬代士久, 井藤葉子, 五十嵐都, 吉田健太郎, 青沼和隆. "時計"および"反時計"方向に旋回する 2 種の Localized Reentry が認められた僧帽弁輪峡部焼灼術後の 1 例. 臨床心臓電気生理 36:55-63, 2013
68. 山本昌良, 瀬尾由広, 川松直人, 佐藤希美, 菅野昭憲, 渥美安紀子, 町野智子, 中島英樹, 石津智子, 青沼和隆. 左房圧の上昇は左心耳を拡大させるか. 超音波医学 40(Suppl.):S471, 2013

### 3) 英文著書

1. Miyauchi T, Goto K. 190. Endothelins; in "Handbook of biologically active peptides (1st edition)" (edited by Kastin A J), Academic Press (Elsevier Inc.) (San Diego) 2013; pp1402-1407
  2. Nogami A, Olshansky B. Chapter 83. Bundle Branch Reentry Tachycardia; in "Cardiac Electrophysiology: From Cell to Bedside (6th edition)" (edited by Zipes D P, Jalife J), Elsevier (Philadelphia) 2013; pp835-847
- 4) 英文以外の著書
1. 青沼和隆. 第 6 章. カテーテル・アブレーション; "今日の治療指針 -私はこう治療している- 2013 年版" (編集 山口徹, 北原三夫, 福井次矢), 医学書院 (東京) 2013; pp331-332
  2. 五十嵐都, 青沼和隆. 第 4 章. 心房細動のカテーテルアブレーションの新しいエビデンス -適応と成績を中心に; "循環器 Annual Review 2013" (編集 小室一成, 佐地勉, 坂田隆造, 赤坂隆史), 中外医学社 (東京) 2013; pp145-151
  3. 金城貴士, 青沼和隆. 第 4 章. 心房細動に対する治療総論; "日本臨牀 (第 71 版)", 日本臨牀社 (東京) 2013; pp60-66
  4. 黒木健志, 青沼和隆. 第 4 章. 心機能低下例に対する ICD 治療; "月刊循環器 2013 年 2 月号 (第 1 版)" (編集 島本和明, 小川聡, 松崎益徳, 竹中克, 小室一成, 山科章, 代田浩之, 三田村秀雄), 医学出版 (東京) 2013; pp35-42
  5. 佐藤明, 青沼和隆. 特集. 急性冠症候群に併発する不整脈; "日本医師会雑誌 第 141 巻 第 12 号" (編集 跡見裕, 北川泰久, 足立満, 五十嵐隆, 磯部光章, 井廻道夫, 岩本安彦, 大曲貴夫, 小川郁, 片山一郎, 木村理, 黒川峰夫, 児玉浩子, 杉浦真弓, 田中栄, 寺崎浩子, 寺本明, 花岡一雄, 廣澤信作, 福田国彦, 松尾清一, 丸茂健, 三村将, 弓倉整), 日本医師会 (東京) 2013; pp2665-2668
  6. 関口幸夫, 青沼和隆. 第 2 章. 緊急を要する不整脈の処置; "今日の循環器疾患治療指針 (第 3 版)" (編集 井上博, 許俊悦, 檜垣寛男, 代田浩之, 筒井裕之), 医学書院 (東京) 2013; pp85-88
  7. 星智也, 青沼和隆. 第 12 章. ACS の不整脈; "月刊循環器 Circulation (編集 医学出版 (東京) 2013; pp92-102
  8. 村越伸行, 青沼和隆. 第 6 章 心房細動の血圧管理; "日本医師会雑誌 高血圧診療のすべて 第 142 巻. 特別号" (編集 刈尾七臣, 斎藤能彦, 長谷部直幸, 弓倉整), 日本医師会 (東京) 2013; pp244-266



## 内科学（内分泌）

### 1) 英文論文

1. Fujihara K, Kodama S, Horikawa C, Yoshizawa S, Sugawara A, Hirasawa R, Shimano H, Yachi Y, Suzuki A, Hanyu O, Sone H. The Relationship between Diabetic Neuropathy and Sleep Apnea Syndrome: A Meta-Analysis. *Sleep Disord* 2013;150371, 2013
2. Fujihara K, Suzuki H, Sato A, Kodama S, Heianza Y, Saito K, Iwasaki H, Kobayashi K, Yatoh S, Takahashi A, Yamada N, Sone H, Shimano H. Carotid artery plaque and LDL-to-HDL cholesterol ratio predict atherosclerotic status in coronary arteries in asymptomatic patients with type 2 diabetes mellitus. *J Atheroscler Thromb* 20(5):452-464, 2013
3. Fujimoto Y, Nakagawa Y, Satoh A, Okuda K, Shingyouchi A, Naka A, Matsuzaka T, Iwasaki H, Kobayashi K, Yahagi N, Shimada M, Yatoh S, Suzuki H, Yogosawa S, Izumi T, Sone H, Urayama O, Yamada N, Shimano H. TFE3 controls lipid metabolism in adipose tissue of male mice by suppressing lipolysis and thermogenesis. *Endocrinology* 154(10):3577-3588, 2013
4. Heianza Y, Arase Y, Kodama S, Hsieh SD, Tsuji H, Saito K, Shimano H, Hara S, Sone H. Effect of postmenopausal status and age at menopause on type 2 diabetes and prediabetes in Japanese individuals: Toranomon Hospital Health Management Center Study 17 (TOPICS 17). *Diabetes Care* 36(12):4007-4014, 2013
5. Heianza Y, Arase Y, Kodama S, Hsieh SD, Tsuji H, Saito K, Shimano H, Hara S, Sone H. Association of living alone with the presence of undiagnosed diabetes in Japanese men: the role of modifiable risk factors for diabetes: Toranomon Hospital Health Management Center Study 13 (TOPICS 13). *Diabet Med* 30(11):1355-1359, 2013
6. Heianza Y, Arase Y, Saito K, Hsieh SD, Tsuji H, Kodama S, Tanaka S, Ohashi Y, Shimano H, Yamada N, Hara S, Sone H. Development of a screening score for undiagnosed diabetes and its application in estimating absolute risk of future type 2 diabetes in Japan: Toranomon Hospital Health Management Center Study 10 (TOPICS 10). *J Clin Endocrinol Metab* 98(3):1051-1060, 2013
7. Heianza Y, Arase Y, Saito K, Tsuji H, Fujihara K, Hsieh SD, Kodama S, Shimano H, Yamada N, Hara S, Sone H. Role of alcohol drinking pattern in type 2 diabetes in Japanese men: the Toranomon Hospital Health Management Center Study 11 (TOPICS 11). *Am J Clin Nutr* 97(3):561-568, 2013

8. Hirasawa R, Yachi Y, Yoshizawa S, Horikawa C, Heianza Y, Sugawara A, Sone Y, Kondo K, Shimano H, Saito K, Kodama S, Sone H. Quality and accuracy of Internet information concerning a healthy diet. *Int J Food Sci Nutr* 64(8):1007-1013, 2013
9. Horie T, Nishino T, Baba O, Kuwabara Y, Nakao T, Nishiga M, Usami S, Izuhara M, Sowa N, Yahagi N, Shimano H, Matsumura S, Inoue K, Marusawa H, Nakamura T, Hasegawa K, Kume N, Yokode M, Kita T, Kimura T, Ono K. MicroRNA-33 regulates sterol regulatory element-binding protein 1 expression in mice. *Nat Commun* 4:2883, 2013
10. Ikeda T, Ishii KA, Saito Y, Miura M, Otagiri A, Kawakami Y, Shimano H, Hara H, Takekoshi K. Inhibition of autophagy enhances sunitinib-induced cytotoxicity in rat pheochromocytoma PC12 cells. *J Pharmacol Sci* 121(1):67-73, 2013
11. Ishida T, Ohta M, Nakakuki M, Kami H, Uchiyama R, Kawano H, Notsu T, Imada K, Shimano H. Distinct regulation of plasma LDL cholesterol by eicosapentaenoic acid and docosahexaenoic acid in high fat diet-fed hamsters: participation of cholesterol ester transfer protein and LDL receptor. *Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids* 88(4):281-288, 2013
12. Izumida Y, Yahagi N, Takeuchi Y, Nishi M, Shikama A, Takarada A, Masuda Y, Kubota M, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Iizuka Y, Itaka K, Kataoka K, Shioda S, Niijima A, Yamada T, Katagiri H, Nagai R, Yamada N, Kadowaki T, Shimano H. Glycogen shortage during fasting triggers liver-brain-adipose neurocircuitry to facilitate fat utilization. *Nat Commun* 4:2316, 2013
13. Kodama S, Horikawa C, Fujihara K, Hirasawa R, Yachi Y, Yoshizawa S, Tanaka S, Sone Y, Shimano H, Iida KT, Saito K, Sone H. Use of high-normal levels of haemoglobin A(1C) and fasting plasma glucose for diabetes screening and for prediction: a meta-analysis. *Diabetes Metab Res Rev* 29(8):680-692, 2013
14. Kodama S, Tanaka S, Heianza Y, Fujihara K, Horikawa C, Shimano H, Saito K, Yamada N, Ohashi Y, Sone H. Association between physical activity and risk of all-cause mortality and cardiovascular disease in patients with diabetes: a meta-analysis. *Diabetes Care* 36(2):471-479, 2013
15. Shimada M. Overview of calpain-mediated regulation of bone and fat mass in osteoblasts. *Cell Biochem Biophys* 66(1):23-28, 2013
16. Sunaga H, Matsui H, Ueno M, Maeno T, Iso T, Syamsunarno MR, Anjo S, Matsuzaka T, Shimano H, Yokoyama T, Kurabayashi M. Deranged fatty acid composition causes pulmonary fibrosis in Elovl6-deficient mice. *Nat Commun* 4:2563, 2013
17. Wada T, Miyashita Y, Sasaki M, Aruga Y, Nakamura Y, Ishii Y, Sasahara M, Kanasaki K,

Kitada M, Koya D, Shimano H, Tsuneki H, Sasaoka T. Eplerenone ameliorates the phenotypes of metabolic syndrome with NASH in liver-specific SREBP-1c Tg mice fed high-fat and high-fructose diet. *Am J Physiol Endocrinol Metab* 305(11):E1415-1425, 2013

4) 英文以外の著書

1. 泉田欣彦, 矢作直也. 第8章. リパーゼ; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp232-233
2. 岩崎仁, 島野仁. 2章-2. 脂肪酸の主な働き; "そうだったんだ! 脂肪酸-循環器疾患との深い関係- (第1版)" (編集 伊藤浩), 文光堂 (東京) 2013; pp17-21
3. 岩崎仁, 島野仁. IV章. トピックス 肝臓における脂質代謝研究の進歩 (IV章. 肝臓-代謝性疾患); "専門医のための消化器病学 (第2版)" (監修 小俣政男, 千葉勉; 編集 下瀬川徹, 渡辺守, 木下芳一, 金子周一, 檜田博史), 医学書院 (東京) 2013; pp386-387
4. 大崎芳典, 矢作直也. 第8章. URAT1; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp230-231
5. 煙山(鈴木)紀子, 松坂賢, 島野仁. 第8章. 慢性炎症と栄養; "慢性炎症と生活習慣病 循環器・代謝・呼吸器・消化器疾患の基盤病態へのアプローチ (第1版)" (編集 小川佳宏, 眞鍋一郎), 南山堂 (東京) 2013; pp161-168
6. 煙山紀子, 矢作直也. 第8章. GPR120; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp234-235
7. 志鎌明人, 矢作直也. 第8章. SGLT2; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp228-229
8. 島野仁. 第6章. 内分泌・代謝疾患; "ガイドラインに基づく臨床指針 (第10版)" (監修 福井次矢, 編集 第一三共), エルゼビア・ジャパン (東京) 2013; pp274-296
9. 島野仁. III章 1~4. 療養指導各論 (III章 1~4, 1 診断と治療に関する知識, 2 食事療法, 3 運動療法, 4 薬物療法); "日本糖尿病療養指導士受験ガイドブック 2013 (第1版)" (編集 日本糖尿病療養指導士認定機構), メディカルレビュー社 (大阪) 2013; pp33-68
10. 島野仁. 第6章-B. 脂肪酸の生合成とその酸化; "人体の構造と機能及び疾病の成り立ち (第2版)" (編集 香川靖雄, 近藤和雄, 石田均, 門脇孝), 南江堂 (東京) 2013; pp151-154
11. 菅野洋子, 島野仁. 第2部. リポ蛋白とその分画; "臨床検査ガイド 2013~2014 (第1版)" (編集 MedicalPractice 編集委員会), 文光堂 (東京) 2013; pp272-276
12. 久芳素子, 矢作直也. 第8章. CETP; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp236-238

13. 矢藤繁, 島野仁. 16-1.1. 生活習慣病 (生活・社会・環境要因) ; "内科学 (第 10 版)" (総編集 矢崎義雄), 朝倉書店 (東京) 2013; pp2348-2352
14. 矢藤繁, 島野仁. I-10 章-A. NAFLD と糖代謝異常 (NASH 編 I.基本編～NASH を診る前の基礎知識～) ; "NASH・アルコール性肝障害の診療を極める 基本から最前線まで (Hepatology Practice 第 2 巻) (第 1 版)" (編集 竹井謙之 (ゲスト編集), 竹原徹郎, 持田智 (常任編集)), 文光堂 (東京) 2013; pp71-74
15. 矢作直也. 筑波大学附属病院とクックパッドのおいしく治す「糖尿病食」(第 1 版) 講談社 2013 年 (全 200 ページ)

## 内科学 (神経)

### 1) 英文論文

1. Akamatsu M, Takuma H, Yamashita T, Okada T, Keino-Masu K, Ishii K, Kwak S, Masu M, Tamaoka A. A unique mouse model for investigating the properties of amyotrophic lateral sclerosis-associated protein TDP-43, by in utero electroporation. *Neurosci Res* 77(4):234-241, 2013
2. Baba O, Yamagata K, Tomidokoro Y, Tamaoka A, Itoh H, Yanagawa T, Onizawa K, Bukawa H. Neuroleptic malignant syndrome in a patient with tongue cancer: a report of a rare case. *Case Rep Dent* 2013:542130, 2013
3. Egawa N, Kitaoka S, Tsukita K, Naitoh M, Takahashi K, Yamamoto T, Adachi F, Kondo T, Okita K, Asaka I, Aoi T, Watanabe A, Yamada Y, Morizane A, Takahashi J, Ayaki T, Ito H, Yoshikawa K, Yamawaki S, Suzuki S, Watanabe D, Hioki H, Kaneko T, Makioka K, Okamoto K, Takuma H, Tamaoka A, Hasegawa K, Nonaka T, Hasegawa M, Kawata A, Yoshida M, Nakahata T, Takahashi R, Marchetto MC, Gage FH, Yamanaka S, Inoue H. Response to comment on "Drug screening for ALS using patient-specific induced pluripotent stem cells". *Sci Transl Med* 5(188):188r2, 2013
4. Hosaka A, Araki W, Oda A, Tomidokoro Y, Tamaoka A. Statins reduce amyloid beta-peptide production by modulating amyloid precursor protein maturation and phosphorylation through a cholesterol-independent mechanism in cultured neurons. *Neurochem Res* 38(3):589-600, 2013
5. Hoshino S, Sakamoto K, Vassilopoulos S, Camus SM, Griffin CA, Esk C, Torres JA, Ohkoshi N, Ishii A, Tamaoka A, Funke BH, Kucherlapati R, Margeta M, Rando TA, Brodsky FM. The CHC22 clathrin-GLUT4 transport pathway contributes to skeletal muscle regeneration. *PLoS*

*One* 8(10):e77787, 2013

6. Hosokawa M, Arai T, Yamashita M, Tsuji H, Nonaka T, Masuda-Suzukake M, Tamaoka A, Hasegawa M, Akiyama H. Differential diagnosis of amyotrophic lateral sclerosis from Guillain-Barre syndrome by quantitative determination of TDP-43 in cerebrospinal fluid. *Int J Neurosci* doi: 10.3109/00207454.2013.848440, 2013
7. Ichikawa Y, Ishiura H, Mitsui J, Takahashi Y, Kobayashi S, Takuma H, Kanazawa I, Doi K, Yoshimura J, Morishita S, Goto J, Tsuji S. Exome analysis reveals a Japanese family with spinocerebellar ataxia, autosomal recessive 1. *J Neurol Sci* 331(1-2):158-160, 2013
8. Ishii A, Ohkoshi N, Yoshida M, Tamaoka A. The effect of water-soluble fullerene with different number of hydroxyl groups in muscle regeneration process of experimental murine skeletal muscle. *Neuromuscular Disorders* 23(9-10):838, 2013
9. Iwata A, Nagata K, Hatsuta H, Takuma H, Bundo M, Iwamoto K, Tamaoka A, Murayama S, Saido T, Tsuji S. Altered CpG methylation in sporadic Alzheimer's disease is associated with APP and MAPT dysregulation. *Hum Mol Genet* doi: 10.1093/hmg/ddt451, 2013
10. Nakamagoe K, Fujizuka N, Koganezawa T, Shimizu K, Takiguchi S, Horaguchi T, Ishii K, Tamaoka A. Residual central nervous system damage due to organoarsenic poisoning. *Neurotoxicol Teratol* 37:33-38, 2013
11. Nakamagoe K, Fujizuka N, Koganezawa T, Yamaguchi T, Tamaoka A. Downbeat nystagmus associated with damage to the medial longitudinal fasciculus of the pons: a vestibular balance control mechanism via the lower brainstem paramedian tract neurons. *J Neurol Sci* 328(1-2):98-101, 2013
12. Umeda T, Yamashita T, Kimura T, Ohnishi K, Takuma H, Ozeki T, Takashima A, Tomiyama T, Mori H. Neurodegenerative disorder FTDP-17-related tau intron 10 +16C --> T mutation increases tau exon 10 splicing and causes tauopathy in transgenic mice. *Am J Pathol* 183(1):211-225, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 塩谷彩子, 詫間造, 石井亜紀子, 山口清次, 玉岡晃. 緩徐進行性の筋力低下を主訴とし、ETFDH 遺伝子に変異を認めた成人発症グルタル酸尿症 2 型の 31 歳男性例. *臨床神経学* 53(2):167, 2013
2. 深浦彦彰, 齋田孝彦, 石井一弘, 池口邦彦, 池田将樹, 海田賢一. 多発性硬化症の新たな治療戦略 新規経口薬フィンゴリモドに関する知見. *Pharma Medica* 31(4):75-81, 2013
3. 山口哲人, 石井一弘, 河野豊, 玉岡晃. 歩行開始困難を認めた Orthostatic tremor の 75 歳

- 男性例. 運動障害 23(1):15-19, 2013
- 山本詞子, 山口哲人, 玉岡晃, 多彩な自己抗体陽性を示した抗グルタミン酸受容体抗体陽性辺縁系脳炎の1例. 日本内科学会雑誌 102(8):2057-2059, 2013
- 4) 英文以外の著書
- 玉岡晃, Part 4. アルツハイマー病の症状、検査、診断. アルツハイマー病による認知症の診断; "からだの科学 (2013 SUMMER)" (山田正仁 編), 日本評論社 (東京) 2013; pp27878-27883
  - 玉岡晃, J. 神経・精神・運動器疾患. Alzheimer 病; "イヤート TOPICS 2013-2014 内科・外科疾患 (第3版)" (編集 岡庭豊, 荒瀬康司, 三角和雄), MEDICMEDIA (東京) 2013; pp296-298
  - 玉岡晃, II. 本年の動向. 新しいアルツハイマー病の診断基準; "Annual Review 2013 神経" (編集 鈴木則宏, 祖父江元, 荒木信夫, 宇川義一, 川原信隆), 中外医学社 (東京) 2013; pp81-91
  - 玉岡晃, 第14章. 代謝性疾患 葉酸欠乏; "今日の神経疾患治療指針 (第2版)" (編集 水澤英洋, 鈴木則宏, 梶龍兒, 吉良潤一, 神田隆, 斉藤延人), 医学書院 (東京) 2103 pp761-763
  - 山本詞子, 石井亜紀子, 玉岡晃. 小児-9. 骨格筋画像検査が診断に有用であった小児型ポンペ病の1例; "ポンペ病症例集 早期診断・早期治療のために (第1版)" (編集 埜中征哉), Medical Tribune (東京) 2013; pp60-64

## 内科学 (皮膚科)

- 英文論文
- Arai M, Ikawa Y, Chujo S, Hamaguchi Y, Ishida W, Shirasaki F, Hasegawa M, Mukaida N, Fujimoto M, Takehara K. Chemokine receptors CCR2 and CX3CR1 regulate skin fibrosis in the mouse model of cytokine-induced systemic sclerosis. *J Dermatol Sci* 69(3):250-258, 2013
- Fujimoto M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Kaji K, Asano Y, Ogawa F, Yamaoka T, Fujikawa K, Tsukada T, Sato K, Echigo T, Hasegawa M, Takehara K. Autoantibodies to small ubiquitin-like modifier activating enzymes in Japanese patients with dermatomyositis: comparison with a UK Caucasian cohort. *Ann Rheum Dis* 72(1):151-153, 2013
- Fujisawa Y, Miyazono Y, Kawachi Y, Otsuka F. A case of sterile transient neonatal pustulosis presenting with large flaccid pustules. *Pediatr Dermatol* 30(6):e238-239, 2013

4. Fujisawa Y, Nakamura Y, Kawachi Y, Otsuka F. Docetaxel was effective in the management of metastatic angiosarcoma associated with disseminated intravascular coagulation syndrome. *Int J Dermatol* doi: 10.1111/j.1365-4632.2012.05671.x, 2013
5. Fujisawa Y, Nakamura Y, Kawachi Y, Otsuka F. Comparison between taxane-based chemotherapy with conventional surgery-based therapy for cutaneous angiosarcoma: a single-center experience. *J Dermatolog Treat* doi: 10.3109/09546634.2012.754839, 2013
6. Hamaguchi Y, Fujimoto M, Matsushita T, Kaji K, Komura K, Hasegawa M, Kodera M, Muroi E, Fujikawa K, Seishima M, Yamada H, Yamada R, Sato S, Takehara K, Kuwana M. Common and distinct clinical features in adult patients with anti-aminoacyl-tRNA synthetase antibodies: heterogeneity within the syndrome. *PLoS One* 8(4):e60442, 2013
7. Hamaguchi Y, Fujimoto M, Oishi K, Kitajima S, Wada T, Takehara K. Cutaneous Mycobacterium chelonae infection in a rheumatoid arthritis patient treated with etanercept. *Eur J Dermatol* 23(5):700-701, 2013
8. Hamaguchi Y, Yamada K, Kawano M, Fujimoto M, Takehara K. Prurigo nodularis-like skin eruptions in a patient with IgG4-related disease. *Eur J Dermatol* 23(4):541-542, 2013
9. Hara S, Henmi T, Kawakami A, Fujikawa K, Mukae H, Ishimatsu Y, Sakamoto N, Kakugawa T, Kaji K, Fujimoto M, Kuwana M, Tsukada T, Satoh K, Motomura M, Tamai M, Nakamura H, Ida H, Hayashi T, Origuchi T, Eguchi K, Kohno S. Clinical, serologic and magnetic resonance imaging of 3 cases of inflammatory myopathy with abundant macrophages in the Japanese population. *Rheumatol Int* 33(4):1059-1064, 2013
10. Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Ogawa F, Takahashi H, Tanaka S, Sato S, Takehara K. Serum chemokine levels as prognostic markers in patients with early systemic sclerosis: a multicenter, prospective, observational study. *Mod Rheumatol* 23(6):1076-1084, 2013
11. Hasegawa M, Fujimoto M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Takehara K. Augmented ICOS expression in patients with early diffuse cutaneous systemic sclerosis. *Rheumatology (Oxford)* 52(2):242-251, 2013
12. Hasegawa M, Hatta Y, Matsushita T, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Takehara K. Clinical and laboratory features dependent on age at onset in Japanese systemic sclerosis. *Mod Rheumatol* 23(5):913-919, 2013
13. Hasegawa M, Higashi K, Matsushita T, Hamaguchi Y, Saito K, Fujimoto M, Takehara K. Dermokine inhibits ELR(+)CXC chemokine expression and delays early skin wound healing. *J Dermatol Sci* 70(1):34-41, 2013

14. Hasegawa M, Imura-Kumada S, Matsushita T, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Takehara K. Anti-topoisomerase I antibody levels as serum markers of skin sclerosis in systemic sclerosis. *J Dermatol* 40(2):89-93, 2013
15. Honda N, Jinnin M, Kira-Etoh T, Makino K, Kajihara I, Makino T, Fukushima S, Inoue Y, Okamoto Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Ihn H. miR-150 down-regulation contributes to the constitutive type I collagen overexpression in scleroderma dermal fibroblasts via the induction of integrin beta3. *Am J Pathol* 182(1):206-216, 2013
16. Horai Y, Isomoto E, Koga T, Okada A, Kawashiri SY, Tamai M, Yamasaki S, Nakamura H, Origuchi T, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Kuwana M, Kawakami A. Early diagnosis and treatment for remission of clinically amyopathic dermatomyositis complicated by rapid progress interstitial lung disease: a report of two cases. *Mod Rheumatol* 23(1):190-194, 2013
17. Huu DL, Matsushita T, Jin G, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Takehara K, Fujimoto M. FTY720 ameliorates murine sclerodermatous chronic graft-versus-host disease by promoting expansion of splenic regulatory cells and inhibiting immune cell infiltration into skin. *Arthritis Rheum* 65(6):1624-1635, 2013
18. Ishitsuka Y, Kawachi Y, Maruyama H, Taguchi S, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Otsuka F. Pituitary tumor transforming gene 1 induces tumor necrosis factor-alpha production from keratinocytes: implication for involvement in the pathophysiology of psoriasis. *J Invest Dermatol* 133(11):2566-2575, 2013
19. Ishitsuka Y, Kawachi Y, Taguchi S, Maruyama H, Nakamura Y, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Otsuka F. Pituitary tumor-transforming gene 1 as a proliferation marker lacking prognostic value in cutaneous squamous cell carcinoma. *Exp Dermatol* 22(5):318-322, 2013
20. Ito K, Imafuku S, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Nakayama J. Case report of anti-transcription intermediary factor-1-gamma/alpha antibody-positive dermatomyositis associated with gastric cancer and immunoglobulin G4-positive pulmonary inflammatory pseudotumor. *J Dermatol* 40(7):567-569, 2013
21. Ito T, Kimura S, Seto K, Warabi E, Kawachi Y, Shoda J, Tabuchi K, Yamagata K, Hasegawa S, Bukawa H, Ishii T, Yanagawa T. Peroxiredoxin I plays a protective role against UVA irradiation through reduction of oxidative stress. *J Dermatol Sci* doi: 10.1016/j.jdermsci.2013.12.002, 2013
22. Jin G, Hamaguchi Y, Matsushita T, Hasegawa M, Le Huu D, Ishiura N, Naka K, Hirao A, Takehara K, Fujimoto M. B-cell linker protein expression contributes to controlling allergic



- and autoimmune diseases by mediating IL-10 production in regulatory B cells. *J Allergy Clin Immunol* 131(6):1674-1682, 2013
23. Kasuya A, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Tokura Y. TIF1 $\gamma$ -overexpressing, highly progressive endometrial carcinoma in a patient with dermatomyositis positive for malignancy-associated anti-p155/140 autoantibody. *Acta Derm Venereol* 93(6):715-716, 2013
  24. Kawachi Y, Ishitsuka Y, Maruyama H, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Ichikawa E, Otsuka F. The POU domain transcription factors Oct-6 and Oct-11 negatively regulate loricrin gene expression in keratinocytes: association with AP-1 and Sp1/Sp3. *Arch Dermatol Res* 305(5):371-378, 2013
  25. Kawachi Y, Maruyama H, Ishitsuka Y, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ichikawa E, Furumura M, Otsuka F. NF1 gene silencing induces upregulation of vascular endothelial growth factor expression in both Schwann and non-Schwann cells. *Exp Dermatol* 22(4):262-265, 2013
  26. Kawachi Y, Obara S, Nakamura Y, Fujisawa Y, Nakamura Y, Ishii Y, Ichikawa E, Otsuka F. Ischemic leg ulcer due to vasculopathy associated with neurofibromatosis type 1. *Eur J Dermatol* 23(4):522-523, 2013
  27. Kawashima H, Kawachi Y, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Ichikawa E, Otsuka F. Circumscribed palmar hypokeratosis: implication of suppression of early epidermal differentiation. *Eur J Dermatol* 23(2):261-262, 2013
  28. Le Huu D, Matsushita T, Jin G, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Takehara K, Tedder TF, Fujimoto M. Donor-derived regulatory B cells are important for suppression of murine sclerodermatous chronic graft-versus-host disease. *Blood* 121(16):3274-3283, 2013
  29. Maruyama H, Fujisawa Y, Nakamura Y, Kawachi Y, Otsuka F. Penile preservation surgery in a case of erythroplasia of Queyrat involving the glans penis and distal urethra. *Int J Dermatol* doi: 10.1111/ijd.12103, 2013
  30. Nakamura Y, Fujisawa Y, Nakamura Y, Maruyama H, Furuta J, Kawachi Y, Otsuka F. Improvement of the sentinel lymph node detection rate of cervical sentinel lymph node biopsy using real-time fluorescence navigation with indocyanine green in head and neck skin cancer. *J Dermatol* 40(6):453-457, 2013
  31. Nakamura Y, Iino Y, Nakamura Y, Fujisawa Y, Kawachi Y, Otsuka F. Intraneural granular cell tumor of the dorsal ramus of a thoracic nerve. *Indian J Dermatol Venereol Leprol* 79(2):258-260, 2013
  32. Nakamura Y, Kawachi Y, Nakamura Y, Iino Y, Fujisawa Y, Otsuka F. Linear lupus

- erythematosus profundus involving the muscle with an intractable deep ulcer, successfully treated with surgical excision. *Eur J Dermatol* 23(4):535-536, 2013
33. Nakamura Y, Nakamura Y, Saito A, Fujisawa Y, Kawachi Y, Otsuka F. High-grade mucoepidermoid carcinoma of the columella successfully reconstructed using bilateral nasolabial flaps set up in a sandwich shape and an auricular cartilage graft after surgical resection. *J Dermatol* 40(11):911-914, 2013
34. Taguchi S, Kawachi Y, Fujisawa Y, Nakamura Y, Furuta J, Otsuka F. Psoriasiform eruption associated with graft-versus-host disease. *Cutis* 92(3):151-153, 2013
35. Ueda-Hayakawa I, Hasegawa M, Hamaguchi Y, Takehara K, Fujimoto M. Circulating  $\gamma/\delta$  T cells in systemic sclerosis exhibit activated phenotype and enhance gene expression of proalpha2(I) collagen of fibroblasts. *J Dermatol Sci* 69(1):54-60, 2013
36. Ueda-Hayakawa I, Kusuyama T, Isei T, Ozaki Y, Hamaguchi Y, Fujimoto M, Takehara K, Okamoto H. Cutaneous necrotizing vasculitis in a patient with dermatomyositis positive for anti-PL-7 antibody. *Eur J Dermatol* 23(6):889-890, 2013

2) 英文以外の論文

1. 飯野由佳, 中村泰大, 中村貴之, 藤澤康弘, 川内康弘, 大塚藤男, 鈴木英雄, 小田竜也, 野口恵美子. 鼻背の有棘細胞癌を合併した Muir-Torre 症候群. *Skin Cancer* 27(3):367-372, 2013
2. 石井良征, 境野昌行, 渡邊真也, 久保田典子, 鬼澤沙織, 丸山浩, 藤澤康弘, 中村泰大, 川内康弘, 大塚藤男. 有棘細胞癌およびボーエン病の全国調査. *Skin Cancer* 28(2):195-204, 2013
3. 石井良征, 境野昌行, 藤澤康弘, 中村泰大, 川内康弘, 大塚藤男. 基底細胞癌の全国調査. *Skin Cancer* 28(2):205-211, 2013
4. 小川文秀, 浅野善英, 石井貴之, 川上民裕, 小寺雅也, 藤本学. 創傷・熱傷ガイドライン第1版の課題と改訂に向けた取り組み 膠原病・血管炎に伴う皮膚潰瘍診療ガイドラインについて. *日本皮膚科学会雑誌* 123(13):2888-2891, 2013
5. 小原佐恵子, 石井良征, 川内康弘, 大塚藤男. 【代謝異常症】 硬化性粘液水腫の1例. *皮膚科の臨床* 55(13):1867-1870, 2013
6. 小原佐恵子, 中村泰大, 斉藤明允, 中村貴之, 藤澤康弘, 川内康弘, 大塚藤男. 隆起性皮膚線維肉腫転移巣に対してメシル酸イマチニブにて加療した2例. *Skin Cancer* 28(1):103-107, 2013
7. 小原佐恵子, 中村泰大, 藤澤康弘, 中村貴之, 川内康弘, 大塚藤男. 有棘細胞癌原発巣に

- に対する放射線療法の治療成績. *Skin Cancer* 28(1):94-97, 2013
8. 川内康弘, 新・皮膚科セミナリウム 角化症診療のカッティング・エッジ 表皮の酸化ストレスとその防御機構. *日本皮膚科学会雑誌* 123(10):1915-1921, 2013
  9. 齊藤明允, 石井良征, 小金丸博, 人見重美, 中村貴之, 古田淳一, 川内康弘, 大塚藤男. 【細菌・抗酸菌・スピロヘータ感染症】 神経梅毒を併発した悪性梅毒の1例. *皮膚科の臨床* 55(11):1382-1385, 2013
  10. 齊藤明允, 中村貴之, 越田隆介, 下條信威, 中村泰大, 藤澤康弘, 古田淳一, 川内康弘, 大塚藤男. 高齢者に生じた灯油皮膚炎の1例. *皮膚科の臨床* 55(5):619-622, 2013
  11. 齊藤明允, 中村泰大, 小原佐恵子, 中村貴之, 小林桂子, 藤澤康弘, 川内康弘, 大塚藤男. 放射線療法が奏功した Merkel 細胞癌の3例. *Skin Cancer* 27(3):373-378, 2013
  12. 斎藤佑希, 小林忠弘, 熊田朗子, 水野美幸, 平野貴士, 濱口儒人, 長谷川稔, 藤本学, 竹原和彦. 早期の治療によって救命できた急速進行性間質性肺炎合併抗 CADM-140 抗体陽性皮膚筋炎の2例. *皮膚科の臨床* 55(2):187-192, 2013
  13. 葉山愛弥, 石黒直子, 川島眞, 小関由美, 山中寿, 濱口儒人, 藤本学. 抗 MDA5 抗体(抗 CADM-140 抗体)陽性例にみられた一過性の皮膚筋炎症状. *日本皮膚科学会雑誌* 123(11):2079-2083, 2013
  14. 藤澤康弘. 「『術後補助療法(DAVFeron、フェロン療法、フェロン維持療法)は悪性黒色腫ステージ II・III 患者の予後を改善するか 831 例の解析』への質問」の回答. *日本皮膚科学会雑誌* 123(2):155-156, 2013
  15. 藤本学. 【リウマチ・膠原病における重要臓器障害と難治性病態-病態と治療の進歩】 トピックス 重要な臓器障害 皮膚・粘膜. *日本内科学会雑誌* 102(10):2591-2599, 2013
  16. 松本優香, 中村友紀, 正嶋千夏, 飯岡弘至, 大黒奈津子, 宮川史, 福本隆也, 小林信彦, 浅田秀夫, 杉江和馬, 濱口儒人, 藤本学. 抗 TIF1 抗体陽性皮膚筋炎の3例. *皮膚の科学* 12(4):285-291, 2013
  17. 丸山浩, 石井良征, 川島英恵, 田口詩路麻, 古田淳一, 川内康弘, 大塚藤男. 自家接種型を呈したスポロトリコーシス 当科におけるスポロトリコーシスの10年間の集計. *皮膚科の臨床* 55(8):987-991, 2013
  18. 山田延未, 伊藤美佳子, 小林桂子, 藤澤康弘. 著明な石灰化を伴った踵部の血管平滑筋腫の1例. *皮膚科の臨床* 55(2):223-227, 2013
- 4) 英文以外の著書
1. 川内康弘, 第4章. Rud 症候群; "忘れてはならない皮膚科症候群(第1版)" (編集 古江増孝, 土田哲也), 中山書店(東京) 2013; pp114-117

2. 藤澤康弘, 大塚藤男. 第 1 章. 皮膚悪性腫瘍の疫学調査 日本と外国の国際比較; "皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向" (編集 日本臨牀), 日本臨牀 (大阪) 2013; pp 7-12
3. 藤澤康弘. 第 5 章. 4. 基底細胞癌の発癌機序と関連遺伝子; "皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向" (編集 日本臨牀), 日本臨牀 (大阪) 2013; pp598-602
4. 古田淳一. リバステグミン使用で痒みや紅斑などの皮膚症状が出現し困っています. 皮膚症状に対する有効な対策を教えてください; "治療特別編集 認知症でお困りですか? - かかりつけ医のギモンにお答えします! - (第 1 版)" (編集 川畑信也), 南山堂 (東京) 2013; pp95-98

## 内科学（感染）

### 1) 英文論文

1. Kurihara Y, Hitomi S, Oishi T, Kondo T, Ebihara T, Funayama Y, Kawakami Y. Characteristics of bacteremia caused by extended-spectrum beta-lactamase-producing *Proteus mirabilis*. *J Infect Chemother* 19(5):799-805, 2013
2. Nakajima J, Hitomi S, Koganemaru H, Nakai Y. Isolation of *Staphylococcus epidermidis* intermediately resistant to vancomycin in a case of central venous catheter-associated bloodstream infection. *J Infect Chemother* 19(5):983-986, 2013

### 4) 英文以外の著書

1. 人見重美. シミアンヘルペス B ウイルス; "別冊日本臨牀新領域別症候群シリーズ No.26 神経症候群 I (第 2 版)" (編集 門脇孝, 永井良三), 日本臨牀社 (東京) 2013; pp547-552

## 外科学（乳腺・代謝内分泌）

### 1) 英文論文

1. Bando H. Issues of concern in risk assessment, genetic counseling, and genetic testing of younger breast cancer patients in Japan. *Breast Cancer* doi:10.1007/s12282-013-0477-z, 2013
2. Kiyomatsu H, Tanaka Y, Ikeda T, Iguchi-Manaka A, Bando H, Hara H. Extreme response to nab-paclitaxel and trastuzumab treatment in two patients with locally advanced or recurrent breast cancer. *International Cancer Conference Journal* doi:10.1007/s13691-013-0112-z,

2013

3. Ohno S, Chow LW, Sato N, Masuda N, Sasano H, Takahashi F, Bando H, Iwata H, Morimoto T, Kamigaki S, Nakayama T, Nakamura S, Kuroi K, Aogi K, Kashiwaba M, Yamashita H, Hisamatsu K, Ito Y, Yamamoto Y, Ueno T, Fakhrejehani E, Yoshida N, Toi M. Randomized trial of preoperative docetaxel with or without capecitabine after 4 cycles of 5-fluorouracil-epirubicin-cyclophosphamide (FEC) in early-stage breast cancer: exploratory analyses identify Ki67 as a predictive biomarker for response to neoadjuvant chemotherapy. *Breast Cancer Res Treat* 142(1):69-80, 2013

3) 英文著書

1. Fujimori M, Hara H, Tsutsui H. CQ49. Does TSH Suppression Therapy After Surgery for Differentiated Thyroid Carcinoma Improve Survival?; in "Treatment of Thyroid Tumor (1st edition)", Springer (Tokyo) 2013; pp289
2. Fujimori M, Hara H, Tsutsui H. CQ50. Is Serum Thyroglobulin Measurement Useful as a Marker of Carcinoma Recurrence After Surgery?; in "Treatment of Thyroid Tumor (1st edition)", Springer (Tokyo) 2013; pp291
3. Fujimori M, Hara H, Tsutsui H. CQ51. Are Measurements of Calcitonin and CEA Useful as Markers of Recurrence After Surgery for Medullary Carcinoma?; in "Treatment of Thyroid Tumor (1st edition)", Springer (Tokyo) 2013; pp293
4. Fujimori M, Hara H, Tsutsui H. CQ52. What Are Useful Imaging Studies to Detect Lesions of Recurrence for Medullary Carcinoma with Elevation of Postoperative Calcitonin Level?; in "Treatment of Thyroid Tumor (1st edition)", Springer (Tokyo) 2013; pp295
5. Fujimori M, Hara H, Tsutsui H. CQ53. Is Chemotherapy for Advanced Thyroid Carcinoma Effective?; in "Treatment of Thyroid Tumor (1st edition)", Springer (Tokyo) 2013; pp299
6. Fujimori M, Hara H, Tsutsui H. CQ54. Is Percutaneous Ethanol Injection Therapy Effective for Local or Lymph Node Recurrence and Bone Metastasis?; in "Treatment of Thyroid Tumor (1st edition)", Springer (Tokyo) 2013; pp301
7. Fujimori M, Hara H, Tsutsui H. CQ55. Are Alternate Therapies Effective for Thyroid Carcinoma?; in "Treatment of Thyroid Tumor (1st edition)", Springer (Tokyo) 2013; pp303
8. Fujimori M, Hara H, Tsutsui H. Column 19. How Long Should Patients with Differentiated Thyroid Carcinoma Be Followed After Surgery?; in "Treatment of Thyroid Tumor (1st edition)", Springer (Tokyo) 2013; pp305

#### 4) 英文以外の著書

1. 原尚人. 分化がん –診療ストラテジー-特集 甲状腺がん- 病態と治療の Update; "最新医学 (第 68 巻・第 9 号) " 最新医学社 (大阪) 2013; pp31(1855)
2. 増田慎三, 原文堅, 松本光史, 坂東裕子, 柏葉匡寛, 山下年成, 相良安昭. 座談会 HER2 陽性進行・再発乳癌の治療方針; "Pharma Medica (第 31 巻 6 号)", メディカルレビュー社 (大阪) 2013

## 外科学 (形成)

#### 1) 英文論文

1. Adachi K, Togashi S, Sasaki K, Sekido M. Laser therapy treatment of phacomatosis pigmentovascularis type II: two case reports. *J Med Case Rep* 7(1):55, 2013
2. Adachi K, Togashi S, Yanagawa T, Ishibashi N, Goto T, Yamagata K, Onizawa K, Sasaki H, Sasaki K, Bukawa H, Sekido M. Presurgical orthopedic treatment ameliorates postoperative nasal deformity after cheiloplasty. *Ann Plast Surg* 71(2):170-175, 2013

#### 2) 英文以外の論文

1. 諫山哲也, 関堂充, 佐々木薫, 足立孝二, 富樫真二. Polytetrafluoroethylene パッチ使用後に再発した腹壁癒痕ヘルニアに対する Components Separation 法の 2 例. 日本形成外科学会会誌 33(10):766-771, 2013
2. 大島純弥, 関堂充, 佐々木正浩, 足立孝二, 佐々木薫, 富樫真二. 遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁を用いた肥満を伴う乳癌切除後巨大乳房即時再建の 1 例. 日本マイクロサージャリー学会会誌 26(1):33-37, 2013
3. 笠井文博, 関堂充, 足立孝二. 遊離空腸移植時に認めた空腸脂肪腫の 1 例. 日本マイクロサージャリー学会会誌 26(3):115-119, 2013
4. 玉田崇和, 富樫真二, 関堂充. 口窩重複症の 2 例. 日本形成外科学会会誌 33(8):628-634, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 佐々木薫. 第 5 章. 皮膚のトラブル; "家族のための在宅診療実践ガイドブック (第 1 版)" (編著 医療法人社団悠翔会、監修 佐々木淳), 幻冬舎メディアコンサルティング (東京) 2013; pp171-199
2. マイクロサージャリーにおける合併症とその対策; "PEPARS" (編集 関堂充), 全日本病

## 外科学 (呼吸器)

### 1) 英文論文

1. Goto Y, Hiramatsu Y, Ageyama N, Sato S, Kanemoto S, Sato Y, Sakakibara Y. Cardiopulmonary bypass induces recruitment of bone marrow-derived leukocytes to the lungs in monkeys. *Ann Thorac Surg* doi: 10.1016/j.athoracsur.2013.10.072, 2013
2. Ito H, Matsushita S, Hyodo K, Sato Y, Sakakibara Y. Using synchrotron radiation angiography with a highly sensitive detector to identify impaired peripheral perfusion in rat pulmonary emphysema. *J Synchrotron Radiat* 20(Pt 2):376-382, 2013
3. Ito H, Matsushita S, Ishikawa S, Goto Y, Sakai M, Onizuka M, Sato Y, Sakakibara Y. Significant correlation between endothelial nitric oxide synthase (eNOS) expression and alveolar repair in elastase-induced rat pulmonary emphysema. *Surg Today* 43(3):293-299, 2013
4. Sakai M, Onuki T, Inagaki M, Yamaoka M, Kitazawa S, Kobayashi K, Iguchi K, Kikuchi S, Goto Y, Onizuka M, Sato Y. Early-stage thymic carcinoma: is adjuvant therapy required? *J Thorac Dis* 5(2):161-164, 2013
5. Usui S, Minami Y, Shiozawa T, Iyama S, Satomi K, Sakashita S, Sato Y, Noguchi M. Differences in the prognostic implications of vascular invasion between lung adenocarcinoma and squamous cell carcinoma. *Lung Cancer* 82(3):407-412, 2013

### 2) 英文以外の論文

1. 後藤行延, 上田翔, 菊池慎二, 薄井真悟, 佐藤幸夫, 南優子, 野口雅之. 肺癌との鑑別を要した nodular lymphoid hyperplasia の 1 例. *肺癌* 53(7):899-900, 2013

## 外科学 (循環器)

### 1) 英文論文

1. Ito H, Matsushita S, Hyodo K, Sato Y, Sakakibara Y. Using synchrotron radiation angiography with a highly sensitive detector to identify impaired peripheral perfusion in rat pulmonary emphysema. *J Synchrotron Radiat* 20(Pt 2):376-382, 2013
2. Ito H, Matsushita S, Ishikawa S, Goto Y, Sakai M, Onizuka M, Sato Y, Sakakibara Y. Significant correlation between endothelial nitric oxide synthase (eNOS) expression and

- alveolar repair in elastase-induced rat pulmonary emphysema. *Surg Today* 43(3):293-299, 2013
3. Morizumi S, Hiramatsu Y, Matsuzaki K, Goto Y, Sato S, Abe M, Kato H, Matsubara M, Sakakibara Y. Early heparin administration attenuates tissue factor-mediated thrombin generation during simulated cardiopulmonary bypass. *J Card Surg* doi: 10.1111/jocs.12254, 2013
  4. Sasaki K, Matsushita S, Sato F, Tokunaga C, Hyodo K, Sakakibara Y. Cardiac sympathetic activity assessed by heart rate variability indicates myocardial ischemia on cold exposure in diabetes. *Annals of Vascular Disease* 6(3):583-589, 2013
  5. Tokunaga C, Hiramatsu Y, Kanemoto S, Takahashi-Igari M, Abe M, Horigome H, Sakakibara Y. Effects of landiolol hydrochloride on intractable tachyarrhythmia after pediatric cardiac surgery. *Ann Thorac Surg* 95(5):1685-1688, 2013

#### 2) 英文以外の論文

1. 今井章人, 渡邊寛, 佐藤藤夫, 平松祐司, 榎原謙. 肋間動脈瘤と脊髄神経症状を合併した成人型大動脈縮窄症の1手術例. 日本血管外科学会雑誌 22(4):747 2013
2. 古垣達也, 高橋宏, 茂木芳賢, 森谷忠生, 川上康, 榎原謙. 二度にわたる自然災害の被害(大震災・竜巻)と防災訓練の効果. 体外循環技術 40(1):67-71, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 榎原謙. 桐で生い立つ若者たち; "桐医会会報(第1版)", 桐医会(茨城) 2013; pp26-38
2. 榎原謙. 筑波大学における新しい医学教育の祖. 堀原一; "医学教育(第44巻第6号)", 篠原出版新社(東京) 2013; pp457

## 外科学 (小児)

#### 1) 英文論文

1. Fujishiro J, Masumoto K, Urita Y, Shinkai T, Gotoh C. Pancreatic complications in pediatric choledochal cysts. *J Pediatr Surg* 48(9):1897-1902, 2013
2. Jimbo T, Masumoto K, Urita Y, Takayasu H, Shinkai T, Uesugi T, Gotoh C, Sakamoto N, Sasaki T, Oto T, Fukushima T, Noguchi E, Nakano Y. Nevoid basal cell carcinoma syndrome with a unilateral giant ovarian fibroma in a Japanese 6-year-old girl. *Eur J Pediatr* doi: 10.1007/s00431-013-2200-7, 2013



3. Kanazawa H, Sakamoto S, Fukuda A, Uchida H, Hamano I, Shigeta T, Kobayashi M, Karaki C, Tanaka H, Kasahara M. Living-donor liver transplantation with hyperreduced left lateral segment grafts: a single-center experience. *Transplantation* 95(5):750-754, 2013
4. Shigeta T, Matsuno N, Obara H, Kanazawa H, Tanaka H, Fukuda A, Sakamoto S, Kasahara M, Mizunuma H, Enosawa S. Impact of rewarming preservation by continuous machine perfusion: improved post-transplant recovery in pigs. *Transplant Proc* 45(5):1684-1689, 2013
5. Takazawa S, Uchida H, Kawashima H, Tanaka Y, Sato K, Jimbo T, Deie K, Koiwai K, Nomura K, Iwanaka T. Massive hemorrhage after Kasai portoenterostomy in a patient with a congenital extrahepatic portosystemic shunt, malrotation and a double aortic arch: report of a case. *Surg Today* doi: 10.1007/s00595-013-0605-6, 2013
6. Tanaka H, Arai K, Fujino A, Takeda N, Watanabe T, Fuchimoto Y, Kanamori Y. Treatment for hypergranulation at gastrostomy sites with sprinkling salt in paediatric patients. *J Wound Care* 22(1):17-18, 20, 2013
7. Tanaka H, Kitano Y, Takayasu H, Matuda S, Yamada W, Kasahara M, Genma Y, Kiyotani C, Mori T, Matsuoka K, Nakazawa A, Fuchimoto Y, Kanamori Y. Pancreatoblastoma with portal vein involvement in a child: A case report. *J Solid Tumors* 3(2): 44-49, 2013
8. Teshiba R, Tajiri T, Sumitomo K, Masumoto K, Taguchi T, Yamamoto K. Identification of a KEAP1 germline mutation in a family with multinodular goitre. *PLoS One* 8(5):e65141, 2013
9. Watanabe T, Takahashi M, Amari S, Ohno M, Sato K, Tanaka H, Miyasaka M, Fuchimoto Y, Ito Y, Kanamori Y. Olive oil enema in a pre-term infant with milk curd syndrome. *Pediatr Int* 55(4):e93-95, 2013
10. Yamada K, Kanamori Y, Tanaka H, Fujino A, Watanabe T, Takeda N, Takahashi M, Yamada W, Ishihama H. Congenital prepubic sinus associated with a urachal remnant: report of a case. *Surg Today* 43(11):1330-1332, 2013

2) 英文以外の論文

1. 上杉達, 増本幸二. 代表的な症候の鑑別診断と初期対応 脱水. 臨床外科 68(5):526-529, 2013
2. 大城桂子, 水本齊志, 石川仁, 奥村敏之, 坪井康次, 榮武二, 福島敬, 須磨崎亮, 増本幸二, 金子道夫, 櫻井英幸. 小児固形がんに対する陽子線治療. 小児血液・がん学会雑誌 50(3):331-334, 2013

3. 笠原群生, 濱野郁美, 内田孟, 重田孝信, 福田晃也, 金澤寛之, 小林めぐみ, 北嶋俊寛, 田中秀明, 阪本靖介. 自施設における小児脳死分割肝移植 6 例の成績. 日本外科学会雑誌 114(1):66-70, 2013
4. 神保教広, 内田広夫, 田中裕次郎, 佐藤かおり, 高澤慎也, 出家亨一, 小岩井和樹. 腸重積症に対する腹腔鏡下整復術の有用性. 日本小児外科学会雑誌 49(1):25-28, 2013
5. 高橋正貴, 渡邊稔彦, 田中秀明, 藤野明浩, 武田憲子, 山田和歌, 山田耕嗣, 石濱秀雄, 澁本康史, 金森豊. 術前に回腸腫瘍を疑われた、異所性胃粘膜を先進部とした腸重積症の 1 例. 日本小児外科学会雑誌 49(2):225-230, 2013
6. 高安肇, 田中潔, 渡辺栄一郎, 渡邊昌彦. 対光反射の減弱および回腸固有筋層における  $\alpha$ SMA 染色異常を認めた megacystis microcolon intestinal hypoperistalsis syndrome(MMIHS)の 1 例. 日本小児外科学会雑誌 49(6):1112-1116, 2013
7. 藤代準, 小野健太郎, 星野論子, 新開統子, 瓜田泰久, 五藤周, 福島紘子, 福島敬, 金子道夫, 増本幸二. 小児進行副腎皮質癌の 1 例. 日本小児外科学会雑誌 49(2):246-250, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. "小児の静脈栄養マニュアル (第 1 版)" (編集 土岐彰, 増本幸二), メディカルビュー社 (東京) 2013; 250 ページ
2. 新開統子, 増本幸二. I 総論. 合併症対策と予防. カテーテル関連合併症; "小児の静脈栄養マニュアル (第 1 版)" (編集 土岐彰, 増本幸二), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp84-97
3. 高安肇, 田中潔, 渡辺栄一郎, 渡邊昌彦. 第 4 章. 4. 極低出生体重児における鼠径ヘルニア; "低出生体重児の外科 (第 1 版)" (編集 窪田昭男), 永井書店 (大阪) 2103; pp40-44
4. 田中秀明. 胆道閉鎖症; "今日の臨床サポート" (監修 五十嵐隆; 編集 永井良三, 福井次矢, 木村健二郎, 上村直実, 桑島巖, 今井靖, 嶋田元), エルゼビア・ジャパン (東京) 2013; pp<http://clinicalsup.jp/8> ページ
5. 濱田吉則, 増本幸二. Hirschsprung 病類縁疾患 : Segmental dilatation of intestine; "厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業, 小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成, 平成 24 年度総括・分担研究報告書" (編集 田口智章), 厚生労働省 (東京) 2013; pp38-43
6. 藤代準, 増本幸二. . 基本手技. CAPD; "スタンダード小児外科手術 押さえておきたい手技のポイント (第 1 版)" (監修 田口智章, 岩中督; 編集 猪股裕紀洋, 黒田達夫, 奥山宏臣), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp22-25
7. 増本幸二. . 基本手技. 中心静脈路の確保, ; "スタンダード小児外科手術 押さえてお

- きたい手技のポイント(第1版)”(監修 田口智章, 岩中督; 編集 猪股裕紀洋, 黒田達夫, 奥山宏臣), メジカルビュー社(東京) 2013; pp12-19
8. 増本幸二. . 基本手技. ECMO; "スタンダード小児外科手術 押さえておきたい手技のポイント(第1版)”(監修 田口智章, 岩中督; 編集 猪股裕紀洋, 黒田達夫, 奥山宏臣), メジカルビュー社(東京) 2013; pp20-21
  9. 増本幸二. . 腹部. 腸管延長術(STEP法); "スタンダード小児外科手術 押さえておきたい手技のポイント(第1版)”(監修 田口智章, 岩中督; 編集 猪股裕紀洋, 黒田達夫, 奥山宏臣), メジカルビュー社(東京) 2013; pp181-183
  10. 増本幸二. . 小児の栄養管理. 小児の栄養アセスメント; "静脈経腸栄養ガイドライン: 静脈・経腸栄養を適正に実施するためのガイドライン(第3版)”(編集 日本静脈経腸栄養学会), 照林社(東京) 2013; pp178-179
  11. 増本幸二. . 小児の栄養管理. 新生児の栄養管理の原則; "静脈経腸栄養ガイドライン: 静脈・経腸栄養を適正に実施するためのガイドライン(第3版)”(編集 日本静脈経腸栄養学会), 照林社(東京) 2013; pp199-200
  12. 増本幸二. . 小児の栄養管理. 新生児の静脈栄養; "静脈経腸栄養ガイドライン: 静脈・経腸栄養を適正に実施するためのガイドライン(第3版)”(編集 日本静脈経腸栄養学会), 照林社(東京) 2013; pp201-210
  13. 増本幸二. . 小児の栄養管理. 新生児の静脈栄養; "静脈経腸栄養ガイドライン: 静脈・経腸栄養を適正に実施するためのガイドライン(第3版)”(編集 日本静脈経腸栄養学会), 照林社(東京) 2013; pp211-214
  14. 増本幸二. . 小児の病態別栄養管理. 慢性肺疾患; "静脈経腸栄養ガイドライン: 静脈・経腸栄養を適正に実施するためのガイドライン(第3版)”(編集 日本静脈経腸栄養学会), 照林社(東京) 2013; pp407-409
  15. 増本幸二. . 小児の病態別栄養管理. 慢性腎臓病; "静脈経腸栄養ガイドライン: 静脈・経腸栄養を適正に実施するためのガイドライン(第3版)”(編集 日本静脈経腸栄養学会), 照林社(東京) 2013; pp410-414
  16. 増本幸二. 静脈栄養を受けている新生児における高血糖および低血糖; "米国静脈経腸栄養学会: 成人および小児患者に対する静脈・経腸栄養の施行に関する臨床ガイドライン”(監訳 大柳治正), 大塚製薬工場(東京) 2013; pp1-10

## 外科学（消化器）

### 1) 英文論文

1. Akashi Y, Oda T, Ohara Y, Miyamoto R, Hashimoto S, Enomoto T, Yamada K, Kobayashi A, Fukunaga K, Ohkohchi N. Histological advantages of the tumor graft: a murine model involving transplantation of human pancreatic cancer tissue fragments. *Pancreas* 42(8):1275-1282, 2013
2. Kudo T, Sato T, Hagiwara K, Kozuma Y, Yamaguchi T, Ikehara Y, Hamada M, Matsumoto K, Ema M, Murata S, Ohkohchi N, Narimatsu H, Takahashi S. C1galt1-deficient mice exhibit thrombocytopenia due to abnormal terminal differentiation of megakaryocytes. *Blood* 122(9):1649-1657, 2013
3. Kurokawa T, Yamamoto M, Ueda T, Enomoto T, Inoue K, Uchida A, Kikuchi K, Ohkohchi N. Gastric bronchogenic cyst histologically diagnosed after laparoscopic excision: report of a case. *Int Surg* 98(4):455-460, 2013
4. Maruyama T, Murata S, Takahashi K, Tamura T, Nozaki R, Ikeda N, Fukunaga K, Oda T, Sasaki R, Ohkohchi N. Platelet transfusion improves liver function in patients with chronic liver disease and cirrhosis. *Tohoku J Exp Med* 229(3):213-220, 2013
5. Matsuda A, Kuno A, Matsuzaki H, Kawamoto T, Shikanai T, Nakanuma Y, Yamamoto M, Ohkohchi N, Ikehara Y, Shoda J, Hirabayashi J, Narimatsu H. Glycoproteomics-based cancer marker discovery adopting dual enrichment with Wisteria floribunda agglutinin for high specific glyco-diagnosis of cholangiocarcinoma. *J Proteomics* 85:1-11, 2013
6. Murata S, Shiragami R, Kosugi C, Tezuka T, Yamazaki M, Hirano A, Yoshimura Y, Suzuki M, Shuto K, Ohkohchi N, Koda K. Antitumor effect of 1, 8-cineole against colon cancer. *Oncol Rep* 30(6):2647-2652, 2013
7. Nowatari T, Murata S, Fukunaga K, Ohkohchi N. Role of platelets in chronic liver disease and acute liver injury. *Hepatol Res* doi: 10.1111/hepr.12205, 2013
8. Nozaki R, Murata S, Nowatari T, Maruyama T, Ikeda N, Kawasaki T, Fukunaga K, Ohkohchi N. Effects of thrombopoietin on growth of hepatocellular carcinoma: Is thrombopoietin therapy for liver disease safe or not? *Hepatol Res* 43(6):610-620, 2013
9. Ogawa K, Kondo T, Tamura T, Matsumura H, Fukunaga K, Oda T, Ohkohchi N. Influence of Kupffer cells and platelets on ischemia-reperfusion injury in mild steatotic liver. *World J Gastroenterol* 19(9):1396-1404, 2013
10. Ohara Y, Oda T, Sugano M, Hashimoto S, Enomoto T, Yamada K, Akashi Y, Miyamoto R, Kobayashi A, Fukunaga K, Morishita Y, Ohkohchi N. Histological and prognostic importance

- of CD44(+) /CD24(+) /EpCAM(+) expression in clinical pancreatic cancer. *Cancer Sci* 104(8):1127-1134, 2013
11. Oshiro Y, Sasaki R, Fukunaga K, Kondo T, Oda T, Takahashi H, Ohkohchi N. Inflammation-based prognostic score is a useful predictor of postoperative outcome in patients with extrahepatic cholangiocarcinoma. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 20(3):389-395, 2013
  12. Oshiro Y, Sasaki R, Nasu K, Ohkohchi N. A novel preoperative fusion analysis using three-dimensional MDCT combined with three-dimensional MRI for patients with hilar cholangiocarcinoma. *Clin Imaging* 37(4):772-774, 2013
  13. Oshiro Y, Sasaki R, Takeguchi T, Ibukuro K, Ohkohchi N. Analysis of the caudate artery with three-dimensional imaging. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* doi:10.1007/s00534-012-0589-4, 2013
  14. Oshiro Y, Takahashi K, Sasaki R, Kondo T, Sakashita S, Ohkohchi N. Adjuvant surgery for advanced extrahepatic cholangiocarcinoma. *World J Gastroenterol* 19(40):6934-6938, 2013
  15. Shiragami R, Murata S, Kosugi C, Tezuka T, Yamazaki M, Hirano A, Yoshimura Y, Suzuki M, Shuto K, Koda K. Enhanced antitumor activity of cerulenin combined with oxaliplatin in human colon cancer cells. *Int J Oncol* 43(2):431-438, 2013
  16. Takahashi A, Yamamoto Y, Yasunaga M, Koga Y, Kuroda J, Takigahira M, Harada M, Saito H, Hayashi T, Kato Y, Kinoshita T, Ohkohchi N, Hyodo I, Matsumura Y. NC-6300, an epirubicin-incorporating micelle, extends the antitumor effect and reduces the cardiotoxicity of epirubicin. *Cancer Sci* 104(7):920-925, 2013
  17. Takahashi K, Kozuma Y, Suzuki H, Tamura T, Maruyama T, Fukunaga K, Murata S, Ohkohchi N. Human platelets promote liver regeneration with Kupffer cells in SCID mice. *J Surg Res* 180(1):62-72, 2013
  18. Takahashi K, Murata S, Fukunaga K, Ohkohchi N. Human platelets inhibit liver fibrosis in severe combined immunodeficiency mice. *World J Gastroenterol* 19(32):5250-5260, 2013
  19. Takahashi K, Murata S, Ohkohchi N. Novel therapy for liver regeneration by increasing the number of platelets. *Surg Today* 43(10):1081-1087, 2013
  20. Takahashi K, Murata S, Ohkohchi N. Platelet therapy: A novel strategy for liver regeneration, anti-fibrosis, and anti-apoptosis. *World J Surg Proced* 3(3):29-36, 2013
  21. Takahashi K, Terashima H, Kohno K, Ohkohchi N. A stand-alone synbiotic treatment for the prevention of d-lactic acidosis in short bowel syndrome. *Int Surg* 98(2):110-113, 2013
  22. Takahashi K, Tsukamoto S, Saito K, Ohkohchi N, Hirayama K. Complete response to

multidisciplinary therapy in a patient with primary gastric choriocarcinoma. *World J Gastroenterol* 19(31):5187-5194, 2013

23. Tamura T, Kondo T, Ogawa K, Fukunaga K, Ohkohchi N. Protective effect of heme oxygenase-1 on hepatic ischemia-reperfusion injury through inhibition of platelet adhesion to the sinusoids. *J Gastroenterol Hepatol* 28(4):700-706, 2013
24. Yoneyama S, Terashima H, Yamaguchi R, Tadano S, Ohkohchi N. The manner of the inflammation-boosting effect caused by acute hyperglycemia secondary to overfeeding and the effects of insulin therapy in a rat model of sepsis. *J Surg Res* 185(1):380-387, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 岩崎健一, 寺島秀夫, 久倉勝治, 佐野直樹, 宮本良一, 稲川智, 大河内信弘. 右側大動脈弓を伴う食道・胃同時性重複癌の1切除例. 日本消化器外科学会雑誌 46(8):564-572, 2013
2. 下村治, 福永潔, 中野順隆, 野渡剛之, 小林昭彦, 小田竜也, 佐々木亮孝, 山田健二, 野口雅之, 大河内信弘. 肝切除後極めて急激な再発を認めた肉腫様変化を伴う G-CSF 産生肝内胆管癌の1例. 日本消化器外科学会雑誌 46(1):41-49, 2013
3. 高橋一広, 塚本茂樹, 高橋さつき, 斎藤昌宏, 大河内信弘, 平山克. 腹直筋皮弁で再建した直腸癌による Fournier 壊疽の1例. 日本臨床外科学会雑誌 74(4):1086-1091, 2013
4. 丹野香織, 藤部奈津実, 寺田えり子, 左津前剛, 高橋宏, 高橋伸二, 大河内信弘. 歩行入室導入開始後の手術室看護師の意識変化. 日本手術医学会誌 34(3):252-253, 2013
5. 藤田規彦, 高橋宏, 左津前剛, 高橋伸二, 寺田えり子, 澤田幸子, 大河内信弘. 手術室への患者歩行入室が麻酔導入までの時間に及ぼす影響. 日本手術医学会誌 34(2):141-144, 2013
6. 宮崎貴寛, 高野恵輔, 久倉勝治, 榎本剛史, 稲川智, 大河内信弘. 陰圧閉鎖療法が奏効した難治性創離開の3例. 日本臨床外科学会雑誌 74(8):2337-2341, 2013
7. 宮崎貴寛, 田村孝史, 榎本剛史, 久倉勝治, 稲川智, 大河内信弘. 破裂危険のある内腸骨動脈瘤を合併した高度狭窄を伴う S 状結腸癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌 74(3):750-755, 2013

## 3) 英文著書

1. Maruyama T, Kawasaki T, Hisakura K, Murata S, Matsuo R, Ohkohchi N. "New therapy for liver disease by platelets (1st edition)", Nova Biomedical (Berlin) 2013; E-book

## 外科学（脳神経）

### 1) 英文論文

1. Akimoto K, Kimura K, Nagano M, Takano S, To'a Salazar G, Yamashita T, Ohneda O. Umbilical cord blood-derived mesenchymal stem cells inhibit, but adipose tissue-derived mesenchymal stem cells promote, glioblastoma multiforme proliferation. *Stem Cells Dev* 22(9):1370-1386, 2013
2. Aoki T, Nishikawa R, Sugiyama K, Nonoguchi N, Kawabata N, Mishima K, Adachi JI, Kurisu K, Yamasaki F, Tominaga T, Kumabe T, Ueki K, Higuchi F, Yamamoto T, Ishikawa E, Takeshima H, Yamashita S, Arita K, Hirano H, Yamada S, Matsutani M. A Multicenter Phase I/II Study of the BCNU Implant (Gliadel Wafer) for Japanese Patients with Malignant Gliomas. *Neurol Med Chir (Tokyo)* Epub 2013 Nov. 29.
3. Bodhak S, Kikuchi M, Sogo Y, Tsurushima H, Ito A, Oyane A. Calcium phosphate coating on a bioresorbable hydroxyapatite/collagen nanocomposite for surface functionalization. *Chem Lett* 42:1029-1031, 2013
4. Hara T, Akutsu H, Yamamoto T, Ishikawa E, Matsuda M, Matsumura A. Cushing's disease presenting with gastrointestinal perforation: a case report. *Endocrinology, diabetes and metabolism. Case reports* Nov:1-4, 2013
5. Hara T, Matsuda M, Watanabe S, Nakai K, Yamamoto T, Matsumura A. Remote cerebellar hemorrhage after removal of a supratentorial glioma without perioperative CSF loss: A case report. *Case Rep Surg* 2013: 305039, 2013
6. Hirohata T, Asano K, Ogawa Y, Takano S, Amano K, Isozaki O, Iwai Y, Sakata K, Fukuhara N, Nishioka H, Yamada S, Fujio S, Arita K, Takano K, Tominaga A, Hizuka N, Ikeda H, Osamura RY, Tahara S, Ishii Y, Kawamata T, Shimatsu A, Teramoto A, Matsuno A. DNA mismatch repair protein (MSH6) correlated with the responses of atypical pituitary adenomas and pituitary carcinomas to temozolomide: the national cooperative study by the Japan Society for Hypothalamic and Pituitary Tumors. *J Clin Endocrinol Metab* 98(3):1130-1136, 2013
7. Ito Y, Kato N, Matsumura A, Sonobe M. Hemodynamic instability increases new ischemic brain lesions on diffusion-weighted imaging after carotid artery stenting. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(6):375-380, 2013
8. Ito Y, Tsurushima H, Sato M, Ito A, Oyane A, Sogo Y, Matsumura A. Angiogenesis therapy for brain infarction using a slow-releasing drug delivery system for fibroblast growth factor 2. *Biochem Biophys Res Commun* 432(1):182-187, 2013

9. Kaneko MK, Morita S, Tsujimoto Y, Yanagiya R, Nasu K, Sasaki H, Hozumi Y, Goto K, Natsume A, Watanabe M, Kumabe T, Takano S, Kato Y. Establishment of novel monoclonal antibodies KMab-1 and MMab-1 specific for IDH2 mutations. *Biol Biophys Res Commun* 432:40-45, 2013
10. Kin H, Ishikawa E, Takano S, Ayuzawa S, Matsushita A, Muragaki Y, Aiyama H, Sakamoto N, Yamamoto T, Matsumura A. Language areas involving the inferior temporal cortex on intraoperative mapping in a bilingual patient with glioblastoma. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(4):256-258, 2013
11. Matsubara T, Ayuzawa S, Aoki T, Fujimoto A, Osuka S, Matsumura A. The patient had a normal magnetic resonance imaging and temporal lobe epilepsy secondary to a porencephalic cyst but showed structural lesions (hippocampal sclerosis). *Epilepsy & Behavior Case Reports* 1:153-156, 2013
12. Matsubara T, Ayuzawa S, Aoki T, Ikeda G, Shiigai M, Matsumura A. Cerebral Venous Thrombosis after Ventriculoperitoneal Shunting: A Case Report. *Neurol Med Chir (Tokyo)* Epub 2013 Nov. 20.
13. Matsubara T, Ishikawa E, Hirata K, Matsuda M, Akutsu H, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura A. A New Mechanism of Cerebrospinal Fluid Leakage after Lumboperitoneal Shunt: A Theory of Shunt Side Hole-Case Report. *Neurol Med Chir (Tokyo)* Epub 2013 Dec. 5
14. Mizumoto M, Okumura T, Ishikawa E, Yamamoto T, Takano S, Matsumura A, Oshiro Y, Ishikawa H, Sakurai H, Tsuboi K. Reirradiation for recurrent malignant brain tumor with radiotherapy or proton beam therapy. Technical considerations based on experience at a single institution. *Strahlenther Onkol* 189(8):656-663, 2013
15. Muragaki Y, Akimoto J, Maruyama T, Iseki H, Ikuta S, Nitta M, Maebayashi K, Saito T, Okada Y, Kaneko S, Matsumura A, Kuroiwa T, Karasawa K, Nakazato Y, Kayama T. Phase II clinical study on intraoperative photodynamic therapy with talaporfin sodium and semiconductor laser in patients with malignant brain tumors. *J Neurosurg* 119(4):845-852, 2013
16. Nakajima J, Hitomi S, Koganemaru H, Nakai Y. Isolation of Staphylococcus epidermidis intermediately resistant to vancomycin in a case of central venous catheter-associated bloodstream infection. *J Infect Chemother* 19(5):983-986, 2013
17. Nguyen TNH, Akutsu H, Nouguch iS, Tsunoda T, Sasak iM, Tsurushima H, Matsumura A. Reversible focal radiological changes due to non-convulsive status epilepticus of the right



- parietooccipital lobe. *Turk Neurosurg* 23(2):278-281, 2013
18. Onuma K, Ishikawa E, Matsuda M, Hirata K, Osuka S, Yamamoto T, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura A. Clinical characteristics and neuroimaging findings in 12 cases of recurrent glioblastoma with communicating hydrocephalus. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(7):474-481, 2013
  19. Osuka S, Sampetean O, Shimizu T, Saga I, Onishi N, Sugihara E, Okubo J, Fujita S, Takano S, Matsumura A, Saya H. IGF1 receptor signaling regulates adaptive radioprotection in glioma stem cells. *Stem Cells* 31(4):627-640, 2013
  20. Oyane A, Araki H, Sogo Y, Ito A, Tsurushima H. Spontaneous assembly of DNA-amorphous calcium phosphate nanocomposite spheres for surface-mediated genetransfer. *Cryst Eng Comm* 15(25):4994-4997, 2013
  21. Sakamoto N, Akutsu H, Takano S, Yamamoto T, Matsumura A. Useful 'sliding-lock-knot' technique for suturing dural patch to prevent cerebrospinal fluid leakage after extended transsphenoidal surgery. *Surg Neurol Int* 4:19, 2013
  22. Sakamoto N, Ishikawa E, Aoki K, Uemae Y, Komatsu Y, Matsumura A. Clinical Outcomes of Intracerebral Hemorrhage in Hemodialysis Patients. *World Neurosurg* doi: 10.1016/j.wneu.2013.10.033, 2013
  23. Sato M, Nakai Y, Tsurushima H, Shiigai M, Masumoto T, Matsumura A. Risk factors of ischemic lesions related to cerebral angiography and neuro-interventional procedures. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(6):381-387, 2013
  24. Sato M, Takigawa T, Shiigai M, Tamura G, Masumoto T, Nakai Y, Zaboronok A, Tsurushima H, Matsumura A. Spinal dural arteriovenous fistula with lipomyelodysplasia. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(2):107-109, 2013
  25. Shibui S, Narita Y, Mizusawa J, Beppu T, Ogasawara K, Sawamura Y, Kobayashi H, Nishikawa R, Mishima K, Muragaki Y, Maruyama T, Kuratsu J, Nakamura H, Kochi M, Minamida Y, Yamaki T, Kumabe T, Tominaga T, Kayama T, Sakurada K, Nagane M, Kobayashi K, Nakamura H, Ito T, Yazaki T, Sasaki H, Tanaka K, Takahashi H, Asai A, Todo T, Wakabayashi T, Takahashi J, Takano S, Fujimaki T, Sumi M, Miyakita Y, Nakazato Y, Sato A, Fukuda H, Nomura K. Randomized trial of chemoradiotherapy and adjuvant chemotherapy with nimustine (ACNU) versus nimustine plus procarbazine for newly diagnosed anaplastic astrocytoma and glioblastoma (JCOG0305). *Cancer Chemother Pharmacol* 71(2):511-521, 2013
  26. Takano S, Kimu H, Tsuda K, Osuka S, Nakai K, Yamamoto T, Ishikawa E, Akutsu H,

- Matsuda M, Matsumura A. Decrease in the apparent diffusion coefficient in peritumoral edema for the assessment of recurrent glioblastoma treated by bevacizumab. *Acta Neurochir Suppl* 118:185-189, 2013
27. Tsuda K, Akutsu H, Yamamoto T, Ishikawa E, Saito A, Nakai K, Takano S, Matsumura A. Benign spinal meningioma without dural attachment presenting delayed CSF dissemination and malignant transformation. *Brain Tumor Pathol* 30(3):185-191, 2013
28. Tsuda K, Tsurushima H, Takano S, Tsuboi K, Matsumura A. Brain metastasis from papillary thyroid carcinomas. *Molecular and clinical oncology* 1:817-819, 2013
29. Tsuruta W, Matsumaru Y, Hamada Y, Hayakawa M, Kamiya Y. Analysis of closed-cell intracranial stent characteristics using cone-beam computed tomography with contrast material. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(6):403-408, 2013
30. Wang X, Ito A, Sogo Y, Hirose M, Oyane A, Tsurushima H. DNA-lipid-apatite composite layers enhance gene expression of mesenchymal stem cells. *Mat Sci Eng C* 33:512-518, 2013
31. Yamamoto T, Tsuboi K, Nakai K, Kumada H, Sakurai H, Matsumura A. Boron neutron capture therapy for brain tumors. *Transl Cancer Res* 2:80-86, 2013
32. Yamazaki T, Sonobe M, Kato N, Kasuya H, Ikeda G, Nakamura K, Ito Y, Tsuruta W, Nakai Y, Matsumura A. Endovascular coiling as the first treatment strategy for ruptured pericallosal artery aneurysms: results, complications, and follow up. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(6):409-417, 2013
33. Zaboronok A, Isobe T, Yamamoto T, Sato E, Takada K, Sakae T, Tsurushima H, Matsumura A. Proton beam irradiation stimulates migration and invasion of human U87 malignant glioma cells. *J Radiat Res* doi: 10.1093/jrr/rrt119, 2013
34. Zaboronok A, Tsurushima H, Yamamoto T, Isobe T, Takada K, Sakae T, Yoshida F, Matsumura A. Size-dependent radiosensitization effects of gold nanoparticles on human U251 malignant glioma cells. *Nanosci nanotech lett* 5(9):9904, 2013
- 2) 英文以外の論文
1. 阿久津博義, 高野晋吾, 田中秀峰, 山本哲哉, 村下秀和, 石川栄一, 松村明. Four-hand technique を用いた内視鏡下経鼻頭蓋底手術の現状と未来. 日本内分泌学会雑誌 89(Suppl.HPT):13-14, 2013
2. 阿久津博義, 増田洋亮, 松村明. ビジウス サージカルシアター 脳外科領域で用いられる機器最前線. 脳神経外科速報 23(11):1240-1245, 2013

3. 池田剛, 園部眞, 加藤徳之, 山崎友郷, 粕谷泰道, 中居康展, 松村明. 脳動脈瘤コイル塞栓術後の破裂・再治療と Volume Embolization Ratio(VER)の関連性. 脳卒中の外科 41(6):440-446, 2013
  4. 伊藤嘉朗, 加藤徳之, 中居康展, 松村明, 園部眞. Closed-cell stent を用いた頸動脈ステント留置術における頸動脈の屈曲度と微小脳塞栓の関係. JNET: Journal of Neuroendovascular Therapy 7(2):75-80, 2013
  5. 伊藤嘉朗, 加藤徳之, 松村明, 園部眞. ドーナツ型巨大脳動脈瘤に対してコイルとラッピング術を施行した1例. 脳神経外科 41(5):415-420, 2013
  6. 小松洋治, 中村和弘, 伊藤嘉朗, 益子良太, 上村和也, 松村明. 【光線力学診断・治療の最新動向】 脳神経外科手術におけるインドシアニングリーン術中蛍光血管撮影の有用性と課題. 日本レーザー医学会誌 34(2):141-147, 2013
  7. 津田恭治, 阿久津博義, 山本哲哉, 中井啓, 井原哲, 石川栄一, 安田貢, 高野晋吾, 松村明. 当院で経験した脊髄髄膜腫の治療成績と手術戦略. 脊髄外科 27(1):61-63, 2013
  8. 鶴田和太郎, 松丸祐司, 上坂義和, 松村明. 神経放射線診断 進行する脊髄症状を呈し、MRIにて上部頸髄に異常を認めた症例. 脳神経外科ジャーナル 22(11):873-877, 2013
  9. 原拓真, 阿久津博義, 高野晋吾, 山本哲哉, 鈴木浩明, 松村明. Cushing病に対する手術および放射線照射例の長期予後. 日本内分泌学会雑誌 89(Suppl.HPT):63-64, 2013
  10. 益子良太, 中居康展, 原拓真, 今井資, 松原鉄平, 松田真秀, 上村和也, 小松洋治, 松村明. 錐体骨部特発性内頸動脈解離に対するステント留置術の1例. 脳神経外科ジャーナル 22(7):557-561, 2013
  11. 松原鉄平, 松田真秀, 益子良太, 上村和也, 小松洋治, 松村明. 多発性未破裂脳動脈瘤の経過観察中に生じた新生動脈瘤破裂によるくも膜下出血の1例. 脳卒中の外科 41(1):56-59, 2013
  12. 松丸祐司, 原貴行, 松村明. 【血管奇形の基礎と臨床】 脊髄動静脈シャント 何が治せて何が治療困難か. 脳神経外科ジャーナル 22(1):44-51, 2013
  13. 三木俊一郎, 山崎友郷, 加藤徳之, 池田剛, 粕谷泰道, 園部眞, 中居康展, 松村明. Double catheter technique を応用した coil-assist technique で治療を行ったブレブをネック近傍に伴う破裂脳動脈瘤の1例. JNET: Journal of Neuroendovascular Therapy 7(3):186-191, 2013
- 4) 英文以外の著書
1. 阿久津博義. 第7章. 神経内視鏡における止血・凝固機器; "先端医療シリーズ 45 臨床医のための最新脳神経外科 (第1版)" (編集 橋本信夫, 寺本明, 小川彰, 嘉山孝正), (株) 寺田国際事務所/先端医療技術研究所 (東京) 2013

2. 中居康展. セットアップ "特集 よくわかる脳血管内治療. *BRAIN* 3(5)", 2013; pp 366-70
3. 松村明, 松田真秀. 第1章. 脳神経外科分野における陽子線治療の適用; "定位的放射線治療 17 (第1版)" (編集 新井一、伊達裕昭、西本博), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp11-19
4. 松村明, 山本哲哉. 第1章. 小児脳腫瘍に対する放射線治療; "小児脳神経外科診療ガイドブック" (編集 新井一、伊達裕昭、西本博) メジカルビュー社 (東京) 2013; pp14-21
5. 室井愛. 頭部外傷 (偶発性); "小児科学レクチャー 読影の極意を学ぶ 小児の画像診断—頭部・頭頸部編—Q&A 3(4) (第1版)" (編集 河野達夫), 総合医学社 (東京) 2013; pp 822-828

## 外科学 (整形)

- 1) 英文論文
  1. Funayama T, Noguchi H, Tsukanishi T, Sakane M. Histological Analysis of Bone Bonding and Ingrowth into Connected Porous Hydroxyapatite Spacers in Spinal Surgery. *Key Engineering Materials* 529-530(309-312), 2013
  2. Funayama T, Sakane M, Yoshizawa T, Takeuchi Y, Ochiai N. Tanycytic ependymoma of the filum terminale associated with multiple endocrine neoplasia type 1: first reported case. *Spine J* 13(8):e49-54, 2013
  3. Funayama T, Tsukanishi T, Hara I, Ozeki E, Sakane M. Tumor-selective near-infrared photodynamic therapy with novel indocyanine green-loaded nanocarrier delays paralysis in rats with spinal metastasis. *Photodiagnosis Photodyn Ther* 10(4):374-8, 2013
  4. Furuya T, Hashimoto M, Koda M, Murata A, Okawa A, Dezawa M, Matsuse D, Tabata Y, Takahashi K, Yamazaki M. Treatment with basic fibroblast growth factor-incorporated gelatin hydrogel does not exacerbate mechanical allodynia after spinal cord contusion injury in rats. *J Spinal Cord Med* 36(2):134-9, 2013
  5. Furuya T, Yamazaki M, Okawa A, Misawa S, Sakuma T, Takahashi H, Kato K, Kuwabara S, Takahashi K. Cervical myelopathy in patients with athetoid cerebral palsy. *Spine (Phila Pa 1976)* 38(3):E151-7, 2013
  6. Ikeda O, Sugano M, Yamazaki M, Minami N, Ikegawa N, Koda M, Morinaga T. Symptomatic C2-3 instability in an elderly man with a longstanding atlantoaxial immobility. *J Orthop Sci* 2013

7. Karasugi T, Nakajima M, Ikari K, Tsuji T, Matsumoto M, Chiba K, Uchida K, Kawaguchi Y, Mizuta H, Ogata N, Iwasaki M, Maeda S, Numasawa T, Abumi K, Kato T, Ozawa H, Taguchi T, Kaito T, Neo M, Yamazaki M, Tadokoro N, Yoshida M, Nakahara S, Endo K, Imagama S, Demura S, Sato K, Seichi A, Ichimura S, Watanabe M, Watanabe K, Nakamura Y, Mori K, Baba H, Toyama Y, Ikegawa S. A genome-wide sib-pair linkage analysis of ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine. *J Bone Miner Metab* 31(2):136-43, 2013
8. Kato K, Yamazaki M, Okawa A, Furuya T, Sakuma T, Takahashi H, Kamiya K, Inada T, Takahashi K, Koda M. Intravenous administration of granulocyte colony-stimulating factor for treating neuropathic pain associated with compression myelopathy: a phase I and IIa clinical trial. *Eur Spine J* 22(1):197-204, 2013
9. Kawamoto H, Kamibayashi K, Nakata Y, Yamawaki K, Ariyasu R, Sankai Y, Sakane M, Eguchi K, Ochiai N. Pilot study of locomotion improvement using hybrid assistive limb in chronic stroke patients. *BMC Neurol* 13(141), 2013
10. Koda M, Furuya T, Rokkaku T, Yamazaki M, Murakami M, Takahashi K, Mannoji C. Drop finger as an adjacent segment disease after cervical expansive laminoplasty. *Neurol India* 61(6):695-6, 2013
11. Koda M, Mannoji C, Watanabe H, Nakajima A, Yamada T, Rokkaku T, Murakami K, Murakami M, Ikeda O, Yamazaki M, Furuya T. Sciatica caused by pyomyositis of the piriformis muscle. *Neurol India* 61(6):668-9, 2013
12. Koda M, Rokkaku T, Murakami M, Yamazaki M. Drop finger caused by 8th cervical nerve root impairment: a report of six cases. *Acta Neurochir (Wien)* 155(5):941-2, 2013
13. Kubota S, Nakata Y, Eguchi K, Kawamoto H, Kamibayashi K, Sakane M, Sankai Y, Ochiai N. Feasibility of rehabilitation training with a newly developed wearable robot for patients with limited mobility. *Arch Phys Med Rehabil* 94(6):1080-7, 2013
14. Mannoji C, Koda M, Murakami M, Kubosawa H, Yamazaki M, Okawa A, Furuya T, Takahashi K. Osseous metaplastic meningioma in the thoracic spine mimicking osteosarcoma: a case report. *Spine (Phila Pa 1976)* 38(10):E632-4, 2013
15. Nakajima A, Nakagawa K, Aoki Y, Sonobe M, Shibata Y, Yamazaki M, Murakami M. Changes in synovial fluid biochemical markers following arthroscopic surgery in patients with knee osteoarthritis. *Rheumatol Int* 33(1):209-14, 2013
16. Nishino T, Ishii T, Yanai T, Chang F, Ochiai N. Cartilage Repair by Joint Distraction and Motion Using an External Fixator for Massive Cartilage Defect. *Open Journal of Orthopedics* 3(1):35-40, 2013

17. Nishino T, Mishima H, Kawamura H, Shimizu Y, Miyakawa S, Ochiai N. Follow-up results of 10-12 years after total hip arthroplasty using cementless tapered stem -- frequency of severe stress shielding with synergy stem in Japanese patients. *J Arthroplasty* 28(10):1736-40, 2013
18. Noguchi H, Watanabe A, Funayama T, Tsukanishi T, Wadano Y, Sakane M. A Novel Unidirectional Porous Hydroxyapatite Cylinder Implanted in the Dorsal Muscles of Dogs Promotes Fibrous Tissue Vascularization and Invasion. *Key Engineering Materials* 529-530(275-278), 2013
19. Yamazaki M, Sakuma T, Kato K, Furuya T, Koda M. Granulocyte colony-stimulating factor reduced neuropathic pain associated with thoracic compression myelopathy: report of two cases. *J Spinal Cord Med* 36(1):40-3, 2013

2) 英文以外の論文

1. 安部哲哉, 坂根正孝, 船山徹, 俣木優輝, 竹内陽介, 兵頭康次郎, 神山翔, 日置繁, 山崎正志. 全身麻酔下の経椎間孔アプローチの PELD の手術成績. *Journal of Spine Research* 4(8):1264-1269, 2013
2. 稲田大悟, 山崎正志, 大河昭彦, 古矢丈雄, 加藤啓, 神谷光史郎, 國府田正雄. 頸椎症性筋萎縮症に対し G-CSF 神経保護療法が有用であった 1 例. *日本脊髄障害医学会雑誌* 26(1):180-181, 2013
3. 稲田大悟, 山崎正志, 大河昭彦, 古矢丈雄, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 神谷光史郎, 高橋和久. 脊柱短縮術を施行した脊髄係留症候群の 1 例 G-CSF 神経保護療法による予後予測の可能性. *Journal of Spine Research* 4(10):1563-1566, 2013
4. 今給黎直明, 林光俊, 西野衆文. 男子エリートバレーボール選手に生じた腹直筋肉離れの 5 例. *日本整形外科スポーツ医学会雑誌* 33(1):32-36, 2013
5. 大西史基, 向井英司, 田中利和, 菅谷久, 三島初. 人工股関節全置換術後早期から上部体幹に対するエクササイズを取り入れたことで機能的脚長差を改善しえた 1 例. *Hip Joint* 39(Suppl.):132-135, 2013
6. 加藤啓, 古矢丈雄, 稲田大悟, 神谷光史郎, 國府田正雄, 大河昭彦, 山崎正志. 圧迫性脊髄症に伴う脊髄障害性疼痛に対する G-CSF 神経保護療法の治療効果 医師主導型自主臨床試験による解析. *日本脊髄障害医学会雑誌* 26(1):54-55, 2013
7. 加藤啓, 山崎正志, 國府田正雄, 古矢丈雄, 佐久間毅, 高橋宏, 稲田大悟, 神谷光史郎, 大田光俊, 牧聡, 大河昭彦, 高橋和久. 圧迫性脊髄症術後の脊髄障害性疼痛に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の効果 臨床試験例の解析. *Journal of Musculoskeletal Pain*

Research 5(2):144-148, 2013

8. 鎌田浩史, 竹内亮子, 中川将吾, 三島初, 坂根正孝, 山崎正志, 落合直之, 岡本嘉一. 【小児整形外科疾患 診断・治療の進歩】 診断・評価の進歩 MRI 発育性股関節形成不全における三次元 MRI を用いた三次元的評価. 別冊整形外科 64:11-17, 2013
9. 神谷光史郎, 山崎正志, 大河昭彦, 古矢丈雄, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 稲田大悟. 高度肥満および脊髄症急性増悪を呈する若年発症胸椎後縦靭帯骨化症の一例 術前 G-CSF 神経保護療法の有用性. 日本脊髄障害医学会雑誌 26(1):138-139, 2013
10. 神谷光史郎, 山崎正志, 大河昭彦, 古矢丈雄, 佐久間毅, 高橋宏, 加藤啓, 稲田大悟, 高橋和久. 胸椎 OPLL に伴う脊髄症急性増悪に対して G-CSF 神経保護療法を併用して後方除圧固定術を施行した 7 例の検討. Journal of Spine Research 4(10):1462-1465, 2013
11. 絹笠友則, 小松崎徹也, 金森章浩, 青戸克哉, 長谷川隆司, 塚越祐太, 辰村正紀, 福島真, 矢田部佳久, 池田耕太郎. TKA 術後疼痛コントロール 人工膝関節術後疼痛に対する術中大腿骨後方骨膜上ロピバカイン注入の試み. 日本人工関節学会誌 43:293-294, 2013
12. 絹笠友則, 六崎裕高, 青戸克哉, 金森章浩, 池田耕太郎. AI ドリル使用による Outside-in 法と ToggleLoc Femoral Fixation Device を併用した大腿骨側骨孔作成. JOSKAS 38(1):58-59, 2013
13. 鈴木恒, 馬見塚尚孝, 芋生祥之, 大瀧保明, 奈良隆章, 藤江敬子, 橋本幸一, 中田由夫, 原田義則, 坂根正孝, 平野篤, 落合直之. 腰部脊柱管狭窄症患者に対する日本語版チューリッヒ跛行質問票と 6 分間歩行試験の試用評価と基準関連妥当性検証. Journal of Spine Research 4(1):63-67, 2013
14. 鈴木雅博, 古矢丈雄, 大河昭彦, 國府田正雄, 高橋和久, 山崎正志. 胸椎後縦靭帯骨化症後方除圧固定術後長期経過時に腰椎黄色靭帯骨化症を合併した 1 例. 東日本整形災害外科学会雑誌 25(4):513-517, 2013
15. 高橋宏, 山崎正志, 大河昭彦, 古矢丈雄, 伊藤康夫, 國府田正雄. 急性脊髄損傷に対する G-CSF 神経保護療法とメチルプレドニゾロン大量投与療法の比較検討 自主臨床試験から. 日本脊髄障害医学会雑誌 26(1):36-39, 2013
16. 高橋宏, 山崎正志, 大河昭彦, 古矢丈雄, 加藤啓, 國府田正雄. 急性脊髄損傷に対する G-CSF 神経保護療法の長期経過の検討 多施設前向き比較対照試験から. 日本脊髄障害医学会雑誌 26(1):34-35, 2013
17. 田中優弥, 森貴彦, 吉川憲一, 片根大輔, 鳥島博之, 清水如代, 原友紀. 上肢切断肢の形状変形を利用した生体計測技術の提案. 電子情報通信学会技術研究報告 (HIP, ヒューマン情報処理) 2012(77):21-28, 2013

18. 中田研, 橋本祐介, 米谷泰一, 奥平修三, 三谷玄弥, 金森章浩. 平成 24 年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 日本におけるスポーツ外傷サーベイランスシステムの構築(第 3 報) 各競技におけるスポーツ外傷発生調査 テニス. 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告集 2012 年度:72-75, 2013
19. 西田雄亮, 西野衆文, 金森章浩, 坂根正孝. 腱部分切除術とラジオ波焼灼術を併用した膝蓋腱炎の 1 例. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 33(3):327-331, 2013
20. 原友紀, 西浦康正, 落合直之. 頸肋に起始した小斜角筋により胸郭出口症候群を呈した 1 例. 末梢神経 24(1):120-125, 2013
21. 古矢丈雄, 山崎正志, 大河昭彦, 國府田正雄, 加藤啓, 稲田大悟, 神谷光史郎, 中島文毅, 高橋和久. 上位胸椎後縦靭帯骨化症の術式選択 症状寛解までに複数回手術を要した 1 例の経験から. 関東整形災害外科学会雑誌 44(6):313-318, 2013
22. 俣木優輝, 西野衆文, 三島初, 鎌田浩史, 落合直之. サルモネラ菌による両側化膿性股関節炎後に人工股関節全置換術を行った 1 例. 東日本整形災害外科学会雑誌 25(2):197-202, 2013
23. 俣木健太郎, 野澤大輔, 三島初, 牧原武史, 岡野英里子, 和田大志, 坂根正孝. 外反母趾に対する DLMO 法の経験. 関東整形災害外科学会雑誌 44(2):48-51, 2013
24. 牧聡, 新初正明, 政木豊, 古矢丈雄, 大河昭彦, 山崎正志. 前方椎弓根スクリューを用いた多椎間頸椎前方除圧固定術における頸椎矢状面 alignment 変化と移植骨の subsidence. Journal of Spine Research 4(10):1486-1489, 2013
25. 牧原武史, 坂根正孝, 藤井賢吾, 大西信三. 後頭下減圧術後に関節窩の骨リモデリングを生じた Charcot 肩の一例. 肩関節 37(2):893-896, 2013
26. 三島初, 菅谷久, 青戸克哉, 吉岡友和, 酒井晋介, 赤荻博, 落合直之, 山崎正志. 低出力超音波パルス(LIPUS)による骨折治療 基礎と臨床における最近の話題 臨床応用における基礎研究 遷延骨癒合・偽関節に対する経皮的濃縮自家骨髄血移植と低出力超音波パルス併用による治療効果. 臨床整形外科 48(10):961-968, 2013
27. 山崎貴弘, 加藤啓, 山崎正志, 大河昭彦, 古矢丈雄, 高橋和久. 横静脈洞の拡張を伴う後頭骨環椎癒合症に対する手術経験 3次元実体模型を用いた術前手術シミュレーションの有用性. 東日本整形災害外科学会雑誌 25(4):475-478, 2013
28. 山崎正志. 神経除圧術後遺残脊髄障害性疼痛に対する G-CSF の治療効果. 上原記念生命科学財団研究報告集 27:1-4, 2013
29. 吉岡友和, 金森章浩. 多血小板血漿 (PRP) による関節軟骨損傷治療の今後の可能性. 臨床スポーツ医学 30(4):367-372, 2013
30. 吉沢知宏, 西野衆文, 和田大志, 菅谷久, 河村春生, 三島初. THA セメントレスシステム



- 日本人の DDH 用に開発された Synergy Select II RF ステムの X 線成績 Synergy Select II との比較. 日本人工関節学会誌 43:133-134, 2013
31. 吉沢知宏, 西野衆文, 和田大志, 菅谷久, 三島初, 河村春生. Synergy Select II RF ステムを用いた THA の短期成績. *Hip Joint* 39:731-734, 2013
32. 和田大志, 西野衆文, 菅谷久, 三島初, 相野谷武士. 新しい生体活性コーティングを施したステムを用いた THA の短期成績. *Hip Joint* 39:739-744, 2013
- 4) 英文以外の著書
1. 相庭温臣, 山崎正志, 望月真人. II 頰椎・頰髄の外科. Section 2. 中下位頰椎 C. 前方除圧・固定術; "カーアトラス せきつい・脊髄外科 (第 1 版)" (編集 山下敏彦), 株式会社中外医学者 (東京) 2013; pp184-192
2. 坂根正孝. 6 章脊椎 (頰椎、胸椎、腰椎) . 脊椎・脊髄損傷; "新版 スポーツ整形外科マニュアル (第 1 版)" (監修 福林徹, 編集 篠塚昌述), 株式会社中外医学者 (東京) 2013; pp104-107
3. 坂根正孝. 6 章脊椎 (頰椎、胸椎、腰椎) . 胸腰椎の外傷 (圧迫骨折、破裂骨折、横突起骨折) ; "新版 スポーツ整形外科マニュアル (第 1 版)" (監修 福林徹, 編集 篠塚昌述), 株式会社中外医学者 (東京) 2013; pp111-114
4. 坂根正孝, 安部哲哉. II. 脊椎内視鏡下手術のための基本手技 [PED] 手術器具 (特殊器具を含む) ; " [スキル関節鏡下手術アトラス] シリーズ 「脊椎内視鏡下手術」 (第 1 版)" (編集 吉田宗人, 監修 越智光夫), 株式会社文光堂 (東京) 2013; pp48-51
5. 坂根正孝, 安部哲哉. . 脊椎内視鏡下手術とそのスキル. [PED] 2. 頰椎間孔的ヘルニア摘出; " [スキル関節鏡下手術アトラス] シリーズ 「脊椎内視鏡下手術」 (第 1 版)" (編集 吉田宗人, 監修 越智光夫), 株式会社文光堂 (東京) 2013; pp140-144

## 外科学 (泌尿器)

1. Fujimoto H, Nakanishi H, Miki T, Kanayama HO, Ohyama C, Suzuki K, Nishiyama H, Eto M, Naito S, Fukumori T, Kubota Y, Takahashi S, Homma Y, Kamoi K. Oncological outcomes of renal pelvic and ureteral cancer patients registered in 2005: The first large population report from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association. *Int J Urol* doi: 10.1111/iju.12367, 2013
2. Hinotsu S, Kawai K, Ozono S, Tsushima T, Tokuda N, Nomata K, Naito S, Akaza H. Randomized controlled study of natural interferon alpha as adjuvant treatment for stage II or

- III renal cell carcinoma. *Int J Clin Oncol* 18(1):68-74, 2013
3. Inai H, Kawai K, Ikeda A, Ando S, Kimura T, Oikawa T, Onozawa M, Miyazaki J, Uchida K, Nishiyama H. Risk factors for chronic kidney disease after chemotherapy for testicular cancer. *Int J Urol* 20(7):716-722, 2013
  4. Inai H, Kawai K, Kojima T, Joraku A, Shimazui T, Yamauchi A, Miyagawa T, Endo T, Fukuhara Y, Miyazaki J, Uchida K, Nishiyama H. Oncological outcomes of metastatic testicular cancers under centralized management through regional medical network. *Jpn J Clin Oncol* 43(12):1249-1254, 2013
  5. Kajita Y, Kato T, Jr., Tamaki S, Furu M, Takahashi R, Nagayama S, Aoyama T, Nishiyama H, Nakamura E, Katagiri T, Nakamura Y, Ogawa O, Toguchida J. The transcription factor Sp3 regulates the expression of a metastasis-related marker of sarcoma, actin filament-associated protein 1-like 1 (AFAP1L1). *PLoS One* 8(1):e49709, 2013
  6. Kawai K, Ichioka D, Inai H, Miyazaki J, Nishiyama H. Assessment and management of renal impairment in chemotherapy for urogenital cancer. *Jpn J Clin Oncol* 43(11):1055-1063, 2013
  7. Kawai K, Miyazaki J, Joraku A, Nishiyama H, Akaza H. Bacillus Calmette-Guerin (BCG) immunotherapy for bladder cancer: current understanding and perspectives on engineered BCG vaccine. *Cancer Sci* 104(1):22-27, 2013
  8. Kimura T, Onozawa M, Miyazaki J, Kawai K, Nishiyama H, Hinotsu S, Akaza H. Validation of the prognostic grouping of the seventh edition of the tumor-nodes-metastasis classification using a large-scale prospective cohort study database of prostate cancer treated with primary androgen deprivation therapy. *Int J Urol* 20(9):880-888, 2013
  9. Miyazaki J, Hinotsu S, Ishizuka N, Naito S, Ozono S, Akaza H, Nishiyama H. Adverse reactions related to treatment compliance during BCG maintenance therapy for non-muscle-invasive bladder cancer. *Jpn J Clin Oncol* 43(8):827-834, 2013
  10. Nakamura T, Fukiage M, Higuchi M, Nakaya A, Yano I, Miyazaki J, Nishiyama H, Akaza H, Ito T, Hosokawa H, Nakayama T, Harashima H. Nanoparticulation of BCG-CWS for application to bladder cancer therapy. *J Control Release* doi: 10.1016/j.jconrel.2013.12.027, 2013
  11. Nitta S, Kawai K, Onozawa M, Ando S, Miyazaki J, Nagata C, Noguchi M, Yamasaki K, Uchida K, Iwamoto T, Nishiyama H. Intratubular trophoblasts in the contralateral testis caused elevation of serum human chorionic gonadotropin following complete remission of stage II testicular tumor: a case report. *Jpn J Clin Oncol* 43(1):83-86, 2013

12. Ota T, Komori H, Rii J, Ochi A, Suzuki K, Shiga N, Nishiyama H. Soft coagulation in partial nephrectomy without renorrhaphy: Feasibility of a new technique and early outcomes. *Int J Urol* doi: 10.1111/iju.12276, 2013
13. Saito R, Nonaka S, Fujinami Y, Matsuoka S, Nakajima S, Nishiyama H, Okamura N. The frequency of BRO beta-lactamase and its relationship to antimicrobial susceptibility and serum resistance in *Moraxella catarrhalis*. *J Infect Chemother* doi: 10.1016/j.jiac.2013.06.003, 2013
14. Shimazui T, Yoshikawa K, Miyazaki J, Kojima T, Inai H, Ando S, Uemura H, Uchida K, Nishiyama H. Systemic transduction of p16INK4A antitumor peptide inhibits the growth of MBT-2 mouse bladder tumor cell line grafts. *Int J Oncol* 42(2):543-548, 2013
15. Takaoka E, Matsui Y, Inoue T, Miyazaki J, Nakashima M, Kimura T, Oikawa T, Kawai K, Yoshimura K, Habuchi T, Ogawa O, Nishiyama H. Risk factors for intravesical recurrence in patients with high-grade T1 bladder cancer in the second TUR era. *Jpn J Clin Oncol* 43(4):404-409, 2013

2) 英文以外の論文

1. 池田篤史, 宮川友明, 黒部匡広, 内田将央, 小島崇宏, 堤雅一, 伊藤周作, 杉田真太郎, 西山博之. 下肢悪性黒色腫の孤発膀胱転移の1例. 泌尿器科紀要 59(9):579-582, 2013
2. 周山拓也, 小原直, 河合弘二, 山田健二, 日下部学, 栗田尚樹, 錦井秀和, 横山泰久, 鈴川和己, 長谷川雄一, 野口雅之, 千葉滋. 精巣胚細胞腫瘍由来の発症が示唆された急性骨髄性白血病. 臨床血液 54(8):764-768, 2013
3. 田中建, 宮崎淳, 内田将央, 市岡大士, 木村友和, 及川剛宏, 末富崇弘, 河合弘二, 上杉憲子, 那須克宏, 西山博之. 呼吸器症状を伴わずに偶発腫瘍として診断された後腹膜リンパ脈管筋腫症(LAM:lymphangiomyomatosis)の1例. 泌尿器科紀要 59(11):709-713, 2013
4. 東郷容和, 田岡利宜也, 山本新吾, 桧山佳樹, 上原央久, 橋本次朗, 栗村雄一郎, 高橋聡, 塚本泰司, 宮崎淳, 西山博之, 清田浩, 矢澤聡, 大家基嗣, 安田満, 出口隆, 石川清仁, 星長清隆, 松本穰, 重村克巳, 田中一志, 荒川創一, 藤澤正人, 和田耕一郎, 上原慎也, 渡辺豊彦, 公文裕巳, 小林加直, 松原昭郎, 松本正広, 庄武彦, 濱砂良一, 松本哲朗, 速見浩士, 山根隆史, 中川昌之, UTI 共同研究会ガイドラインワーキンググループ. 泌尿器科領域における周術期感染症予防抗菌薬の使用状況についてのアンケート調査報告. 日本泌尿器科学会雑誌 104(4):579-588, 2013
5. 南雲義之, 木村友和, 市岡大士, 内田将央, 及川剛宏, 末富崇弘, 宮崎淳, 河合弘二, 永田千草, 西山博之. Gemcitabine・Docetaxel 併用療法にて長期生存が得られた腎平滑筋肉

- 腫の 1 例. 泌尿器科紀要 59(8):497-501, 2013
6. 宮崎淳, 西山博之. Genitourinary Tumor 泌尿器系腫瘍 筋層浸潤膀胱癌の治療. 癌と化学療法 40(1):41-46, 2013
  7. 山崎一恭, 西山博之. 【泌尿器疾患の病態と診断・治療(III)】 男性不妊症. 医学と薬学 70(3):473-480, 2013
- 4) 英文以外の著書
1. 河合弘二, 西山博之. 章. 分子生物学の基盤的手法と泌尿器科領域への応用 3. 遺伝子発現の解析法とその応用; "ベッドサイド泌尿器科学 (第 4 版)" (編集 小川修, 岡田裕作, 荒井陽一, 寺地敏郎, 松田公志, 笈善行, 羽渕友則, 吉田修), 南江堂 (東京) 2013; pp146-148
  2. 西山博之, 宮崎淳. . 症例と病理カンファレンス編 B.尿路上皮癌 CPC 症例 2. CIS (primary, concomitant) の診断と治療について; "実践的泌尿器腫瘍病理診断—カンファレンス形式で学ぶ (第 1 版)" (編集 笈善行, 賀本敏行), 中山書店 (東京) 2013; pp66-72
  3. 宮崎淳, 西山博之, 松本光司. 子宮頸部腫瘍. 前方骨盤除臓術: CCRT 後の再発—膀胱・尿管の手術; "OGS NOW 14 婦人科がん手術 こんなときどうする? がんの根治と QOL の改善をめざして (第 1 版)" (編集 小西郁生), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp74-79

## 外科学 (眼科)

- 1) 英文論文
1. Aihara M, Oshima H, Araie M, EXTraKT study group. Effects of SofZia-preserved travoprost and benzalkonium chloride-preserved latanoprost on the ocular surface -- a multicentre randomized single-masked study. *Acta Ophthalmol* 91(1):e7-e14, 2013
2. Fukuda S, Beheregaray S, Hoshi S, Yamanari M, Lim Y, Hiraoka T, Yasuno Y, Oshika T. Comparison of three-dimensional optical coherence tomography and combining a rotating Scheimpflug camera with a Placido topography system for forme fruste keratoconus diagnosis. *Br J Ophthalmol* 97(12):1554-1559, 2013
3. Fukuda S, Nagano M, Yamashita T, Kimura K, Tsuboi I, Salazar G, Ueno S, Kondo M, Kunath T, Oshika T, Ohneda O. Functional endothelial progenitor cells selectively recruit neurovascular protective monocyte-derived F4/80(+) /Ly6c(+) macrophages in a mouse model of retinal degeneration. *Stem Cells* 31(10):2149-2161, 2013
4. Fukuda S, Ohneda O, Oshika T. Oxidative stress retards vascular development before neural

- degeneration occurs in retinal degeneration rd1 mice. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* doi: 10.1007/s00417-013-2551-9, 2013
5. Fukuda S, Yamanari M, Lim Y, Hoshi S, Beheregaray S, Oshika T, Yasuno Y. Keratoconus diagnosis using anterior segment polarization-sensitive optical coherence tomography. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 54(2):1384-1391, 2013
  6. Hagiya C, Tsuboi H, Yokosawa M, Hagiwara S, Hirota T, Takai C, Asashima H, Miki H, Umeda N, Horikoshi M, Kondo Y, Sugihara M, Ogishima H, Suzuki T, Hiraoka T, Kaji Y, Matsumoto I, Oshika T, Sumida T. Clinicopathological features of IgG4-related disease complicated with orbital involvement. *Mod Rheumatol* doi: 10.3109/14397595.2013.844307, 2013
  7. Hasegawa Y, Okamoto F, Nakano S, Hiraoka T, Oshika T. Effect of preoperative corneal astigmatism orientation on results with a toric intraocular lens. *J Cataract Refract Surg* 39(12):1846-1851, 2013
  8. Hasegawa Y, Okamoto F, Sugiura Y, Okamoto Y, Hiraoka T, Oshika T. Intraocular pressure elevation after vitrectomy for various vitreoretinal disorders. *Eur J Ophthalmol* doi: 10.5301/ejo.5000350, 2013
  9. Hiraoka T, Miyata K, Nakamura Y, Miyai T, Ogata M, Okamoto F, Oshika T. Influences of cycloplegia with topical atropine on ocular higher-order aberrations. *Ophthalmology* 120(1):8-13, 2013
  10. Hiraoka T, Ogami T, Okamoto F, Oshika T. Compressed air blast injury with palpebral, orbital, facial, cervical, and mediastinal emphysema through an eyelid laceration: a case report and review of literature. *BMC Ophthalmol* 13:68, 2013
  11. Hiraoka T, Yamamoto T, Okamoto F, Oshika T. Changes in functional visual acuity and ocular wavefront aberration after administration of eye ointment. *J Ocul Pharmacol Ther* 29(8):770-775, 2013
  12. Inoue Y, Oshika T, Nishida K. "The stems of future corneal research development are already in our hands" 18th annual meeting of the Kyoto Cornea Club, December 7-8, 2012. *Cornea* 32 Suppl 1:S1-2, 2013
  13. Ishii K, Saito K, Kameda T, Oshika T. Elastic hysteresis in human eyes is an age-dependent value. *Clin Experiment Ophthalmol* 41(1):6-11, 2013
  14. Ishii K, Yamanari M, Iwata H, Yasuno Y, Oshika T. Relationship between changes in crystalline lens shape and axial elongation in young children. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 54(1):771-777, 2013

15. Itagaki H, Kunikata T, Hiratsuka K, Saito J, Oshika T. Reverse pupillary block associated with pigment dispersion syndrome after in-the-bag intraocular lens implantation. *J Cataract Refract Surg* 39(12):1925-1928, 2013
16. Kato Y, Yagi H, Kaji Y, Oshika T, Goto Y. Benzalkonium chloride accelerates the formation of the amyloid fibrils of corneal dystrophy-associated peptides. *J Biol Chem* 288(35):25109-25118, 2013
17. Okamoto F, Sugiura Y, Okamoto Y, Hiraoka T, Oshika T. Changes in contrast sensitivity after surgery for macula-on rhegmatogenous retinal detachment. *Am J Ophthalmol* 156(4):667-672, 2013
18. Okamoto F, Sugiura Y, Okamoto Y, Hiraoka T, Oshika T. Metamorphopsia and optical coherence tomography findings after rhegmatogenous retinal detachment surgery. *Am J Ophthalmol* doi: 10.1016/j.ajo.2013.08.007, 2013
19. Sugiura Y, Okamoto F, Okamoto Y, Hiraoka T, Oshika T. Intraocular pressure fluctuation during microincision vitrectomy with constellation vision system. *Am J Ophthalmol* 156(5):941-947 e941, 2013
20. Takabayashi N, Hiraoka T, Kiuchi T, Oshika T. Influence of decorative lenses on higher-order wavefront aberrations. *Jpn J Ophthalmol* 57(4):335-340, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 大鹿哲郎, 平岡孝造. オルソケラトロジーが小児期の眼軸伸長に及ぼす影響に関する研究. *日本の眼科* 84(6 付録):42-50, 2013
2. 加藤篤子, 石井晃太郎, 大鹿哲郎. 眼軸伸長と眼球間隔の発達についての検討. *眼科臨床紀要* 6(7):538-541, 2013
3. 渡部大樹, 岡本史樹, 杉浦好美, 大鹿哲郎. 小児の Stickler 症候群に伴う裂孔原性網膜剥離に対して硝子体手術を行った 1 例. *臨床眼科* 67(4):475-479, 2013

## 4) 英文以外の著書

1. 平岡孝造. 第 10 章. オルソケラトロジーによる近視進行防止; "Monthly Book OCULISTA 再考!近視メカニズム-実臨床のために- (第 1 版)" (編集 不二門尚), 全日本病院出版会 (東京) 2013; pp75-79

## 外科学（耳鼻咽喉科）

### 1) 英文論文

1. Maeno T, Takayashiki A, Anme T, Maenmo T, Hara A. Japanese student's perception of their learning from an interprofessional education program a qualitative study Social interaction and dementia prevention : Six-year follow-up study. *International journal of Medical education* 4:9-17, 2013
2. Uemaetomari I, Wada T, Nishimura B, Tanaka S, Nakayama M, Ashizawa K, Tabuchi K, Minami Y, Hara A. Vessel sealing device in parotid gland surgery: Clinical and pathological study. *Advances in cancer research & treatment* 2013:79-94, 2013

### 2) 英文以外の論文

1. 芦澤圭, 田淵経司, 田中秀峰, 廣瀬由紀, 原晃. 鼻腔に発生したグロムス血管周皮腫例. 耳鼻咽喉科臨床 106(8):705-710, 2013
2. 芦澤圭, 吉村知倫, 大原浩達, 中山雅博, 廣瀬由紀, 中馬越真理子, 西村文吾, 星野朝文, 田中秀峰, 上前泊功, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 口腔悪性腫瘍の臨床統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):73-79, 2013
3. 芦澤圭, 吉村知倫, 大原浩達, 中山雅博, 廣瀬由紀, 中馬越真理子, 西村文吾, 星野朝文, 田中秀峰, 上前泊功, 辻茂希, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 上咽頭悪性腫瘍の臨床統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):80-85, 2013
4. 上前泊功, 芦澤圭, 中山雅博, 田中秀峰, 西村文吾, 田淵経司, 和田哲郎, 高橋邦明, 原晃. 喉頭摘出後の気管食道シャント発声者と食道発声者における QOL 評価 Voice Handicap Index(VHI)日本語改定版および Voice-Related Quality of Life(V-RQOL)日本語版を用いて. 耳鼻咽喉科臨床 106(11):1033-1038, 2013
5. 上前泊功, 吉村知倫, 大原浩達, 芦澤圭, 中山雅博, 廣瀬由紀, 中馬越真理子, 西村文吾, 星野朝文, 田中秀峰, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. プロヴォックスの治療成績 気管食道シャント発声による QOL 評価. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):104-107, 2013
6. 上前泊功, 吉村知倫, 大原浩達, 芦澤圭, 中山雅博, 廣瀬由紀, 中馬越真理子, 西村文吾, 星野朝文, 田中秀峰, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 瀬成田雅光, 原晃. 悪性黒色腫の臨床統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):54-57, 2013
7. 及川慶子, 中馬越真理子, 田淵経司, 和田哲郎, 原晃. 新生児聴覚スクリーニング後の当院乳幼児聴力検査外来受診児の経過. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):20-25, 2013
8. 大久保英樹, 中山雅博, 廣瀬由紀, 田中秀峰, 西村文吾, 星野朝文, 上前泊功, 飛田忠道, 辻茂希, 田淵経司, 和田哲郎, 原晃, 橋井晴子, 石川仁, 水本斉志, 奥村敏之, 櫻井英幸. 過

- 去 10 年間に当科で陽子線治療を行った頭頸部癌に関する検討. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):118-122, 2013
9. 大原浩達, 田中秀峰, 米納昌恵, 原晃. 原発性線毛運動不全症(PCD)における耳鼻咽喉科医の役割. 耳鼻咽喉科臨床 106(4):347-353, 2013
  10. 田淵経司, 原晃. 【検査結果をどう読むか?】 聴覚領域の検査 補充現象検査、自記オーディオメトリ. JOHNS 29(9):1467-1469, 2013
  11. 田淵経司, 廣瀬由紀, 星野朝文, 西村文吾, 上前泊功, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 中耳手術の臨床統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):31-33, 2013
  12. 田淵経司, 廣瀬由紀, 星野朝文, 西村文吾, 上前泊功, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 人工内耳症例における骨パテの使用. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):40-41, 2013
  13. 中馬越真理子, 及川慶子, 芦澤圭, 中山雅博, 西村文吾, 星野朝文, 田中秀峰, 上前泊功, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 嗅神経芽細胞腫に対する臨床的検討. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):58-63, 2013
  14. 中山雅博, 吉村知倫, 芦澤圭, 中馬越真理子, 廣瀬由紀, 星野朝文, 西村文吾, 田中秀峰, 上前泊功, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 耳性頭蓋内合併症症例. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):34-39, 2013
  15. 中山雅博, 吉村知倫, 芦澤圭, 中馬越真理子, 廣瀬由紀, 星野朝文, 西村文吾, 田中秀峰, 上前泊功, 辻茂希, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 喉頭悪性腫瘍の臨床的検討. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):97-103, 2013
  16. 中山雅博, 吉村知倫, 芦澤圭, 中馬越真理子, 廣瀬由紀, 星野朝文, 西村文吾, 田中秀峰, 上前泊功, 田淵経司, 大久保英樹, 高橋和彦, 和田哲郎, 原晃. 甲状腺腫瘍症例の臨床的検討. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):113-117, 2013
  17. 西村文吾, 吉村知倫, 芦澤圭, 中山雅博, 廣瀬由紀, 星野朝文, 上前泊功, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 小細胞癌症例. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):69-72, 2013
  18. 西村文吾, 吉村知倫, 芦澤圭, 中山雅博, 廣瀬由紀, 星野朝文, 上前泊功, 飛田忠道, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 下咽頭悪性腫瘍の臨床統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):92-96, 2013
  19. 廣瀬由紀, 田淵経司, 和田哲郎, 原晃. 入院患者統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):13-19, 2013
  20. 廣瀬由紀, 飛田忠道, 田淵経司, 和田哲郎, 原晃. 唾液腺腫瘍統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):108-112, 2013
  21. 星野朝文, 田淵経司, 和田哲郎, 原晃. 中耳術前検査の有用性. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):26-30, 2013



22. 星野朝文, 廣瀬由紀, 西村文吾, 上前泊功, 田淵経司, 大久保秀樹, 和田哲郎, 原晃. 外来新患統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):8-12, 2013
23. 村下秀和, 田淵経司, 星野朝文, 上前泊功, 和田哲郎, 阿久津博義, 高野晋吾, 原晃. 内視鏡下経鼻的頭蓋底手術 当科における方法と工夫. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):64-68, 2013
24. 吉村知倫, 大原浩達, 芦澤圭, 中山雅博, 廣瀬由紀, 中馬越真理子, 西村文吾, 星野朝文, 田中秀峰, 上前泊功, 村下秀和, 田淵経司, 大久保英樹, 和田哲郎, 原晃. 鼻副鼻腔悪性腫瘍の臨床統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):49-52, 2013
25. 和田哲郎. 乳幼児健診での耳鼻咽喉科的注意点. 茨城県医師会報 709:38-51, 2013
26. 和田哲郎, 中山雅博, 廣瀬由紀, 中馬越真理子, 西村文吾, 田中秀峰, 星野朝文, 上前泊功, 飛田忠道, 辻茂希, 田淵経司, 大久保英樹, 高橋和彦, 瀬成田雅光, 原晃. 聴神経腫瘍ならびに神経線維腫症 II 型の臨床統計. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):43-48, 2013
27. 和田哲郎, 原晃. 【急患・急変対応マニュアル-そのとき必要な処置と処方】 疾患ごとの救急処置法・処方 急性症状を示す聴覚器疾患 音響外傷. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 85(5):228-231, 2013
28. 和田哲郎, 吉村知倫, 大原浩達, 芦澤圭, 中山雅博, 廣瀬由紀, 中馬越真理子, 西村文吾, 星野朝文, 田中秀峰, 上前泊功, 飛田忠道, 辻茂希, 田淵経司, 大久保英樹, 高橋和彦, 瀬成田雅光, 原晃. 中咽頭悪性腫瘍の臨床統計 TAR 療法による chemoradioselection. 耳鼻咽喉科展望 56(補冊 1):86-91, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 原晃, 田中秀峰. 第 3 章 歯牙に関連する疾患を診る 歯原性嚢胞; "ENT 臨床フロンティア 口腔・咽頭疾患、歯牙関連疾患を診る" (編集 黒野祐一), 中山書店 (東京) 2013; pp238-244
2. 和田哲郎, 原晃. 日常診療の疑問を解決; "耳鼻咽喉科・頭頸部外科 Q&A (第 2 版)" (編集 岡本美孝), 中外医学社 (東京) 2013; pp94-98
3. 和田哲郎, 原晃. そのとき必要な処置と処方 急性症状を示す聴覚器疾患 音響外傷; "耳鼻咽喉科・頭頸部外科 急患・急変対応マニュアル" (編集 佐々木好久, 曾田豊二, 坂井真, 八木聰明, 竹中洋, 吉原俊雄, 小川郁, 丹生健一), 医学書院 (東京) 2013; pp228-231

## 外科学（歯科・口腔）

### 1) 英文論文

1. Adachi K, Togashi S, Yanagawa T, Ishibashi N, Goto T, Yamagata K, Onizawa K, Sasaki H, Sasaki K, Bukawa H, Sekido M. Presurgical orthopedic treatment ameliorates postoperative nasal deformity after cheiloplasty. *Ann Plast Surg* 71(2):170-175, 2013
2. Baba O, Yamagata K, Tomidokoro Y, Tamaoka A, Itoh H, Yanagawa T, Onizawa K, Bukawa H. Neuroleptic malignant syndrome in a patient with tongue cancer: a report of a rare case. *Case Rep Dent* 2013:542130, 2013
3. Doi H, Adachi H, Katsuno M, Minamiyama M, Matsumoto S, Kondo N, Miyazaki Y, Iida M, Tohnai G, Qiang Q, Tanaka F, Yanagawa T, Warabi E, Ishii T, Sobue G. p62/SQSTM1 differentially removes the toxic mutant androgen receptor via autophagy and inclusion formation in a spinal and bulbar muscular atrophy mouse model. *J Neurosci* 33(18):7710-7727, 2013
4. Harada H, Warabi E, Matsuki T, Yanagawa T, Okada K, Uwayama J, Ikeda A, Nakaso K, Kirii K, Noguchi N, Bukawa H, Siow RC, Mann GE, Shoda J, Ishii T, Sakurai T. Deficiency of p62/Sequestosome 1 causes hyperphagia due to leptin resistance in the brain. *J Neurosci* 33(37):14767-14777, 2013
5. Ito T, Kimura S, Seto K, Warabi E, Kawachi Y, Shoda J, Tabuchi K, Yamagata K, Hasegawa S, Bukawa H, Ishii T, Yanagawa T. Peroxiredoxin I plays a protective role against UVA irradiation through reduction of oxidative stress. *J Dermatol Sci* 7 doi: 10.1016/j.jdermsci.2013.12.002, 2013
6. Kimura K, Nagano M, Salazar G, Yamashita T, Tsuboi I, Mishima H, Matsushita S, Sato F, Yamagata K, Ohneda O. The role of CCL5 in the ability of adipose tissue-derived mesenchymal stem cells to support repair of ischemic regions. *Stem Cells Dev* doi: 10.1089/scd.2013.0307, 2013
7. Okada K, Ma D, Warabi E, Morito N, Akiyama K, Murata Y, Yamagata K, Bukawa H, Shoda J, Ishii T, Yanagawa T. Amelioration of cisplatin-induced nephrotoxicity in peroxiredoxin I-deficient mice. *Cancer Chemother Pharmacol* 71(2):503-509, 2013
8. Onuki K, Sugiyama H, Ishige K, Kawamoto T, Ota T, Ariizumi S, Yamato M, Kadota S, Takeuchi K, Ishikawa A, Onodera M, Onizawa K, Yamamoto M, Miyoshi E, Shoda J. Expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in the subserosal layer correlates with postsurgical survival of pathological tumor stage 2 carcinoma of the gallbladder. *J Gastroenterol* doi: 10.1007/s00535-013-0813-2, 2013

9. Seto K, Shoda J, Horibe T, Warabi E, Ishige K, Yamagata K, Kohno M, Yanagawa T, Bukawa H, Kawakami K. Interleukin-4 receptor alpha-based hybrid peptide effectively induces antitumor activity in head and neck squamous cell carcinoma. *Oncol Rep* 29(6):2147-2153, 2013
10. Seto K, Uchida F, Baba O, Yamatoji M, Karube R, Warabi E, Sakai S, Hasegawa S, Yamagata K, Yanagawa T, Onizawa K, Miyoshi E, Shoda J, Bukawa H. Negative expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in oral squamous cell carcinoma correlates with poor prognosis. *Springerplus* 2:657, 2013
11. Seto K, Yamagata K, Uchida F, Yanagawa T, Onizawa K, Bukawa H. Radiation-induced carotid artery stenosis in a patient with carcinoma of the oral floor. *Case Rep Oncol Med* 2013:379039, 2013
12. Uchida F, Uzawa K, Kasamatsu A, Takatori H, Sakamoto Y, Ogawara K, Shiiba M, Bukawa H, Tanzawa H. Overexpression of CDCA2 in human squamous cell carcinoma: correlation with prevention of G1 phase arrest and apoptosis. *PLoS One* 8(2):e56381, 2013
13. Yamagata K, Ito H, Onizawa K, Yamatoji M, Yanagawa T, Bukawa H. Prognosis for gingival carcinomas with a delayed diagnosis after dental extraction. *J Oral Maxillofac Surg* 71(12):2189-2194, 2013
14. Yamagata K, Karube R, Yanagawa T, Zemann W, Metzler P, Onizawa K, Bukawa H. Basaloid squamous cell carcinoma of the oral cavity: Literature review and report of three cases. *International Journal of Case report and Images* 4(4):199-207, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 大藪琢也, 長谷川正午, 宮部悟, 鯉江正人, 木村嘉宏, 小牧完二. 術後4年と9年で頸部リンパ節後発転移をきたした軟口蓋原発脂腺癌の1例. 日本口腔外科学会雑誌 59(2):93-97, 2013
2. 木村将士, 長谷川正午, 町田純一郎, 大藪琢也, 小牧完二. 頬脂肪体有茎移植術による頬粘膜癌切除後の再建. 愛知学院大学歯学会誌 51(2):107-112, 2013
3. 山縣憲司, 鬼澤浩司郎, 柳川徹, 伊藤寛之, 武川寛樹. 顎顔面領域腫瘍性疾患に対する穿刺組織診の応用. 日本口腔診断学会雑誌 26(1):34-41, 2013
4. 山縣憲司, 馬場脩, 菅野直美, 長井宏樹, 柳川徹, 武川寛樹. 舌癌頸部郭清標本から胃癌の頸部リンパ節転移が発見された1例. 日本口腔外科学会雑誌 59(8):550-554, 2013

## 4) 英文以外の著書

1. 武川寛樹. 3.3.1. 検体; "口腔科学 (第 1 版)" (編集 戸塚靖則, 高戸毅), 朝倉書店 (東京) 2013; pp261-266
2. 武川寛樹. 3.3.2. 生体機能検査; "口腔科学 (第 1 版)" (編集 戸塚靖則, 高戸毅), 朝倉書店 (東京) 2013; pp267-270

## 精神医学

### 1) 英文論文

1. Endo G, Tachikawa H, Fukuoka Y, Aiba M, Nemoto K, Shiratori Y, Matsui Y, Doi N, Asada T. How perceived social support relates to suicidal ideation: A Japanese social resident survey. *Int J Soc Psychiatry* doi: 10.1177/0020764013486777, 2013
2. Ito K, Mori E, Fukuyama H, Ishii K, Washimi Y, Asada T, Mori S, Meguro K, Kitamura S, Hanyu H, Nakano S, Matsuda H, Kuwabara Y, Hashikawa K, Momose T, Uchida Y, Hatazawa J, Minoshima S, Kosaka K, Yamada T, Yonekura Y. Prediction of outcomes in MCI with 123I-IMP-CBF SPECT: a multicenter prospective cohort study. *Annals of Nuclear Medicine* 27(27):898-906, 2013
3. Kobayashi Z, Akaza M, Ishihara S, Tomimitsu H, Inadome Y, Arai T, Akiyama H, Shintani S. Thalamic hypoperfusion in early stage of progressive supranuclear palsy (Richardson's syndrome): report of an autopsy-confirmed case. *J Neurol Sci* 335(1-2):224-227, 2013
4. Kobayashi Z, Arai T, Yokota O, Tsuchiya K, Hosokawa M, Oshima K, Niizato K, Akiyama H, Mizusawa H. Atypical FTLN-FUS associated with ALS-TDP: a case report. *Neuropathology* 33(1):83-86, 2013
5. Kobayashi Z, Kawakami I, Arai T, Yokota O, Tsuchiya K, Kondo H, Shimomura Y, Haga C, Aoki N, Hasegawa M, Hosokawa M, Oshima K, Niizato K, Ishizu H, Terada S, Onaya M, Ikeda M, Oyanagi K, Nakano I, Murayama S, Akiyama H, Mizusawa H. Pathological features of FTLN-FUS in a Japanese population: analyses of nine cases. *J Neurol Sci* 335(1-2):89-95, 2013
6. Kondo T, Asai M, Tsukita K, Kutoku Y, Ohsawa Y, Sunada Y, Imamura K, Egawa N, Yahata N, Okita K, Takahashi K, Asaka I, Aoi T, Watanabe A, Watanabe K, Kadoya C, Nakano R, Watanabe D, Maruyama K, Hori O, Hibino S, Choshi T, Nakahata T, Hioki H, Kaneko T, Naitoh M, Yoshikawa K, Yamawaki S, Suzuki S, Hata R, Ueno S, Seki T, Kobayashi K, Toda T, Murakami K, Irie K, Klein WL, Mori H, Asada T, Takahashi R, Iwata N, Yamanaka S, Inoue H. Modeling Alzheimer's disease with iPSCs reveals stress phenotypes associated with

- intracellular Abeta and differential drug responsiveness. *Cell Stem Cell* 12(4):487-496, 2013
7. Liu R, Yang G, Nonaka T, Arai T, Jia W, Cynader MS. Reducing TDP-43 aggregation does not prevent its cytotoxicity. *Acta Neuropathol Commun* 1(1):49, 2013
  8. Masuda-Suzukake M, Nonaka T, Hosokawa M, Oikawa T, Arai T, Akiyama H, Mann DM, Hasegawa M. Prion-like spreading of pathological alpha-synuclein in brain. *Brain* 136(Pt 4):1128-1138, 2013
  9. Miyashita A, Koike A, Jun G, Wang LS, Takahashi S, Matsubara E, Kawarabayashi T, Shoji M, Tomita N, Arai H, Asada T, Harigaya Y, Ikeda M, Amari M, Hanyu H, Higuchi S, Ikeuchi T, Nishizawa M, Suga M, Kawase Y, Akatsu H, Kosaka K, Yamamoto T, Imagawa M, Hamaguchi T, Yamada M, Moriaha T, Takeda M, Takao T, Nakata K, Fujisawa Y, Sasaki K, Watanabe K, Nakashima K, Urakami K, Ooya T, Takahashi M, Yuzuriha T, Serikawa K, Yoshimoto S, Nakagawa R, Kim JW, Ki CS, Won HH, Na DL, Seo SW, Mook-Jung I, St George-Hyslop P, Mayeux R, Haines JL, Pericak-Vance MA, Yoshida M, Nishida N, Tokunaga K, Yamamoto K, Tsuji S, Kanazawa I, Ihara Y, Schellenberg GD, Farrer LA, Kuwano R. SORL1 is genetically associated with late-onset Alzheimer's disease in Japanese, Koreans and Caucasians. *PLoS One* 8(4):e58618, 2013
  10. Mizukami K, Abrahamson EE, Mi Z, Ishikawa M, Watanabe K, Kinoshita S, Asada T, Ikonovic MD. Immunohistochemical analysis of ubiquilin-1 in the human hippocampus: association with neurofibrillary tangle pathology. *Neuropathology* doi: 10.1111/neup.12055, 2013
  11. Musha T, Matsuzaki H, Kobayashi Y, Okamoto Y, Tanaka M, Asada T. EEG markers for characterizing anomalous activities of cerebral neurons in NAT (neuronal activity topography) method. *IEEE Trans Biomed Eng* 60(8):2332-2338, 2013
  12. Nakamura K, Takahashi T, Nemoto K, Furuichi A, Nishiyama S, Nakamura Y, Ikeda E, Kido M, Noguchi K, Seto H, Suzuki M. Gray matter changes in subjects at high risk for developing psychosis and first-episode schizophrenia: a voxel-based structural MRI study. *Front Psychiatry* 4(16), 2013
  13. Nonaka T, Masuda-Suzukake M, Arai T, Hasegawa Y, Akatsu H, Obi T, Yoshida M, Murayama S, Mann DM, Akiyama H, Hasegawa M. Prion-like properties of pathological TDP-43 aggregates from diseased brains. *Cell Rep* 4(1):124-134, 2013
  14. Nose M, Kodama C, Ikejima C, Mizukami K, Matsuzaki A, Tanaka S, Yoshimura A, Yasuno F, Asada T. ApoE4 is not associated with depression when mild cognitive impairment is considered. *Int J Geriatr Psychiatry* 28(2):155-163, 2013

15. Ota M, Ishikawa M, Sato N, Hori H, Sasayama D, Hattori K, Teraishi T, Noda T, Obu S, Nakata Y, Higuchi T, Kunugi H. Discrimination between schizophrenia and major depressive disorder by magnetic resonance imaging of the female brain. *J Psychiatr Res* 47(10):1383-1388, 2013
16. Yamane T, Ikari Y, Nishio T, Ishii K, Ishii K, Kato T, Ito K, Silverman DH, Senda M, Asada T, Arai H, Sugishita M, Iwatsubo T. Visual-statistical interpretation of (18)F-FDG-PET images for characteristic Alzheimer patterns in a multicenter study: inter-rater concordance and relationship to automated quantitative evaluation. *AJNR Am J Neuroradiol* doi: 10.3174/ajnr.A3665, 2013
17. Yasuno F, Asada T. Effect of plasma lipids and APOE genotype on cognitive decline. *Dialogues Clin Neurosci* 15(1):120-126, 2013

2) 英文以外の論文

1. 相羽美幸, 太刀川弘和, 遠藤剛, 松井豊, 福岡欣治, 土井永史, 朝田隆. 自殺念慮とソーシャル・サポートの互恵性-茨城県笠間市民を対象とした地域住民調査から-. 自殺予防と危機介入 33(1):17-26, 2013
2. 相羽美幸, 太刀川弘和, 福岡欣治, 遠藤剛, 白鳥裕貴, 松井豊, 朝田隆. 簡易ソーシャル・サポート・ネットワーク尺度 (BISSEN) の開発. 精神医学 55(9):863-873, 2013
3. 石井映美, 太刀川弘和, 佐々木恵美, 堀孝文. 通院中、統合失調症を顕在発症した9自験例. CAMPUS HEALTH 50(1):526-528, 2013
4. 石井映美, 太刀川弘和, 堀孝文, 相羽美幸. 筑波大学保健管理センター精神科における学生の学業転帰. 精神神経学雑誌 2013(特別):S-402, 2013
5. 太田深秀, 佐藤典子, 石川正憲, 堀弘明, 篠山大明, 服部功太郎, 寺石俊也, 大部聡子, 中田安弘, 根本清貴, 守口善也, 橋本亮太, 功刀浩. 精神医学のフロンティア MRIによる女性統合失調症患者と女性健常群との判別分析. 精神神経学雑誌 115(12):1171-1177, 2013
6. 岡田直大, 根本清貴, 笠井清登. 【神経・精神疾患診療マニュアル】 精神科領域におけるMRI画像. 日本医師会雑誌 142(特別 2):S11, 2013
7. 上月ゆり子, 太刀川弘和, 相羽美幸, 福岡欣治, 堀孝文, 石井映美, 土井永史, 朝田隆. 学生の希死念慮とソーシャル・サポートはどのように関連するか. 日本社会精神医学会雑誌 22(3):389-390, 2013
8. 佐藤晋爾. 「音楽における永遠をめざして -音楽のパトグラフィー2- 大谷正人著」書評. 日本病跡学雑誌 85(1):77-79, 2013

9. 佐藤晋爾, 朝田隆. 「継往開来」 操作的診断の中で見失われがちな,大切な疾病概念や症状の再評価シリーズ 激越型うつ病. 精神医学 55(6):571-574, 2013
10. 佐藤晋爾, 堀孝文, 朝田隆. 筑波大学. 最新精神医学 18(1):77-82, 2013
11. 島田直子, 佐藤純, 杉江征, 寺島瞳, 田附あえか, 堀孝文, 太刀川弘和, 石井映美. UPI 利用と UPI 呼出面接に関する探索的検討 休・退学データを指標として. CAMPUS HEALTH 50(1):436-438, 2013
12. 高橋卓巳, 新井哲明, 高橋樹里, 石田祥子, 鈴木浩明, 市川忠彦, 朝田隆. 脳波異常を伴ってんかんととの鑑別が困難であった機能性嘔吐の一例. 精神科治療学 28(8):1067-1073, 2013
13. 太刀川弘和. 自殺企図者の救急体制に関する精神科医療機関の取組み現況 連載:精神科救急⑱. 精神科 22(3):327-332, 2013
14. 太刀川弘和. 恋愛病. つくばスチューデント 通巻 643 号:15, 2013
15. 太刀川弘和. 「あなたがゲートキーパーになる時」-ゲートキーパー研修用ビデオ制作記. 心と社会 44(3):80-86, 2013
16. 太刀川弘和. 夏休みの衛星・彗星. 紫峰会報「学生相談室から」 136, 2013
17. 太刀川弘和, 佐藤晋爾, 高木善文, 山形晃彦, 吉澤一巳, 坂本昭裕, 磯崎哲也, 吉田隆夫, 倉橋憲二, 土井永史, 朝田隆. 福島県相馬市への茨城県心のケアチーム支援活動. 茨城県救急医学会雑誌 35:145 -146, 2013
18. 根本清貴. 老年精神医学と Brain Imaging 画像統計解析法(MRI および PET/SPECT)の基礎. 老年精神医学雑誌 24(4):399-406, 2013
19. 根本清貴. 【精神科領域における最近の MRI の進歩】 VBM の利点と問題点. 精神科 22(4):401-404, 2013
20. 根本清貴, 太刀川弘和, 鈴木英雄, 堀孝文, 谷中昭典, 兵藤一之介, 朝田隆. 過敏性腸症候群の重症度と不安・抑うつ症状との関連. 精神医学 55(4):327 -333, 2013
21. 堀孝文, 石井映美, 久永明人, 田附あえか, 太刀川弘和, 朝田隆. 東日本大震災の影響がみられた夢幻様体験型の 1 例. 精神神経学雑誌 115(5):477-484, 2013
22. 渡部衣美, 根本清貴, 伊藤太郎, 新井哲明, 朝田隆. 著明なやせにもかかわらず病態否認が強く治療に難渋した摂食障害の一例. 精神科治療学 28(8):1075-1079, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 新井哲明. F02. F02.0 ピック病型認知症 F02.1 クロイツフェルト-ヤコブ病型認知症 F02.2 ハンチントン病型認知症; "ICD-10 精神科診断ガイドブック (第 1 版)" (編集 中根允文, 山内俊雄), 中山書店 (東京) 2013; pp49-63

2. 新井哲明. 7. 抗認知症薬および脳循環・代謝改善薬; "精神・神経の治療薬事典 (第1版)" (編集 樋口輝彦), 総合医学社 (東京) 2013; pp300-305
3. 石井映美. 7. ジヒドロエルゴトキシンメシル酸塩; "精神・神経の治療薬事典 (第1版)" (編集 樋口輝彦), 総合医学社 (東京) 2013; pp322-323
4. 石井映美. 朝起きられない学生達; "紫峰会報 (第1版)" (編集 筑波大学学生後援会) (つくば) 2013
5. 石井映美 (翻訳). 570. 広場恐怖; "障害百科事典 (第1版)" (編集 前川久男, 尾崎久記, 高橋智), 丸善出版 (東京) 2013; pp1441 (第3巻)
6. 石井映美 (翻訳). 594. 精神病; "障害百科事典 (第1版)" (編集 前川久男, 尾崎久記, 高橋智), 丸善出版 (東京) 2013; pp1126-1127 (第3巻)
7. 石井映美 (翻訳). 596. 統合失調感情障害; "障害百科事典 (第1版)" (編集 前川久男, 尾崎久記, 高橋智), 丸善出版 (東京) 2013; pp1300 (第3巻)
8. 石川正憲. Q48. 暴力行為のある患者さんに対して緊急に対応しなければならないのはどのような場合ですか?; "Q&A でひも解く高次脳機能障害 (第1版)" (編集 廣實真弓, 平林直次), 医歯薬出版株式会社 (東京) 2013; pp131-132
9. 石川正憲. Q50 うつ病, 抑うつ状態の患者さんに対して緊急に対応しなければならないのはどのような場合ですか?; "Q&A でひも解く高次脳機能障害 (第1版)" (編集 廣實真弓, 平林直次), 医歯薬出版株式会社 (東京) 2013; pp135-136
10. 佐藤晋爾. 7. ニセルゴリン; "精神・神経の治療薬事典 (第1版)" (編集 樋口輝彦), 総合医学社 (東京) 2013; pp324-325
11. 太刀川弘和. 7. シチコリン; "精神・神経の治療薬事典 (第1版)" (編集 樋口輝彦), 総合医学社 (東京) 2013; pp322-323
12. 根本清貴. III. 精神神経疾患における脳画像解析; "脳画像で見る精神疾患 (第1版)" (編集 松田博史, 山内俊雄), 新興医学出版社 (東京) 2013; pp148-156
13. 堀孝文. 3. 統合失調症; "障害百科事典 (第1版)" (編集 前川久男, 尾崎久記, 高橋智), 丸善出版 (東京) 2013; pp1301-1303

## 小児科学

### 1) 英文論文

1. Cuneo BF, Etheridge SP, Horigome H, Sallee D, Moon-Grady A, Weng HY, Ackerman MJ, Benson DW. Arrhythmia phenotype during fetal life suggests long-QT syndrome genotype: risk stratification of perinatal long-QT syndrome. *Circ Arrhythm Electrophysiol*



- 6(5):946-951, 2013
2. Cuneo BF, Strasburger JF, Yu S, Horigome H, Hosono T, Kandori A, Wakai RT. In utero diagnosis of long QT syndrome by magnetocardiography. *Circulation* 128(20):2183-2191, 2013
  3. Fujisawa Y, Miyazono Y, Kawachi Y, Otsuka F. A case of sterile transient neonatal pustulosis presenting with large flaccid pustules. *Pediatr Dermatol* 30(6):e238-239, 2013
  4. Fukushima H, Fukushima T, Sakai A, Suzuki R, Nakajima-Yamaguchi R, Kobayashi C, Iwabuchi A, Saito M, Yoshimi A, Nakao T, Kato K, Tsuchida M, Takahashi H, Koike K, Kiyokawa N, Noguchi E, Sumazaki R. Polymorphisms of MTHFR Associated with Higher Relapse/Death Ratio and Delayed Weekly MTX Administration in Pediatric Lymphoid Malignancies. *Leuk Res Treatment* 2013:238528, 2013
  5. Fukushima H, Fukushima T, Suzuki R, Enokizono T, Matsunaga M, Nakao T, Koike K, Mori K, Matsueda K, Sumazaki R. Continuous regional arterial infusion effective for children with acute necrotizing pancreatitis even under neutropenia. *Pediatr Int* 55(2):e11-13, 2013
  6. Iwabuchi A, Kamoda T, Saito M, Nozue H, Izumi I, Hirano T, Sumazaki R. Serum dipeptidyl peptidase 4 activity in children with type 1 diabetes mellitus. *J Pediatr Endocrinol Metab* 26(11-12):1093-1097, 2013
  7. Iwabuchi A, Kamoda T, Shinohara H, Sumazaki R. Japanese boy with maturity-onset diabetes of the young type 3 who developed diabetes at 19 months old. *Pediatr Int* 55(2):e32-34, 2013
  8. Iwasawa M, Miyahara J, Noriaki T, Nozue H, Sumazaki R. Behavioral support to parents through a cellular-phone website that provides the degree of urgency for medical attention of a child. *Stud Health Technol Inform* 192:1115, 2013
  9. Jimbo T, Masumoto K, Urita Y, Takayasu H, Shinkai T, Uesugi T, Gotoh C, Sakamoto N, Sasaki T, Oto T, Fukushima T, Noguchi E, Nakano Y. Nevoid basal cell carcinoma syndrome with a unilateral giant ovarian fibroma in a Japanese 6-year-old girl. *Eur J Pediatr* doi: 10.1007/s00431-013-2200-7, 2013
  10. Kawamura M, Ohno S, Naiki N, Nagaoka I, Dochi K, Wang Q, Hasegawa K, Kimura H, Miyamoto A, Mizusawa Y, Itoh H, Makiyama T, Sumitomo N, Ushinohama H, Oyama K, Murakoshi N, Aonuma K, Horigome H, Honda T, Yoshinaga M, Ito M, Horie M. Genetic background of catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia in Japan. *Circ J* 77(7):1705-1713, 2013
  11. Kiyokawa N, Iijima K, Tomita O, Miharu M, Hasegawa D, Kobayashi K, Okita H, Kajiwara M, Shimada H, Inukai T, Makimoto A, Fukushima T, Nanmoku T, Koh K, Manabe A,

- Kikuchi A, Sugita K, Fujimoto J, Hayashi Y, Ohara A. Significance of CD66c expression in childhood acute lymphoblastic leukemia. *Leuk Res* doi: 10.1016/j.leukres.2013.10.008, 2013
12. Mahmoud SS, Fukushima T, Shimizu T, Nakao T, Yamaguchi R, Fukushima H, Wada H, Nanmoku T, Sumazaki R. Persistent low level Epstein-Barr virus DNAemia in childhood cancer survivors. *Pediatr Hematol Oncol* 30(3):216-225, 2013
  13. Matsunari H, Nagashima H, Watanabe M, Umeyama K, Nakano K, Nagaya M, Kobayashi T, Yamaguchi T, Sumazaki R, Herzenberg LA, Nakauchi H. Blastocyst complementation generates exogenic pancreas in vivo in apancreatic cloned pigs. *Proc Natl Acad Sci U S A* 110(12):4557-4562, 2013
  14. Mayumi M, Obata-Yasuoka M, Ogura T, Hamada H, Miyazono Y, Yoshikawa H. Discordance in Pena-Shokeir phenotype/fetal akinesia deformation sequence in a monoamniotic twin. *J Obstet Gynaecol Res* 39(1):344-346, 2013
  15. Oshiro Y, Mizumoto M, Okumura T, Sugahara S, Fukushima T, Ishikawa H, Nakao T, Hashimoto T, Tsuboi K, Ohkawa H, Kaneko M, Sakurai H. Clinical results of proton beam therapy for advanced neuroblastoma. *Radiat Oncol* 8(1):142, 2013
  16. Oshiro Y, Okumura T, Mizumoto M, Fukushima T, Ishikawa H, Hashimoto T, Tsuboi K, Kaneko M, Sakurai H. Proton beam therapy for unresectable hepatoblastoma in children: survival in one case. *Acta Oncol* 52(3):600-603, 2013
  17. Shimojima K, Tanaka R, Shimada S, Sangu N, Nakayama J, Iwasaki N, Yamamoto T. A novel homozygous mutation of GJC2 derived from maternal uniparental disomy in a female patient with Pelizaeus-Merzbacher-like disease. *J Neurol Sci* 330(1-2):123-126, 2013
  18. Takagi M, Piao J, Lin L, Kawaguchi H, Imai C, Ogawa A, Watanabe A, Akiyama K, Kobayashi C, Mori M, Ko K, Sugimoto M, Mizutani S. Autoimmunity and persistent RAS-mutated clones long after the spontaneous regression of JMML. *Leukemia* 27(9):1926-1928, 2013
  19. Takanashi JI, Nitta N, Iwasaki N, Saito S, Tanaka R, Barkovich AJ, Aoki I. Neurochemistry in shiverer mouse depicted on MR spectroscopy. *J Magn Reson Imaging* doi: 10.1002/jmri.24306, 2013
  20. Tokunaga C, Hiramatsu Y, Kanemoto S, Takahashi-Igari M, Abe M, Horigome H, Sakakibara Y. Effects of landiolol hydrochloride on intractable tachyarrhythmia after pediatric cardiac surgery. *Ann Thorac Surg* 95(5):1685-1688, 2013
  21. Tsukada T, Hiramatsu Y, Kanemoto S, Lin L, Takahashi-Igari M, Horigome H, Matsushita S, Sakakibara Y. Nontraditional placement of an implantable cardioverter-defibrillator in a

- heterotaxy patient after the completion of total cavopulmonary connection. *J Artif Organs* 16(4):495-497, 2013
22. Yamaoka M, Akiyama M, Yokokawa Y, Terao Y, Yokoi K, Kato T, Fukushima T, Sakurai H, Ida H. Multidisciplinary therapy including proton beam radiotherapy for a Ewing sarcoma family tumor of maxillary sinus in a 4-year-old girl. *Head Neck* 35(12):E386-390, 2013
23. Yoshimatsu S, Hossain MI, Islam MM, Chisti MJ, Okada M, Kamoda T, Fukushima T, Wagatsuma Y, Sumazaki R, Ahmed T. Hypophosphatemia among severely malnourished children with sepsis in Bangladesh. *Pediatr Int* 55(1):79-84, 2013
24. Yoshimi A, Kamachi Y, Imai K, Watanabe N, Nakadate H, Kanazawa T, Ozono S, Kobayashi R, Yoshida M, Kobayashi C, Hama A, Muramatsu H, Sasahara Y, Jakob M, Morio T, Ehl S, Manabe A, Niemeyer C, Kojima S. Wiskott-Aldrich syndrome presenting with a clinical picture mimicking juvenile myelomonocytic leukaemia. *Pediatr Blood Cancer* 60(5):836-841, 2013
25. Yoshinaga M, Kucho Y, Sarantuya J, Ninomiya Y, Horigome H, Ushinohama H, Shimizu W, Horie M. Genetic characteristics of children and adolescents with long-QT syndrome diagnosed by school-based electrocardiographic screening programs. *Circ Arrhythm Electrophysiol* doi: 10.1161/CIRCEP.113.000426, 2013
26. Yoshinaga M, Ushinohama H, Sato S, Tauchi N, Horigome H, Takahashi H, Sumitomo N, Kucho Y, Shiraishi H, Nomura Y, Shimizu W, Nagashima M. Electrocardiographic screening of 1-month-old infants for identifying prolonged QT intervals. *Circ Arrhythm Electrophysiol* 6(5):932-938, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 竹内秀輔, 鈴木涼子, 福島敬, 福島紘子, 岩淵敦, 中尾朋平, 山口玲子, 工藤寿子, 杉田真太郎, 稲留征典, 佐藤豊実, 櫻井英幸, 金子道夫, 須磨崎亮. 進行期卵巣小細胞癌に対して集学的治療を施行した女兒例. 日本小児血液・がん学会雑誌 50(2):269-273, 2013
2. 福島紘子, 福島敬, 後藤悠大, 田宮裕太郎, 中尾朋平, 吉見愛, 山口玲子, 五味詩絵奈, 鈴木涼子, 清水崇史, 林立申, 長谷川誠, 福島富士子, 中原智子, 須磨崎亮. 血友病児の生活支援における診療連携の役割と課題. 日本小児血液・がん学会雑誌 50(2):227-231, 2013
3. 福留隆泰, 田中竜太, 安藤直樹, 本村政勝, 吉村俊朗, 佐々木征行, 西野一三, 東慶輝, 大野欽司. Prednisolone が有効だった小児期発症の limb-girdle 型重症筋無力症の兄弟例. 神経治療学 30(4):465-469, 2013
4. 藤代準, 小野健太郎, 星野論子, 新開統子, 瓜田泰久, 五藤周, 福島紘子, 福島敬, 金子道

- 夫, 増本幸二. 小児進行副腎皮質癌の 1 例. 日本小児外科学会雑誌 49(2):246-250, 2013
5. 堀米仁志, 石川康宏, 加藤愛章, 中村昭宏, 岩本眞理, 住友直方, 吉永正夫. 独立成分分析を用いた先天性 QT 延長症候群の T 波の解析 主成分分析との診断精度の比較. 日本心臓病学会誌 8(1):14-25, 2013
  6. 前田潤, 古谷喜幸, 稲井慶, 小穴慎二, 梶野浩樹, 上砂光裕, 松裏裕行, 松岡瑠美子, 森克彦, 須田憲治, 飯島正紀, 池原聡, 大木寛生, 金丸浩, 田内宣生, 中島弘道, 西原栄起, 濱岡建城, 早渕康信, 堀米仁志, 桃井伸緒, 安田謙二, 横澤正人, 新垣義夫, 市田蒔子, 小野安生, 小山耕太郎, 黒江兼司, 小林俊樹, 城尾邦隆, 白石公, 中川雅生, 野村裕一, 総崎直樹, 村上智明, 安河内聡, 安田東始哲, 中西敏雄, 山岸敬幸, 日本小児循環器学会心血管疾患の遺伝子疫学委員会. チアノーゼ性先天性心疾患における脳膿瘍の疫学 日本小児循環器学会心血管疾患の遺伝子疫学委員会 平成 20 年度-22 年度研究課題報告. 日本小児循環器学会雑誌 29(5):236-242, 2013
  7. 松澤明美, 田宮菜奈子, 柏木聖代, 田中竜太, 竹谷俊樹, 野村芳子. 障害者自立支援法導入による在宅障害児・者の母親の養育負担感の変化とその関連要因. 小児保健研究 72(1):54-64, 2013
  8. 三春晶嗣, 清河信敬, 小林健一郎, 大喜多肇, 飯島一智, 森鉄也, 斎藤正博, 福島敬, 康勝好, 真部淳, 菊地陽, 林泰秀, 小原明. 【FCM によるリンパ系腫瘍への新たなアプローチ】小児白血病 MRD 検出における 10 カラーフローサイトメトリーの有用性. Cytometry Research 23(2):7-14, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 岩崎信明, 田中竜太, 林雅晴. 発達遅延、顔貌異常、難聴を呈した 6 歳男児; "小児神経学の進歩 42 巻", 診断と治療社 (東京) 2013; pp86-105
2. 榎園崇, 田中竜太, 大矢寧. 【理解して出そう 小児の検査-オーダー・手技・解釈】神経 誘発筋電図; "小児科診療 76 巻増刊", 診断と治療社 (東京) 2013; pp328-335
3. 大城佳子, 水本斉志, 石川仁, 奥村敏之, 坪井康次, 柴武二, 福島敬, 須磨崎亮, 増本幸二, 金子道夫, 櫻井英幸. 固形腫瘍の治療の進歩 小児固形がんに対する陽子線治療; "日本小児血液・がん学会雑誌 50 巻 3 号", 日本小児血液・がん学会 (東京) 2103; pp331-334
4. 大戸達之, 宮本信也. 【クローズアップ 子どもの心の発達】子どもの年齢からみた心 青年期における心の発達の特徴と問題への対応; "小児内科 45 巻 8 号", 東京医学社 (東京) 2013; pp1461-1463
5. 大戸達之, 宮本信也. 【子ども虐待予防 周産期から助産師ができること】虐待発症のメカニズムと乳児虐待死亡例; "Birth2 巻 2 号", 医学出版 (東京) 2013; pp25-31

6. 加藤愛章.【小児・新生児の不整脈・心電図の見かた】QT 延長・短縮症候群の心電図の見かたとポイント;"こどもケア 8 巻 2 号",日総研出版(愛知) 2013; pp39-45
7. 工藤豊一郎.【予防接種 Q&A】B 型肝炎 無反応例 B 型肝炎ワクチンの無反応例とその対策について教えてください(Q&A/特集); "小児内科", 東京医学社 (東京) 2013; pp579-580
8. 工藤豊一郎.【予防接種 Q&A】A 型肝炎 注意事項 小児に A 型肝炎ワクチンを接種する際の注意事項にはどのようなものがありますか(Q&A/特集); "小児内科", 東京医学社 (東京) 2013; pp604-605
9. 齋藤誠. 世界に発信する NCPR NCPR と e ラーニング e ラーニングのできることで、できないこと;"日本周産期・新生児医学会雑誌 49 巻 1 号, 日本周産期・新生児医学会 (東京) 2013; pp99-101
10. 須磨崎亮, 長谷川誠, 和田宏来, 田川学.【前腸系ステム細胞】非腫瘍性疾患の疾患理解 嚢胞性線維症(Cystic fibrosis)とその肝病変;"肝・胆・膵 66 巻 4 号", 株式会社アークメディア (東京) 2013; pp661-670
11. 田川学, 須磨崎亮.【予防接種 Q&A】予防接種全般 医療従事者へのワクチン接種 医学生・看護学生 医学生・看護学生の予防接種について、どのように対処するのが望ましいでしょうか;"小児内科 45 巻増刊", 東京医学社 (東京) 2013; pp193-194
12. 田川学, 須磨崎亮.【予防接種 Q&A】予防接種全般 医療従事者へのワクチン接種 医師以外の病院職員 病院の管理体制のなかに、職員の予防接種に関する決まりをつくっているところはありますか;"小児内科 45 巻増刊", 東京医学社 (東京) 2013; pp195-196
13. 田川学, 須磨崎亮.【変貌を遂げつつあるわが国の予防接種体制】A 型肝炎ウイルス ワクチン・B 型肝炎ウイルスワクチン;"日本医師会雑誌 142 巻 8 号", 日本医師会 (東京) 2013; pp1773-1775
14. 福島紘子, 長谷川雄一.【理解して出そう 小児の検査-オーダー・手技・解釈】血液 Coombs 試験;"小児科診療 76 巻増刊", 診断と治療社 (東京) 2013; pp146-151
15. 堀米仁志.【わかる心電図-病態に迫る判読のコツ】不整脈 QT 延長症候群、QT 短縮症候群(解説/特集); "小児科診療", 診断と治療社 (東京) 2013; pp1779-1787
16. 堀米仁志.【古くて新しい心臓病-成人先天性心疾患】成人先天性心疾患のチアノーゼ(解説/特集); "成人病と生活習慣病", 東京医学社 (東京) 2013; pp173-179
17. 堀米仁志, 高橋一浩.【クローズアップ 新しい子どもの病気】循環器疾患 最近急に他科から問い合わせが多くなった疾患や病態 先天性 QT 延長症候群 3 型(解説/特集); "小児内科" 東京医学社 (東京) 2013; pp1107-1110

18. 吉永正夫, 泉田直己, 岩本眞理, 大也 牛ノ濱, 住友直方, 田内宣生, 高橋良明, 富田英, 長嶋正實, 堀米仁志, 山内邦昭, 阿部勝巳, 新垣義夫, 上野倫彦, 太田邦雄, 佐藤誠一, 高木純一, 立野滋, 檜垣高史, 市田露子, 白石裕比湖, 杉薫, 堀江稔, 日本小児循環器学会学校心臓検診委員会. 器質的心疾患を認めない不整脈の学校生活管理指導ガイドライン; "日本小児循環器学会雑誌 29 巻 6 号", 日本小児循環器学会 (東京) 2013; pp277-290
19. 和田宏来, 須磨崎亮. 【小児用ワクチン Update】 予防接種各論 A 型肝炎ウイルスワクチン 最近の知見; "医学のあゆみ 244 巻 1 号", 医歯薬出版株式会社 (東京) 2013; pp112-118

## 産婦人科学

### 1) 英文論文

1. Abe A, Minaguchi T, Ochi H, Onuki M, Okada S, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H. PIK3CA overexpression is a possible prognostic factor for favorable survival in ovarian clear cell carcinoma. *Hum Pathol* 44(2):199-207, 2013
2. Akiyama-Abe A, Minaguchi T, Nakamura Y, Michikami H, Shikama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H. Loss of PTEN expression is an independent predictor of favourable survival in endometrial carcinomas. *Br J Cancer* 109(6):1703-1710, 2013
3. Donoyama N, Satoh T, Hamano T. Effects of Anma massage therapy (Japanese massage) for gynecological cancer survivors: study protocol for a randomized controlled trial. *Trials* 14:233, 2013
4. Eto T, Saito T, Shimokawa M, Hatae M, Takeshima N, Kobayashi H, Kasamatsu T, Yoshikawa H, Kamura T, Konishi I. Status of treatment for the overall population of patients with stage IVb endometrial cancer, and evaluation of the role of preoperative chemotherapy: a retrospective multi-institutional study of 426 patients in Japan. *Gynecol Oncol* 131(3):574-580, 2013
5. Fujii T, Takatsuka N, Nagata C, Matsumoto K, Oki A, Furuta R, Maeda H, Yasugi T, Kawana K, Mitsuhashi A, Hirai Y, Iwasaka T, Yaegashi N, Watanabe Y, Nagai Y, Kitagawa T, Yoshikawa H. Association between carotenoids and outcome of cervical intraepithelial neoplasia: a prospective cohort study. *Int J Clin Oncol* 18(6):1091-1101, 2013
6. Ichinose M, Fujimoto A, Osuga Y, Minaguchi T, Kawana K, Yano T, Kozuma S. The influence of infertility treatment on the prognosis of endometrial cancer and atypical complex

- endometrial hyperplasia. *Int J Gynecol Cancer* 23(2):288-293, 2013
7. Katsumata N, Yoshikawa H, Kobayashi H, Saito T, Kuzuya K, Nakanishi T, Yasugi T, Yaegashi N, Yokota H, Kodama S, Mizunoe T, Hiura M, Kasamatsu T, Shibata T, Kamura T. Phase III randomised controlled trial of neoadjuvant chemotherapy plus radical surgery vs radical surgery alone for stages IB2, IIA2, and IIB cervical cancer: a Japan Clinical Oncology Group trial (JCOG 0102). *Br J Cancer* 108(10):1957-1963, 2013
  8. Matsumoto T, Hiura M, Baba T, Ishiko O, Shiozawa T, Yaegashi N, Kobayashi H, Yoshikawa H, Kawamura N, Kaku T. Clinical management of atypical polypoid adenomyoma of the uterus. A clinicopathological review of 29 cases. *Gynecol Oncol* 129(1):54-57, 2013
  9. Mayumi M, Obata-Yasuoka M, Ogura T, Hamada H, Miyazono Y, Yoshikawa H. Discordance in Pena-Shokeir phenotype/fetal akinesia deformation sequence in a monoamniotic twin. *J Obstet Gynaecol Res* 39(1):344-346, 2013
  10. Michikami H, Minaguchi T, Ochi H, Onuki M, Okada S, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H. Safety and efficacy of substituting nedaplatin after carboplatin hypersensitivity reactions in gynecologic malignancies. *J Obstet Gynaecol Res* 39(1):330-335, 2013
  11. Nasu K, Satoh T, Nishio S, Nagai Y, Ito K, Otsuki T, Hongo A, Hirashima Y, Ogura T, Shimada M. Clinicopathologic features of brain metastases from gynecologic malignancies: a retrospective study of 139 cases (KCOG-G1001s trial). *Gynecol Oncol* 128(2):198-203, 2013
  12. Satoh T, Matsumoto K, Fujii T, Sato O, Gemma N, Onuki M, Saito H, Aoki D, Hirai Y, Yoshikawa H. Rapid genotyping of carcinogenic human papillomavirus by loop-mediated isothermal amplification using a new automated DNA test (Clinichip HPV). *J Virol Methods* 188(1-2):83-93, 2013
  13. Satoh T, Matsumoto K, Tanaka YO, Akiyama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Minaguchi T, Sakurai H, Yoshikawa H. Incidence of venous thromboembolism before treatment in cervical cancer and the impact of management on venous thromboembolism after commencement of treatment. *Thromb Res* 131(4):e127-132, 2013
  14. Takano M, Ochi H, Takei Y, Miyamoto M, Hasumi Y, Kaneta Y, Nakamura K, Kurosaki A, Satoh T, Fujiwara H, Nagao S, Furuya K, Yokota H, Ito K, Minegishi T, Yoshikawa H, Fujiwara K, Suzuki M. Surgery for endometrial cancers with suspected cervical involvement: is radical hysterectomy needed (a GOTIC study)? *Br J Cancer* 109(7):1760-1765, 2013
  15. Tanaka YO, Okada S, Satoh T, Matsumoto K, Oki A, Saida T, Yoshikawa H, Minami M. Diversity in size and signal intensity in multilocular cystic ovarian masses: new parameters for distinguishing metastatic from primary mucinous ovarian neoplasms. *J Magn Reson*

*Imaging* 38(4):794-801, 2013

16. Yoshikawa H, Ebihara K, Tanaka Y, Noda K. Efficacy of quadrivalent human papillomavirus (types 6, 11, 16 and 18) vaccine (GARDASIL) in Japanese women aged 18-26 years. *Cancer Sci* 104(4):465-472, 2013

2) 英文以外の論文

1. 岡崎有香, 岡田智志, 越智寛幸, 小貫麻美子, 水口剛雄, 松本光司, 佐藤豊実, 沖明典, 吉川裕之. 当院における高度肥満子宮体癌患者の治療経験. 関東連合産科婦人科学会誌 50(1):51-55, 2013
2. 小島真奈, 濱田洋実. 【性感染症と母子感染-最新の診断と管理】 母子感染 妊婦健診で感染症検査を行う意義と根拠. 臨床婦人科産科 67(1):64-70, 2013
3. 小島真奈, 吉川裕之. 【常位胎盤早期剥離の病態と管理】 早剥の管理 IUID の取り扱い 筑波大学の方針. 周産期医学 43(4):493-496, 2013
4. 小宮春奈, 小倉剛, 八木洋也, 安部加奈子, 永井優子, 小島真奈, 濱田洋実, 吉川裕之. Interferon- $\alpha$  による周産期管理を行った妊娠中発症の本態性血小板血症合併妊娠の一例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 49(3):1050-1054, 2013
5. 竹内秀輔, 鈴木涼子, 福島敬, 福島紘子, 岩淵敦, 中尾朋平, 山口玲子, 工藤寿子, 杉田真太郎, 稲留征典, 佐藤豊実, 櫻井英幸, 金子道夫, 須磨崎亮. 進行期卵巣小細胞癌に対して集学的治療を施行した女児例. 日本小児血液・がん学会雑誌 50(2):269-273, 2013
6. 濱田洋実. 【妊娠と感染症 忘れてはならないエッセンス】 HTLV-1(成人 T 細胞白血病) 抗体検査(キャリア診断)の流れは?児の栄養方法の選択は? Birth 2(1):44-51, 2013
7. 濱田洋実, 小島真奈, 大原玲奈. 【母子感染 up to date】 HTLV-1. 産婦人科の実際 62(11):1489-1494, 2013
8. 水口剛雄, 吉川裕之. 【婦人科がんの予防戦略と早期診断】 子宮体がん リスク因子を考慮した子宮体がん予防. 臨床婦人科産科 67(8):798-804, 2013
9. 水口剛雄, 吉川裕之. 【プロメテウス 婦人科がん最新医療】 子宮頸がんの発がん機構. 産婦人科の実際 62(12):1624-1631, 2013
10. 矢内俊裕, 濱田洋実, 瓜田泰久, 雨海照祥, 川上肇, 藤澤空彦, 松岡重記, 松田諭, 平井みさ子, 連利博. 【胎児治療の最前線と今後の展望】 胎児治療 胎児治療にて救命された cloacal dysgenesis sequence. 小児外科 45(1):88-92, 2013
11. 吉川裕之. 子宮頸癌とヒトパピローマウイルス(HPV)感染 子宮頸癌以外の HPV 疾患と HPV ワクチン. 東京都医師会雑誌 66(7):724-728, 2013
12. 吉川裕之. 【婦人科がん手術の基本手技を学ぶ】 卵巣癌腫瘍減量手術の基本手技を



学ぶ 卵巣癌患者の予後と QOL 向上を目指して. 産婦人科手術 24:69-75, 2013

13. 吉川裕之. 【臨床研究の成果を実地臨床へ生かそう-産科編】 産婦人科診療ガイドライン産科編の理解にあたって. 周産期医学 43(10):1207-1210, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 佐藤豊実, 吉川裕之. 自律神経温存が推奨される広汎子宮全摘出術の適応と手技は?; "EBM 婦人科疾患の治療 2013-2014" (編集 杉山徹), 中外医学社 (東京) 2013; pp240-245
2. 濱田洋実. 第 5 章. 異常分娩の管理と処置 1.恥骨結合離開; "MFICU 母体・胎児 ICU マニュアル (第 2 版)" (編集 MFICU(周産期医療)連絡協議会), メディカ出版 (大阪) 2013; pp379-382
3. 濱田洋実. 妊娠と薬; "産科婦人科疾患最新の治療 2013-2015" (編集 吉川史隆, 倉智博久, 平松祐司), 南江堂 (東京) 2013; pp18-23
4. 吉川裕之. EBM とガイドライン; "産科婦人科疾患最新の治療 2013-2015" (編集 吉川史隆, 倉智博久, 平松祐司), 南江堂 (東京) 2013; pp1-4

## 放射線診断学

### 1) 英文論文

1. Fukushima H, Fukushima T, Suzuki R, Enokizono T, Matsunaga M, Nakao T, Koike K, Mori K, Matsueda K, Sumazaki R. Continuous regional arterial infusion effective for children with acute necrotizing pancreatitis even under neutropenia. *Pediatr Int* 55(2):e11-13, 2013
2. Furuta T, Yamaguchi M, Nakagami R, Akahane M, Minami M, Ohtomo K, Moriyama N, Fujii H. Delayed hepatic signal recovery on ferucarbotran-enhanced magnetic resonance images: an experimental study in rat livers with gadolinium chloride-induced Kupffer cell damage. *MAGMA* 26(3):313-324, 2013
3. Kawamura R, Seo Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Machino-Ohtsuka T, Nakajima H, Sakai S, Tanaka YO, Minami M, Aonuma K. Feasibility of left ventricular volume measurements by three-dimensional speckle tracking echocardiography depends on image quality and degree of left ventricular enlargement: Validation study with cardiac magnetic resonance imaging. *J Cardiol* doi: 10.1016/j.jjcc.2013.08.010, 2013
4. Matsubara T, Ishikawa E, Hirata K, Matsuda M, Akutsu H, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura A. A New Mechanism of Cerebrospinal Fluid Leakage after Lumboperitoneal Shunt: A Theory of Shunt Side Hole-Case Report. *Neurol Med Chir (Tokyo)*

doi:10.2176/nmc.cr.2013-0067, 2013

5. Onuma K, Ishikawa E, Matsuda M, Hirata K, Osuka S, Yamamoto T, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura A. Clinical characteristics and neuroimaging findings in 12 cases of recurrent glioblastoma with communicating hydrocephalus. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(7):474-481, 2013
6. Oshiro Y, Sasaki R, Nasu K, Ohkohchi N. A novel preoperative fusion analysis using three-dimensional MDCT combined with three-dimensional MRI for patients with hilar cholangiocarcinoma. *Clin Imaging* 37(4):772-774, 2013
7. Saida T, Mori K, Yabe H, Shindo M, Nasu K, Shiigai M, Takahashi H, Minami M. Noninvasive visualization of endoleaks after endovascular aortic aneurysm repair through unenhanced MRI with motion-sensitized driven equilibrium preparation: Phantom experiments. *J Magn Reson Imaging* 38(3):714-721, 2013
8. Sato M, Nakai Y, Tsurushima H, Shiigai M, Masumoto T, Matsumura A. Risk factors of ischemic lesions related to cerebral angiography and neuro-interventional procedures. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(6):381-387, 2013
9. Sato M, Takigawa T, Shiigai M, Tamura G, Masumoto T, Nakai Y, Zaboronok A, Tsurushima H, Matsumura A. Spinal dural arteriovenous fistula with lipomyelodysplasia. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(2):107-109, 2013
10. Satoh T, Matsumoto K, Tanaka YO, Akiyama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Minaguchi T, Sakurai H, Yoshikawa H. Incidence of venous thromboembolism before treatment in cervical cancer and the impact of management on venous thromboembolism after commencement of treatment. *Thromb Res* 131(4):e127-132, 2013
11. Takatori Y, Moro T, Kamogawa M, Oda H, Morimoto S, Umeyama T, Minami M, Sugimoto H, Nakamura S, Karita T, Kim J, Koyama Y, Ito H, Kawaguchi H, Nakamura K. Poly(2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine)-grafted highly cross-linked polyethylene liner in primary total hip replacement: one-year results of a prospective cohort study. *J Artif Organs* 16(2):170-175, 2013
12. Tanaka YO, Okada S, Satoh T, Matsumoto K, Oki A, Saida T, Yoshikawa H, Minami M. Diversity in size and signal intensity in multilocular cystic ovarian masses: new parameters for distinguishing metastatic from primary mucinous ovarian neoplasms. *J Magn Reson Imaging* 38(4):794-801, 2013
13. Tasaka N, Matsumoto K, Satoh T, Minaguchi T, Onuki M, Ochi H, Tanaka YO, Sakata A, Noguchi M, Yoshikawa H. Therapeutic effect of dienogest on adenocarcinoma arising from

endometriosis: a case report. *Springerplus* 2:618, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 那須克宏. 臨床応用 IV3. 肝：拡散強調画像における動きの影響; "MRI 応用自在 (第3版)" (編集 高原太郎), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp329-332
2. 那須克宏. 臨床応用 VII3. 直腸：直腸癌の治療法決定における MRI の役割; "MRI 応用自在 (第3版)" (編集 高原太郎), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp382-384
3. 那須克宏. 15. 中枢神経以外への応用. 膵臓：膵嚢胞性腫瘍; "これでわかる拡散 MRI (第3版)" (編集 青木茂樹, 阿部修, 増谷佳孝, 高原太郎), 秀潤社 (東京) 2013; pp450-451
4. 南学. "マンモグラフィ読影アトラス (第1版)". メディカル・サイエンス・インターナショナル (東京) 2013 (全 300 ページ)

## 放射線腫瘍学

#### 1) 英文論文

1. Abei M, Okumura T, Fukuda K, Hashimoto T, Araki M, Ishige K, Hyodo I, Kanemoto A, Numajiri H, Mizumoto M, Sakae T, Sakurai H, Zenkoh J, Ariungerel G, Sogo Y, Ito A, Ohno T, Tsuboi K. A phase I study on combined therapy with proton-beam radiotherapy and in situ tumor vaccination for locally advanced recurrent hepatocellular carcinoma. *Radiat Oncol* 8:239, 2013
2. Aihara T, Morita N, Kamitani N, Kumada H, Ono K, Hiratsuka J, Harada T. Boron neutron capture therapy for advanced salivary gland carcinoma in head and neck. *Int J Clin Oncol* doi:10.1007/s10147-013-0580-3, 2013
3. Hashii H, Hashimoto T, Okawa A, Shida K, Isobe T, Hanmura M, Nishimura T, Aonuma K, Sakae T, Sakurai H. Comparison of the effects of high-energy photon beam irradiation (10 and 18 MV) on 2 types of implantable cardioverter-defibrillators. *Int J Radiat Oncol Biol Phys* 85(3):840-845, 2013
4. Hong Z, Kase Y, Moritake T, Gerelchuluun A, Sun L, Suzuki K, Terunuma T, Yasuoka K, Kumada H, Anzai K, Sakurai H, Sakae T, Tsuboi K. Lineal energy-based evaluation of oxidative DNA damage induced by proton beams and X-rays. *Int J Radiat Biol* 89(1):36-43, 2013
5. Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Sakurai H, Sakae T. Robust technique using an imaging plate to detect environmental radioactivity. *Health Phys* 104(4):362-365, 2013

6. Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Takahashi H, Sekiguchi T, Yoshimura Y, Sakurai H, Sakae T. Evaluation of vegetables in Tsukuba for contamination with radioactive materials from the accident at Fukushima Daiichi nuclear power plant. *Health Phys* 105(4):311-317, 2013
7. Kanemoto A, Mizumoto M, Okumura T, Takahashi H, Hashimoto T, Oshiro Y, Fukumitsu N, Moritake T, Tsuboi K, Sakae T, Sakurai H. Dose-volume histogram analysis for risk factors of radiation-induced rib fracture after hypofractionated proton beam therapy for hepatocellular carcinoma. *Acta Oncol* 52(3):538-544, 2013
8. Kanemoto A, Okumura T, Ishikawa H, Mizumoto M, Oshiro Y, Kurishima K, Homma S, Hashimoto T, Ohkawa A, Numajiri H, Ohno T, Moritake T, Tsuboi K, Sakae T, Sakurai H. Outcomes and prognostic factors for recurrence after high-dose proton beam therapy for centrally and peripherally located stage I non-small-cell lung cancer. *Clin Lung Cancer* doi: 10.1016/j.clcc.2013.11.002, 2013
9. Kase Y, Yamashita W, Matsufuji N, Takada K, Sakae T, Furusawa Y, Yamashita H, Murayama S. Microdosimetric calculation of relative biological effectiveness for design of therapeutic proton beams. *J Radiat Res* 54(3):485-493, 2013
10. Kawamura H, Shinoda K, Miyamoto K, Sakae T, Monma M, Matsumura A. [Investigation of polymer gel dosimetry for small circular irradiated fields]. *Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi* 69(9):933-943, 2013
11. Makishima H, Ishikawa H, Terunuma T, Hashimoto T, Yamanashi K, Sekiguchi T, Mizumoto M, Okumura T, Tsuboi K, Sakurai H. Comparison of adverse effects of proton and X-ray chemoradiotherapy for oesophageal cancer using an adaptive dose-volume histogram analysis. *Eur J Cancer* 49(2):S576, 2013
12. Mizumoto M, Hashii H, Senarita M, Sakai S, Wada T, Okumura T, Tsuboi K, Sakurai H. Proton beam therapy for malignancy in Bloom syndrome. *Strahlenther Onkol* 189(4):335-338, 2013
13. Mizumoto M, Okumura T, Ishikawa E, Yamamoto T, Takano S, Matsumura A, Oshiro Y, Ishikawa H, Sakurai H, Tsuboi K. Reirradiation for recurrent malignant brain tumor with radiotherapy or proton beam therapy. Technical considerations based on experience at a single institution. *Strahlenther Onkol* 189(8):656-663, 2013
14. Oshiro Y, Mizumoto M, Okumura T, Sugahara S, Fukushima T, Ishikawa H, Nakao T, Hashimoto T, Tsuboi K, Ohkawa H, Kaneko M, Sakurai H. Clinical results of proton beam therapy for advanced neuroblastoma. *Radiat Oncol* 8(1):142, 2013

15. Oshiro Y, Okumura T, Mizumoto M, Fukushima T, Ishikawa H, Hashimoto T, Tsuboi K, Kaneko M, Sakurai H. Proton beam therapy for unresectable hepatoblastoma in children: survival in one case. *Acta Oncol* 52(3):600-603, 2013
16. Oshiro Y, Sakurai H. The use of proton-beam therapy in the treatment of non-small-cell lung cancer. *Expert Rev Med Devices* 10(2):239-245, 2013
17. Saito Y, Matsuzaki Y, Honda A, Iwamoto J, Ikegami T, Chiba T, Sugahara S, Okumura T, Tsujii H, Doy M, Tokuyue K. Post-therapeutic needle biopsy in patients with hepatocellular carcinoma is a useful tool to evaluate response to proton irradiation. *Hepatol Res* doi: 10.1111/hepr.12133, 2013
18. Sato E, Yamamoto T, Shikano N, Ogura M, Nakai K, Yoshida F, Uemae Y, Takada T, Isobe T, Matsumura A. Intracellular boron accumulation in CHO-K1 cells using amino acid transport control. *Appl Radiat Isot* doi: 10.1016/j.apradiso.2013.12.015, 2013
19. Satoh T, Matsumoto K, Tanaka YO, Akiyama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Minaguchi T, Sakurai H, Yoshikawa H. Incidence of venous thromboembolism before treatment in cervical cancer and the impact of management on venous thromboembolism after commencement of treatment. *Thromb Res* 131(4):e127-132, 2013
20. Shirai K, Tamaki Y, Kitamoto Y, Murata K, Satoh Y, Higuchi K, Ishikawa H, Nonaka T, Takahashi T, Nakano T. Prognosis was not deteriorated by multiple primary cancers in esophageal cancer patients treated by radiotherapy. *J Radiat Res* 54(4):706-711, 2013
21. Sun L, Moritake T, Zheng YW, Suzuki K, Gerelchuluun A, Hong Z, Zenkoh J, Taniguchi H, Tsuboi K. In vitro stemness characterization of radio-resistant clones isolated from a medulloblastoma cell line ONS-76. *J Radiat Res* 54(1):61-69, 2013
22. Suzuki K, Gerelchuluun A, Hong Z, Sun L, Zenkoh J, Moritake T, Tsuboi K. Celecoxib enhances radiosensitivity of hypoxic glioblastoma cells through endoplasmic reticulum stress. *Neuro Oncol* 15(9):1186-1199, 2013
23. Suzuki M, Kato I, Aihara T, Hiratsuka J, Yoshimura K, Niimi M, Kimura Y, Ariyoshi Y, Haginomori S, Sakurai Y, Kinashi Y, Masunaga S, Fukushima M, Ono K, Maruhashi A. Boron neutron capture therapy outcomes for advanced or recurrent head and neck cancer. *J Radiat Res* doi: 10.1093/jrr/rrt098, 2013
24. Takizawa D, Oshiro Y, Okumura T, Mizumoto M, Fukushima T, Ishikawa H, Tsuboi K, Kaneko M, Sakurai H. Proton beam therapy for a patient with Large rhabdomyosarcoma of the body trunk. *Pediatr Blood Cancer* 60(3):93, 2013
25. Yamaoka M, Akiyama M, Yokokawa Y, Terao Y, Yokoi K, Kato T, Fukushima T, Sakurai H,

- Ida H. Multidisciplinary therapy including proton beam radiotherapy for a Ewing sarcoma family tumor of maxillary sinus in a 4-year-old girl. *Head Neck* 35(12):E386-390, 2013
26. Yeh HH, Tian M, Hinz R, Young D, Shavrin A, Mukhapadhyay U, Flores LG, Balatoni J, Soghomonyan S, Jeong HJ, Pal A, Uthamanthil R, Jackson JN, Nishii R, Mizuma H, Onoe H, Kagawa S, Higashi T, Fukumitsu N, Alauddin M, Tong W, Herholz K, Gelovani JG. Imaging epigenetic regulation by histone deacetylases in the brain using PET/MRI with (1)(8)F-FAHA. *Neuroimage* 64:630-639, 2013
27. Zaboronok A, Isobe T, Yamamoto T, Sato E, Takada K, Sakae T, Tsurushima H, Matsumura A. Proton beam irradiation stimulates migration and invasion of human U87 malignant glioma cells. *J Radiat Res* doi: 10.1093/jrr/rrt119, 2013

2) 英文論文以外の論文

1. 阿部孝憲, 江原威, 原田耕作, 白井克幸, 塩谷真里子, 鈴木義行, 櫻井英幸, 中野隆史. A Case of Recurrent Pleomorphic Liposarcoma that Exhibited a Remarkable Response to Hyperthermoradiotherapy. *Thermal Medicine* 29(3):63-67, 2013
2. 石川仁, 橋本孝之, 牧島弘和, 水本齊志, 奥村敏之, 櫻井英幸. 高精度放射線治療の現状と Adaptive Therapy の展望 前立腺がんに対する放射線治療を中心に. *医学物理* 32(3):138-147, 2013
3. 磯辺智範, 榮武二, 高田健太, 森祐太郎, 山本哲哉. 環境中における放射性物質の簡易型リアルタイムモニタリングシステムの開発. *大和証券ヘルス財団研究業績集* 36:185-193, 2013
4. 大久保英樹, 中山雅博, 廣瀬由紀, 田中秀峰, 西村文吾, 星野朝文, 上前泊功, 飛田忠道, 辻茂希, 田淵経司, 和田哲郎, 原晃, 橋井晴子, 石川仁, 水本齊志, 奥村敏之, 櫻井英幸. 過去 10 年間に当科で陽子線治療を行った頭頸部癌に関する検討. *耳鼻咽喉科展望* 56(補冊 1):118-122, 2013
5. 大城佳子, 水本齊志, 石川仁, 奥村敏之, 坪井康次, 榮武二, 福島敬, 須磨崎亮, 増本幸二, 金子道夫, 櫻井英幸. 固形腫瘍の治療の進歩 小児固形がんに対する陽子線治療. *日本小児血液・がん学会雑誌* 50(3):331-334, 2013
6. 川村拓, 篠田和哉, 宮本勝美, 榮武二, 門間正彦, 松村明. ポリマーゲル線量計を用いた球状小照射野線量測定に関する検討. *日本放射線技術学会雑誌* 69(9):933-943, 2013
7. 北島柚衣子, 布施拓, 瀬川達也, 志田晃一, 石川仁, 榮武二, 櫻井英幸. 前立腺 IMRT における CBCT を用いた Interfraction error の評価. *日本放射線技術学会雑誌* 69(9):1007, 2013

8. 竹内秀輔, 鈴木涼子, 福島敬, 福島紘子, 岩淵敦, 中尾朋平, 山口玲子, 工藤寿子, 杉田真太郎, 稲留征典, 佐藤豊実, 櫻井英幸, 金子道夫, 須磨崎亮. 進行期卵巣小細胞癌に対して集学的治療を施行した女児例. 日本小児血液・がん学会雑誌 50(2):269-273, 2013
9. 田中浩喜, 兵行義, 與田茂利, 宇野雅子, 栗飯原輝人, 原田保. 降下性壊死性縦隔炎 2 例. 耳鼻咽喉科臨床 106(8):739-746, 2013
10. 渡邊祐介, 武居秀行, 高田健太, 磯辺智範, 佐藤英介, 原秀剛, 村石浩, 長谷川智之. EPID dosimetry における支持アームの後方散乱線による影響. 日本放射線技術学会雑誌 69(9):1012-1013, 2013

#### 4) 英文論文以外の著書

1. 井垣浩, 櫻井英幸. 【肝胆膵領域への放射線療法 as of 2013】 肝臓領域の放射線療法 肝細胞癌治療アルゴリズムからみた放射線治療; "肝・胆・膵 67(2)" 2013; pp211-219
2. 石川仁. 9 章. 管腔臓器 A 食道; "密封小線源治療 診療・物理 QA マニュアル (第 1 版)" (編集 小線源治療部会), 金原出版 (東京) 2013; pp141-146
3. 石川仁, 牧島弘和, 加藤弘之, 櫻井英幸. 【アップデートシリーズ 前立腺がんの治療】 放射線療法; "泌尿器ケア 18(6)" 2013; pp653-658
4. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 1. 新機能検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp2-13
5. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 2. 呼吸機能検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 2 臨床生理機能検査 (第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp48-63
6. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 5. 感覚器検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 3 臨床生理機能検査 (第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp117-134
7. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 6. 超音波検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 4 臨床生理機能検査 (第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp136-161
8. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐

- 藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 7. 眼底検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 5 臨床生理機能検査(第1版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社(東京) 2103; pp164-169
9. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 9. 熱画像検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 6 臨床生理機能検査(第1版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社(東京) 2013; pp222-231
10. 奥村敏之, 水本斉志, 福光延吉, 大西かよ子, 沼尻晴子, 石川仁, 粟飯原輝人, 坪井康次, 榮武二, 櫻井英幸. 【肝胆膵領域への放射線療法 as of 2013】 肝臓領域の放射線療法 肝腫瘍に対する陽子線療法の現状と成績; "肝・胆・膵 67(2)" 2013; pp271-278
11. 川端信司, 粟飯原輝人. 【放射線治療の進歩】 硼素中性子捕捉療法の現状と今後; "PET Journal (22)" 2013; pp16-19
12. 熊田博明. つくば国際戦略総合特区における次世代がん治療(BNCT)の開発実用化プロジェクトについて; "バイオサイエンスとインダストリー 71(1)" 2013; pp63-66
13. 櫻井英幸. 【婦人科腫瘍に対する三次元画像誘導小線源治療】 小線源治療と粒子線治療に関する事例と考察; "臨床放射線 58(3)" 2013; pp425-431
14. 櫻井英幸, 大川綾子, 沼尻晴子, 菅原香織, 瀧澤大地, 牧島弘和, 大野豊然貴, 石川仁, 奥村敏之. 【婦人科がん放射線治療の最新知見】 放射線治療の最新技術 陽子線治療の概要と婦人科腫瘍への応用について; "産婦人科の実際 62(7)" 2013; pp943-949
15. 櫻井英幸, 奥村敏之, 石川仁, 福光延吉, 粟飯原輝人, 大西かよ子, 水本斉志, 大城佳子, 沼尻晴子, 盛武敬, 高田健太, 照沼利之, 安岡聖, 磯辺智範, 熊田博明, 坪井康次, 榮武二. 【Radiotherapy Today 2013 粒子線治療最前線-進化する粒子線治療の現況と展望-】 粒子線治療の現状と展望 粒子線治療実施施設からの報告 筑波大学陽子線医学利用研究センター PMRC; "INNERVISION 28(7)" 2013; pp19-21
16. 坪井康次, 水本斉志. 【悪性脳腫瘍の治療-最新のトピックス】 放射線治療のトピックス 陽子線・重粒子線治療; "Clinical Neuroscience 31(10)" 2013; pp1169-1172
17. 水本斉志. 第7章. 放射線治療; "肝癌診療ガイドライン 2013年版(第3版)" (編集 日本肝臓学会), 金原出版(東京) 2013; pp160-171



## 麻醉学

### 1) 英文論文

1. Akter S, Jesmin S, Rahman MM, Islam MM, Khatun MT, Yamaguchi N, Akashi H, Mizutani T. Higher gravidity and parity are associated with increased prevalence of metabolic syndrome among rural Bangladeshi women. *PLoS One* 8(8):e68319, 2013
2. Jesmin S, Akter S, Rahman MM, Islam MM, Islam AM, Sultana SN, Mowa CN, Yamaguchi N, Okazaki O, Satoru K, Kimura S, Hiroe M, Mizutani T, Moroi M. Disruption of components of vascular endothelial growth factor angiogenic signalling system in metabolic syndrome. Findings from a study conducted in rural Bangladeshi women. *Thromb Haemost* 109(4):696-705, 2013
3. Jesmin S, Islam AS, Akter S, Islam MM, Sultana SN, Yamaguchi N, Okazaki O, Moroi M, Hiroe M, Kimura S, Watanabe T, Saturo K, Mizutani T. Metabolic syndrome among pre- and post-menopausal rural women in Bangladesh: result from a population-based study. *BMC Res Notes* 6(1):157, 2013
4. Nakayama S, Vest R, Traystman RJ, Herson PS. Sexually dimorphic response of TRPM2 inhibition following cardiac arrest-induced global cerebral ischemia in mice. *J Mol Neurosci* 51(1):92-98, 2013
5. Sakuramoto H, Shimojo N, Jesmin S, Unoki T, Kamiyama J, Oki M, Miya K, Kawano S, Mizutani T. Repeated open endotracheal suctioning causes gradual desaturation but does not exacerbate lung injury compared to closed endotracheal suctioning in a rabbit model of ARDS. *BMC Anesthesiol* 13(1):47, 2013
6. Satsumae T, Yamaguchi H, Inomata S, Tanaka M. Magnesium sulfate attenuates tourniquet pain in healthy volunteers. *J Anesth* 27(2):231-235, 2013
7. Tokuwaka J, Takahashi S, Tanaka M. Anaphylaxis after sugammadex administration. *Can J Anesth* 60(7):733-734, 2013

### 2) 英文以外の論文

1. 伊藤博徳, 佐藤直樹, 高橋宏, 堀田哲夫, 臼杵尚志. 手術台稼働・定員・データベース検討部会・2週間調査. 第51回全国国立大学病院手術部会議資料集:113-123, 2013
2. 臼杵尚志, 佐藤直樹, 堀田哲夫, 高橋宏, 伊藤博徳. 全国基幹病院手術室現状調査. 第51回全国国立大学病院手術部会議資料集:125-132, 2013
3. 加藤真也, 山下創一郎, 田中誠. 先天性高インスリン血症を合併した心室中隔欠損パッチ閉鎖術の麻酔経験. *Cardiovascular Anesthesia* 17(Suppl.):168, 2013

4. 河野了, 中川大嗣, 宮頭, 下條信威, 西野衆文, 萩谷圭一, 水谷太郎, 安田貢. 頭部外傷に合併した遷延性低ナトリウム血症の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 34(2):292-294, 2013
5. 後藤幸子, 藤野裕士, 水谷太郎, 岡元和文. 医学教育における集中治療医学に関する講義・実習時間等の実態調査. 日本集中治療医学会雑誌 20(2):299-302, 2013
6. 高橋伸二. 成人心臓 2012 文献レビュー. Cardiovascular Anesthesia 17:71-77, 2013
7. 高橋宏, 佐藤直樹, 堀田哲夫, 臼杵尚志, 伊藤博徳. 手術部看護師手当て調査. 第 50 回全国国立大学病院手術部会議資料集:59-61, 2013
8. 高橋宏, 佐藤直樹, 堀田哲夫, 臼杵尚志, 伊藤博徳. 手術台稼働・定員・データベース検討部会:手術部職員調査. 第 51 回全国国立大学病院手術部会議資料集:63-85, 2013
9. 田村高志, 氏家良人, 丸藤哲, 公文啓二, 野々木宏, 水谷太郎, 木下順弘, 杉澤栄, 石川雅巳, 貝沼関志, 立野淳子, 橋本圭司. 日本集中治療医学会評議員の所属施設における臨床倫理に関する現状調査. 日本集中治療医学会雑誌 20(2):307-319, 2013
10. 丹野香織, 藤部奈津実, 寺田えり子, 左津前剛, 高橋宏, 高橋伸二, 大河内信弘. 歩行入室導入開始後の手術室看護師の意識変化. 日本手術医学会誌 34(3):252-253, 2013
11. 寺田えり子, 高橋宏, 左津前剛. 災害マニュアル活用実践(第 2 回)(最終回) 震災対応の課題と改訂マニュアルの紹介. 実践安全手術看護 6(5):69-74, 2013
12. 徳若純子, 山下創一郎, 高橋伸二, 田中誠. 心室中隔欠損症と肺動脈狭窄症を合併した 18 トリソミー患者の胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術の麻酔経験. 麻酔 62(3):326-329, 2013
13. 中山慎. 小児の鎮痛・鎮静モニタリング・リスク管理. 小児科臨床 66(12):227-234, 2013
14. 廣瀬優樹, 高橋伸二, 柳沢正史. オレキシシンと全身麻酔. 臨床麻酔「臨時増刊号」:361-367, 2013
15. 藤田規彦, 高橋宏, 左津前剛, 高橋伸二, 寺田えり子, 澤田幸子, 大河内信弘. 手術室への患者歩行入室が麻酔導入までの時間に及ぼす影響. 日本手術医学会誌 34(2):141-144, 2013
16. 古垣達也, 高橋宏, 茂木芳賢, 森谷忠生, 川上康, 榊原謙. 二度にわたる自然災害の被害(大震災・竜巻)と防災訓練の効果. 体外循環技術 40(1):67-71, 2013
17. 星拓男. オキシマスク™及び単純顔マスクによる酸素投与時の吸入酸素分画及び二酸化炭素分圧. 日本集中治療医学会誌 20(4):643-644, 2013
18. 堀田哲夫, 佐藤直樹, 高橋宏, 伊藤博徳, 臼杵尚志. 手術台稼働・定員・データベース検討部会:平成 25 年度全国国立大学病院手術台稼働状況調査. 第 51 回全国国立大学病院手術部会議資料集:87-112, 2013

19. 堀彩香, 藤田規彦, 高橋宏, 左津前剛, 寺田えり子, 澤田幸子. 東日本大震災後の防災訓練実施による災害時対策マニュアルの見直し. 日本手術医学会誌 34(3):294-296, 2013
20. 馬乗園伸一, 知花香織, 櫻本秀明, 萩谷圭一, 川上康, 水谷太郎. 搬送用ベンチレータとしての TrilogyO2 の性能評価. 人工呼吸 30(2):225-227, 2013
21. 村田雄哉, 高橋宏, 徳若純子, 田中誠. 麻酔器の気化器接続部からのリーク. 麻酔 62(12):1472-1475, 2013
22. 渡辺晶子, 竹内明子, 飯田薫, 黒川友里亜, 高野博徳, 黒木由美子, 遠藤容子, 水谷太郎. 中毒情報センターから 日本中毒情報センターで受信したトリカブトによる急性中毒症例の実態調査. 中毒研究 26(3):259-263, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 猪股伸一. 第 1 章. Day Surgery における麻酔管理.; "OS NOW Instruction 整形外科の Day Surgery 日帰り手術のコツとピットフォール (第 1 版)" (編集 馬場久敏), 株式会社メジカルビュー社 (東京) 2013; pp2-9
2. 高橋伸二. 第 2 部 第 5 章. 心不全による心原性肺水腫の戦略ガイド; "人工呼吸療法パワーアップガイド (第 1 版)" (編集 中根正樹), MC メディカ出版 (大阪) 2013; pp180-190
3. 盛直久, 水谷太郎. 第 16-1 章. 人工呼吸中のモニタ (その 1) ; "呼吸療法認定士 認定講習会テキスト (第 18 刷)" (編集 3 学会合同呼吸療法認定士認定委員会), 3 学会合同呼吸療法認定士認定委員会事務局 (東京) 2013; pp413-427
4. 水谷太郎, 萩谷圭一. 第 III 部. 各種疾患 中毒治療の原則、解熱鎮痛薬中毒; "今日の治療と看護 (改訂第 3 版)" (編集 永井良三, 大田健), 南江堂 (東京) 2013; pp981-983

## 臨床検査医学

### 1) 英文論文

1. Atsumi A, Ishizu T, Kameda Y, Yamamoto M, Harimura Y, Machino-Ohtsuka T, Kawamura R, Enomoto M, Seo Y, Aonuma K. Application of 3-dimensional speckle tracking imaging to the assessment of right ventricular regional deformation. *Circ J* 77(7):1760-1768, 2013
2. Fujimoto Y, Nakagawa Y, Satoh A, Okuda K, Shingyouchi A, Naka A, Matsuzaka T, Iwasaki H, Kobayashi K, Yahagi N, Shimada M, Yatoh S, Suzuki H, Yogosawa S, Izumi T, Sone H, Urayama O, Yamada N, Shimano H. TFE3 controls lipid metabolism in adipose tissue of male mice by suppressing lipolysis and thermogenesis. *Endocrinology* 154(10):3577-3588, 2013

3. Horie T, Nishino T, Baba O, Kuwabara Y, Nakao T, Nishiga M, Usami S, Izuhara M, Sowa N, Yahagi N, Shimano H, Matsumura S, Inoue K, Marusawa H, Nakamura T, Hasegawa K, Kume N, Yokode M, Kita T, Kimura T, Ono K. MicroRNA-33 regulates sterol regulatory element-binding protein 1 expression in mice. *Nat Commun* 4:2883, 2013
4. Hoshi T, Sato A, Hiraya D, Kimura T, Wang Z, Aonuma K. Multimodality intracoronary imaging in spontaneous coronary artery dissection: impacts of intravascular ultrasound, optical coherence tomography, and coronary angiography. *Catheter Cardiovasc Interv* 81(3):E151-154, 2013
5. Ikeda T, Ishii KA, Saito Y, Miura M, Otagiri A, Kawakami Y, Shimano H, Hara H, Takekoshi K. Inhibition of autophagy enhances sunitinib-induced cytotoxicity in rat pheochromocytoma PC12 cells. *J Pharmacol Sci* 121(1):67-73, 2013
6. Izumida Y, Yahagi N, Takeuchi Y, Nishi M, Shikama A, Takarada A, Masuda Y, Kubota M, Matsuzaka T, Nakagawa Y, Iizuka Y, Itaka K, Kataoka K, Shioda S, Niijima A, Yamada T, Katagiri H, Nagai R, Yamada N, Kadowaki T, Shimano H. Glycogen shortage during fasting triggers liver-brain-adipose neurocircuitry to facilitate fat utilization. *Nat Commun* 4:2316, 2013
7. Kawamura R, Seo Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Machino-Ohtsuka T, Nakajima H, Sakai S, Tanaka YO, Minami M, Aonuma K. Feasibility of left ventricular volume measurements by three-dimensional speckle tracking echocardiography depends on image quality and degree of left ventricular enlargement: Validation study with cardiac magnetic resonance imaging. *J Cardiol* doi: 10.1016/j.jjcc.2013.08.010, 2013
8. Koshizuka R, Ishizu T, Kameda Y, Kawamura R, Seo Y, Aonuma K. Longitudinal strain impairment as a marker of the progression of heart failure with preserved ejection fraction in a rat model. *J Am Soc Echocardiogr* 26(3):316-323, 2013
9. Kurihara Y, Hitomi S, Oishi T, Kondo T, Ebihara T, Funayama Y, Kawakami Y. Characteristics of bacteremia caused by extended-spectrum beta-lactamase-producing *Proteus mirabilis*. *J Infect Chemother* 19(5):799-805, 2013
10. Lee SY, Kurita N, Yokoyama Y, Seki M, Hasegawa Y, Okoshi Y, Chiba S. Glucocorticoid-induced diabetes mellitus in patients with lymphoma treated with CHOP chemotherapy. *Support Care Cancer* doi: 10.1007/s00520-013-2097-8, 2013
11. Machino-Ohtsuka T, Seo Y, Ishizu T, Sugano A, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Machino T, Kuroki K, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Aonuma K. Efficacy, safety, and outcomes of catheter ablation of atrial fibrillation in patients with heart failure with

- preserved ejection fraction. *J Am Coll Cardiol* 62(20):1857-1865, 2013
12. Machino-Ohtsuka T, Seo Y, Ishizu T, Yanaka S, Nakajima H, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Koshino Y, Machino T, Kuroki K, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K. Significant improvement of left atrial and left atrial appendage function after catheter ablation for persistent atrial fibrillation. *Circ J* 77(7):1695-1704, 2013
  13. Naka A, Iida KT, Nakagawa Y, Iwasaki H, Takeuchi Y, Satoh A, Matsuzaka T, Ishii KA, Kobayashi K, Yatoh S, Shimada M, Yahagi N, Suzuki H, Sone H, Yamada N, Shimano H. TFE3 inhibits myoblast differentiation in C2C12 cells via down-regulating gene expression of myogenin. *Biochem Biophys Res Commun* 430(2):664-669, 2013
  14. Nogami Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Seo Y, Aonuma K. Abnormal early diastolic intraventricular flow 'kinetic energy index' assessed by vector flow mapping in patients with elevated filling pressure. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging* 14(3):253-260, 2013
  15. Seo Y, Yamasaki H, Kawamura R, Ishizu T, Igarashi M, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K. Left ventricular activation imaging by 3-dimensional speckle-tracking echocardiography. Comparison with electrical activation mapping. *Circ J* 77(10):2481-2489, 2013
  16. Sugisawa C, Okada Y, Arao T, Mori H, Nishida K, Isobe K, Takekoshi K, Tanaka Y. Juvenile-onset hereditary pheochromocytoma-paraganglioma syndrome. *Intern Med* 52(2):281-284, 2013
  17. Tajiri K, Shimojo N, Sakai S, Machino-Ohtsuka T, Imanaka-Yoshida K, Hiroe M, Tsujimura Y, Kimura T, Sato A, Yasutomi Y, Aonuma K. Pitavastatin regulates helper T-cell differentiation and ameliorates autoimmune myocarditis in mice. *Cardiovasc Drugs Ther* 27(5):413-424, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 志鎌明人, 矢作直也. SGLT2; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp228-229
2. 大崎芳典, 矢作直也. URAT1; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp230-231
3. 泉田欣彦, 矢作直也. リパーゼ; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp232-2332.
4. 煙山紀子, 矢作直也. GPR120; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp234-235

5. 久芳素子, 矢作直也. CETP; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第1版)" (編集 春日雅人, 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp236-238
6. 矢作直也, "筑波大学附属病院とクックパッドのおいしく治す「糖尿病食」(第1版)" 講談社 (東京) 2013年 (全200ページ)

## 臨床薬剤学

### 1) 英文論文

1. Doki K, Homma M, Kuga K, Aonuma K, Kohda Y. SCN5A promoter haplotype affects the therapeutic range for serum flecainide concentration in Asian patients. *Pharmacogenet Genomics* 23(7):349-354, 2013
2. Maie K, Okoshi Y, Takaiwa N, Kurita N, Hasegawa Y, Homma M, Ishii K, Kohda Y, Chiba S. Aprepitant does not alter prednisolone pharmacokinetics in patients treated with R-CHOP. *Ann Oncol* doi: 10.1093/annonc/mdt477, 2013
3. Momo K, Homma M, Kohda Y. Lower metabolic clearance of tizanidine in Japanese subjects. *Int J Clin Pharmacol Ther* 51(12):986-988, 2013
4. Suzuki Y, Homma M, Abei M, Hyodo I, Kohda Y. Impact of solute carrier family 29 member 1 (SLC29A1) single nucleotide polymorphisms on mRNA expression in peripheral blood mononuclear cells. *Biol Pharm Bull* 36(1):144-146, 2013
5. Suzuki Y, Homma M, Abei M, Hyodo I, Kohda Y. Effects of dipyridamole coadministration on the pharmacokinetics of ribavirin in healthy volunteers. *Drug Metab Pharmacokinet* 28(5):406-410, 2013

### 2) 英文以外の論文

1. 大神正宏, 本間真人, 島田匡彦, 幸田幸直. チロシンキナーゼ阻害薬の血中濃度に及ぼす食事、制酸薬の影響. *TDM 研究* 30(4):125-133, 2013
2. 百賢二, 本間真人, 松本早矢香, 佐々木忠徳, 幸田幸直. チザニジンの副作用に関する実態調査 Cytochrome P450 1A2 に影響する薬剤の併用との関連. *薬学雑誌* 133(2):275-281, 2013
3. 松本和彦, 荒川義弘, 小池竜司, 中村哲也, 花岡英紀, 本間真人, 吉澤弘久, 大学病院臨床試験アライアンス共同 IRB 推進検討作業班. 大学病院間の共同 IRB 等の体制 大学病院臨床試験アライアンスにおける検討. *臨床薬理* 44(3):207-215, 2013

## 医療科学

### 1) 英文論文

1. Harada H, Warabi E, Matsuki T, Yanagawa T, Okada K, Uwayama J, Ikeda A, Nakaso K, Kirii K, Noguchi N, Bukawa H, Siow RC, Mann GE, Shoda J, Ishii T, Sakurai T. Deficiency of p62/Sequestosome 1 causes hyperphagia due to leptin resistance in the brain. *J Neurosci* 33(37):14767-14777, 2013
2. Hashii H, Hashimoto T, Okawa A, Shida K, Isobe T, Hanmura M, Nishimura T, Aonuma K, Sakae T, Sakurai H. Comparison of the effects of high-energy photon beam irradiation (10 and 18 MV) on 2 types of implantable cardioverter-defibrillators. *Int J Radiat Oncol Biol Phys* 85(3):840-845, 2013
3. Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Sakurai H, Sakae T. Robust technique using an imaging plate to detect environmental radioactivity. *Health Phys* 104(4):362-365, 2013
4. Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Takahashi H, Sekiguchi T, Yoshimura Y, Sakurai H, Sakae T. Evaluation of vegetables in Tsukuba for contamination with radioactive materials from the accident at Fukushima Daiichi nuclear power plant. *Health Phys* 105(4):311-317, 2013
5. Kanakura Y, Ohyashiki K, Shichishima T, Okamoto S, Ando K, Ninomiya H, Kawaguchi T, Nakao S, Nakakuma H, Nishimura J, Kinoshita T, Bedrosian CL, Ozawa K, Omine M. Long-term efficacy and safety of eculizumab in Japanese patients with PNH: AEGIS trial. *Int J Hematol* 98(4):406-416, 2013
6. Kaneko H, Suzuki S, Uejima T, Kano H, Matsuno S, Otsuka T, Takai H, Oikawa Y, Yajima J, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sagara K, Tanabe H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Prevalence and the long-term prognosis of functional mitral regurgitation in Japanese patients with symptomatic heart failure. *Heart Vessels* doi: 10.1007/s00380-013-0448-5, 2013
7. Kaneko H, Suzuki S, Yajima J, Oikawa Y, Sagara K, Otsuka T, Matsuno S, Kano H, Uejima T, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Clinical characteristics and long-term clinical outcomes of Japanese heart failure patients with preserved versus reduced left ventricular ejection fraction: a prospective cohort of Shinken Database 2004-2011. *J Cardiol* 62(2):102-109, 2013
8. Kaneko H, Yajima J, Oikawa Y, Tanaka S, Fukamachi D, Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Matsuno S, Funada R, Kano H, Uejima T, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Recent characteristics and outcomes of Japanese stable angina pectoris after percutaneous coronary intervention. An observational cohort study using the

- Shinken Database. *Int Heart J* 54(6):335-340, 2013
9. Kaneko H, Yajima J, Oikawa Y, Tanaka S, Fukamachi D, Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Matsuno S, Funada R, Kano H, Uejima T, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Obesity paradox in Japanese patients after percutaneous coronary intervention: an observation cohort study. *J Cardiol* 62(1):18-24, 2013
  10. Kaneko H, Yajima J, Oikawa Y, Tanaka S, Fukamachi D, Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Matsuno S, Kano H, Uejima T, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Long-term incidence and prognostic factors of the progression of new coronary lesions in Japanese coronary artery disease patients after percutaneous coronary intervention. *Heart Vessels* doi: 10.1007/s00380-013-0382-6, 2013
  11. Katsutani S, Tomiyama Y, Kimura A, Miyakawa Y, Okamoto S, Okoshi Y, Ninomiya H, Kosugi H, Ishii K, Ikeda Y, Hattori T, Katsura K, Kanakura Y. Oral eltrombopag for up to three years is safe and well-tolerated in Japanese patients with previously treated chronic immune thrombocytopenia: an open-label, extension study. *Int J Hematol* 98(3):323-330, 2013
  12. Kudo T, Sato T, Hagiwara K, Kozuma Y, Yamaguchi T, Ikehara Y, Hamada M, Matsumoto K, Ema M, Murata S, Ohkohchi N, Narimatsu H, Takahashi S. C1galT1-deficient mice exhibit thrombocytopenia due to abnormal terminal differentiation of megakaryocytes. *Blood* 122(9):1649-1657, 2013
  13. Kurita N, Obara N, Fukuda K, Nishikii H, Sato S, Inagawa S, Kurokawa T, Owada Y, Ninomiya H, Chiba S. Perisurgical induction of eculizumab in a patient with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria: its inhibition of surgery-triggered hemolysis and the consequence of subsequent discontinuation. *Blood Coagul Fibrinolysis* 24(6):658-662, 2013
  14. Oh S, Kim M, Eto M, Kim B, Shoda J, Tanaka K. New approach for obesity treatment incorporating individual self- management education. *J Obesity & Weight Loss Therapy*?(?):?, 2013
  15. Oh S, Tanaka K, Warabi E, Shoda J. Exercise reduces inflammation and oxidative stress in obesity-related liver diseases. *Med Sci Sports Exerc* 45(12):2214-2222, 2013
  16. Onuki K, Sugiyama H, Ishige K, Kawamoto T, Ota T, Ariizumi S, Yamato M, Kadota S, Takeuchi K, Ishikawa A, Onodera M, Onizawa K, Yamamoto M, Miyoshi E, Shoda J. Expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in the subserosal layer correlates with postsurgical survival of pathological tumor stage 2 carcinoma of the gallbladder. *J Gastroenterol* doi: 10.1007/s00535-013-0813-2, 2013



17. Sato E, Yamamoto T, Shikano N, Ogura M, Nakai K, Yoshida F, Uemae Y, Takada T, Isobe T, Matsumura A. Intracellular boron accumulation in CHO-K1 cells using amino acid transport control. *Appl Radiat Isot* doi: 10.1016/j.apradiso.2013.12.015, 2013
18. Seto K, Shoda J, Horibe T, Warabi E, Ishige K, Yamagata K, Kohno M, Yanagawa T, Bukawa H, Kawakami K. Interleukin-4 receptor  $\alpha$ -based hybrid peptide effectively induces antitumor activity in head and neck squamous cell carcinoma. *Oncol Rep* 29(6):2147-2153, 2013
19. Seto K, Uchida F, Baba O, Yamatoji M, Karube R, Warabi E, Sakai S, Hasegawa S, Yamagata K, Yanagawa T, Onizawa K, Miyoshi E, Shoda J, Bukawa H. Negative expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in oral squamous cell carcinoma correlates with poor prognosis. *Springerplus* 2:657, 2013
20. Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Kano H, Matsuno S, Takai H, Uejima T, Oikawa Y, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Yajima J, Tanabe H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Effects of smoking habit on the prevalence of atrial fibrillation in Japanese patients with special reference to sex differences. *Circ J* 77(12):2948-2953, 2013
21. Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Kano H, Matsuno S, Takai H, Uejima T, Oikawa Y, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Yajima J, Tanabe H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. "Blue letter effects": Changes in physicians' attitudes toward dabigatran after a safety advisory in a specialized hospital for cardiovascular care in Japan. *J Cardiol* 62(6):366-373, 2013
22. Suzuki S, Sagara K, Otsuka T, Kano H, Matsuno S, Takai H, Uejima T, Oikawa Y, Koike A, Nagashima K, Kirigaya H, Yajima J, Tanabe H, Sawada H, Aizawa T, Yamashita T. Usefulness of frequent supraventricular extrasystoles and a high CHADS2 score to predict first-time appearance of atrial fibrillation. *Am J Cardiol* 111(11):1602-1607, 2013
23. Takahashi K, Kozuma Y, Suzuki H, Tamura T, Maruyama T, Fukunaga K, Murata S, Ohkohchi N. Human platelets promote liver regeneration with Kupffer cells in SCID mice. *J Surg Res* 180(1):62-72, 2013
24. Zaboronok A, Tsurushima H, Yamamoto T, Isobe T, Takada K, Sakae T, Yoshida F, Matsumura A. Size-Dependent Radiosensitization Effects of Gold Nanoparticles on Human U251 Malignant Glioma Cells. *Nanoscience and Nanotechnology Letters* 5(9):990-994, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 大須賀覚, 青木司, 磯辺智範. 第 6 章. Q&A よくある質問にお答えします; "学会発表の

- ための動画編集マニュアル (第2版)” (編集 大須賀覚, 松下明, 松村朗), 金原出版 (東京) 2013; pp89-111
2. 磯辺智範. Chapter 1 (心機能検査) -1~5. 心臓の構造, 心筋の生理的特性, 心音図, 脈波, 心機図; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第1版)” (編集 磯辺智範), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp2-13
  3. 磯辺智範. Chapter 2 (呼吸機能検査) -3~5. 換気機能検査, 血液ガス分析, エネルギー代謝と呼吸ガス分析; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第1版)” (編集 磯辺智範), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp48-63
  4. 磯辺智範. Chapter 3 (脳波検査) -1. 脳の構造と機能; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第1版)” (編集 磯辺智範), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp66-71
  5. 磯辺智範, 森祐太郎. Chapter 5. 感覚器検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第1版)” (編集 磯辺智範), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp118-134
  6. 磯辺智範. Chapter 7. 眼底検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第1版)” (編集 磯辺智範), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp164-169
  7. 磯辺智範, 吉村洋. Chapter 9. 熱画像検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第1版)” (編集 磯辺智範), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp222-231
  8. 磯辺智範. Chapter 3. 核医学検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 3 臨床生物化学分析検査 (第1版)” (編集 山内一由), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp169-189
  9. 磯辺智範. I-7. MRS; "MRI 応用自在 (第3版)” (編集 高橋光幸, 堀江朋彦, 中村理宣, 北川久, 高原太郎), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp28-33
  10. 磯辺智範, 高田健太. 14. 放射線治療学; "医学物理士のための出題基準&例題集 (第1版)” (編集 日本医学物理士会, 日本医学物理士会教育委員会), 日本医学物理士会 (東京) 2013; pp241-255
  11. 上妻行則. Chapter 3-5. 止血・凝固・線溶機構; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 2 臨床形態検査 (第1版)” (編集 山内一由), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp142-155
  12. 正田純一. 胆道の炎症; "内科学書第8版 Vol.4 肝・胆道・膵疾患 (第8版)” (編集 小川聡), 中山書店 (東京) 2013; pp349-351
  13. 正田純一. 原発性硬化性胆管炎; "内科学書第8版 Vol.4 肝・胆道・膵疾患 (第8版)” (編集 小川聡), 中山書店 (東京) 2013; pp352-353

14. 正田純一. トピックス：胆石形成の分子機序; "専門医のための消化器病学" (編集 小川聡), 医学書院 (東京) 2013; pp494-496
15. 高田健太, 磯辺智範. Chapter 6. 超音波検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第1版)" (編集 磯辺智範), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp136-169
16. 二宮治彦. 第6巻. 真性赤血球増加症 (多血症)、二次性赤血球増加症、相対的赤血球増加症; "内科学書 (第8版)" (編集 小川聡), 中山書店 (東京) 2013; pp168-172

## 地域医療教育学

### 1) 英文論文

1. Hamano J, Kizawa Y, Maeno T, Nagaoka H, Shima Y, Maeno T. Prospective Clarification of the Utility of the Palliative Prognostic Index for Patients With Advanced Cancer in the Home Care Setting. *Am J Hosp Palliat Care* doi: 10.1177/1049909113504982, 2013
2. Hamano J, Maeno T, Kizawa Y, Shima Y, Maeno T. Usefulness of Palliative Prognostic Index for patient with advanced cancer in home care setting. *Am J Hosp Palliat Care* 30(3):264-267, 2013
3. Ishimaru N, Maeno T, Suzuki M, Maeno T. Rapid effects of Kikyo-to on sore throat pain associated with acute upper respiratory tract infection. *J Complement Integr Med* 11(1):51-54, 2013
4. Kizawa Y, Tsuneto S, Hamano J, Nagaoka H, Maeno T, Shima Y. Advance directives and do-not-resuscitate orders among patients with terminal cancer in palliative care units in Japan: a nationwide survey. *Am J Hosp Palliat Care* 30(7):664-669, 2013
5. Maeno T, Takayashiki T, Anme T, Tohno E, Hara A. Japanese students' perception of their learning from an interprofessional education program: a qualitative study. *International Journal of Medical Education* 4:9-17, 2013
6. Nakazawa K, Kizawa Y, Maeno T, Takayashiki A, Abe Y, Hamano J, Maeno T. Palliative Care Physicians' Practices and Attitudes Regarding Advance Care Planning in Palliative Care Units in Japan: A Nationwide Survey. *Am J Hosp Palliat Care* doi: 10.1177/1049909113507328, 2013
7. Suzuki H, Shichi D, Tokuda Y, Ishikawa H, Maeno T, Nakamura H. Pneumococcal vertebral osteomyelitis at three teaching hospitals in Japan, 2003-2011: analysis of 14 cases and a review of the literature. *BMC Infect Dis* 13:525, 2013

8. Suzuki H, Tokuda Y, Shichi D, Hitomi S, Ishikawa H, Maeno T, Nakamura H. A retrospective cohort study of panipenem/betamipron for adult pneumococcal bacteremia at three teaching hospitals in Japan. *J Infect Chemother* 19(4):607-614, 2013
9. Suzuki H, Tokuda Y, Shichi D, Ishikawa H, Maeno T, Nakamura H. Morbidity and mortality among newly hospitalized patients with community-acquired pneumococcal bacteremia: a retrospective cohort study in three teaching hospitals in Japan. *Geriatr Gerontol Int* 13(3):607-615, 2013
10. Takagi H, Maeno T, Fujita T, Suzuki M, Maeno T. Diagnostic Characteristics of Symptom Combinations over Time in Meningitis Patients. *General Medicine* 14(2):119-125, 2013
11. Ueki R, Ichikawa M, Hiranuma Y, Naito T, Maeno T, Shibayama T. Health communication method and primary care seeking after screening for early type 2 diabetes in a Japanese healthcare setting. *Diabetology International* doi: 10.1007/s13340-013-0143-x, 2013

#### 2) 英文以外の論文

1. 堤田香, 中村明澄, 前野貴美, 高屋敷明由美, 阪本直人, 横谷省治, 前野哲博. 小中学生への喫煙予防教育と父母の行動変容との関連 子供の言葉は親を変えるか. 日本プライマリ・ケア連合学会誌 36(4):291-296, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 前野哲博. 5. コモンディーズ教育の現状と課題; "提言-日本のコモンディーズ (家庭医・病院総合医教育コンソーシアム vol.3) (第1版)" (編集 横林賢一), 株式会社カイ書林 (東京) 2013; pp134-139

## 医学教育情報工学

#### 1) 英文論文

1. Ishikawa K, Furukawa M, Saito Y, Naito T, Shichida M. Log Data Analysis of Learning Histories in an e-Learning Course. *International Journal of Information and Education Technology* 3(6):587-590, 2013

## 災害精神支援学

### 2) 英文以外の論文

1. 近藤大三, 小田原俊成, 栗田圭一, 池尻義隆, 下田健吾, 高橋晶, 竹内文一, 長谷川朝穂, 藤原修一郎, 吉田常孝, 吉村匡史, 田子久夫. 日本総合病院精神医学会会員に対する認知症診療に関するアンケート調査. 総合病院精神医学 25(2):171-177, 2013
2. 高橋晶. うつ病研究における国内の動向 maintenance ECT の長期効果と副作用. Depression Frontier 11(1):75-82, 2013
3. 高橋晶. 【BPSD-介護者を悩ませる症状を理解し対処するために】 治療 薬物療法の立場から 抑肝散や抗認知症薬の有効性は. 認知症の最新医療 3(2):85-90, 2013
4. 高橋祥友. 職場におけるメンタルヘルス ; PTSD、自殺予防を中心に. 茨城県医師会報 713:41750, 2013
5. 高橋祥友, 高橋晶, 山下吏良. 【病態生理・薬物治療・患者ケアの「知りたい」がわかる!うつ病パーフェクトガイド】 うつ病患者へのアプローチ 自殺とうつ. 調剤と情報 19(10):1342-1347, 2013

### 4) 英文以外の著書

1. 高橋晶. F01. 血管性認知症 "ICD-10 精神科診断ガイドブック(第1版)"(編集 中根允文), 中山書店(東京) 2013; pp37-48
2. 高橋晶. 第2章. 自殺に関連する精神障害 "自殺を防ぐ診療のポイント(第1版)" (編集 高橋祥友), 中外医学社 (東京) 2013; pp29-63
3. 高橋晶. アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物; "精神・神経の治療薬事典 2014-15 専門医からのアドバイス(第1版)" (総監修・樋口輝彦), 総合医学社(東京) 2013; pp314-315
4. 高橋晶. イフェンブロジル酒石酸塩; "精神・神経の治療薬事典 2014-15 専門医からのアドバイス(第1版)" (総監修・樋口輝彦), 総合医学社(東京) 2014; pp316-317
5. 高橋晶, 朝田隆. 第1章第2部. 各論 非認知症の疾患を認知症と見誤らないために 第1章うつ病; "誤診症例から学ぶ認知症とその他の疾患の鑑別 精神科臨床エキスパート(第1版)"(編集 朝田隆), 医学書院(東京) 2013; pp26-47
6. 高橋祥友. "自殺を防ぐ診療のポイント(第1版)". (編集 高橋祥友), 中外医学社(東京) 2013年(全125ページ)
7. 高橋祥友. 自殺の予防; "2013今日の治療指針(第1版)"(編集 山口徹, 北原光夫, 福井次矢), 医学書院(東京) 2013; pp896
8. 高橋祥友. 希死念慮、自殺企図; "疾患・症状別 今日の治療と看護(第3版)"(編集 永井

- 良三, 大田健), 南江堂 (東京) 2013; pp230-232
9. 高橋祥友. 第3章. 自殺; "知っておきたい精神医学の基礎知識 (第2版)" (編集 上島国利, 上別府圭子, 平島奈津子), 誠信書房 (東京) 2013; pp464-466
  10. 高橋祥友, 高橋晶, 山下吏良. "自殺予防へのプロの対応: 医療従事者のための早期発見と治療 (第1版)". (編集 高橋祥友), 医学と看護社 (東京) 2013年 (全120ページ)

## スポーツ医科学

### 1) 英文論文

1. Iio K, Sakurai S, Kato T, Nishiyama S, Hata T, Mawatari E, Suzuki C, Takekoshi K, Higuchi K, Aizawa T, Ikeda U. Endomyocardial biopsy in a patient with hemorrhagic pheochromocytoma presenting as inverted Takotsubo cardiomyopathy. *Heart Vessels* 28(2):255-263, 2013
2. Ikeda T, Ishii KA, Saito Y, Miura M, Otagiri A, Kawakami Y, Shimano H, Hara H, Takekoshi K. Inhibition of autophagy enhances sunitinib-induced cytotoxicity in rat pheochromocytoma PC12 cells. *J Pharmacol Sci* 121(1):67-73, 2013
3. Sugisawa C, Okada Y, Arao T, Mori H, Nishida K, Isobe K, Takekoshi K, Tanaka Y. Juvenile-onset hereditary pheochromocytoma-paraganglioma syndrome. *Intern Med* 52(2):281-284, 2013

### 2) 英文以外の論文

1. 竹越一博. 遺伝性褐色細胞腫. 内分泌糖尿病内科 37(4):404-412, 2013

### 4) 英文以外の著書

1. 竹越一博. 第8章. カテコールアミン; "内分泌ホルモンのすべて (第1版)" (編集 竹内靖博), 科学評論社 (東京) 2013; pp235-248

## 医学教育学

### 1) 英文論文

1. Saito R, Suzuki H, Yamada T, Endo S, Moriwaki T, Ueno T, Hirose M, Hirai S, Yamato K, Mizokami Y, Hyodo I. Predicting skin toxicity according to EGFR polymorphisms in patients with colorectal cancer receiving antibody against EGFR. *Anticancer Res* 33(11):4995-4998,

2013

2. Suzuki H, Kaneko T, Mizokami Y, Narasaka T, Endo S, Matsui H, Yanaka A, Hirayama A, Hyodo I. Therapeutic efficacy of the Qing Dai in patients with intractable ulcerative colitis. *World J Gastroenterol* 19(17):2718-2722, 2013
3. Yamada T, Sugiyama H, Ochi D, Akutsu D, Suzuki H, Narasaka T, Moriwaki T, Endo S, Kaneko T, Satomi K, Ikezawa K, Mizokami Y, Hyodo I. Risk factors for submucosal and lymphovascular invasion in gastric cancer looking indicative for endoscopic submucosal dissection. *Gastric Cancer* doi:10.1007/s10120-013-0323-1, 2013

2) 英文以外の論文

1. 飯野由佳, 中村泰大, 中村貴之, 藤澤康弘, 川内康弘, 大塚藤男, 鈴木英雄, 小田 竜也, 野口恵美子. 鼻背の有棘細胞癌を合併した Muir-Torre 症候群. *Skin Cancer* 27(3):367-372, 2013
2. 越智大介, 奈良坂俊明, 坪大輔, 小林克誠, 菅谷明德, 小林真理子, 今西真実子, 浜野由花子, 遠藤慎治, 金子剛, 鈴木英雄, 溝上裕士. 異所性胃粘膜に発生した頸部食道癌に対して内視鏡治療を施行した 1 例. *Progress of Digestive Endoscopy* 82(1):106-107,105, 2013
3. 根本清貴, 太刀川弘和, 鈴木英雄, 堀孝文, 谷中昭典, 兵頭一之介, 朝田隆. 研究と報告 過敏性腸症候群の重症度と不安・抑うつ症状との関連. *精神医学* 55(4):327-335, 2013
4. 溝上裕士, 奈良坂俊明, 鈴木英雄, 金子剛, 岩本淳一. 【Helicobacter pylori 感染症の臨床試験-いま、明らかにされるべきことは何か-】 NSAIDs 潰瘍に対する Helicobacter pylori 除菌効果. *Helicobacter Research* 17(4):332-337, 2013
5. 吉野鉄大, 竹内哲, 新井潤, 鈴木考治, 陶経緯, 鈴木英雄. 慢性膵炎による膵外分泌機能不全に投与したパンクレリパーゼが有効と考えられた 1 例. *消化と吸収* 35(3):309-312, 2013

## 病院診療研究グループ（救急医学・集中治療学）

1) 英文論文

1. Akter S, Jesmin S, Rahman MM, Islam MM, Khatun MT, Yamaguchi N, Akashi H, Mizutani T. Higher gravidity and parity are associated with increased prevalence of metabolic syndrome among rural Bangladeshi women. *PLoS One* 8(8):e68319, 2013
2. Donnelly SM, Nguyen BT, Rhyne S, Estes J, Jesmin S, Mowa CN. Vascular endothelial growth factor induces growth of uterine cervix and immune cell recruitment in mice. *J*

*Endocrinol* 217(1):83-94, 2013

3. Jesmin S, Akter S, Rahman MM, Islam MM, Islam AM, Sultana SN, Mowa CN, Yamaguchi N, Okazaki O, Kawano S, Kimura S, Hiroe M, Mizutani T, Moroi M. Disruption of components of vascular endothelial growth factor angiogenic signalling system in metabolic syndrome. Findings from a study conducted in rural Bangladeshi women. *Thromb Haemost* 109(4):696-705, 2013
4. Jesmin S, Islam AS, Akter S, Islam MM, Sultana SN, Yamaguchi N, Okazaki O, Moroi M, Hiroe M, Kimura S, Watanabe T, Kawano S, Mizutani T. Metabolic syndrome among pre- and post-menopausal rural women in Bangladesh: result from a population-based study. *BMC Res Notes* 6(1):157, 2013
5. Jesmin S, Wada T, Gando S, Sultana SS, Zaedi S. The dynamics of angiogenic factors and their soluble receptors in relation to organ dysfunction in disseminated intravascular coagulation associated with sepsis. *Inflammation* 36(1):186-196, 2013
6. Moroi M, Akter S, Nakazato R, Kunimasa T, Masai H, Furuhashi T, Fukuda H, Koda E, Sugi K, Jesmin S. Lower ratio of high-molecular-weight adiponectin level to total may be associated with coronary high-risk plaque. *BMC Res Notes* 6:83, 2013
7. Nishino T, Ishii T, Yanai T, Chang F, Ochiai N. Cartilage Repair by Joint Distraction and Motion Using an External Fixator for Massive Cartilage Defect. *Open Journal of Orthopedics* 3(1):35-40, 2013
8. Nishino T, Mishima H, Kawamura H, Shimizu Y, Miyakawa S, Ochiai N. Follow-up results of 10-12 years after total hip arthroplasty using cementless tapered stem -- frequency of severe stress shielding with synergy stem in Japanese patients. *J Arthroplasty* 28(10):1736-1740, 2013
9. Sakuramoto H, Shimojo N, Jesmin S, Unoki T, Kamiyama J, Oki M, Miya K, Kawano S, Mizutani T. Repeated open endotracheal suctioning causes gradual desaturation but does not exacerbate lung injury compared to closed endotracheal suctioning in a rabbit model of ARDS. *BMC Anesthesiol* 13(1):47, 2013
10. Tajiri K, Shimojo N, Sakai S, Machino-Ohtsuka T, Imanaka-Yoshida K, Hiroe M, Tsujimura Y, Kimura T, Sato A, Yasutomi Y, Aonuma K. Pitavastatin regulates helper T-cell differentiation and ameliorates autoimmune myocarditis in mice. *Cardiovasc Drugs Ther* 27(5):413-424, 2013
11. Wada T, Gando S, Mizugaki A, Yanagida Y, Jesmin S, Yokota H, Ieko M. Coagulofibrinolytic changes in patients with disseminated intravascular coagulation



associated with post-cardiac arrest syndrome--fibrinolytic shutdown and insufficient activation of fibrinolysis lead to organ dysfunction. *Thromb Res* 132(1):e64-69, 2013

12. Wada T, Jesmin S, Gando S, Yanagida Y, Mizugaki A, Sultana SN, Zaedi S, Yokota H. The role of angiogenic factors and their soluble receptors in acute lung injury (ALI)/ acute respiratory distress syndrome (ARDS) associated with critical illness. *J Inflamm (Lond)* 10(1):6, 2013
13. Yanagida Y, Gando S, Sawamura A, Hayakawa M, Uegaki S, Kubota N, Homma T, Ono Y, Honma Y, Wada T, Jesmin S. Normal prothrombinase activity, increased systemic thrombin activity, and lower antithrombin levels in patients with disseminated intravascular coagulation at an early phase of trauma: comparison with acute coagulopathy of trauma-shock. *Surgery* 154(1):48-57, 2013
14. Yeasmin L, Akter S, Shahidul Islam AM, Mizanur Rahman M, Akashi H, Jesmin S. Targeted interventions of ultra-poor women in rural Rangpur, Bangladesh: do they make a difference to appropriate cooking practices, food habits and sanitation? *J Biosoc Sci* doi: 10.1017/S0021932013000667, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 河野了, 中川大嗣, 宮顕, 下條信威, 西野衆文, 萩谷圭一, 水谷 太郎, 安田貢. 頭部外傷に合併した遷延性低ナトリウム血症の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 34(2):292-294, 2013
2. 後藤幸子, 藤野裕士, 水谷太郎, 岡元和文. 医学教育における集中治療医学に関する講義・実習時間等の実態調査. 日本集中治療医学会雑誌 20(2):299-302, 2013
3. 田村高志, 氏家良人, 丸藤哲, 公文啓二, 野々木宏, 水谷太郎, 木下順弘, 杉澤栄, 石川雅巳, 貝沼関志, 立野淳子, 橋本圭司. 日本集中治療医学会評議員の所属施設における臨床倫理に関する現状調査. 日本集中治療医学会雑誌 20(2):307-319, 2013
4. 馬乗園伸一, 知花香織, 櫻本秀明, 萩谷圭一, 川上康, 水谷 太郎. 搬送用ベンチレータとしての TrilogyO2 の性能評価. 人工呼吸 30(2):225-227, 2013

## 4) 英文以外の著書

1. 盛直久, 水谷太郎. 第 16 章-1. 人工呼吸中のモニタ (その 1) ; "3 学会合同呼吸療法認定士 認定講習会テキスト (改訂 2013 第 18 刷)" (編集 3 学会合同呼吸療法認定士認定委員会テキスト編集委員会), 3 学会合同呼吸療法認定士認定委員会事務局 (東京) 2013; pp413-427

2. 水谷太郎, 萩谷圭一. 第3部. 中毒治療の原則、解熱鎮痛薬中毒; "今日の治療と看護 (改訂第3版)" (編集 永井良三, 大田健), 南江堂 (東京) 2013; pp981-983

### 病院診療研究グループ (医療情報部)

#### 2) 英文以外の論文

1. 楠岡英雄, 梅里良正, 大原信, 岸真司, 小塚和人, 高橋静子, 土屋文人, 松村泰志, 石川澄. 病院情報システムに伴い発生したインシデントとその対策. 医療情報学連合大会論文集 33回:70-71, 2013
2. 佐藤真子, 星本弘之, 高野雄二, 大塚由貴, 山中土佐雄, 大原信. 院内文書の電子化とその運用結果の評価について. 診療情報管理 25(2):195, 2013
3. 津久間秀彦, 石川澄, 田中武志, 池内実, 楠岡英雄, 梅里良正, 岸真司, 土屋文人, 大原信, 高橋静子, 村上典子, 松村泰志, 小塚和人. 医療安全の観点から見た医療プロセス電子化の評価. 医療情報学 33(4):201-210, 2013
4. 星本弘之, 佐藤真子, 山中土佐雄, 鈴木将貴, 大原信, 五十嵐徹也. 電子カルテデータによる臨床・経営指標のリアルタイム算出可能性の検討. 医療情報学連合大会論文集 33回:542-545, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 星本弘之. 4.4.2. 特定健診; "医療情報 医療情報システム編 (第2版)" (編集 一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会), 篠原出版社 (東京) 2013; pp299-302

### 病院診療研究グループ (手術部)

#### 1) 英文論文

1. Akashi Y, Oda T, Ohara Y, Miyamoto R, Hashimoto S, Enomoto T, Yamada K, Kobayashi A, Fukunaga K, Ohkochi N. Histological advantages of the tumor graft: a murine model involving transplantation of human pancreatic cancer tissue fragments. *Pancreas* 42(8):1275-1282, 2013
2. Maruyama T, Murata S, Takahashi K, Tamura T, Nozaki R, Ikeda N, Fukunaga K, Oda T, Sasaki R, Ohkohchi N. Platelet transfusion improves liver function in patients with chronic liver disease and cirrhosis. *Tohoku J Exp Med* 229(3):213-220, 2013
3. Ogawa K, Kondo T, Tamura T, Matsumura H, Fukunaga K, Oda T, Ohkohchi N. Influence of

- Kupffer cells and platelets on ischemia-reperfusion injury in mild steatotic liver. *World J Gastroenterol* 19(9):1396-1404, 2013
4. Ohara Y, Oda T, Sugano M, Hashimoto S, Enomoto T, Yamada K, Akashi Y, Miyamoto R, Kobayashi A, Fukunaga K, Morishita Y, Ohkohchi N. Histological and prognostic importance of CD44(+) /CD24(+) /EpCAM(+) expression in clinical pancreatic cancer. *Cancer Sci* 104(8):1127-1134, 2013
  5. Oshiro Y, Sasaki R, Fukunaga K, Kondo T, Oda T, Takahashi H, Ohkohchi N. Inflammation-based prognostic score is a useful predictor of postoperative outcome in patients with extrahepatic cholangiocarcinoma. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 20(3):389-395, 2013
  6. Satsumae T, Yamaguchi H, Inomata S, Tanaka M. Magnesium sulfate attenuates tourniquet pain in healthy volunteers. *J Anesth* 27(2):231-235, 2013
  7. Tokuwaka J, Takahashi S, Tanaka M. Anaphylaxis after sugammadex administration. *Can J Anesth* 60(7):733-734, 2013

2) 英文以外の論文

1. 高橋伸二. 成人心臓 2012 文献レビュー. *Cardiovascular Anesthesia* 17:71-77, 2013
2. 徳若純子, 山下創一郎, 高橋伸二, 田中誠. 心室中隔欠損症と肺動脈狭窄症を合併した 18 トリソミー患者の胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術の麻酔経験. 麻酔 62(3):326-329, 2013
3. 藤田規彦, 高橋宏, 左津前剛, 高橋伸二, 寺田えり子, 澤田幸子, 大河内信弘. 手術室への患者歩行入室が麻酔導入までの時間に及ぼす影響. 日本手術医学会誌 34(2):141-144, 2013
4. 星拓男. オキシマスク™及び単純顔マスクによる酸素投与時の吸入酸素分画及び二酸化炭素分圧. 日本集中治療医学会誌 20(4):643-644, 2013
5. 村田雄哉, 高橋宏, 徳若純子, 田中誠. 麻酔器の気化器接続部からのリーク. 麻酔 62(12):1472-1475, 2013

4) 英文以外の著書

1. 高橋伸二. 第 2 部 第 5 章. 心不全による心原性肺水腫の戦略ガイド; "人工呼吸療法パワーアップガイド (第 1 版)" (編集 中根正樹), MC メディカ出版 (大阪) 2013; pp180-190

## 病院診療研究グループ（リハビリテーション部）

### 1) 英文論文

1. Kawamoto H, Kamibayashi K, Nakata Y, Yamawaki K, Ariyasu R, Sankai Y, Sakane M, Eguchi K, Ochiai N. Pilot study of locomotion improvement using hybrid assistive limb in chronic stroke patients. *BMC Neurol* 13:141, 2013
2. Kubota S, Nakata Y, Eguchi K, Kawamoto H, Kamibayashi K, Sakane M, Sankai Y, Ochiai N. Feasibility of rehabilitation training with a newly developed wearable robot for patients with limited mobility. *Arch Phys Med Rehabil* 94(6):1080-1087, 2013

### 4) 英文以外の著書

1. 江口清. I-1. 脳卒中; "今日のリハビリテーション指針 (第1版)" (編集 伊藤利之, 江藤文夫, 木村影男), 医学書院 (東京) 2013; pp2-10

## 病院診療研究グループ（輸血部）

### 1) 英文論文

1. Lee SY, Kurita N, Yokoyama Y, Seki M, Hasegawa Y, Okoshi Y, Chiba S. Glucocorticoid-induced diabetes mellitus in patients with lymphoma treated with CHOP chemotherapy. *Support Care Cancer* doi: 10.1007/s00520-013-2097-8, 2013
2. Maie K, Okoshi Y, Takaiwa N, Kurita N, Hasegawa Y, Homma M, Ishii K, Kohda Y, Chiba S. Aprepitant does not alter prednisolone pharmacokinetics in patients treated with R-CHOP. *Ann Oncol* doi: 10.1093/annonc/mdt477, 2013
3. Sakamoto T, Obara N, Kurita N, Sakata-Yanagimoto M, Nishikii H, Yokoyama Y, Suzukawa K, Hasegawa Y, Chiba S. Effectiveness and safety of rabbit anti-thymocyte globulin in Japanese patients with aplastic anemia. *Int J Hematol* 98(3):319-322, 2013

### 2) 英文以外の論文

1. 周山拓也, 小原直, 河合弘二, 山田健二, 日下部学, 栗田尚樹, 錦井秀和, 横山泰久, 鈴川和己, 長谷川雄一, 野口雅之, 千葉滋. 精巣胚細胞腫瘍由来の発症が示唆された急性骨髄性白血病. *臨床血液* 54(8):764-768, 2013

### 4) 英文以外の著書

1. 長谷川雄一. 第 V 章. 血小板/好中球減少症; "別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No.22 血液症候群 (第 2 版)" (編集 田村和夫), 日本臨床社 (大阪) 2013; pp389-392
2. 長谷川雄一. 第 V 章. 偽性血小板減少症; "別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No.22 血液症候群 (第 2 版)" (編集 田村和夫), 日本臨床社 (大阪) 2013; pp408-411

## 病院診療研究グループ (光学医療診療部)

### 1) 英文論文

1. Indo HP, Nakanishi I, Yen HC, Nyui M, Manda S, Matsumoto K, Anzai K, Ikota N, Matsui H, Minamiyama Y, Nakajima A, Ichikawa I, Ozawa T, Mukai C, Majima HJ. Comparison of in Vivo and in Vitro Antioxidative Parameters for Eleven Food Factors., *RSC Adv* 3:4535-4538, 2013
2. Saito R, Suzuki H, Yamada T, Endo S, Moriwaki T, Ueno T, Hirose M, Hirai S, Yamato K, Mizokami Y, Hyodo I. Predicting skin toxicity according to EGFR polymorphisms in patients with colorectal cancer receiving antibody against EGFR. *Anticancer Res* 33(11):4995-4998, 2013
3. Sakaki N, Ashida K, Mizokami Y, Chiba T, Matsui S, Kanto T, Uemura N, Hiramatsu N, Sugano K. Endoscopic evaluation of low-dose aspirin-induced gastric and duodenal ulcers during prophylaxis with lansoprazole. *Hepatogastroenterology* 60(124):762-767, 2013
4. Sha S, Vong LB, Chonpathompikunlert P, Yoshitomi T, Matsui H, Nagasaki Y. Suppression of NSAID-induced small intestinal inflammation by orally administered redox nanoparticles. *Biomaterials* 34(33):8393-8400, 2013
5. Suzuki H, Kaneko T, Mizokami Y, Narasaka T, Endo S, Matsui H, Yanaka A, Hirayama A, Hyodo I. Therapeutic efficacy of the Qing Dai in patients with intractable ulcerative colitis. *World J Gastroenterol* 19(17):2718-2722, 2013
6. Tamura M, Matsui H, Kaneko T, Hyodo I. Alcohol is an oxidative stressor for gastric epithelial cells: detection of superoxide in living cells. *J Clin Biochem Nutr* 53(2):75-80, 2013
7. Tamura M, Matsui H, Nagano YN, Kaneko T, Indo HP, Majima HJ, Hyodo I. Salt is an oxidative stressor for gastric epithelial cells. *J Physiol Pharmacol* 64(1):89-94, 2013
8. Tamura M, Matsui H, Tomita T, Sadakata HP, Indo H, Majima H, Kaneko T, Hyodo I. Mitochondrial reactive oxygen species accelerate gastric cancer cell invasion. *J Clin Biochem Nutr* doi: 10.3164/jcbrn.13-36, 2013

9. Tamura M, Yanagawa F, Sugiura S, Takagi T, Sumaru K, Matsui H, Kanamori T. Optical cell picking in photodegradable hydrogels based on cellular morphology in 3D culture environment. *Proc mTAS*:1929–1931, 2013
10. Vong LB, Yoshitomi T, Morikawa K, Saito S, Matsui H, Nagasaki Y. Oral nanotherapeutics: effect of redox nanoparticle on microflora in mice with dextran sodium sulfate-induced colitis. *J Gastroenterol* doi: 10.1007/s00535-013-0836-8, 2013

2) 英文以外の論文

1. 今西真実子, 金子剛, 浜野由花子, 小林真理子, 菅谷明德, 坏大輔, 小林克誠, 越智大介, 遠藤慎治, 奈良坂俊明, 鈴木英雄, 添田敦子, 溝上裕土, 兵頭一之介. 内視鏡的切除をした巨大小腸ポリープの1例. *Gastroenterological Endoscopy* 55(Suppl.1):1222, 2013
2. 岩本淳一, 溝上裕土. 【抗血栓薬/NSAIDs と消化管障害-その実態と最新のマネージメントに迫る-】 抗血栓薬/NSAIDs による消化管障害とそのマネージメント 薬剤性小腸障害の臨床的特徴とそのマネージメント. *消化器の臨床* 16(2):165-171, 2013
3. 岡部進, 松井裕史. 低濃度酢酸のヒトおよびラット由来胃がん細胞株に対する効果 潰瘍 40(2):17-19, 2013
4. 越智大介, 奈良坂俊明, 坏大輔, 小林克誠, 菅谷明德, 小林真理子, 今西真実子, 浜野由花子, 遠藤慎治, 金子剛, 鈴木英雄, 溝上裕土. 異所性胃粘膜に発生した頸部食道癌に対して内視鏡治療を施行した1例. *Progress of Digestive Endoscopy* 82(1):106-107,105, 2013
5. 金子剛, 松井裕史, 頼冠甫, 間宮孝, 溝上裕土. 手技の解説 消化器癌に対する光線力学療法(Photodynamic Therapy:PDT). *Gastroenterological Endoscopy* 55(3):494-501, 2013
6. 金子剛, 溝上裕土. NSAIDs と小腸傷害. *オルソタイムズ* 7(1):5, 2013
7. 鈴木英雄, 金子剛, 奈良坂俊明, 遠藤慎治, 松井裕史, 谷中昭典, 溝上裕土, 平山暁, 兵頭一之介. 潰瘍性大腸炎に対する青黛の有効性と作用機序. *日本消化器病学会雑誌* 110(臨増総会):A322, 2013
8. 鈴木英雄, 奈良坂俊明, 溝上裕土, 金子剛, 森脇俊和, 遠藤慎治, 松井裕史, 谷中昭典, 兵頭一之介, 大森敏秀, 船山夏子, 杉谷武彦, 新澤岳. 下痢型過敏性腸症候群患者におけるラモセトロン服用状況調査. *日本消化器病学会雑誌* 110(臨増大会):A949, 2013
9. 鈴木英雄, 溝上裕土, 兵頭一之介. 【ココが知りたい!IBS 診療の最前線】 IBS の病態 最新の知見 IBS における消化管運動異常. *消化器の臨床* 16(1):15-18, 2013
10. 奈良坂俊明, 溝上裕土, 鈴木英雄, 金子剛, 越智大介, 小林克誠, 菅谷明德, 坏大輔, 小林真理子, 今西真実子, 浜野由花子, 兵頭一之介. 当院における大腸憩室出血の検討. *Gastroenterological Endoscopy* 55(Suppl.1):1256, 2013

11. 根本清貴, 太刀川弘和, 鈴木英雄, 堀孝文, 谷中昭典, 兵頭一之介, 朝田隆. 研究と報告 過敏性腸症候群の重症度と不安・抑うつ症状との関連. *精神医学* 55(4):327-335, 2013
12. 溝上裕土. NSAIDs、低用量アスピリン起因性消化管傷害の現状. *茨城保険医新聞* 417:3, 2013
13. 溝上裕土, 今枝博之, 齋藤英胤. 【薬剤性消化器障害とその対策】 薬剤性消化器障害にどう対応するか. *成人病と生活習慣病* 43(3):281-297, 2013
14. 溝上裕土, 鈴木英雄, 金子剛, 越智大介, 坪大輔, 奈良坂俊明. 大学病院における経鼻内視鏡教育について. *Gastroenterological Endoscopy* 55(Suppl.1):1321, 2013
15. 溝上裕土, 奈良坂俊明, 鈴木英雄, 坪大輔, 金子剛, 岩本淳一. 【胃炎除菌時代の内視鏡診断】 ピロリ菌除菌で将来は薬物性消化性潰瘍のみになるのか? *消化器内視鏡* 25(12):1990-1997, 2013
16. 溝上裕土, 奈良坂俊明, 鈴木英雄, 金子剛, 岩本淳一. 【Helicobacter pylori 感染症の臨床試験-いま、明らかにされるべきことは何か-】 NSAIDs 潰瘍に対する Helicobacter pylori 除菌効果. *Helicobacter Research* 17(4):332-337, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 溝上裕土, 横山健次, 池田康夫, 平石秀幸, 上村直実 (JPPPGI 研究班). アスピリン消化管障害推奨文献抄訳; "アスピリン消化管障害推奨文献抄訳集"(編集 池田康夫), 平成23年度厚生労働科学研究費臨床研究推進事業 (東京) 2013

### 病院診療研究グループ (病理部)

#### 1) 英文論文

1. Iwakawa R, Takenaka M, Kohno T, Shimada Y, Totoki Y, Shibata T, Tsuta K, Nishikawa R, Noguchi M, Sato-Otsubo A, Ogawa S, Yokota J. Genome-wide identification of genes with amplification and/or fusion in small cell lung cancer. *Genes Chromosomes Cancer* 52(9):802-816, 2013
2. Kawamura T, Usui J, Kaseda K, Takada K, Ebihara I, Ishizu T, Iitsuka T, Sakai K, Takemura K, Kobayashi M, Koyama A, Kanemoto K, Sumazaki R, Uesugi N, Noguchi M, Nagata M, Suka M, Yamagata K. Primary membranoproliferative glomerulonephritis on the decline: decreased rate from the 1970s to the 2000s in Japan. *Clin Exp Nephrol* 17(2):248-254, 2013
3. Kojima M, Nishikii H, Takizawa J, Aoki S, Noguchi M, Chiba S, Ando K, Nakamura N. MYC rearrangements are useful for predicting outcomes following rituximab and

- chemotherapy: multicenter analysis of Japanese patients with diffuse large B-cell lymphoma. *Leuk Lymphoma* 54(10):2149-2154, 2013
4. Nakazato Y, Maeshima AM, Ishikawa Y, Yatabe Y, Fukuoka J, Yokose T, Tomita Y, Minami Y, Asamura H, Tachibana K, Goya T, Noguchi M. Interobserver agreement in the nuclear grading of primary pulmonary adenocarcinoma. *J Thorac Oncol* 8(6):736-743, 2013
  5. Niho S, Kenmotsu H, Sekine I, Ishii G, Ishikawa Y, Noguchi M, Oshita F, Watanabe S, Nakajima R, Tada H, Nagai K. Combination chemotherapy with irinotecan and cisplatin for large-cell neuroendocrine carcinoma of the lung: a multicenter phase II study. *J Thorac Oncol* 8(7):980-984, 2013
  6. Nitta S, Kawai K, Onozawa M, Ando S, Miyazaki J, Nagata C, Noguchi M, Yamasaki K, Uchida K, Iwamoto T, Nishiyama H. Intratubular trophoblasts in the contralateral testis caused elevation of serum human chorionic gonadotropin following complete remission of stage II testicular tumor: a case report. *Jpn J Clin Oncol* 43(1):83-86, 2013
  7. Sakurai H, Morishima Y, Itoguchi N, Ohtsuka S, Yamadori I, Oto T, Ishii Y, Sakamoto T, Noguchi M, Hizawa N. Broncho-bronchiolitis obliterans after living-donor lung transplantation: a unique manifestation of chronic allograft rejection. *Transplantation* 96(4):e29-30, 2013
  8. Satomi K, Morishita Y, Murata Y, Shiba-Ishii A, Sugano M, Noguchi M. Epidermal growth factor receptor abnormalities in atypical teratoid/rhabdoid tumors and an unusual case with gene amplification. *Pathol Res Pract* 209(8):521-526, 2013
  9. Tasaka N, Matsumoto K, Satoh T, Minaguchi T, Onuki M, Ochi H, Tanaka YO, Sakata A, Noguchi M, Yoshikawa H. Therapeutic effect of dienogest on adenosarcoma arising from endometriosis: a case report. *Springerplus* 2:618, 2013
  10. Thunnissen E, Belien JA, Kerr KM, Chung JH, Flieder DB, Noguchi M, Yatabe Y, Hwang DM, Lely RJ, Hartemink KJ, Meijer-Jorna LB, Tsao MS. In compressed lung tissue microscopic sections of adenocarcinoma in situ may mimic papillary adenocarcinoma. *Arch Pathol Lab Med* 137(12):1792-1797, 2013
  11. Travis WD, Brambilla E, Noguchi M, Nicholson AG, Geisinger K, Yatabe Y, Ishikawa Y, Wistuba I, Flieder DB, Franklin W, Gazdar A, Hasleton PS, Henderson DW, Kerr KM, Nakatani Y, Petersen I, Roggli V, Thunnissen E, Tsao M. Diagnosis of lung adenocarcinoma in resected specimens: implications of the 2011 International Association for the Study of Lung Cancer/American Thoracic Society/European Respiratory Society classification. *Arch Pathol Lab Med* 137(5):685-705, 2013



12. Travis WD, Brambilla E, Noguchi M, Nicholson AG, Geisinger K, Yatabe Y, Ishikawa Y, Wistuba I, Flieder DB, Franklin W, Gazdar A, Hasleton PS, Henderson DW, Kerr KM, Petersen I, Roggli V, Thunnissen E, Tsao M. Diagnosis of lung cancer in small biopsies and cytology: implications of the 2011 International Association for the Study of Lung Cancer/American Thoracic Society/European Respiratory Society classification. *Arch Pathol Lab Med* 137(5):668-684, 2013
13. Usui S, Minami Y, Shiozawa T, Iyama S, Satomi K, Sakashita S, Sato Y, Noguchi M. Differences in the prognostic implications of vascular invasion between lung adenocarcinoma and squamous cell carcinoma. *Lung Cancer* 82(3):407-412, 2013

2) 英文以外の論文

1. 菊池慎二, 佐伯祐典, 北沢伸祐, 小林敬祐, 山本純, 薄井真悟, 井口けさ人, 後藤行延, 酒井光昭, 鬼塚正孝, 佐藤幸夫, 本間晋介, 南優子, 野口雅之. 術前導入ゲフィチニブ療法を施行した cStageI-IIA 肺腺癌の 1 例 免疫組織化学的検討. *肺癌* 53(5):600, 2013

4) 英文以外の著書

1. 石川雄一, 元井紀子, 野口雅之. 1. 肺癌の分類 (病理と分子) 1. 新しい IASLC/ATS/ERS 肺癌分類について教えてください。14. 現在の組織分類にはどのような問題がありますか?; "肺癌診療 Q&A 一つ上をいく診療の実践 (第 2 版)" (編集 弦間昭彦), 中外医学社 (東京) 2013; pp2-5, pp39-43
2. 薄井真悟, 南優子, 野口雅之. 肺がん病理診断の問題点と新提案; "日本医師会雑誌" 日本医師会 2013; pp33-37
3. 野口雅之. 肺腺癌の病理診断で知っておくべき事; "診断病理" 日本病理学会 (東京) 2013; pp1-7

### 病院診療研究グループ (血液浄化療法部)

1) 英文論文

1. Ano S, Morishima Y, Ishii Y, Yoh K, Yageta Y, Ohtsuka S, Matsuyama M, Kawaguchi M, Takahashi S, Hizawa N. Transcription factors GATA-3 and ROR $\gamma$ t are important for determining the phenotype of allergic airway inflammation in a murine model of asthma. *J Immunol* 190(3):1056-1065, 2013
2. Gejyo F, Amano I, Ando T, Ishida M, Obayashi S, Ogawa H, Ono T, Kanno Y, Kitaoka T,

- Kukita K, Kurihara S, Sato M, Shin J, Suzuki M, Takahashi S, Taguma Y, Takemoto Y, Nakazawa R, Nakanishi T, Nakamura H, Hara S, Hiramatsu M, Furuya R, Masakane I, Tsuchida K, Motomiya Y, Morita H, Yamagata K, Yoshiya K, Yamakawa T. Survey of the effects of a column for adsorption of  $\beta$ 2-microglobulin in patients with dialysis-related amyloidosis in Japan. *Ther Apher Dial* 17(1):40-47, 2013
3. Hirayama K, Yamagata K. The antiglomerular basement membrane disease: treatments and outcomes. *OA Nephrology* 1(1):1, 2013
  4. Hoshino J, Mehrotra R, Rhee CM, Yamagata K, Ubara Y, Takaichi K, Kovesdy CP, Molnar MZ, Kalantar-Zadeh K. Using hemoglobin A1c to derive mean blood glucose in peritoneal dialysis patients. *Am J Nephrol* 37(5):413-420, 2013
  5. Hoshino J, Molnar MZ, Yamagata K, Ubara Y, Takaichi K, Kovesdy CP, Kalantar-Zadeh K. Developing an HbA(1c)-based equation to estimate blood glucose in maintenance hemodialysis patients. *Diabetes Care* 36(4):922-927, 2013
  6. Ishizu A, Tomaru U, Murai T, Yamamoto T, Atsumi T, Yoshiki T, Yumura W, Yamagata K, Yamada H, Kumagai S, Kurokawa MS, Suka M, Makino H, Ozaki S. Prediction of response to treatment by gene expression profiling of peripheral blood in patients with microscopic polyangiitis. *PLoS One* 8(5):e63182, 2013
  7. Kawamura T, Usui J, Kaseda K, Takada K, Ebihara I, Ishizu T, Iitsuka T, Sakai K, Takemura K, Kobayashi M, Koyama A, Kanemoto K, Sumazaki R, Uesugi N, Noguchi M, Nagata M, Suka M, Yamagata K. Primary membranoproliferative glomerulonephritis on the decline: decreased rate from the 1970s to the 2000s in Japan. *Clin Exp Nephrol* 17(2):248-254, 2013
  8. Nagai K, Saito C, Watanabe F, Ohkubo R, Sato C, Kawamura T, Uchida K, Hiwatashi A, Kai H, Ishida K, Sairenchi T, Yamagata K. Annual incidence of persistent proteinuria in the general population from Ibaraki annual urinalysis study. *Clin Exp Nephrol* 17(2):255-260, 2013
  9. Nagai K, Ueda A, Yamagata K. Successful Use of Tocilizumab in a Case of Multicentric Castleman's Disease and End-Stage Renal Disease. *Ther Apher Dial* doi: 10.1111/1744-9987.12128, 2013
  10. Nakai S, Watanabe Y, Masakane I, Wada A, Shoji T, Hasegawa T, Nakamoto H, Yamagata K, Kazama JJ, Fujii N, Itami N, Shinoda T, Shigematsu T, Marubayashi S, Morita O, Hashimoto S, Suzuki K, Kimata N, Hanafusa N, Wakai K, Hamano T, Ogata S, Tsuchida K, Taniguchi M, Nishi H, Iseki K, Tsubakihara Y. Overview of regular dialysis treatment in Japan (as of 31 December 2011). *Ther Apher Dial* 17(6):567-611, 2013

11. Okada K, Ma D, Warabi E, Morito N, Akiyama K, Murata Y, Yamagata K, Bukawa H, Shoda J, Ishii T, Yanagawa T. Amelioration of cisplatin-induced nephrotoxicity in peroxiredoxin I-deficient mice. *Cancer Chemother Pharmacol* 71(2):503-509, 2013
12. Okubo R, Kai H, Kondo M, Saito C, Yoh K, Morito N, Usui J, Yamagata K. Health-related quality of life and prognosis in patients with chronic kidney disease: a 3-year follow-up study. *Clin Exp Nephrol* doi: 10.1007/s10157-013-0901-x, 2013
13. Tsuruoka S, Kai H, Usui J, Morito N, Saito C, Yoh K, Yamagata K. Effects of irbesartan on inflammatory cytokine concentrations in patients with chronic glomerulonephritis. *Intern Med* 52(3):303-308, 2013
14. Tsuruoka S, Yokota N, Hayasaka T, Saito T, Yamagata K. Dialyzability and pharmacokinetics of sitafloxacin following multiple oral dosing in infected hemodialysis patients. *Ther Apher Dial* 17(3):319-324, 2013
15. Yamagata K, Usui J, Sugiyama H, Nitta K, Wada T, Muso E, Arimura Y, Koyama A, Makino H, Matsuo S. Clinical findings on ANCA-associated renal vasculitis from the Japan RPGN registry obtained via a questionnaire survey. *Clin Exp Nephrol* 17(5):646-649, 2013

2) 英文以外の論文

1. 秋澤忠男, 水口潤, 友雅司, 政金生人, 渡邊有三, 平方秀樹, 山縣邦弘, 西慎一, 花房規男, 斎藤知栄, 服部元史, 伊丹儀友, 小松康宏, 川口良人, 鶴屋和彦, 椿原美治, 一之 鈴木, 酒井謙, 川西秀樹, 稻熊大城, 山本裕康, 武本佳昭, 森典子, 岡田一義, 幡谷浩史, 秋葉隆, 井関邦敏, 一般社団法人日本透析医学会. 維持血液透析ガイドライン 血液透析導入. 日本透析医学会雑誌 46(12):1107-1155, 2013
2. 秋葉隆, 山縣邦弘, 五十嵐徹, 井関邦敏, 石村栄治, 伊丹儀友, 今井圓裕, 笠井健司, 木全直樹, 劍持敬, 古藺勉, 佐古まゆみ, 杉山斉, 鈴木洋通, 田邊一成, 椿原美治, 中井滋, 中山昌明, 西慎一, 乳原善文, 服部元史, 樋之津史郎, 平松信, 望月隆弘, 八木澤隆, 湯沢賢治, 横山仁, 日本透析医学会腎不全総合対策委員会. わが国の end-stage kidney disease(ESKD)の現況. 日本腎臓学会誌 55(1):6-15, 2013
3. 木村健二郎, 岡田浩一, 今井裕一, 田村功一, 西慎一, 和田隆志, 福井次矢, 松尾清一, 湯澤由紀夫, 有村義宏, 堀江重郎, 丸山彰一, 今井圓裕, 守山敏樹, 池住洋平, 石倉健司, 井関邦敏, 上田仁康, 小尾佳嗣, 大野岩男, 貝藤裕史, 香美祥二, 金崎啓造, 要伸也, 川田典孝, 河原崎宏雄, 北川清樹, 北田宗弘, 小井手裕一, 古家大祐, 後藤俊介, 後藤眞, 後藤憲彦, 近藤秀治, 佐古まゆみ, 柴垣有吾, 嶋英昭, 庄司哲雄, 新沢真紀, 鈴木芳樹, 諏訪部達也, 坪井伸夫, 鶴岡秀一, 徳山博文, 富田亮, 長澤康行, 西尾妙織, 長谷部直幸, 花房規男,

- 濱ひとみ, 早川洋, 原章規, 雅史 深川, 藤井直彦, 藤井秀毅, 藤野貴行, 古市賢吾, 丸山達也, 丸山之進, 三浦健一郎, 三浦直人, 三ツ木加代, 武藤智, 望月俊雄, 森一越, 谷澤雅彦, 安田宜成, 山本裕康, 山本陵平, 脇野修, 鷺田直輝, 渡辺裕輔, 原田浩, 荒木信一, 伊藤貞嘉, 上村治, 臼井丈一, 内田俊也, 宇津貴, 宇都宮保典, 風間順一郎, 柏原直樹, 川村哲也, 栗山哲, 小松康宏, 斎藤喬雄, 斎藤知栄, 酒井謙, 佐田憲映, 四方賢一, 杉山斉, 竹村司, 土谷健, 椿原美治, 成田一衛, 服部元史, 花岡一成, 馬場園哲也, 樋口誠, 平野勉, 星野純一, 堀尾勝, 山縣邦弘, 横山啓太郎, 横山仁, 吉川徳茂, 渡邊有三, 船橋徹, 益崎裕章, エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン作成委員会, 日本腎臓学会. 【エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2013】. 日本腎臓学会誌 55(5):585-860, 2013
4. 佐藤祐二, 今田恒夫, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 吉田英昭, 藤元昭一, 旭浩一, 渡辺毅, 厚生労働科学研究費補助金「今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病の位置付けに関する検討」. BMI と蛋白尿の関連は U 字型を示す. 日本腎臓学会誌 55(3):316, 2013
  5. 鈴木亜衣香, 佐藤敬太, 黒崎敦子, 栗原泰之, 榎野博史, 松尾清一, 土橋浩章, 針谷正祥, 山縣邦弘, 臼井丈一, 佐田憲映, 本間栄, 厚生労働省難治性疾患克服研究事業難治性血管炎に関する調査研究班. ANCA 関連血管炎における胸部画像所見の検討. 日本呼吸器学会誌 2(増刊):322, 2013
  6. 菅野真理, 田中健一, 林義満, 中山昌明, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 吉田英昭, 藤元昭一, 旭浩一, 渡辺毅, 厚生労働科学研究費補助金「今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病の位置付けに関する検討」. 不規則な食習慣と蛋白尿の関連. 日本腎臓学会誌 55(3):316, 2013
  7. 瀧康洋, 安田隆, 河原崎宏雄, 鈴木智, 旭浩一, 井関邦敏, 鶴屋和彦, 山縣邦弘, 守山敏樹, 藤元昭一, 今田恒夫, 近藤正英, 渡辺毅, 柴垣有吾, 木村健二郎. 一般人口における高血圧と慢性腎臓病(CKD)との関連 特定健診受診者コホートにおける横断的解析. 日本高血圧学会総会プログラム・抄録集 36 回:394, 2013
  8. 鶴岡秀一, 横田徳継, 早坂常江, 斎藤鉄男, 飯野靖彦, 山縣邦弘. 維持透析患者におけるシタフロキサシン(S)の透析性および薬物動態. 日本透析医学会雑誌 46(Suppl.1):538, 2013
  9. 中井滋, 山縣邦弘, 井関邦敏. 血液透析 末期腎不全患者数の推計. 日本透析医学会雑誌 46(Suppl.1):403, 2013
  10. 中井滋, 渡邊有三, 政金生人, 和田篤志, 庄司哲雄, 長谷川毅, 中元秀友, 山縣邦弘, 風間順一郎, 藤井直彦, 伊丹儀友, 篠田俊雄, 重松隆, 丸林誠二, 守田治, 橋本整司, 鈴木一之, 木全直樹, 花房規男, 若井建志, 濱野高行, 尾形聡, 土田健司, 谷口正智, 西裕志, 井関邦

敏, 椿原美治, 日本透析医学会統計調査委員会統計解析小委員会. わが国の慢性透析療法  
の現況(2011年12月31日現在). 日本透析医学会雑誌 46(1):1-76, 2013

11. 長澤康行, 山本陵平, 新沢真紀, 蓮池由起子, 倉賀野隆裕, 楽木宏実, 猪阪善隆, 中西健,  
井関邦敏, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 吉田英昭, 藤元昭一, 旭浩一, 渡辺毅, 守山敏樹, 厚生労働  
科学研究費補助金「今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病の位置付け  
に関する検討」. 特定健診コホートにおける、運動習慣の尿蛋白陽性化への影響の検  
討. 日本腎臓学会誌 55(3):327, 2013
12. 針谷正祥, 山縣邦弘, 本間栄, 臼井丈一, 土橋浩章, 佐田憲映. 【血管炎-基礎と臨床のク  
ロストーク-】 ANCA 関連血管炎の病因・病理、診断・治療 ANCA 関連血管炎の臨  
床研究 抗好中球細胞質抗体関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現  
状とその有効性と安全性に関する観察研究(RemIT-JAV-RPGN). 日本臨床 71(増刊1 血  
管炎):381-386, 2013
13. 山縣邦弘, 八木澤隆, 中井滋, 中山昌明, 今井圓裕, 服部元史, 五十嵐徹, 石村栄治, 井関  
邦敏, 伊丹儀友, 乳原善文, 笠井健司, 木全直樹, 剣持敬, 佐古まゆみ, 杉山斉, 鈴木洋通,  
田邊一成, 椿原美治, 西慎一, 樋之津史郎, 平松信, 古菌勉, 望月隆弘, 湯沢賢治, 横山仁,  
秋葉隆, 高原史郎, 吉村了勇, 本田雅敬, 松尾清一, 秋澤忠男, 日本透析医学会腎不全総  
合対策委員会. わが国の end stage kidney disease(ESKD)の現況. 移植 48(4-5):225-235,  
2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 相川健, 赤塚東司雄, 旭浩一, 伊藤稔, 上野誠司, 大友浩志, 大森聡, 折笠一彦, 風間順一  
郎, 川口洋, 川崎忠行, 川名篤子, 木全直樹, 木村朋由, 熊川健二郎, 小島祥敬, 小林正人,  
新村浩明, 鈴木一裕, 関野宏, 常盤峻士, 戸澤修平, 中山昌明, 橋本樹, 堀井秀夫, 榎昭弘,  
政金生人, 松岡久光, 水口潤, 宮崎真理子, 柳田知彦, 山川智之, 山縣邦弘, 渡辺毅. "東日  
本大震災 学術調査報告書 一災害時透析医療展開への提言一" (編集 一般社団法人  
日本透析医学会東日本大震災学術ワーキンググループ), 医学図書出版 (東京) 2013, 全  
267 ページ
2. 臼井丈一. ANCA 関連腎炎の患者をどう治療するか; "Bunkodo Essential & Advanced  
Mook シリーズ患者を末期腎不全にしないための CKD 診療のコツ" (編集 今井圓裕),  
文光堂 (東京) 2013; pp206-212
3. 臼井丈一, 山縣邦弘. CASE08. 感冒を契機に急性腎不全と肺胞出血を呈した 53 歳男性;  
"New 専門医を目指すケースメソッドアプローチ 腎臓疾患 (第 2 版)" (編集 榎野博史),  
日本医事新報社 (東京) 2013; pp68-74

4. 臼井俊明, 山縣邦弘. Q14 わが国の末期腎不全患者数は増加し続けるのでしょうか?; "CKD 診療ガイド 2012 Q&A (第 1 版)" (編集 今井圓裕), 診断と治療社 (東京) 2013 pp31-33
5. 河村哲也, 山縣邦弘. Q22 CKD のリスクは何でしょうか?; "CKD 診療ガイド 2012 Q&A (第 1 版)" (編集 今井圓裕), 診断と治療社 (東京) 2013; pp48-49
6. 加瀬田幸司, 山縣邦弘. Q39 CKD 患者の専門医への紹介の時期について教えてください; "CKD 診療ガイド 2012 Q&A (第 1 版)" (編集 今井圓裕), 診断と治療社 (東京) 2013; pp91-93
7. 富樫周, 山縣邦弘. Q41. CKD 患者に対して透析導入はいつ、どのように説明すればいいのでしょうか?; "CKD 診療ガイド 2012 Q&A (第 1 版)" (編集 今井圓裕), 診断と治療社 (東京) 2013; pp97-99
8. 斎藤知栄, 山縣邦弘. I 慢性腎臓病 (CKD) 3. CKD の治療全般・管理目標; "腎不全治療レシピ (第 1 版)" (編集 丹羽利允), 医学出版 (東京) 2013; pp26-37
9. 斎藤知栄, 山縣邦弘. 第 2 章 3. 国の CKD 診療に対する取り組み; "あなたも名医! jmedmook29 透析まで行かせない! CKD 診療" (編集 海津嘉蔵), 日本医事新報社 (東京) 2013; pp6-11
10. 堀江重郎, 伊藤秀一, 岡田浩一, 菊池春人, 成田一衛, 西山勉, 長谷川友紀, 三上裕司, 山縣邦弘, 油野友二, 武藤智. "血尿診断ガイドライン 2013; (第 1 版)" (編集 ライフサイエンス出版), ライフサイエンス出版 (東京) 2013, 全 80 ページ
11. 槇野博史, 木村健二郎, 山縣邦弘. "NHK きょうの健康 ここが聞きたい! 名医に Q 腎臓病のベストアンサー (第 1 版)" (編集 槇野博史, 木村健二郎, 山縣邦弘), 主婦と生活社 (東京) 2013, 全 128 ページ
12. 松永恒明, 山縣邦弘. 3 巻. 尿細管間質性腎炎; "臨床病態学 3 (第 2 版)" (編集 北村聖), スーヴェルヒロカワ (東京) 2013; pp463-464
13. 山縣邦弘. 第 10 章. CKD 患者を専門医に紹介するタイミング—腎臓専門医との連携; "CKD 診療ガイド 2012 ガイドブック (第 1 版)" (編集 今井圓裕), 医歯薬出版株式会社 (東京) pp61-66
14. 山縣邦弘. 第 6 章. 第 1 節、第 2 節 「ネフローゼ症候群」、「腎炎」; "ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 「疾病と治療」 (第 2 版)" (編集 林正健二, 山内豊明), メディカ出版 (大阪) 2013; pp150-159
15. 山縣邦弘. 9. 腎疾患. 急速進行性腎炎症候群 (ANCA 関連腎炎を含む); "今日の治療指針 私はこう治療している 2013 (第 1 版)" (編集 山口徹, 北原光夫, 福井次矢), 医学書院 (東京) 2013; pp538-540

16. 山縣邦弘. 2. 急速進行性糸球体腎炎症候群; "腎臓病薬物療法 実践ガイド (第1版)" (編集 丹羽利允), 中山書店 (東京) 2013; pp203-214
17. 山縣邦弘. Part3. 慢性腎臓病の治療 —原因疾患とその対処法; "別冊 NHK 今日の健康 慢性腎臓病 (CKD)" (編集 富野康日己), NHK 出版 (東京) 2013; pp42-64
18. 山縣邦弘. 主な原発性糸球体腎炎. 1. 溶連菌感染後急性糸球体腎炎; "内科学書 (第8版)" (編集 小川聡), 中山書店 (東京) 2013; pp453-455
19. 山縣邦弘. 主な原発性糸球体腎炎. 2. 急速進行性糸球体腎炎; "内科学書 (第8版)" (編集 小川聡), 中山書店 (東京) 2013; pp455-459
20. 山縣邦弘. 第2章 病理・病態生理. 病因1. 微小変化型ネフローゼ症候群; "最新医学 別冊 新しい診断と治療の ABC80/腎8 ネフローゼ症候群" (編集 今井圓裕), 最新医学社 (大阪) 2013; pp46-53
21. 山縣邦弘, 臼井丈一. VI.糸球体疾患. 7.半月体形成性糸球体腎炎と ANCA 関連腎炎; "臨床腎臓内科学 (第1版)" (編集 安田孝, 平和伸仁, 小山雄太), 南山堂 (東京) 2013; pp386-393
22. 山縣邦弘, 臼井丈一. VI.糸球体疾患. 14.感染に伴う糸球体疾患 (MRSA, 細菌感染, ウイルス: 肝炎ウイルスや HIV, その他); "臨床腎臓内科学 (第1版)" (編集 安田孝, 平和伸仁, 小山雄太), 南山堂 (東京) 2013; pp448-456

#### 病院診療研究グループ (臨床医療管理部)

##### 4) 英文以外の著書

1. 本間覚. 医原性疾患総論; "内科学", 朝倉出版 (東京) 2013; pp2395-2398
2. 本間覚. 薬物療法に伴う医原性疾患; "内科学", 朝倉出版 (東京) 2013; pp2398-2401
3. 本間覚. 診療行為に伴う医原性疾患; "内科学", 朝倉出版 (東京) 2013; pp2401-2402

#### 病院診療研究グループ (医療連携患者相談センター)

##### 1) 英文論文

1. Hamano J, Kizawa Y, Maeno T, Nagaoka H, Shima Y, Maeno T. Prospective Clarification of the Utility of the Palliative Prognostic Index for Patients With Advanced Cancer in the Home Care Setting. *Am J Hosp Palliat Care* doi:10.1177/1049909113504982, 2013
2. Hamano J, Maeno T, Kizawa Y, Shima Y, Maeno T. Usefulness of Palliative Prognostic Index for patient with advanced cancer in home care setting. *Am J Hosp Palliat Care*

30(3):264-267, 2013

3. Kizawa Y, Morita T, Hamano J, Nagaoka H, Miyashita M, Tsuneto S. Specialized palliative care services in Japan: a nationwide survey of resources and utilization by patients with cancer. *Am J Hosp Palliat Care* 30(6):552-555, 2013
4. Kizawa Y, Tsuneto S, Hamano J, Nagaoka H, Maeno T, Shima Y. Advance directives and do-not-resuscitate orders among patients with terminal cancer in palliative care units in Japan: a nationwide survey. *Am J Hosp Palliat Care* 30(7):664-669, 2013
5. Nakazawa K, Kizawa Y, Maeno T, Takayashiki A, Abe Y, Hamano J, Maeno T. Palliative Care Physicians' Practices and Attitudes Regarding Advance Care Planning in Palliative Care Units in Japan: A Nationwide Survey. *Am J Hosp Palliat Care* doi:10.1177/1049909113507328, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 瀧野淳. 第IV章. 在宅緩和ケアのスキル; "3ステップ実践緩和ケア (第1版)" (編集 木澤義之, 森田達也, 新城拓也, 梅田恵, 久原幸), 青海社 (東京) 2013; pp140-145
2. 瀧野淳. 外来患者が増えない悩みをSWOT分析でアプローチ; "治療 「しまった！」を役立てる (第1版)" (編集 日本プライマリ・ケア連合学会), 南山堂 (東京) 2013; pp937-941

## 睡眠医学寄附講座

#### 1) 英文論文

1. Hirata Y, Nabekura T, Maruyama H, Aonuma K, Satoh M. Elevation of plasma basic fibroblast growth factor after nocturnal hypoxic events in patients with obstructive sleep apnea syndrome. *Springerplus* 2(1):260, 2013
2. Naruse Y, Tada H, Satoh M, Yanagihara M, Tsuneoka H, Hirata Y, Ito Y, Kuroki K, Machino T, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Sato A, Aonuma K. Concomitant obstructive sleep apnea increases the recurrence of atrial fibrillation following radiofrequency catheter ablation of atrial fibrillation: clinical impact of continuous positive airway pressure therapy. *Heart Rhythm* 10(3):331-337, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 佐藤誠. 4.7. 肥満肺胞低換気症候群; "睡眠無呼吸症 (第1版)" (編集 塩見利明), 朝倉書



店 (東京) 2013; pp43-45

2. 佐藤誠. 4.10. Long Face Syndrome; "睡眠無呼吸症 (第 1 版)" (編集 塩見利明), 朝倉書店 (東京) 2013; pp51-53

## 臨床研究地域イノベーション学寄附講座

### 1) 英文論文

1. Fujie K, Nakata Y, Yasuda S, Mizutani T, Hashimoto K. Do dispatcher instructions facilitate bystander-initiated cardiopulmonary resuscitation and improve outcomes in patients with out-of-hospital cardiac arrest? A comparison of family and non-family bystanders. *Resuscitation* doi: 10.1016/j.resuscitation.2013.11.013, 2013
2. Hotta K, Kitamoto A, Kitamoto T, Mizusawa S, Teranishi H, So R, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Itoh N, Mineo I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Tokunaga K, Masuzaki H, Ueno T, Chayama K, Hamaguchi K, Yamada K, Hanafusa T, Oikawa S, Sakata T, Tanaka K, Matsuzawa Y, Nakao K, Sekine A. Replication study of 15 recently published Loci for body fat distribution in the Japanese population. *J Atheroscler Thromb* 20(4):336-350, 2013
3. Kawamoto H, Kamibayashi K, Nakata Y, Yamawaki K, Ariyasu R, Sankai Y, Sakane M, Eguchi K, Ochiai N. Pilot study of locomotion improvement using hybrid assistive limb in chronic stroke patients. *BMC Neurol* 13:141, 2013
4. Kitamoto A, Kitamoto T, Mizusawa S, Teranishi H, So R, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Komatsu R, Itoh N, Mineo I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Tokunaga K, Masuzaki H, Ueno T, Chayama K, Hamaguchi K, Yamada K, Hanafusa T, Oikawa S, Sakata T, Tanaka K, Matsuzawa Y, Nakao K, Sekine A, Hotta K. NUDT3 rs206936 is associated with body mass index in obese Japanese women. *Endocr J* 60(8):991-1000, 2013
5. Kubota S, Nakata Y, Eguchi K, Kawamoto H, Kamibayashi K, Sakane M, Sankai Y, Ochiai N. Feasibility of rehabilitation training with a newly developed wearable robot for patients with limited mobility. *Arch Phys Med Rehabil* 94(6):1080-1087, 2013
6. Ra SG, Miyazaki T, Ishikura K, Nagayama H, Komine S, Nakata Y, Maeda S, Matsuzaki Y, Ohmori H. Combined effect of branched-chain amino acids and taurine supplementation on delayed onset muscle soreness and muscle damage in high-intensity eccentric exercise. *J Int Soc Sports Nutr* 10(1):51, 2013

7. Shigematsu R, Okura T, Nakagaichi M, Nakata Y. Adherence to and effects of multidirectional stepping exercise in the elderly: A long-term observational study following a randomized controlled trial. . *Journal of Physical Fitness and Sports Medicine* 2(1):127-134, 2013

#### 2) 英文以外の論文

1. 下門洋文, 中田由夫, 富川理充, 高木英樹, 征矢英昭. 大学生における 26 年間の体型と体力の推移とその関連性. 体育学研究 58(1):181-194, 2013
2. 鈴木恒, 馬見塚尚孝, 芋生祥之, 大瀧保明, 奈良隆章, 藤江敬子, 橋本幸一, 中田由夫, 原田義則, 坂根正孝, 平野篤, 落合直之. 腰部脊柱管狭窄症患者に対する日本語版チューリッヒ跛行質問票と 6 分間歩行試験の試用評価と基準関連妥当性検証. *Journal of Spine Research* 4(1):63-67, 2013
3. 高木英樹, 下門洋文, 中田由夫, 征矢英昭. 大学生の体型と体力に関する縦断的研究—男子大学生の入学後 3 年間の変化について—. *大学体育研究* 35:1-11, 2013
4. 中田由夫. 健康支援分野における実践的研究を計画する際の留意点. 体育測定評価研究 12:1-7, 2013
5. 中田由夫, 宮地元彦. 特定保健指導における運動指導(ポイント、効果). *肥満研究* 19(2):89-94, 2013
6. 松下宗洋, 宮地元彦, 川上諒子, 岡本隆史, 塚本浩二, 中田由夫, 荒尾孝, 澤田亨. 全身持久力および飲酒習慣が全がん死亡率に与える影響:日本人男性を対象としたコホート研究. *体力科学* 62(5):375-381, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 中田由夫. 第 13 章. 肥満と減量に対する遺伝的要因; "疾病予防・健康増進のための分子スポーツ医学 (第 1 版)" (編集 正田純一), 医歯薬出版株式会社 (東京) 2013: pp87-92

## 循環器不整脈学寄附講座

#### 1) 英文論文

1. Bezzina CR, Barc J, Mizusawa Y, Remme CA, Gourraud JB, Simonet F, Verkerk AO, Schwartz PJ, Crotti L, Dagradi F, Guicheney P, Fressart V, Leenhardt A, Antzelevitch C, Bartkowiak S, Borggrefe M, Schimpf R, Schulze-Bahr E, Zumhagen S, Behr ER, Bastiaenen R, Tfelt-Hansen J, Olesen MS, Kaab S, Beckmann BM, Weeke P, Watanabe H, Endo N,

- Minamino T, Horie M, Ohno S, Hasegawa K, Makita N, Nogami A, Shimizu W, Aiba T, Froguel P, Balkau B, Lantieri O, Torchio M, Wiese C, Weber D, Wolswinkel R, Coronel R, Boukens BJ, Bezieau S, Charpentier E, Chatel S, Despres A, Gros F, Kyndt F, Lecointe S, Lindenbaum P, Portero V, Violleau J, Gessler M, Tan HL, Roden DM, Christoffels VM, Le Marec H, Wilde AA, Probst V, Schott JJ, Dina C, Redon R. Common variants at SCN5A-SCN10A and HEY2 are associated with Brugada syndrome, a rare disease with high risk of sudden cardiac death. *Nat Genet* 45(9):1044-1049, 2013
2. Ito Y, Yamasaki H, Naruse Y, Yoshida K, Kaneshiro T, Murakoshi N, Igarashi M, Kuroki K, Machino T, Xu D, Kunugita F, Sekiguchi Y, Sato A, Tada H, Aonuma K. Effect of eplerenone on maintenance of sinus rhythm after catheter ablation in patients with long-standing persistent atrial fibrillation. *Am J Cardiol* 111(7):1012-1018, 2013
3. Kurosaki K, Nogami A, Shirai Y, Kowase S. Positive QRS complex in lead i as a malignant sign in right ventricular outflow tract tachycardia: comparison between polymorphic and monomorphic ventricular tachycardia. *Circ J* 77(4):968-974, 2013
4. Nakano Y, Chayama K, Ochi H, Toshishige M, Hayashida Y, Miki D, Hayes CN, Suzuki H, Tokuyama T, Oda N, Suenari K, Uchimura-Makita Y, Kajihara K, Sairaku A, Motoda C, Fujiwara M, Watanabe Y, Yoshida Y, Ohkubo K, Watanabe I, Nogami A, Hasegawa K, Watanabe H, Endo N, Aiba T, Shimizu W, Ohno S, Horie M, Arihiro K, Tashiro S, Makita N, Kihara Y. A nonsynonymous polymorphism in semaphorin 3A as a risk factor for human unexplained cardiac arrest with documented ventricular fibrillation. *PLoS Genet* 9(4):e1003364, 2013
5. Nishiuchi S, Nogami A, Naito S. A case with occurrence of antidromic tachycardia after ablation of idiopathic left fascicular tachycardia: mechanism of left upper septal ventricular tachycardia. *J Cardiovasc Electrophysiol* 24(7):825-827, 2013
6. Sacher F, Probst V, Maury P, Babuty D, Mansourati J, Komatsu Y, Marquie C, Rosa A, Diallo A, Cassagneau R, Loizeau C, Martins R, Field ME, Derval N, Miyazaki S, Denis A, Nogami A, Ritter P, Gourraud JB, Ploux S, Rollin A, Zemmoura A, Lamaison D, Bordachar P, Pierre B, Jais P, Pasquie JL, Hocini M, Legal F, Defaye P, Boveda S, Iesaka Y, Mabo P, Haissaguerre M. Outcome after implantation of a cardioverter-defibrillator in patients with Brugada syndrome: a multicenter study-part 2. *Circulation* 128(16):1739-1747, 2013

2) 英文以外の論文

1. 五十嵐都, 村越伸行, 許東洙, 夢田浩, 関口幸夫, 山崎浩, 黒木健志, 町野毅, 井藤葉子, 石

- 津智子, 瀬尾由広, 久賀圭祐, 青沼和隆. 高血圧ラットにおけるアミオダロンの心房細動抑制のメカニズムについて ペプリジルとの比較検討. *Progress in Medicine* 33(Suppl.1):698-703, 2013
2. 井藤葉子, 野上昭彦, 山崎浩, 成瀬代士久, 黒木健志, 町野毅, 五十嵐都, 関口幸夫, 青沼和隆. 長期持続型心房細動に対するカテーテルアブレーションにおけるレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系阻害薬の併用効果について. *日本心臓病学会誌* 8(Suppl.I):383, 2013
3. 奥村謙, 相澤義房, 相原直彦, 青沼和隆, 沖重薫, 熊谷浩一郎, 庄田守男, 住友直方, 高橋淳, 内藤滋人, 中村好秀, 野上昭彦, 平尾見三, 松本万夫, 村川裕二, 山根禎一, 大和田真玄, 佐々木真吾, 里見和浩, 茅田浩, 池主雅臣, 蜂谷仁, 新博次, 家坂義人, 櫻田春水, 筒井裕之, 三田村秀雄, *日本循環器学会*. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2010-2011 年度合同研究班報告) カテーテルアブレーションの適応と手技に関するガイドライン. *循環器病の診断と治療に関するガイドライン 2012*: 3-67, 2013
4. 奥村謙, 相澤義房, 相原直彦, 青沼和隆, 沖重薫, 熊谷浩一郎, 庄田守男, 住友直方, 高橋淳, 内藤滋人, 中村好秀, 野上昭彦, 平尾見三, 松本万夫, 村川裕二, 山根禎一, 大和田真玄, 佐々木真吾, 里見和浩, 茅田浩, 池主雅臣, 蜂谷仁, 新博次, 家坂義人, 櫻田春水, 筒井裕之, 三田村秀雄, *日本循環器学会*. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2010-2011 年度合同研究班報告) 【ダイジェスト版】 カテーテルアブレーションの適応と手技に関するガイドライン. *循環器病の診断と治療に関するガイドライン 2012*: 69-88, 2013
5. 川松直人, 石津智子, 玄哲樹, 会田敏, 木全啓, 酒井俊介, 佐藤希美, 菅野昭憲, 加藤穰, 川辺正之, 許東洙, 木村泰三, 原唯史, 榎本佳治, 瀬尾由広, 青沼和隆. 大動脈弁置換術後の弁不全において PET-CT が治療方針決定に有用であった自己免疫性血管炎. *日本心臓病学会誌* 8(Suppl.I):676, 2013
6. 許東洙, 村越伸行, 青沼和隆. 【心腎貧血連関】慢性腎臓病と心房細動発症のリスク. *循環器内科* 74(5):479-483, 2013
7. 佐藤明, 関口幸夫, 野上昭彦, 青沼和隆. 虚血と不整脈 急性冠症候群に伴う不整脈とその対処. *心電図* 33(Suppl.4):S-4-74, 2013
8. 白井康大, 野上昭彦, 荻ノ沢泰司, 小和瀬晋弥, 黒崎健司, 村瀬達彦, 篠田康俊, 佐々木法常, 福澤朋幸, 西山大樹, 青木元, 柚本和彦, 玉木利幸, 加藤健一. 頻拍中のみ心室刺激による室房伝導を認め, 機序として遅伝導路の順行性潜在伝導が考えられた Long RP' 頻拍の 1 例. *臨床心臓電気生理* 36: 117-126, 2013
9. 関口幸夫, 野上昭彦, 黒木健志, 町野毅, 山崎浩, 五十嵐都, 青沼和隆. 3D マッピング・イ

メージングを用いた不整脈の診断と治療 CARTO システムを用いた VT アブレーション. 心電図 33(Suppl.4):S-4-84, 2013

10. 西内英, 内藤滋人, 佐々木健人, 塚田直史, 早野護, 福家悦子, 三樹祐子, 坂本有, 中村啓二郎, 中村紘規, 鮎野健一, 熊谷浩司, 大島茂, 野上昭彦. 多極電極カテーテルで記録された左室中中隔前収縮期電位を指標とし, アブレーションに成功した上部中隔型特発性左側心室頻拍 (ILVT) の 1 例. 臨床心臓電気生理 36:211-222, 2013
11. 野上昭彦. 侵襲的治療の現状と可能性. 最新医学 68: 1552-1563, 2013
12. 野上昭彦. 基礎心疾患のない持続性心室頻拍の治療. Medicina50(13):2216-2220, 2013

### 3) 英文著書

1. Nogami A, Olshansky B. 83. Bundle Branch Reentry Tachycardia; in "Cardiac Electrophysiology: From Cell to Bedside (6th edition)" (edited by Zipes DP, Jalife J), Elsevier (Philadelphia) 2013; pp835-847

## 不整脈次世代寄附研究部門

### 1) 英文論文

1. Ito Y, Yamasaki H, Naruse Y, Yoshida K, Kaneshiro T, Murakoshi N, Igarashi M, Kuroki K, Machino T, Xu D, Kunugita F, Sekiguchi Y, Sato A, Tada H, Aonuma K. Effect of eplerenone on maintenance of sinus rhythm after catheter ablation in patients with long-standing persistent atrial fibrillation. *Am J Cardiol* 111(7):1012-1018, 2013
2. Machino-Ohtsuka T, Seo Y, Ishizu T, Sugano A, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Machino T, Kuroki K, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Aonuma K. Efficacy, safety, and outcomes of catheter ablation of atrial fibrillation in patients with heart failure with preserved ejection fraction. *J Am Coll Cardiol* 62(20):1857-1865, 2013
3. Machino-Ohtsuka T, Seo Y, Ishizu T, Yanaka S, Nakajima H, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Koshino Y, Machino T, Kuroki K, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K. Significant improvement of left atrial and left atrial appendage function after catheter ablation for persistent atrial fibrillation. *Circ J* 77(7):1695-1704, 2013
4. Naruse Y, Tada H, Satoh M, Yanagihara M, Tsuneoka H, Hirata Y, Ito Y, Kuroki K, Machino T, Yamasaki H, Igarashi M, Sekiguchi Y, Sato A, Aonuma K. Concomitant obstructive sleep apnea increases the recurrence of atrial fibrillation following radiofrequency catheter ablation of atrial fibrillation: clinical impact of continuous positive airway pressure therapy. *Heart*

*Rhythm* 10(3):331-337, 2013

5. Nogami Y, Ishizu T, Atsumi A, Yamamoto M, Kawamura R, Seo Y, Aonuma K. Abnormal early diastolic intraventricular flow 'kinetic energy index' assessed by vector flow mapping in patients with elevated filling pressure. *Eur Heart J Cardiovasc Imaging* 14(3):253-260, 2013
6. Seo Y, Yamasaki H, Kawamura R, Ishizu T, Igarashi M, Sekiguchi Y, Tada H, Aonuma K. Left ventricular activation imaging by 3-dimensional speckle-tracking echocardiography. Comparison with electrical activation mapping. *Circ J* 77(10):2481-2489, 2013

2) 英文以外の論文

1. 安達亨, 吉田健太郎, 山崎浩, 五十嵐都, 関口幸夫, 石津智子, 瀬尾由広, 寿田浩, 久賀圭祐, 青沼和隆. 心室3点ペーシングの有効性が確認された拡張型心筋症による重症左心不全の1例. *Therapeutic Research* 34(1):85-87, 2013
2. 五十嵐都, 青沼和隆. 不整脈 心房細動のカテーテルアブレーションの新しいエビデンス 適応と成績を中心に. *Annual Review 循環器* 2013:145-151, 2013
3. 五十嵐都, 村越伸行, 許東洙, 寿田浩, 関口幸夫, 山崎浩, 黒木健志, 町野毅, 井藤葉子, 石津智子, 瀬尾由広, 久賀圭祐, 青沼和隆. 高血圧ラットにおけるアミオダロンの心房細動抑制のメカニズムについて ペプリジルとの比較検討. *Progress in Medicine* 33(Suppl.1):698-703, 2013
4. 井藤葉子, 野上昭彦, 山崎浩, 成瀬代士久, 黒木健志, 町野毅, 五十嵐都, 関口幸夫, 青沼和隆. 長期持続型心房細動に対するカテーテルアブレーションにおけるレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系阻害薬の併用効果について. *日本心臓病学会誌* 8(Suppl.I):383, 2013
5. 川松直人, 瀬尾由広, 中島英樹, 佐藤希美, 菅野昭憲, 渥美安紀子, 山本昌良, 町野智子, 井藤葉子, 黒木健志, 山崎浩, 川村龍, 五十嵐都, 関口幸夫, 石津智子, 青沼和隆. ペースメーカーリード起因性三尖弁逆流症の有病率及びリスクファクターについての検討. *日本心臓病学会誌* 8(Suppl.I):289, 2013
6. 坂元雄介, 縮恭一, 鳥羽清志郎, 赤星博和, 川上康, 町野毅, 黒木健志, 山崎浩, 五十嵐都, 関口幸夫, 青沼和隆. 当院のカテーテル・アブレーション業務における臨床工学技士の取り組みと現状. *日本臨床工学技士会誌* 48:147, 2013
7. 関口幸夫, 野上昭彦, 黒木健志, 町野毅, 山崎浩, 五十嵐都, 青沼和隆. 3D マッピング・イメージングを用いた不整脈の診断と治療 CARTO システムを用いた VT アブレーション. *心電図* 33(Suppl.4):S-4-84, 2013

8. 縮恭一, 関口幸夫, 福田隆徳, 鳥羽清志郎, 茂木芳賢, 坂元雄介, 赤星博和, 古垣達也, 山本純偉, 安達亨, 黒木健志, 町野毅, 山崎浩, 五十嵐都, 青沼和隆. Non-ischemic VT-ABL 中に誘発された VT が DC にても改善せず補助循環と ABL によって治療した 1 例. 日本臨床工学技士会誌 48(?):147, 2013
  9. 野上佳恵, 瀬尾由広, 渥美安紀子, 山本昌良, 石津智子, 青沼和隆. 高齢者高血圧症例における Wave-Intensity の意義について. 超音波医学 40(Suppl.):S449, 2013
  10. 町野智子, 瀬尾由広, 石津智子, 五十嵐都, 関口幸夫, 青沼和隆. Elimination of Atrial Fibrillation by Catheter Ablation Suppresses Adverse Cardiac Events in HFPEF. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):172, 2013
  11. 安島良輝子, 梅津努, 助川みわこ, 五十嵐都, 山崎浩, 関口幸夫, 青沼和隆. アブレーション治療におけるメディカルスタッフの連携 アブレーションにおける看護師の役割. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):206, 2013
  12. 山崎浩, 関口幸夫, 多田浩, 町野毅, 黒木健志, 成瀬代士久, 井藤葉子, 五十嵐都, 吉田健太郎, 青沼和隆. "時計"および"反時計"方向に巡回する 2 種の Localized Reentry が認められた僧帽弁輪峡部焼灼術後の 1 例. 臨床心臓電気生理 36:55-63, 2013
- 4) 英文以外の著書
1. 五十嵐都, 青沼和隆. 第 4 章. 心房細動のカテーテルアブレーションの新しいエビデンス –適応と成績を中心に; "循環器 Annual Review 2013" (編集 小室一成, 佐地勉, 坂田隆造, 赤坂隆史), 中外医学社 (東京) 2013; pp145-151

## 北茨城地域医療研修ステーション

- 2) 英文以外の論文
1. 堤円香, 中村明澄, 前野貴美, 高屋敷明由美, 阪本直人, 横谷省治, 前野哲博. 小中学生への喫煙予防教育と父母の行動変容との関連 子供の言葉は親を変えるか. 日本プライマリ・ケア連合学会誌 36(4):291-296, 2013

## 水戸地域医療教育センター

- 1) 英文論文
1. Abe T, Ishimatsu S, Tokuda Y. Descriptive analysis of patients' EMS use related to severity in Tokyo: a population-based observational study. *PLoS One* 8(3):e59738, 2013

2. Abe T, Tokuda Y. Bilateral carotid arteries occlusion. *BMJ Case Rep* doi: 10.1136/bcr-2012-008048, 2013
3. Araki W, Oda A, Motoki K, Hattori K, Itoh M, Yuasa S, Konishi Y, Shin RW, Tamaoka A, Ogino K. Reduction of  $\beta$ -amyloid accumulation by reticulon 3 in transgenic mice. *Curr Alzheimer Res* 10(2):135-142, 2013
4. Baba O, Yamagata K, Tomidokoro Y, Tamaoka A, Itoh H, Yanagawa T, Onizawa K, Bukawa H. Neuroleptic malignant syndrome in a patient with tongue cancer: a report of a rare case. *Case Rep Dent* 2013:542130, 2013
5. Doba N, Tokuda Y, Tomiyama H, Goldstein NE, Kushiro T, Hinohara S. Changes in ankle brachial pulse wave velocity during a five-year follow-up period in older Japanese adults: sub-analysis results of the health research volunteer study in Japan. *Intern Med* 52(1):21-27, 2013
6. Garcia-Arcos I, Hiyama Y, Drosatos K, Bharadwaj KG, Hu Y, Son NH, O'Byrne SM, Chang CL, Deckelbaum RJ, Takahashi M, Westerterp M, Obunike JC, Jiang H, Yagyu H, Blaner WS, Goldberg IJ. Adipose-specific lipoprotein lipase deficiency more profoundly affects brown than white fat biology. *J Biol Chem* 288(20):14046-14058, 2013
7. Ho YS, Nakazawa K, Sato S, Tamura T, Kurishima K, Satoh H. Cisplatin for small cell lung cancer: Associated publications in Science Citation Index Expanded. *Oncol Lett* 5(2):684-688, 2013
8. Hosaka A, Araki W, Oda A, Tomidokoro Y, Tamaoka A. Statins reduce amyloid  $\beta$ -peptide production by modulating amyloid precursor protein maturation and phosphorylation through a cholesterol-independent mechanism in cultured neurons. *Neurochem Res* 38(3):589-600, 2013
9. Hosokawa M, Arai T, Yamashita M, Tsuji H, Nonaka T, Masuda-Suzukake M, Tamaoka A, Hasegawa M, Akiyama H. Differential diagnosis of amyotrophic lateral sclerosis from Guillain-Barre syndrome by quantitative determination of TDP-43 in cerebrospinal fluid. *Int J Neurosci* doi: 10.3109/00207454.2013.848440, 2013
10. Ishikawa A, Ohara G, Nakazawa K, Tamura T, Sato S, Kagohashi K, Kurishima K, Ito Y, Satoh H. Chemotherapy-induced complications in patients with lung cancer: an evaluation by pharmacists. *Mol Clin Oncol* 1(1):65-68, 2013
11. Itoi S, Tokuda Y, Ohara G, Kagohashi K, Satoh H. Acute eosinophilic pneumonia in a teenager as a result of smoking: importance of differential diagnosis. *General Medicine* 14(1):64-66, 2013



12. Kaburagi T, Satoh H, Hayashihara K, Endo T, Hizawa N, Kurishima K, Nishimura Y, Hashimoto T, Nakamura H, Kishi K, Inagaki M, Nawa T, Ichimura H, Ishikawa H, Kagohashi K, Fukuoka T, Shinohara Y, Kamiyama K, Sato Y, Sakai M, Matsumura T, Uchiumi K, Furukawa K. Observational study on the efficacy and safety of erlotinib in patients with non-small cell lung cancer. *Oncol Lett* 5(2):435-439, 2013
13. Kagohashi K, Ohara G, Kurishima K, Satoh H. Non-interventional management of small pneumothorax in the very elderly. *Tuberk Toraks* 61(4):342-345, 2013
14. Kawamura H, Sakae T, Terunuma T, Ishida M, Shibata Y, Matsumura A. Evaluation of three-dimensional polymer gel dosimetry using X-ray CT and R2 MRI. *Appl Radiat Isot* 77:94-102, 2013
15. Kinoshita K, Hattori K, Ota Y, Kanai T, Shimizu M, Kobayashi H, Tokuda Y. The measurement of axillary moisture for the assessment of dehydration among older patients: a pilot study. *Exp Gerontol* 48(2):255-258, 2013
16. Kinoshita K, Tsunoda Y, Watanabe S, Tokuda Y. Spontaneous coronary artery dissection in a patient with bacterial meningitis. *BMJ Case Rep* doi: 10.1136/bcr-2013-201254, 2013
17. Kobayashi H, Suzuki T, Tokuda Y. Pyogenic ventriculitis following urosepsis caused by Escherichia coli. *BMJ Case Rep* doi: 10.1136/bcr-2013-201148, 2013
18. Kobayashi T, Kishimoto M, Swearingen CJ, Filopoulos MT, Ohara Y, Tokuda Y, Oshikawa H, Yoshida K, Utsunomiya M, Kimura M, Okada M, Matsui K, Yazici Y. Differences in clinical manifestations, treatment, and concordance rates with two major sets of criteria for Behcet's syndrome for patients in the US and Japan: data from a large, three-center cohort study. *Mod Rheumatol* 23(3):547-553, 2013
19. Kodama S, Horikawa C, Yoshizawa S, Fujihara K, Yachi Y, Tanaka S, Suzuki A, Hanyu O, Yagyu H, Sone H. Body weight change and type 2 diabetes. *Epidemiology* 24(5):778-779, 2013
20. Kumagai R, Ohara G, Sato S, Miyazaki K, Kagohashi K, Kurishima K, Satoh H. Successfully treated invasive pulmonary aspergillosis in a patient with diabetic ketoacidosis. *Cent Eur J Med* 8(5):685-688, 2013
21. Kurishima K, Homma S, Kagohashi K, Miyazaki K, Kawaguchi M, Satoh H, Hizawa N. Brain metastasis as an isolated late recurrence in small cell lung cancer. *Mol Clin Oncol* 2(2):305-307, 2013
22. Kurishima K, Kagohashi K, Miyazaki K, Tamura T, Ohara G, Kawaguchi M, Satoh H. Small cell lung cancer with endobronchial growth: A case report. *Oncol Lett* 6(2):553-555,

2013

23. Kurishima K, Miyazaki K, Tamura T, Ohara G, Kagohashi K, Kawaguchi M, Satoh H. Peritoneal and meningeal relapse from lung adenocarcinoma after a response to gefitinib. *Mol Clin Oncol* 1(4):785-787, 2013
24. Kurishima K, Ohara G, Kagohashi K, Watanabe H, Takayashiki N, Ishibashi A, Satoh H. Adenosquamous cell lung cancer successfully treated with gefitinib. . *Mol Clin Oncol* 2(2):282-284, 2013
25. Kurishima K, Satoh H, Kaburagi T, Nishimura Y, Shinohara Y, Inagaki M, Endo T, Saito T, Hayashihara K, Hizawa N, Nakamura H, Nawa T, Kagohashi K, Kishi K, Ishikawa H, Ichimura H, Hashimoto T, Sato Y, Sakai M, Kamiyama K, Matsumura T, Unoura K, Uchiumi K, Nomura A, K. F. Erlotinib for elderly patients with non-small cell lung cancer: subset analysis from a population-based observational study by the Ibaraki Thoracic Integrative (POSITIVE) Research Group. *Mol Clin Oncol* 1(5):828-832, 2013
26. Miyauchi R, Kinoshita K, Tokuda Y. Clarithromycin-induced haemorrhagic colitis. *BMJ Case Rep* doi: 10.1136/bcr-2013-009984, 2013
27. Nakazawa K, Kurishima K, Tamura T, Ishikawa H, Satoh H, Hizawa N. Survival difference in NSCLC and SCLC patients with diabetes mellitus according to the first-line therapy. *Med Oncol* 30(1):367, 2013
28. Nakazawa K, Tamura T, Sato S, Kagohashi K, Kurishima K, Satoh H. Obstructive jaundice as recurrence of lung adenocarcinoma. *J Gastrointest Cancer* 44(2):248-249, 2013
29. Ogawa K, Kondo T, Tamura T, Matsumura H, Fukunaga K, Oda T, Ohkohchi N. Influence of Kupffer cells and platelets on ischemia-reperfusion injury in mild steatotic liver. *World J Gastroenterol* 19(9):1396-1404, 2013
30. Ohara G, Kagohashi K, Kurishima K, Miyazaki K, Satoh H. Hemothorax after chest tube insertion for pneumothorax as a complication of clopidogrel. . *Cent Eur J Med* 8(4):406-409, 2013
31. Ohara G, Kondo K, Kagohashi K, Kurishima K, Satoh H. Retroperitoneal abscess shortly after chemotherapy for lung cancer. . *Mol Clin Oncol* 2(2):302-304, 2013
32. Okada K, Yagyu H, Kotani K, Yamazaki H, Ozaki K, Takahashi M, Nagashima S, Osuga J, Ishibashi S. Effects of miglitol versus sitagliptin on postprandial glucose and lipoprotein metabolism in patients with type 2 diabetes mellitus. *Endocr J* 60(7):913-922, 2013
33. Oshiro Y, Takahashi K, Sasaki R, Kondo T, Sakashita S, Ohkohchi N. Adjuvant surgery for advanced extrahepatic cholangiocarcinoma. *World J Gastroenterol* 19(40):6934-6938, 2013

34. Sakai M, Onuki T, Inagaki M, Yamaoka M, Kitazawa S, Kobayashi K, Iguchi K, Kikuchi S, Goto Y, Onizuka M, Sato Y. Early-stage thymic carcinoma: is adjuvant therapy required? *J Thorac Dis* 5(2):161-164, 2013
35. Sakakura K, Takayashiki N, Tokuda Y, Satoh H. Biliary tract compression caused by a giant abdominal aneurysm. *Intern Med* 52(8):925, 2013
36. Sakurai H, Kurishima K, Homma S, Kagohashi K, Miyazaki K, Kawaguchi M, Satoh H, Hizawa N. Isolated solitary brain metastasis as a relapse of small cell lung cancer. *Oncol Lett* 6(4):1108-1110, 2013
37. Satoh H, Kagohashi K, Kurishima K. Peritoneal relapse from lung adenocarcinoma after a response to EGFR-TKI. *Tuberk Toraks* 61(4):346-347, 2013
38. Satoh H, Kagohashi K, Ohara G, Miyazaki K, Kurishima K. Eosinophilic pneumonia in a patient with anticentromere antibody. *Reumatol Clin* doi: 10.1016/j.reuma.2013.05.009, 2013
39. Satoh H, Kagohashi K, Ohara G, Sato S, Miyazaki K, Nakazawa K, Tamura T, Kurishima K, Kawaguchi M, Hizawa N. Use of tiotropium in patients with COPD aged 80 years and older. *Exp Ther Med* 5(4):997-1000, 2013
40. Satoh H, Kurishima K, Kagohashi K. Pneumothorax with postoperative complicated pleural adhesion. *Tuberk Toraks* 61(4):357-359, 2013
41. Sawa A, Abe T, Omoto M, Fujihara K, Kobayashi H, Tokuda Y. Lactic Acidosis with Metformin Use in a Patient with Type 1 Diabetes Mellitus. *General Medicine* 14(1):72-75, 2013
42. Sekine A, Tamura K, Satoh H, Tanaka T, Tsunoda Y, Tanaka T, Takoi H, Lin SY, Yatagai Y, Hashizume T, Hayashihara K, Saito T. Prevalence of underlying lung disease in smokers with epidermal growth factor receptor-mutant lung cancer. *Oncol Rep* 29(5):2005-2010, 2013
43. Seto K, Uchida F, Baba O, Yamatoji M, Karube R, Warabi E, Sakai S, Hasegawa S, Yamagata K, Yanagawa T, Onizawa K, Miyoshi E, Shoda J, Bukawa H. Negative expression of N-acetylglucosaminyltransferase V in oral squamous cell carcinoma correlates with poor prognosis. *Springerplus* 2:657, 2013
44. Seto K, Yamagata K, Uchida F, Yanagawa T, Onizawa K, Bukawa H. Radiation-induced carotid artery stenosis in a patient with carcinoma of the oral floor. *Case Rep Oncol Med* 2013:379039, 2013
45. Shibata Y. Letter to the Editor: traumatic brain injury and MRI. *J Neurosurg* 118(5):1150-1151, 2013

46. Shibata Y. Intracranial hypotension. *J Neurosurg* 119(4):1081, 2013
47. Shibata Y. Traumatic brain stem injury: evaluation by MRI. *AJNR Am J Neuroradiol* 34(5):E56, 2013
48. Shibata Y. A case of cluster headaches preceded by back pain. *Neurology Asia* 18(2):413-414, 2013
49. Shibata Y, Endo K. Evaluation of cerebral function using iomazenil SPECT for patients with traumatic brain injury. *Acta Neurochir Suppl* 118:255-258, 2013
50. Shibata Y, Mashiko R. Case of a patient with bilateral internal carotid artery stenosis presenting with photosensitive attacks. *Cerebrovasc Dis* 36(suppl 2):24, 2013
51. Shimizu T, Nozaki H, Tokuda Y. Steinert's disease. *BMJ Case Rep* doi: 10.1136/bcr-2013-201846, 2013
52. Shimizu T, Tokuda Y. Visible intestinal peristalsis. *BMJ Case Rep* doi: 10.1136/bcr-2013-201748, 2013
53. Shimizu T, Tokuda Y. Intravesical migration of intrauterine device. *BMJ Case Rep* doi: 10.1136/bcr-2012-008127, 2013
54. Shimizu T, Tokuda Y. Osler's node. *BMJ Case Rep* doi: 10.1136/bcr-2012-007564, 2013
55. Shimizu T, Tsugawa Y, Tanoue Y, Konishi R, Nishizaki Y, Kishimoto M, Shiojiri T, Tokuda Y. The hospital educational environment and performance of residents in the General Medicine In-Training Examination: a multicenter study in Japan. *Int J Gen Med* 6:637-640, 2013
56. Suzuki H, Senda J, Yamashita K, Tokuda Y, Kanetsaka Y, Kotaki N, Ishihara H, Ishikawa H. Impact of intensive infection control team activities on the acquisition of methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*, drug-resistant *Pseudomonas aeruginosa* and the incidence of *Clostridium difficile*-associated disease. *J Infect Chemother* 19(6):1047-1052, 2013
57. Suzuki H, Shichi D, Tokuda Y, Ishikawa H, Maeno T, Nakamura H. Pneumococcal vertebral osteomyelitis at three teaching hospitals in Japan, 2003-2011: analysis of 14 cases and a review of the literature. *BMC Infect Dis* 13:525, 2013
58. Suzuki H, Tokuda Y, Shichi D, Ishikawa H, Maeno T, Nakamura H. Morbidity and mortality among newly hospitalized patients with community-acquired pneumococcal bacteremia: a retrospective cohort study in three teaching hospitals in Japan. *Geriatr Gerontol Int* 13(3):607-615, 2013
59. Tainaka K, Takizawa T, Kobayashi H, Umimura M. Limited hip rotation and non-contact anterior cruciate ligament injury: a case-control study. *Knee* doi: 10.1016/j.knee.2013.07.006,

2013

60. Takahashi M, Yagyu H, Tazoe F, Nagashima S, Ohshiro T, Okada K, Osuga J, Goldberg JJ, Ishibashi S. Macrophage lipoprotein lipase modulates the development of atherosclerosis but not adiposity. *J Lipid Res* 54(4):1124-1134, 2013
61. Tamura T, Nakazawa K, Kagohashi K, Kurishima K, Satoh H. Cavitary pulmonary metastases of pancreas cancer. *J Gastrointest Cancer* 44(2):222-224, 2013
62. Tokuda Y, Feldman MD. Direct to consumer unproved screening tests turn a profit in Japan. *BMJ* 347:f4725, 2013
63. Yamagata K, Ito H, Onizawa K, Yamatoji M, Yanagawa T, Bukawa H. Prognosis for gingival carcinomas with a delayed diagnosis after dental extraction. *J Oral Maxillofac Surg* 71(12):2189-2194, 2013

2) 英文以外の論文

1. 岡田優基, 加藤幹朗, 鈴木智晴, 熊谷亮, 糸井覚, 籠橋克紀, 大原元, 栗島浩一, 佐藤浩昭. 気腫合併肺線維症に併発しパズフロキサシンメシル酸塩が奏効した肺炎の2例. 新薬と臨床 62(2):269-273, 2013
2. 小松洋治, 中村和弘, 伊藤嘉朗, 益子良太, 和也 上村, 松村明. 【光線力学診断・治療の最新動向】 脳神経外科手術におけるインドシアニングリーン術中蛍光血管撮影の有効性と課題. 日本レーザー医学会誌 34(2):141-147, 2013
3. 鈴木恒, 馬見塚尚孝, 芋生祥之, 大瀧保明, 奈良隆章, 藤江敬子, 橋本幸一, 中田由夫, 原田義則, 坂根正孝, 平野篤, 落合直之. 腰部脊柱管狭窄症患者に対する日本語版チューリッヒ跛行質問票と6分間歩行試験の試用評価と基準関連妥当性検証. *Journal of Spine Research* 4(1):63-67, 2013
4. 田村孝史, 近藤匡, 福永潔, 大河内信弘. 【肝疾患の病態に及ぼす血小板の意義】 肝虚血再灌流後早期における血小板の動態. *消化器内科* 57(2):173-180, 2013
5. 徳田安春. 筑波大学水戸地域医療教育センター・水戸協同病院カンファレンス 筋力低下を来した23歳男性. *日本プライマリ・ケア連合学会誌* 36(4):358-364, 2013
6. 奈良隆章, 馬見塚尚孝, 川村卓. サーキットピッチング練習の試用評価. *日本整形外科学スポーツ医学会雑誌* 33(1):73-78, 2013
7. 本田洵也, 渡辺重行, 外山昌弘, 五十野博基, 住谷智恵子, 黒田裕久, 仁科秀崇. V1のT波が陽性の右脚ブロックは何を意味するか. *茨城循環器研究会雑誌* 20:71-74, 2013
8. 益子良太, 中居康展, 原拓真, 今井資, 松原鉄平, 松田真秀, 上村和也, 小松洋治, 松村明. 錐体骨部特発性内頸動脈解離に対するステント留置術の1例. *脳神経外科ジャーナル*

22(7):557-561, 2013

9. 松原鉄平, 松田真秀, 益子良太, 上村和也, 小松洋治, 松村明. 多発性未破裂脳動脈瘤の経過観察中に生じた新生動脈瘤破裂によるくも膜下出血の 1 例. 脳卒中の外科 41(1):56-59, 2013
10. 馬見塚尚孝, 平野篤, 山崎正志. 【小児整形外科疾患 診断・治療の進歩】 診断・評価の進歩 MRI 投球肘障害の高分解能 MRI. 別冊整形外科 64:2-6, 2013
11. 宮本昭彦, 渡辺重行. 咽頭の診察所見(インフルエンザ濾胞)の意味と価値の考察. 日大医学雑誌 72(1):11-18, 2013
12. 山縣憲司, 鬼澤浩司郎, 柳川徹, 伊藤寛之, 武川寛樹. 顎顔面領域腫瘍性疾患に対する穿刺組織診の応用. 日本口腔診断学会雑誌 26(1):34-41, 2013
13. 吉田怜, 馬見塚尚孝, 児玉真知子, 鈴木恒, 万本健生, 平野篤. 成長期内側野球肘の受診行動調査. 日本臨床スポーツ医学会誌 21(2):403-408, 2013

### 3) 英文著書

1. Shibata Y. 5. Recent Developments of Single Photon Emission Computed Tomography for the Diagnosis of Brain Tumors; in "Clinical Management and Evolving Novel Therapeutic Strategies for Patients with Brain Tumors (1st edition)" (edited by Lichtor T), InTech (Rijeka) 2013; pp107-123
2. Shibata Y. 13. SPECT in the Evaluation of Brain Tumors; in "SPECT: Technology, Procedures and Applications (1st edition)" (edited by Ahmadzadehfar H, Habibi E), NOVA Publishers (New York) 2013
3. Tokuda Y, Aoki M, Kandpal SB, Tierney LM. 21. Caught in the Web: E-Diagnosis; in "Clinical Care Conundrums: Challenging Diagnoses in Hospital Medicine Caught in the Web: E-Diagnosis (1st edition)" (edited by Pile JC, Baudendistel TE, Harte B), Wiley-Blackwell (New Jersey) 2013; pp169-176

### 4) 英文以外の著書

1. 大城太一, 野生 宏晃, 大須賀淳一, 石橋俊. 第 2 部. ACAT 阻害剤; "糖尿病の分子標的と治療薬事典 (第 1 版)" (編集 綿田裕孝, 松本道宏), 羊土社 (東京) 2013; pp319-320
2. 織田彰子, 永井良三, 福井次矢, 木村健二郎, 上村直実, 桑島巖, 今井靖, 嶋田元. 多発性単ニューロパチー; "今日の臨床サポート (オンライン版)" (監修 庄司進一, 編集 エルゼビア・ジャパン), エルゼビア・ジャパン (東京) 2013 年
3. 小林 裕幸 (翻訳) . 14. 頭痛; "ハリソン内科学 (第 4 版)" (編集 福井次矢, 黒川清), メデ

- イカル・サイエンス・インターナショナル(東京) 2013; pp98-110
4. 小林 裕幸 (翻訳) . 48. 性機能および生殖機能の変調; "ハリソン内科学(第4版)" (編集 福井次矢, 黒川清), メディカル・サイエンス・インターナショナル (東京) 2013; pp318-323
  5. 小林 裕幸 (翻訳) . 49. 男性型多毛症および男性化; "ハリソン内科学(第4版)" (編集 福井次矢, 黒川清), メディカル・サイエンス・インターナショナル(東京) 2013; pp323-327
  6. 渡辺 重行. 虚血性心疾患 "第106回医師国家試験問題解説(第1版)" (編集 国試対策問題編集委員会), メディックメディア (東京) 2013; pp136-137, 173-175, 226-228, 367-368, 552
  7. 渡辺 重行. 心不全症例; "クエスチョンバンク2 必修問題 2014(第1版)" (編集 国試対策問題編集委員会), メディックメディア (東京) 2013; pp375-376

## 茨城県地域臨床教育センター

### 1) 英文論文

1. Abe A, Minaguchi T, Ochi H, Onuki M, Okada S, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H. PIK3CA overexpression is a possible prognostic factor for favorable survival in ovarian clear cell carcinoma. *Human Pathology* 44(2):199-207, 2013
2. Abe D, Sato A, Hoshi T, Kakefuda Y, Watabe H, Ojima E, Hiraya D, Harunari T, Takeyasu N, Aonuma K. Clinical predictors of contrast-induced acute kidney injury in patients undergoing emergency versus elective percutaneous coronary intervention. *Circ J* 78(1):85-91, 2013
3. Abe D, Sato A, Hoshi T, Takeyasu N, Misaki M, Hayashi M, Aonuma K. Initial culprit-only versus initial multivessel percutaneous coronary intervention in patients with ST-segment elevation myocardial infarction: results from the Ibaraki Cardiovascular Assessment Study registry. *Heart Vessels* doi: 10.1007/s00380-013-0342-1, 2013
4. Akiyama-Abe A, Minaguchi T, Nakamura Y, Michikami H, Shikama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H. Loss of PTEN expression is an independent predictor of favorable survival in endometrial carcinomas. *British Journal of Cancer* 109:1703-1710, 2013
5. Fujihara K, Suzuki H, Sato A, Kodama S, Heianza Y, Saito K, Iwasaki H, Kobayashi K, Yatoh S, Takahashi A, Yamada N, Sone H, Shimano H. Carotid artery plaque and LDL-to-HDL cholesterol ratio predict atherosclerotic status in coronary arteries in asymptomatic patients with type 2 diabetes mellitus. *J Atheroscler Thromb* 20(5):452-464,

2013

6. Fujii T, Takatsuka N, Nagata C, Matsumoto K, Okai A, Furuta R, Maeda H, Yasugi T, Kawana K, Mitsuhashi A, Hirai Y, Iwasaka T, Yaegashi N, Watanabe Y, Nagai Y, Kitagawa T, Yoshikawa H. Association between carotenoids and outcome of cervical intraepithelial neoplasia: a prospective cohort study *International Journal of Clinical Oncology* 18:1091-1101, 2013
7. Fukuda K, Kurita N, Sakamoto T, Nishikii H, Okoshi Y, Sugano M, Chiba S. Post-transplant gastric antral vascular ectasia after intra-venous busulfan regimen. *Int J Hematol* 98(1):135-138, 2013
8. Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Ogawa F, Takahashi H, Tanaka S, Sato S, Takehara K. Serum chemokine levels as prognostic markers in patients with early systemic sclerosis: a multicenter, prospective, observational study. *Mod Rheumatol* 23(6):1076-1084, 2013
9. Inai H, Kawai K, Kojima T, Joraku A, Shimazui T, Yamauchi A, Miyagawa T, Endo T, Fukuhara Y, Miyazaki J, Uchida K, Nishiyama H. Oncological outcomes of metastatic testicular cancers under centralized management through regional medical network. *Jpn J Clin Oncol* 43(12):1249-1254, 2013
10. Kanda Y, Oshima K, Kako S, Fukuda T, Uchida N, Miyamura K, Kondo Y, Nakao S, Nagafuji K, Miyamoto T, Kurokawa M, Okoshi Y, Chiba S, Ohashi Y, Takaue Y, Taniguchi S. In vivo T-cell depletion with alemtuzumab in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: Combined results of two studies on aplastic anemia and HLA-mismatched haploidentical transplantation. *Am J Hematol* 88(4):294-300, 2013
11. Katsutani S, Tomiyama Y, Kimura A, Miyakawa Y, Okamoto S, Okoshi Y, Ninomiya H, Kosugi H, Ishii K, Ikeda Y, Hattori T, Katsura K, Kanakura Y. Oral eltrombopag for up to three years is safe and well-tolerated in Japanese patients with previously treated chronic immune thrombocytopenia: an open-label, extension study. *Int J Hematol* 98(3):323-330, 2013
12. Lee SY, Kurita N, Yokoyama Y, Seki M, Hasegawa Y, Okoshi Y, Chiba S. Glucocorticoid-induced diabetes mellitus in patients with lymphoma treated with CHOP chemotherapy. *Support Care Cancer* doi: 10.1007/s00520-013-2097-8, 2013
13. Maie K, Okoshi Y, Takaiwa N, Kurita N, Hasegawa Y, Homma M, Ishii K, Kohda Y, Chiba S. Aprepitant does not alter prednisolone pharmacokinetics in patients treated with R-CHOP. *Ann Oncol* doi: 10.1093/annonc/mdt477, 2013



14. Michikami H, Minaguchi T, Ochi H, Onuki M, Okada S, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H. Safety and efficacy of substituting nedaplatin after carboplatin hypersensitivity reactions in gynecologic malignancies. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research* 39(1):330-335, 2013
15. Ochiai A, Okihara K, Kamoi K, Oikawa T, Shimazui T, Murayama S, Tomita K, Umekawa T, Uemura H, Miki T. Clinical utility of the prostate cancer gene 3 (PCA3) urine assay in Japanese men undergoing prostate biopsy. *BJU Int* 111(6):928-933, 2013
16. Sasaki K, Matsushita S, Sato F, Tokunaga C, Hyodo K, Sakakibara Y. Cardiac sympathetic activity assessed by heart rate variability indicates myocardial ischemia on cold exposure in diabetes. *Annals of Vascular Disease* 6(3):583-589, 2013
17. Shimazui T, Yoshikawa K, Miyazaki J, Kojima T, Inai H, Ando S, Uemura H, Uchida K, Nishiyama H. Systemic transduction of p16INK4A antitumor peptide inhibits the growth of MBT-2 mouse bladder tumor cell line grafts. *Int J Oncol* 42(2):543-548, 2013
18. Shirai K, Tamaki Y, Kitamoto Y, Murata K, Satoh Y, Higuchi K, Ishikawa H, Nonaka T, Takahashi T, Nakano T. Prognosis was not deteriorated by multiple primary cancers in esophageal cancer patients treated by radiotherapy. *J Radiat Res* 54(4):706-711, 2013
19. Tanaka YO, Okada S, Satoh T, Matsumoto K, Oki A, Saida T, Yoshikawa H, Minami M. Diversity in Size and Signal Intensity in Multilocular Cystic Ovarian Masses: New Parameters for Distinguishing Metastatic From Primary Mucinous Ovarian Neoplasms *Journal of Magnetic Resonance Imaging* 38(4):794-801, 2013
20. Tokunaga C, Hiramatsu Y, Kanemoto S, Takahashi-Igari M, Abe M, Horigome H, Sakakibara Y. Effects of landiolol hydrochloride on intractable tachyarrhythmia after pediatric cardiac surgery. *Ann Thorac Surg* 95(5):1685-1688, 2013

2) 英文以外の論文

1. 安倍大輔, 丸田俊介, 油井慶晃, 美崎昌子, 吉田健太郎, 武安法之. トルバプタンの有効性に関する後向き解析. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):299, 2013
2. 飯野由佳, 狩野俊幸, 武安法之, 秋島信二. ランソプラゾールが被疑薬と考えられた TEN の 1 例. 日本皮膚科学会雑誌 123(8):1563-1564, 2013
3. 岡崎有香, 岡田智志, 越智寛幸, 小貫麻美子, 水口剛雄, 松本光司, 佐藤豊実, 沖明典, 吉川裕之. 当院における高度肥満子宮体癌患者の治療経験. 関東連合産科婦人科学会誌 20(1):51-55, 2013
4. 岡崎有香, 櫻井学, 玉井はるな, 志鎌あゆみ, 高野克己, 沖明典, 吉川裕之. 卵巣転移で再

- 発した子宮頸部微小浸潤癌の一例. 日本産科婦人科学会雑誌 65(2):720, 2013
5. 北原美由紀, 朝戸裕二, 鈴木久史, 清嶋護之, 雨宮隆太. 珪肺症合併気胸及びその他の続発性自然気胸手術症例の検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 27(4):417-422, 2013
  6. 木全啓, 吉田健太郎, 国府田尚矢, 加藤穰, 馬場雅子, 美崎昌子, 安倍大輔, 青沼和隆, 武安法之. 激的な症状が特徴的であった薬物治療抵抗性の incessant type 心房頻拍の3例. 心電図 33(Suppl.4):S-4-162, 2013
  7. 桜井学, 高野克己, 岡崎有香, 玉井春奈, 志鎌あゆみ, 斉藤仁昭, 飯嶋達夫, 沖明典. Meigs 症候群を呈した Sertoli- Leydig cell tumor の一例. 関東連合産科婦人科学会誌 50(1):113-118, 2013
  8. 成瀬代士久, 小和瀬晋弥, 黒崎健司, 安倍大輔, 吉田健太郎, 武安法之, 青沼和隆. 右室心尖部ペーシングが左室一回拍出量に与える悪影響. 日本心臓病学会誌 8(Suppl.I):306, 2013
  9. 星拓男. オキシマスク™及び単純顔マスクによる酸素投与時の吸入酸素分画及び二酸化炭素分圧. 日本集中治療医学会誌 20(4):643-644, 2013
  10. 丸田俊介, 油井慶晃, 美崎昌子, 吉田健太郎, 安倍大輔, 武安法之, 徳永千穂, 秋島信二. 可動性巨大左室血栓を伴ううっ血性心不全で発症した虚血性心筋症の一例. 茨城循環器研究会雑誌 20(?):9-14, 2013
  11. 丸田俊介, 油井慶晃, 美崎昌子, 吉田健太郎, 安倍大輔, 武安法之, 徳永千穂, 秋島信二. PAD(Public Access Defibrillation)により救命された特発性心室細動の1例. 茨城県救急医学会雑誌 36:121, 2013
  12. 安田貢, 境田康二, 高橋伸二, 水谷太郎, 大窪勝一朗, 荷見源成, 武安法之. 茨城県における救急蘇生蘇生教育 AHA 茨城トレーニングサイト 10年の活動. 日本臨床救急医学会雑誌 16(3):440, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 後藤大輔. 第4部 P-9. 神経障害性関節症; "EXPERT 膠原病・リウマチ(第3版)"(編集 住田孝之), 診断と治療社(東京) 2013; pp356-358
2. 後藤大輔. 第6部. 膠原病・リウマチ疾患の診断基準一覧; "EXPERT 膠原病・リウマチ(第3版)"(編集 住田孝之), 診断と治療社(東京) 2013; pp369-398
3. 島居徹. 2. 泌尿器科; "周術期深部静脈血栓/肺血栓塞栓症(第1版)"(編集 瀬尾憲正, 古家仁), 克誠堂(東京) 2013; pp160-176
4. 島居徹, 吉野喬之, 山内敦, 大谷幹伸. 1. 周術期静脈血栓塞栓症の予防と対策; "泌尿器科 周術期管理のすべて(第1版)"(編集 荒井陽一, 松田公志, 高橋悟), メディカルビュー

## ひたちなか社会連携教育研究センター

### 1) 英文論文

1. Furukawa H, Kawasaki A, Oka S, Shimada K, Matsui T, Ikenaka T, Hashimoto A, Okazaki Y, Takaoka H, Futami H, Komiya A, Kondo Y, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Kusaoi M, Takasaki Y, Nagai T, Hirohata S, Setoguchi K, Suda A, Nagaoka S, Kono H, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Fukui N, Hashimoto H, Sumida T, Ono M, Tsuchiya N, Tohma S. Association of a single nucleotide polymorphism in the SH2D1A intronic region with systemic lupus erythematosus. *Lupus* 22(5):497-503, 2013
2. Kohno S, Imamura Y, Shindo Y, Seki M, Ishida T, Teramoto S, Kadota J, Tomono K, Watanabe A. Clinical practice guidelines for nursing- and healthcare-associated pneumonia (NHCAP) [complete translation]. *Respir Investig* 51(2):103-126, 2013
3. Komiya K, Ishii H, Umeki K, Kawamura T, Okada F, Okabe E, Murakami J, Kato Y, Matsumoto B, Teramoto S, Johkoh T, Kadota J. Computed tomography findings of aspiration pneumonia in 53 patients. *Geriatr Gerontol Int* 13(3):580-585, 2013
4. Suzuki T, Horikoshi M, Sugihara M, Hirota T, Ogishima H, Umeda N, Kondo Y, Tsuboi H, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Sumida T. Therapeutic efficacy of tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis refractory to anti-tumor-necrosis-factor inhibitors: 1 year follow-up with low-field extremity MRI. *Mod Rheumatol* 23(4):782-787, 2013
5. Takahashi K, Terashima H, Kohno K, Ohkohchi N. A stand-alone synbiotic treatment for the prevention of D-lactic acidosis in short bowel syndrome. *Int Surg* 98(2):110-113, 2013
6. Teramoto S, Hida N, Ishikawa H, Hizawa N. Inverse U shape of the trachea during an asthma attack. *Intern Med* 52(19):2289-2290, 2013
7. Umeda N, Matsumoto I, Ito I, Kawasaki A, Tanaka Y, Inoue A, Tsuboi H, Suzuki T, Hayashi T, Ito S, Tsuchiya N, Sumida T. Anti-citrullinated glucose-6-phosphate isomerase peptide antibodies in patients with rheumatoid arthritis are associated with HLA-DRB1 shared epitope alleles and disease activity. *Clin Exp Immunol* 172(1):44-53, 2013
8. Yoneyama S, Terashima H, Yamaguchi R, Tadano S, Ohkohchi N. The manner of the inflammation-boosting effect caused by acute hyperglycemia secondary to overfeeding and the effects of insulin therapy in a rat model of sepsis. *J Surg Res* 185(1):380-387, 2013
9. Yumura W, Kobayashi S, Suka M, Hayashi T, Ito S, Nagafuchi H, Yamada H, Ozaki S.

Assessment of the Birmingham vasculitis activity score in patients with MPO-ANCA-associated vasculitis: sub-analysis from a study by the Japanese Study Group for MPO-ANCA-associated vasculitis. *Mod Rheumatol* doi: 10.1007/s10165-013-0889-9, 2013

2) 英文以外の論文

1. 石川宏明, 寺本信嗣. 【高齢者における意識障害の原因と対策】 高齢者における意識障害の原因と対応 高齢者の意識障害 呼吸器疾患. *Geriatric Medicine* 51(8):803-806, 2013
2. 岩崎健一, 寺島秀夫, 久倉勝治, 佐野直樹, 宮本良一, 稲川智, 大河内信弘. 右側大動脈弓を伴う食道・胃同時性重複癌の1切除例. *日本消化器外科学会雑誌* 46(8):564-572, 2013
3. 田地広明, 寺本信嗣. 【慢性疾患における薬剤アドヒアランス向上の工夫】 慢性疾患における薬剤アドヒアランスを向上させる工夫 呼吸器疾患 気管支喘息、COPD など. *Progress in Medicine* 33(6):1305-1309, 2013
4. 寺島秀夫. 侵襲急性期におけるエネルギー投与のパラダイムシフト 内因性エネルギー供給を考慮した理論的エネルギー投与方法の提言. *日本集中治療医学会雑誌* 20(3):359-367, 2013
5. 寺島秀夫. 【エキスパートが本気で教える重症患者の栄養管理-知らないと痛い目をみる!コツとピットフォール-】 侵襲下における栄養管理に必要な知識 侵襲時のエネルギー補充の考え方 既成概念の打破、今こそパラダイムシフト. *急性・重症患者ケア* 2(2):323-332, 2013
6. 寺島秀夫. 【エキスパートが本気で教える重症患者の栄養管理-知らないと痛い目をみる!コツとピットフォール-】 侵襲下における栄養管理に必要な知識 外因性エネルギーと内因性エネルギー 知らないと危険です!侵襲下におけるエネルギー供給の基本原則. *急性・重症患者ケア* 2(2):313-322, 2013
7. 寺島秀夫. 【糖尿病における急性期管理-糖尿病患者の急性合併症への正しい対応-】 集中治療患者に対するインスリン療法 IIT の真相、現在の見解と課題. *プラクティス* 30(3):325-335, 2013
8. 寺島秀夫. 周術期の経腸栄養管理を学ぶ<第1回> 食道がん術後の経腸栄養管理. *ヒューマンニュートリション* 5(2):008-013, 2013
9. 寺本信嗣. 【注目される呼吸器疾患の病態・診断・治療】 慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対するスタチン製剤の予後への効果. *呼吸器内科* 23(1):96-103, 2013
10. 寺本信嗣. 【理解!なっとく!高齢患者の呼吸ケア 速習ポイント 12】 (Theme 2)呼吸

機能の特徴. 呼吸器ケア 11(4):435-436, 2013

11. 寺本信嗣. 【理解!なっとく!高齢患者の呼吸ケア 速習ポイント 12】 (Theme 1)全身状態の特徴. 呼吸器ケア 11(4):432-434, 2013
12. 寺本信嗣. 【加齢と呼吸器感染症】 加齢と誤嚥. 日本胸部臨床 72(5):463-469, 2013
13. 寺本信嗣. 【鼻かぜ・喉かぜ診療のススメ】 慢性的な鼻かぜ・喉かぜの臨床と増悪予防・増悪治療の具体策 びまん性汎細気管支炎と気管支拡張症. 感染と抗菌薬 16(4):350-355, 2013
14. 寺本信嗣. 【抗菌薬の実践的で有効な最新の使いかた 耐性菌克服を目指した実地診療のすべて】 臓器別感染症の診療ガイドライン、原因菌および実践的診療の進めかた 医療・介護関連肺炎. Medical Practice 30(12):2069-2074, 2013
15. 寺本信嗣. 【高齢者の肺炎-NHCAPを中心に-】 《高齢者肺炎と NHCAP》 NHCAPにおける誤嚥性肺炎の重要性と対処法. Modern Physician 33(12):1486-1491, 2013
16. 寺本信嗣. 【新時代の肺炎診療】 肺炎の予防 誤嚥性肺炎の予防. Medicina 50(12):2036-2040, 2013
17. 寺本信嗣. 全身疾患としての COPD—いつ診断するのか? 「今でしょう」—. 日本 CT 検診学会誌 20(2):139-143, 2013
18. 中田頌子, 石川宏明, 田地広明, 寺本信嗣. A 型インフルエンザウイルス感染後に発症した胃切除後誤嚥性肺炎の 1 例. 日本老年医学会雑誌 50(5):661-666, 2013
19. 中野順隆, 寺島秀夫, 高橋一広, 今村史人, 堀口尚, 神賀正博. 肺癌を併発した粘膜筋板由来食道平滑筋肉腫(15cm)の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 74(11):3003-3010, 2013
20. 中野順隆, 寺島秀夫, 塚本俊太郎, 高橋一広, 今村史人, 神賀正博. 腹腔鏡下に摘出した後腹膜神経節神経腫の 1 例. 日本臨床外科学会雑誌 74(10):2924-2928, 2013
21. 中野順隆, 寺島秀夫, 塚本俊太郎, 真船太一, 高橋一広, 今村史人, 間瀬憲多朗, 丸森健司, 神賀正博. 研修医が初めて執刀する腹腔鏡下虫垂切除術の現況. 日本臨床外科学会雑誌 74(9):2349-2354, 2013
22. 林太智. 【関節リウマチ-ケアからキュアを目指した治療-】 薬物治療とその留意点 サイトカイン阻害薬 ゴリムマブ. 日本臨床 71(7):1227-1231, 2013
23. 林太智. 「リウマチ治療の生物学的製剤治療」に寄せる MTX の適正使用に関する警鐘. アレルギーの臨床 33(14):1352-1354, 2013
24. 林太智. 【関節リウマチ薬物治療の最前線】 メトトレキサートの副作用とその対策. 薬事 55(9):1517-1521, 2013
25. 山口泰弘, 石井正紀, 寺本信嗣. 睡眠時無呼吸と嚥下機能の新たな関連. 日本臨床生理学雑誌 43(2):71-76, 2013

4) 英語以外の著書

1. 寺島秀夫, 第2部-3. 侵襲時の糖代謝障害; "ICU・CCU看護の超重要ポイントマスターブック(第1版)"(編集 西田修), メディカ出版(大阪) 2013; pp215-231
2. 寺本信嗣. 第5章病態栄養と栄養療法. 3. 呼吸器疾患②誤嚥性肺炎; "病態栄養ガイドブック(第1版)"(編集 日本病態栄養学会), メディカルレビュー社(大阪) 2013; pp192-195
3. 寺本信嗣. III. 呼吸器感染症. 肺炎、誤嚥性肺炎; "新領域別症候群シリーズ No25. 感染症症候群(第2版)-症候群から感染性単一疾患までを含めて- 下 臓器別感染症編(第1版)"(編集 日本臨牀社), 日本臨牀社(東京) 2013; pp192-196
4. 寺本信嗣. Part 2 各論 内科 b. 嚥下性肺炎; "最新・感染症治療指針 2013 改訂版"(第18版)"(編集 後藤元), 医薬ジャーナル社(大阪) 2013; pp90-98

## 日立社会連携教育研究センター

1) 英文論文

1. Hayakawa T, Mutoh M, Imai T, Tsuta K, Yanaka A, Fujii H, Yoshimoto M. SPECT/CT of lung nodules using <sup>111</sup>In-DOTA-c(RGDfK) in a mouse lung carcinogenesis model. *Ann Nucl Med* 27(7):640-647, 2013
2. Sakamoto N, Ishikawa E, Aoki K, Uemae Y, Komatsu Y, Matsumura A. Clinical Outcomes of Intracerebral Hemorrhage in Hemodialysis Patients. *World Neurosurg* doi: 10.1016/j.wneu.2013.10.033, 2013
3. Suzuki H, Kaneko T, Mizokami Y, Narasaka T, Endo S, Matsui H, Yanaka A, Hirayama A, Hyodo I. Therapeutic efficacy of the Qing Dai in patients with intractable ulcerative colitis. *World J Gastroenterol* 19(17):2718-2722, 2013
4. Yanaka A, Sato J, Ohmori S. Sulforaphane protects small intestinal mucosa from aspirin/NSAID-induced injury by enhancing host defense systems against oxidative stress and by inhibiting mucosal invasion of anaerobic enterobacteria. *Curr Pharm Des* 19(1):157-162, 2013

2) 英文以外の論文

1. 植田敦志, 永井恵, 森本まどか, 斎藤知栄, 山縣邦弘. 併用(HD+PD)導入は残存腎機能と血清アルブミンを保持し、生命予後を改善させる. 腎と透析 75(別冊 腹膜透析

2013:159-160, 2013

2. 小松洋治. 目で見るシリーズ 頭部 CT 早すぎる搬送は観察が必要. 日立医学会誌 52(1):47-48, 2013
3. 小松洋治, 中村和弘, 伊藤嘉朗, 益子良太, 上村和也, 松村明. 【光線力学診断・治療の最新動向】 脳神経外科手術におけるインドシアニンググリーン術中蛍光血管撮影の有用性と課題. 日本レーザー医学会誌 34(2):141-147, 2013
4. 竹内千尋, 石川晶久, 遠藤壮登, 綿引隆久, 大河原敦, 柿木信重, 鴨志田敏郎, 平井信二, 岡裕爾, 谷中昭典. MTX 関連リンパ増殖性疾患に伴う胃潰瘍病変を経過観察した 1 例. *Progress of Digestive Endoscopy* 82(1):120-121,127, 2013
5. 竹内千尋, 鴨志田敏郎, 佐々木翔一, 遠藤壮登, 綿引隆久, 大河原悠, 大河原敦, 柿木信重, 平井信二, 谷中昭典, 岡裕爾. 慢性膵炎代償期の疼痛に対する内視鏡的膵管ステント留置が胃膵吻合された残膵に対して有効であった一例. *Progress of Digestive Endoscopy* 84(Suppl.):s115, 2013
6. 永井恵, 植田敦志, 森本まどか, 斎藤知栄, 山縣邦弘. 症例による透析患者の画像診断 鎖骨下動脈盗血症候群に対しステント留置が奏効した維持血液透析患者の 1 例. *臨床透析* 29(5):583-587, 2013
7. 永井恵, 植田敦志, 森本まどか, 永山和宜, 西尾龍太, 山縣邦弘. 症例による透析患者の画像診断 脾腎シャントによる portal-systemic encephalopathy を呈した血液透析患者の 1 例. *臨床透析* 29(3):337-342, 2013
8. 根本清貴, 太刀川弘和, 鈴木英雄, 堀孝文, 谷中昭典, 兵頭一之介, 朝田隆. 研究と報告 過敏性腸症候群の重症度と不安・抑うつ症状との関連. *精神医学* 55(4):327-335, 2013
9. 福本敦, 谷中昭典. 全バナナ食はマウスにおいてスギ花粉により惹起される腹腔内好酸球比率の増加を抑制する. *機能性食品と薬理栄養* 7(5):411-420, 2013
10. 益子良太, 中居康展, 原拓真, 今井資, 松原鉄平, 松田真秀, 上村和也, 小松洋治, 松村明. 錐体骨部特発性内頸動脈解離に対するステント留置術の 1 例. *脳神経外科ジャーナル* 22(7):557-561, 2013
11. 松原鉄平, 松田真秀, 益子良太, 上村和也, 小松洋治, 松村明. 多発性未破裂脳動脈瘤の経過観察中に生じた新生動脈瘤破裂によるくも膜下出血の 1 例. *脳卒中の外科* 41(1):56-59, 2013
12. 谷中昭典. 【機能性食品と健康長寿】 アブラナ科野菜の摂食による消化管疾患の予防 スルフォラファンによる胃癌の予防. *内分泌・糖尿病・代謝内科* 36(4):323-329, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 植田敦志. 各論 4. 腹膜透析患者の精神・心理; "Modern Physician (第9号)" (編集 政金生人), 新興医学出版社 (東京) 2013; pp1109-1113

## 土浦市地域臨床教育ステーション

### 1) 英文論文

1. Ano S, Morishima Y, Ishii Y, Kawaguchi M, Matsuno Y, Hizawa N. Defecation-related asthma. *Intern Med* 52(6):685-687, 2013
2. Ano S, Morishima Y, Ishii Y, Yoh K, Yageta Y, Ohtsuka S, Matsuyama M, Kawaguchi M, Takahashi S, Hizawa N. Transcription factors GATA-3 and RORgammat are important for determining the phenotype of allergic airway inflammation in a murine model of asthma. *J Immunol* 190(3):1056-1065, 2013
3. Hanyu T, Watanabe M, Masatomi T, Nishida K, Nakagawa T, Nishiura Y, Ohi H. Reliability, validity, and responsiveness of the Japanese version of the patient-rated elbow evaluation. *J Orthop Sci* 18(5):712-719, 2013
4. Morishima Y, Ano S, Ishii Y, Ohtsuka S, Matsuyama M, Kawaguchi M, Hizawa N. Th17-associated cytokines as a therapeutic target for steroid-insensitive asthma. *Clin Dev Immunol* 2013:609395, 2013
5. Ogawa T, Ochiai N, Nishiura Y, Tanaka T, Hara Y. A new treatment strategy for Kienbock's disease: combination of bone marrow transfusion, low-intensity pulsed ultrasound therapy, and external fixation. *J Orthop Sci* 18(2):230-237, 2013
6. Sakurai H, Morishima Y, Itoguchi N, Ohtsuka S, Yamadori I, Oto T, Ishii Y, Sakamoto T, Noguchi M, Hizawa N. Broncho-bronchiolitis obliterans after living-donor lung transplantation: a unique manifestation of chronic allograft rejection. *Transplantation* 96(4):e29-30, 2013
7. Yageta Y, Ishii Y, Morishima Y, Ano S, Ohtsuka S, Matsuyama M, Takeuchi K, Itoh K, Yamamoto M, Hizawa N. Carbocysteine Reduces Viral-Induced Pulmonary Inflammation in Mice Exposed to Cigarette Smoke. *Am J Respir Cell Mol Biol* doi: 10.1165/rcmb.2012-0292OC, 2013

### 2) 英文以外の論文

1. 西浦康正. 【手の外科-最新の話題-】 (Part2)臨床 治療 手外科における痛みの諸問題 CRPS について. *Bone Joint Nerve* 3(2):281-286, 2013



2. 原友紀, 西浦康正, 落合直之. 頸筋に起始した小斜角筋により胸郭出口症候群を呈した 1 例. 末梢神経 24(1):120-125, 2013
3. 松山政史, 石井幸雄, 檜澤伸之. 非結核性抗酸菌症の最新知見 免疫 肺 MAC 症と免疫. 呼吸 32(3):238-243, 2013
4. 松山政史, 石井幸雄, 檜澤伸之, 小川賢二. 増加する MAC 症の制御を目指して 遺伝子改変マウスを用いた肺 MAC 症病態生理の解明. 結核 88(3):359-362, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 西浦康正. 第 11 章. 主な疾病と診療 4 末梢神経の損傷と障害; "臨床病態学 3 (第 2 版)" (編集 北村聖), ヌーベルヒロカワ (東京) 2013; pp81-90
2. 松山政史, 石井幸雄. 肺 MAC 症における Th1 細胞の役割; "肺 MAC 症診療 Up to Date (第 1 版)" (編集 倉島篤行, 小川賢二), 南江堂 (東京) 2013; pp130-131

## 茨城県小児地域医療教育ステーション

#### 1) 英文論文

1. Cuneo BF, Etheridge SP, Horigome H, Sallee D, Moon-Grady A, Weng HY, Ackerman MJ, Benson DW. Arrhythmia phenotype during fetal life suggests long-QT syndrome genotype: risk stratification of perinatal long-QT syndrome. *Circ Arrhythm Electrophysiol* 6(5):946-951, 2013
2. Cuneo BF, Strasburger JF, Yu S, Horigome H, Hosono T, Kandori A, Wakai RT. In utero diagnosis of long QT syndrome by magnetocardiography. *Circulation* 128(20):2183-2191, 2013
3. Kawamura M, Ohno S, Naiki N, Nagaoka I, Dochi K, Wang Q, Hasegawa K, Kimura H, Miyamoto A, Mizusawa Y, Itoh H, Makiyama T, Sumitomo N, Ushinohama H, Oyama K, Murakoshi N, Aonuma K, Horigome H, Honda T, Yoshinaga M, Ito M, Horie M. Genetic background of catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia in Japan. *Circ J* 77(7):1705-1713, 2013
4. Shimojima K, Tanaka R, Shimada S, Sangu N, Nakayama J, Iwasaki N, Yamamoto T. A novel homozygous mutation of GJC2 derived from maternal uniparental disomy in a female patient with Pelizaeus-Merzbacher-like disease. *J Neurol Sci* 330(1-2):123-126, 2013
5. Takanashi J, Nitta N, Iwasaki N, Saito S, Tanaka R, Barkovich AJ, Aoki I. Neurochemistry in shiverer mouse depicted on MR spectroscopy. *J Magn Reson Imaging* doi:

- 10.1002/jmri.24306, 2013
6. Tokunaga C, Hiramatsu Y, Kanemoto S, Takahashi-Igari M, Abe M, Horigome H, Sakakibara Y. Effects of landiolol hydrochloride on intractable tachyarrhythmia after pediatric cardiac surgery. *Ann Thorac Surg* 95(5):1685-1688, 2013
  7. Tsukada T, Hiramatsu Y, Kanemoto S, Lin L, Takahashi-Igari M, Horigome H, Matsushita S, Sakakibara Y. Nontraditional placement of an implantable cardioverter-defibrillator in a heterotaxy patient after the completion of total cavopulmonary connection. *J Artif Organs* 16(4):495-497, 2013
  8. Yoshinaga M, Kucho Y, Sarantuya J, Ninomiya Y, Horigome H, Ushinohama H, Shimizu W, Horie M. Genetic characteristics of children and adolescents with long-QT syndrome diagnosed by school-based electrocardiographic screening programs. *Circ Arrhythm Electrophysiol* doi: 10.1161/CIRCEP.113.000426, 2013
  9. Yoshinaga M, Ushinohama H, Sato S, Tauchi N, Horigome H, Takahashi H, Sumitomo N, Kucho Y, Shiraishi H, Nomura Y, Shimizu W, Nagashima M. Electrocardiographic screening of 1-month-old infants for identifying prolonged QT intervals. *Circ Arrhythm Electrophysiol* 6(5):932-938, 2013

## 2) 英文以外の論文

1. 福留隆泰, 田中竜太, 安藤直樹, 本村政勝, 吉村俊朗, 佐々木征行, 西野一三, 東慶輝, 大野欽司. Prednisolone が有効だった小児期発症の limb-girdle 型重症筋無力症の兄弟例. *神経治療学* 30(4):465-469, 2013
2. 堀米仁志, 石川康宏, 加藤愛章, 中村昭宏, 岩本眞理, 住友直方, 吉永正夫. 独立成分分析を用いた先天性QT延長症候群のT波の解析. 主成分分析との診断精度の比較. *日本心臓病学会誌* 8(1):14-25, 2013
3. 前田潤, 古谷喜幸, 稲井慶, 小穴慎二, 梶野浩樹, 上砂光裕, 松裏裕行, 松岡瑠美子, 森克彦, 須田憲治, 飯島正紀, 池原聡, 大木寛生, 金丸浩, 田内宣生, 中島弘道, 西原栄起, 濱岡建城, 早渕康信, 堀米仁志, 桃井伸緒, 安田謙二, 横澤正人, 新垣義夫, 市田露子, 小野安生, 小山耕太郎, 黒江兼司, 小林俊樹, 城尾邦隆, 白石公, 中川雅生, 野村裕一, 総崎直樹, 村上智明, 安河内聰, 安田東始哲, 中西敏雄, 山岸敬幸, 日本小児循環器学会心血管疾患の遺伝子疫学委員会. チアノーゼ性先天性心疾患における脳膿瘍の疫学 日本小児循環器学会心血管疾患の遺伝子疫学委員会 平成20年度-22年度研究課題報告. *日本小児循環器学会雑誌* 29(5):236-242, 2013
4. 松澤明美, 田宮菜奈子, 柏木聖代, 田中竜太, 竹谷俊樹, 野村芳子. 障害者自立支援法導

入による在宅障害児・者の母親の養育負担感の変化とその関連要因. 小児保健研究  
72(1):54-64, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 岩崎信明, 田中竜太, 林雅晴. Clinical Pathological Conference. 発達遅延、顔貌異常、難聴を呈した 6 歳男児; "小児神経学の進歩 42 巻" (編集日本小児神経学会教育委員会), 診断と治療社 (東京) 2013; pp86-105
2. 榎園崇, 田中竜太, 大矢寧. 【理解して出そう 小児の検査-オーダー・手技・解釈】 第 9 章. 神経 誘発筋電図(解説/特集); "小児科診療 76 巻増刊" 診断と治療社 (東京) 2013; pp328-335
3. 工藤豊一郎. 第 2 章. 【予防接種 Q&A】 B 型肝炎 無反応例 B 型肝炎ワクチンの無反応例とその対策について教えてください(Q&A/特集); "小児内科 45 巻増刊" (編集『小児内科』『小児外科』編集委員会), 東京医学社 (東京) 2013; pp579-580
4. 工藤豊一郎. 第 2 章. 【予防接種 Q&A】 A 型肝炎 注意事項 小児に A 型肝炎ワクチンを接種する際の注意事項にはどのようなものがありますか(Q&A/特集); "小児内科 45 巻増刊" (編集『小児内科』『小児外科』編集委員会), 東京医学社 (東京) 2013; pp604-605
5. 堀米仁志. 【わかる心電図-病態に迫る判読のコツ】 第 4 章. 不整脈 QT 延長症候群、QT 短縮症候群(解説/特集); "小児科診療 76 巻 11 号" 診断と治療社 (東京) 2013; pp1779-1787
6. 堀米仁志. 【古くて新しい心臓病-成人先天性心疾患】 成人先天性心疾患のチアノーゼ (解説/特集); "成人病と生活習慣病 43 巻 2 号" 東京医学社 (東京) 2013; pp173-179
7. 堀米仁志, 高橋一浩. 【クローズアップ 新しい子どもの病気】 循環器疾患 最近急に他科から問い合わせが多くなった疾患や病態 先天性 QT 延長症候群 3 型(解説/特集); "小児内科 45 巻 6 号" 東京医学社 (東京) 2013; pp1107-1110
8. 吉永正夫, 泉田直己, 岩本眞理, 大也 牛ノ濱, 住友直方, 田内宣生, 高橋良明, 富田英, 長嶋正實, 堀米仁志, 山内邦昭, 阿部勝巳, 新垣義夫, 上野倫彦, 太田邦雄, 佐藤誠一, 高木純一, 立野滋, 檜垣高史, 市田露子, 白石裕比湖, 杉薫, 堀江稔. 日本小児循環器学会学校心臓検診委員会. 器質的心疾患を認めない不整脈の学校生活管理指導ガイドライン; "日本小児循環器学会雑誌 29 巻 6 号" 日本小児循環器学会 (東京) 2013; pp277-290

## つくば市寄附講座総合周産期医学

### 1) 英文論文

1. Mayumi M, Obata-Yasuoka M, Ogura T, Hamada H, Miyazono Y, Yoshikawa H. Discordance in Pena-Shokeir phenotype/fetal akinesia deformation sequence in a monoamniotic twin. *J Obstet Gynaecol Res* 39(1):344-346, 2013

### 2) 英文以外の論文

- 1 小宮春奈, 小倉剛, 八木洋也, 安部加奈子, 永井優子, 小島真奈, 濱田洋実, 吉川裕之. Interferon- $\alpha$  による周産期管理を行った妊娠中発症の本態性血小板血症合併妊娠の一例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 49(3):1050-1054, 2013

### 4) 英文以外の著書

1. 濱田洋実, 第5章. 異常分娩の管理と処置 1.恥骨結合離開; "MFICU 母体・胎児 ICU マニュアル (第2版)" (編集 MFICU(周産期医療)連絡協議会), メディカ出版 (大阪) 2013; pp379-38
2. 濱田洋実, 巻頭トピックス. 妊娠と薬; "産科婦人科疾患最新の治療 2013-2015 (第1版)" (編集 吉川史隆, 倉智博久, 平松祐司), 南江堂 (東京) 2013; pp18-23

## 陽子線医学利用研究センター

### 1) 英文論文

1. Abei M, Okumura T, Fukuda K, Hashimoto T, Araki M, Ishige K, Hyodo I, Kanemoto A, Numajiri H, Mizumoto M, Sakae T, Sakurai H, Zenkoh J, Ariungerel G, Sogo Y, Ito A, Ohno T, Tsuboi K. A phase I study on combined therapy with proton-beam radiotherapy and in situ tumor vaccination for locally advanced recurrent hepatocellular carcinoma. *Radiat Oncol* 8:239, 2013
2. Aihara T, Morita N, Kamitani N, Kumada H, Ono K, Hiratsuka J, Harada T. Boron neutron capture therapy for advanced salivary gland carcinoma in head and neck. *Int J Clin Oncol* doi:10.1007/s10147-013-0580-3, 2013
3. Hara T, Akutsu H, Yamamoto T, Ishikawa E, Matsuda M, Matsumura A. Cushing's disease presenting with gastrointestinal perforation: a case report. *Endocrinol Diabetes Metab Case Rep* 2013:130064, 2013
4. Hara T, Matsuda M, Watanabe S, Nakai K, Yamamoto T, Matsumura A. Remote Cerebellar

- Hemorrhage after Removal of a Supratentorial Glioma without Perioperative CSF Loss: A Case Report. *Case Rep Surg* 2013:305039, 2013
5. Hashii H, Hashimoto T, Okawa A, Shida K, Isobe T, Hanmura M, Nishimura T, Aonuma K, Sakae T, Sakurai H. Comparison of the effects of high-energy photon beam irradiation (10 and 18 MV) on 2 types of implantable cardioverter-defibrillators. *Int J Radiat Oncol Biol Phys* 85(3):840-845, 2013
  6. Hong Z, Kase Y, Moritake T, Gerelchuluun A, Sun L, Suzuki K, Terunuma T, Yasuoka K, Kumada H, Anzai K, Sakurai H, Sakae T, Tsuboi K. Lineal energy-based evaluation of oxidative DNA damage induced by proton beams and X-rays. *Int J Radiat Biol* 89(1):36-43, 2013
  7. Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Sakurai H, Sakae T. Robust technique using an imaging plate to detect environmental radioactivity. *Health Phys* 104(4):362-365, 2013
  8. Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Takahashi H, Sekiguchi T, Yoshimura Y, Sakurai H, Sakae T. Evaluation of vegetables in Tsukuba for contamination with radioactive materials from the accident at Fukushima Daiichi nuclear power plant. *Health Phys* 105(4):311-317, 2013
  9. Kanemoto A, Mizumoto M, Okumura T, Takahashi H, Hashimoto T, Oshiro Y, Fukumitsu N, Moritake T, Tsuboi K, Sakae T, Sakurai H. Dose-volume histogram analysis for risk factors of radiation-induced rib fracture after hypofractionated proton beam therapy for hepatocellular carcinoma. *Acta Oncol* 52(3):538-544, 2013
  10. Kanemoto A, Okumura T, Ishikawa H, Mizumoto M, Oshiro Y, Kurishima K, Homma S, Hashimoto T, Ohkawa A, Numajiri H, Ohno T, Moritake T, Tsuboi K, Sakae T, Sakurai H. Outcomes and prognostic factors for recurrence after high-dose proton beam therapy for centrally and peripherally located stage I non-small-cell lung cancer. *Clin Lung Cancer* doi: 10.1016/j.clcc.2013.11.002, 2013
  11. Kase Y, Yamashita W, Matsufuji N, Takada K, Sakae T, Furusawa Y, Yamashita H, Murayama S. Microdosimetric calculation of relative biological effectiveness for design of therapeutic proton beams. *J Radiat Res* 54(3):485-493, 2013
  12. Kin H, Ishikawa E, Takano S, Ayuzawa S, Matsushita A, Muragaki Y, Aiyama H, Sakamoto N, Yamamoto T, Matsumura A. Language areas involving the inferior temporal cortex on intraoperative mapping in a bilingual patient with glioblastoma. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(4):256-258, 2013
  13. Makishima H, Ishikawa H, Terunuma T, Hashimoto T, Yamanashi K, Sekiguchi T,

- Mizumoto M, Okumura T, Tsuboi K, Sakurai H. Comparison of adverse effects of proton and X-ray chemoradiotherapy for oesophageal cancer using an adaptive dose-volume histogram analysis. *Eur J Cancer* 49(2):S576, 2013
14. Mizumoto M, Hashii H, Senarita M, Sakai S, Wada T, Okumura T, Tsuboi K, Sakurai H. Proton beam therapy for malignancy in Bloom syndrome. *Strahlenther Onkol* 189(4):335-338, 2013
  15. Mizumoto M, Okumura T, Ishikawa E, Yamamoto T, Takano S, Matsumura A, Oshiro Y, Ishikawa H, Sakurai H, Tsuboi K. Reirradiation for recurrent malignant brain tumor with radiotherapy or proton beam therapy. Technical considerations based on experience at a single institution. *Strahlenther Onkol* 189(8):656-663, 2013
  16. Onuma K, Ishikawa E, Matsuda M, Hirata K, Osuka S, Yamamoto T, Masumoto T, Zaboronok A, Matsumura A. Clinical characteristics and neuroimaging findings in 12 cases of recurrent glioblastoma with communicating hydrocephalus. *Neurol Med Chir (Tokyo)* 53(7):474-481, 2013
  17. Oshiro Y, Mizumoto M, Okumura T, Sugahara S, Fukushima T, Ishikawa H, Nakao T, Hashimoto T, Tsuboi K, Ohkawa H, Kaneko M, Sakurai H. Clinical results of proton beam therapy for advanced neuroblastoma. *Radiat Oncol* 8(1):142, 2013
  18. Oshiro Y, Okumura T, Mizumoto M, Fukushima T, Ishikawa H, Hashimoto T, Tsuboi K, Kaneko M, Sakurai H. Proton beam therapy for unresectable hepatoblastoma in children: survival in one case. *Acta Oncol* 52(3):600-603, 2013
  19. Oshiro Y, Sakurai H. The use of proton-beam therapy in the treatment of non-small-cell lung cancer. *Expert Rev Med Devices* 10(2):239-245, 2013
  20. Saito Y, Matsuzaki Y, Honda A, Iwamoto J, Ikegami T, Chiba T, Sugahara S, Okumura T, Tsujii H, Doy M, Tokuyue K. Post-therapeutic needle biopsy in patients with hepatocellular carcinoma is a useful tool to evaluate response to proton irradiation. *Hepatol Res* doi: 10.1111/hepr.12133, 2013
  21. Sakakura K, Akutsu H, Yamamoto T, Masuda Y, Ishikawa E, Matsumura A. Trigeminal Neuralgia in a Patient with Marfan Syndrome: Case Report. *Neurol Med Chir (Tokyo)* doi:10.2176/nmc.cr.2013-0072, 2013
  22. Sakamoto N, Akutsu H, Takano S, Yamamoto T, Matsumura A. Useful 'sliding-lock-knot' technique for suturing dural patch to prevent cerebrospinal fluid leakage after extended transsphenoidal surgery. *Surg Neurol Int* 4:19, 2013
  23. Sato E, Yamamoto T, Shikano N, Ogura M, Nakai K, Yoshida F, Uemae Y, Takada T, Isobe

- T, Matsumura A. Intracellular boron accumulation in CHO-K1 cells using amino acid transport control. *Appl Radiat Isot* doi: 10.1016/j.apradiso.2013.12.015, 2013
24. Satoh T, Matsumoto K, Tanaka YO, Akiyama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Minaguchi T, Sakurai H, Yoshikawa H. Incidence of venous thromboembolism before treatment in cervical cancer and the impact of management on venous thromboembolism after commencement of treatment. *Thromb Res* 131(4):e127-132, 2013
25. Shirai K, Tamaki Y, Kitamoto Y, Murata K, Satoh Y, Higuchi K, Ishikawa H, Nonaka T, Takahashi T, Nakano T. Prognosis was not deteriorated by multiple primary cancers in esophageal cancer patients treated by radiotherapy. *J Radiat Res* 54(4):706-711, 2013
26. Sun L, Moritake T, Zheng YW, Suzuki K, Gerelchuluun A, Hong Z, Zenkoh J, Taniguchi H, Tsuboi K. In vitro stemness characterization of radio-resistant clones isolated from a medulloblastoma cell line ONS-76. *J Radiat Res* 54(1):61-69, 2013
27. Suzuki K, Gerelchuluun A, Hong Z, Sun L, Zenkoh J, Moritake T, Tsuboi K. Celecoxib enhances radiosensitivity of hypoxic glioblastoma cells through endoplasmic reticulum stress. *Neuro Oncol* 15(9):1186-1199, 2013
28. Suzuki M, Kato I, Aihara T, Hiratsuka J, Yoshimura K, Niimi M, Kimura Y, Ariyoshi Y, Haginomori S, Sakurai Y, Kinashi Y, Masunaga S, Fukushima M, Ono K, Maruhashi A. Boron neutron capture therapy outcomes for advanced or recurrent head and neck cancer. *J Radiat Res* doi: 10.1093/jrr/rrt098, 2013
29. Takada T, Tamura M, Yamamoto T, Matsui H, Matsumura A. Selective accumulation of hematoporphyrin derivative in glioma through proton-coupled folate transporter SLC46A1. *J Clin Biochem Nutr* doi: 10.3164/jcbtn.13-87, 2013
30. Takano S, Kimu H, Tsuda K, Osuka S, Nakai K, Yamamoto T, Ishikawa E, Akutsu H, Matsuda M, Matsumura A. Decrease in the apparent diffusion coefficient in peritumoral edema for the assessment of recurrent glioblastoma treated by bevacizumab. *Acta Neurochir Suppl* 118:185-189, 2013
31. Takizawa D, Oshiro Y, Okumura T, Mizumoto M, Fukushima T, Ishikawa H, Tsuboi K, Kaneko M, Sakurai H. Proton beam therapy for a patient with Large rhabdomyosarcoma of the body trunk. *Pediatr Blood Cancer* 60(3):93, 2013
32. Tsuda K, Akutsu H, Yamamoto T, Ishikawa E, Saito A, Nakai K, Takano S, Matsumura A. Benign spinal meningioma without dural attachment presenting delayed CSF dissemination and malignant transformation. *Brain Tumor Pathol* 30(3):185-191, 2013
33. Yamaoka M, Akiyama M, Yokokawa Y, Terao Y, Yokoi K, Kato T, Fukushima T, Sakurai H,

- Ida H. Multidisciplinary therapy including proton beam radiotherapy for a Ewing sarcoma family tumor of maxillary sinus in a 4-year-old girl. *Head Neck* 35(12):E386-390, 2013
34. Yeh HH, Tian M, Hinz R, Young D, Shavrin A, Mukhapadhyay U, Flores LG, Balatoni J, Soghomonyan S, Jeong HJ, Pal A, Uthamanthil R, Jackson JN, Nishii R, Mizuma H, Onoe H, Kagawa S, Higashi T, Fukumitsu N, Alauddin M, Tong W, Herholz K, Gelovani JG. Imaging epigenetic regulation by histone deacetylases in the brain using PET/MRI with <sup>18</sup>F-FAHA. *Neuroimage* 64:630-639, 2013
35. Zaboronok A, Isobe T, Yamamoto T, Sato E, Takada K, Sakae T, Tsurushima H, Matsumura A. Proton beam irradiation stimulates migration and invasion of human U87 malignant glioma cells. *J Radiat Res* doi: 10.1093/jrr/rrt119, 2013

2) 英文以外の論文

1. 阿部孝憲, 江原威, 原田耕作, 白井克幸, 塩谷真里子, 鈴木義行, 櫻井英幸, 中野隆史. A Case of Recurrent Pleomorphic Liposarcoma that Exhibited a Remarkable Response to Hyperthermoradiotherapy. *Thermal Medicine* 29(3):63-67, 2013
2. 石川仁, 橋本孝之, 牧島弘和, 水本齊志, 奥村敏之, 櫻井英幸. 高精度放射線治療の現状と Adaptive Therapy の展望 前立腺がんに対する放射線治療を中心に. *医学物理* 32(3):138-147, 2013
3. 磯辺智範, 榮武二, 高田健太, 森祐太郎, 山本哲哉. 環境中における放射性物質の簡易型リアルタイムモニタリングシステムの開発. *大和証券ヘルス財団研究業績集* 36:185-193, 2013
4. 大久保英樹, 中山雅博, 廣瀬由紀, 田中秀峰, 西村文吾, 星野朝文, 上前泊功, 飛田忠道, 辻茂希, 田淵経司, 和田哲郎, 原晃, 橋井晴子, 石川仁, 水本齊志, 奥村敏之, 櫻井英幸. 過去 10 年間に当科で陽子線治療を行った頭頸部癌に関する検討. *耳鼻咽喉科展望* 56(補冊 1):118-122, 2013
5. 大城佳子, 水本齊志, 石川仁, 奥村敏之, 坪井康次, 榮武二, 福島敬, 須磨崎亮, 増本幸二, 金子道夫, 櫻井英幸. 固形腫瘍の治療の進歩 小児固形がんに対する陽子線治療. *日本小児血液・がん学会雑誌* 50(3):331-334, 2013
6. 川村拓, 篠田和哉, 宮本勝美, 榮武二, 門間正彦, 松村明. ポリマーゲル線量計を用いた球状小照射野線量測定に関する検討. *日本放射線技術学会雑誌* 69(9):933-943, 2013
7. 熊田博明. 加速器中性子源の研究開発による BNCT の確立に向けて. *医学物理* 32(3):104-110, 2013
8. 竹内秀輔, 鈴木涼子, 福島敬, 福島紘子, 岩淵敦, 中尾朋平, 山口玲子, 工藤寿子, 杉田真



- 太郎, 稲留征典, 佐藤豊実, 櫻井英幸, 金子道夫, 須磨崎亮. 進行期卵巣小細胞癌に対して集学的治療を施行した女兒例. 日本小児血液・がん学会雑誌 50(2):269-273, 2013
9. 田中浩喜, 兵行義, 與田茂利, 宇野雅子, 粟飯原輝人, 原田保. 降下性壊死性縦隔炎 2 例. 耳鼻咽喉科臨床 106(8):739-746, 2013

#### 4) 英文以外の著書

1. 井垣浩, 櫻井英幸. 【肝胆膵領域への放射線療法 as of 2013】 肝臓領域の放射線療法 肝細胞癌治療アルゴリズムからみた放射線治療; "肝・胆・膵 67(2)" 2013; pp211-219
2. 石川仁. 9 章. 管腔臓器 A 食道; "密封小線源治療 診療・物理 QA マニュアル (第 1 版)" (編集 小線源治療部会), 金原出版 (東京) 2013; pp141-146
3. 石川仁, 牧島弘和, 加藤弘之, 櫻井英幸. 【アップデートシリーズ 前立腺がんの治療】 放射線療法; "泌尿器ケア 18(6)" 2013; pp653-658
4. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 1. 新機能検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp2-13
5. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 2. 呼吸機能検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 2 臨床生理機能検査 (第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp48-63
6. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 5. 感覚器検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 3 臨床生理機能検査(第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp117-134
7. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 6. 超音波検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 4 臨床生理機能検査(第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp136-161
8. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 7. 眼底検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 5 臨床生理機能検査(第 1 版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2103; pp164-169
9. 磯辺智範, 藤原恵子, 鎌田知子, 安藤浩樹, 富田哲也, 山田真子, 森祐太郎, 高田健太, 佐

- 藤英介, 小見正太郎, 吉村洋祐. 9. 熱画像検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 6 臨床生理機能検査(第1版)" (編集 磯辺智範), メディカルビュー社 (東京) 2013; pp222-231
10. 奥村敏之, 水本斉志, 福光延吉, 大西かよ子, 沼尻晴子, 石川仁, 栗飯原輝人, 坪井康次, 榮武二, 櫻井英幸. 【肝胆膵領域への放射線療法 as of 2013】 肝臓領域の放射線療法 肝腫瘍に対する陽子線療法の現状と成績; "肝・胆・膵 67(2)" 2013; pp271-278
11. 川端信司, 栗飯原輝人. 【放射線治療の進歩】 硼素中性子捕捉療法の現状と今後; "PET Journal (22)" 2013; pp16-19
12. 熊田博明. つくば国際戦略総合特区における次世代がん治療(BNCT)の開発実用化プロジェクトについて; "バイオサイエンスとインダストリー 71(1)" 2013; pp63-66
13. 櫻井英幸. 【婦人科腫瘍に対する三次元画像誘導小線源治療】 小線源治療と粒子線治療に関する事例と考察; "臨床放射線 58(3)" 2013; pp425-431
14. 櫻井英幸, 大川綾子, 沼尻晴子, 菅原香織, 瀧澤大地, 牧島弘和, 大野豊然貴, 石川仁, 奥村敏之. 【婦人科がん放射線治療の最新知見】 放射線治療の最新技術 陽子線治療の概要と婦人科腫瘍への応用について; "産婦人科の実際 62(7)" 2013; pp943-949
15. 櫻井英幸, 奥村敏之, 石川仁, 福光延吉, 栗飯原輝人, 大西かよ子, 水本斉志, 大城佳子, 沼尻晴子, 盛武敬, 高田健太, 照沼利之, 安岡聖, 磯辺智範, 熊田博明, 坪井康次, 榮武二. 【Radiotherapy Today 2013 粒子線治療最前線-進化する粒子線治療の現況と展望-】 粒子線治療の現状と展望 粒子線治療実施施設からの報告 筑波大学陽子線医学利用研究センター PMRC; "INNERVISION 28(7)" 2013; pp19-21
16. 坪井康次, 水本斉志. 【悪性脳腫瘍の治療-最新のトピックス】 放射線治療のトピックス 陽子線・重粒子線治療; "Clinical Neuroscience 31(10)" 2013; pp1169-1172
17. 水本斉志. 第7章. 放射線治療; "肝癌診療ガイドライン2013年版(第3版)" (編集 日本肝臓学会), 金原出版 (東京) 2013; pp160-171

## 総合がん診療センター

### 1) 英文論文

1. Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Sakurai H, Sakae T. Robust technique using an imaging plate to detect environmental radioactivity. *Health Phys* 104(4):362-365, 2013
2. Isobe T, Mori Y, Takada K, Sato E, Takahashi H, Sekiguchi T, Yoshimura Y, Sakurai H, Sakae T. Evaluation of vegetables in Tsukuba for contamination with radioactive materials from the accident at Fukushima Daiichi nuclear power plant. *Health Phys* 105(4):311-317, 2013

3. Kase Y, Yamashita W, Matsufuji N, Takada K, Sakae T, Furusawa Y, Yamashita H, Murayama S. Microdosimetric calculation of relative biological effectiveness for design of therapeutic proton beams. *J Radiat Res* 54(3):485-493, 2013
4. Zaboronok A TH, Yamamoto T, Isobe T, Takada K, Sakae T, Yoshida F, Matsumura A. Size-Dependent Radiosensitization Effects of Gold Nanoparticles on Human U251 Malignant Glioma Cells. *Nanoscience and Nanotechnology Letters* 5(9):990-994, 2013

4) 英文以外の著書

1. 高田健太. 第6章. 超音波検査; "若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 1 臨床生理機能検査 (第1版)" (編集 磯辺智範), メジカルビュー社 (東京) 2013; pp135-161

## 臨床試験・臨床疫学

2) 英文以外の論文

1. 石田裕一, 石橋寿子, 稲吉美由紀, 今村恭子, 上野悟, 尾芝一郎, 笠井宏委, 片山哲, 筒泉直樹, 常倍翔太, 豊嶋佐和子, 萩原洋輔, 松井博, 松嶋由紀子. ACRP 2013 Global Conference, Boston ARO および MGH 視察レポート. *Clinical Research Professionals* 35/36:4-15, 2013